

令和7年度まちづくり市民アンケート

調査結果報告書

令和8年3月

廿日市市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 集計方法・分析方法・報告書の見方・標本誤差	1
II. 調査結果	3
1. 基本的属性	3
2. お住まいの地域などについて	8
・地域の住みやすさ（問1）	8
・地域に住み続けたいか（問2-1）	13
・引っ越す場合どこに住みたいか（問2-2）	14
・廿日市市以外に住みたい理由（問2-3）	15
・自分のまちとしての愛着（問3）	17
・地域の行事への参加（問4-1）	18
・地域の支え手としての活動（問4-2）	20
・市民センター（問4-3）	22
・こどもの暮らしを見守る意識（問5）	23
・こどもや若者の遊びや体験活動の機会（問6）	24
・地域の課題（問7-1）	25
・地域課題の主体的な解決（問7-2）	27
・地域の助け合い（問8-1）	28
・困った時に助け合うような近所付き合い（問8-2）	30
・困ったときに助けてくれる人（問8-3）	32
・別居している親世帯との同居または近居意向（問9）	35
・地域課題解決等の取組への参加（問10）	37
・福祉・介護に関するサービス（問11）	38
・男女の役割分担意識（問12）	39
3. 保健・医療について	40
・健康感（問13）	40
・健康のため実行している事柄（問14）	41
・かかりつけ医の有無（問15）	43
・人生会議の認知度（問16）	44
・適切な医療機関の利用（問17）	45

4. 生活環境について.....	47
・市内公共交通機関による移動（問 18）.....	47
・都市間の移動（問 19）.....	50
・地域間の移動（問 20）.....	53
・J R 廿日市駅から J A 広島総合病院周辺（問 21）.....	56
・支所周辺（問 22）.....	59
・J R 駅周辺（問 23）.....	62
・宮島口地区の景観（問 24）.....	65
・宮島口地区の賑わい（問 25）.....	66
・宮島口地区のまちづくり（問 26）.....	67
・生活道路の歩行・通行（問 27）.....	70
・地震・風水害などの対策（問 28）.....	73
・避難場所や避難経路の確認（問 29）.....	76
・災害時の危険性の確認（問 30）.....	77
・非常持ち出し品の準備（問 31）.....	78
・災害時の情報収集手段（問 32）.....	79
・犯罪に遭う不安（問 33）.....	81
・自然環境の保全（問 34）.....	82
・環境保護活動（問 35）.....	85
・家庭での省エネ・省資源（問 36）.....	86
5. 産業について.....	89
・廿日市産の農産物の購入（問 37）.....	89
・地域産業資源の認知状況（問 38）.....	90
6. 教育・文化について.....	93
・歴史探訪・文化鑑賞（問 39）.....	93
・スポーツや運動（問 40）.....	94
・文化芸術活動（問 41）.....	95
・図書館の利用（問 42）.....	96
7. 行政サービス・まちづくり全般について.....	97
・行政サービスの納得性（問 43）.....	97
・行政サービスの効果・効率（問 44）.....	98
・市役所窓口や地域での職員の対応（問 45）.....	99
・市政・まちづくりの重要な情報源（問 46）.....	100
8. 廿日市市のまちづくりについて.....	102
・施策の満足度と重要度（問 47）.....	102

<付属資料> アンケート調査票

I. 調査の概要

1. 調査の目的

廿日市市の施策に対する満足度や重要度などについて、幅広く市民の意見等を調査し、本市施策の目標管理を行うことで、より市民のニーズに合った効果の高い施策への改善に役立てることを目的とする。

2. 調査の方法

(1) 調査対象者

調査対象者は、令和8年1月1日現在廿日市市に在住する満18歳以上の市民3,000人である（住民基本台帳から無作為抽出）。

(2) 調査方法

配布は郵送法で行い、回収は郵送法およびインターネットで行った。

(3) 調査期間

令和8年1月9日～1月30日

3. 回収結果

配布数3,000票のうち、有効回収票は1,389票（郵送による回収：934票、インターネットによる回収：455票 有効回収率46.3%）であった。

地域別有効回収率は、高い順に、廿日市地域55.6%、大野地域49.1%、佐伯地域35.1%、宮島地域34.0%、吉和地域32.0%であった。

区分	配布数（票）	有効回答数（票）	有効回答率（%）
廿日市地域	1,000	556	55.6
佐伯地域	900	316	35.1
吉和地域	100	32	32.0
大野地域	900	442	49.1
宮島地域	100	34	34.0
不明	-	9	-
全市	3,000	1,389	46.3

4. 集計方法・分析方法・報告書の見方・標本誤差

(1) 集計方法

- 本報告で使用する百分率は、小数点第二位を四捨五入した値で表示した。
このため、比率の合計が100.0%を上下することがある。
- 複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出した。

(2) 分析方法

質問項目ごとに、全体・地域別・年代別に分析した。

(3) 報告書の見方

- 図表中に示すNは、回答数総数のことである。
- 本報告で使用する百分率は、小数点第二位を四捨五入した値で表示した。このため、比率の合計が100.0%を上下することがある。
- 複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出しており、比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- 統計学上50サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低いが、クロス集計については、50サンプル未満も記述(コメント)の対象としている。
- ※サンプル数が10未満の場合は分析の対象としていない。

(4) 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団（廿日市市に住民登録がある満18歳以上の市民）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は、次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

(注) $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$

N = 母集団数 97,141 人
 ※令和8年1月1日現在の18歳以上の住民基本台帳人口
 n = 比率算出の基数（有効回答数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は、次表のようになる。

回答比率 (p) 基数(n)	回 答 比 率				
	90%又は10%	80%又は20%	70%又は30%	60%又は40%	50%
1,389票	±1.57	±2.09	±2.39	±2.56	±2.61
1,000票	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
500票	±2.62	±3.50	±4.01	±4.28	±4.37
300票	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
100票	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

z(この表の計算式の信頼度は95%である。)

※本調査の実際の設定問に当てはめてみると、問1の「あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。」の設定問に関して、基数が1,389人で、そのうち、「住みやすい」の回答比率が34.5%であったことから、標本誤差は、±2.48%となり、この設定問の「住みやすい」に対する回答比率は、32.02%～36.98%の範囲内にあると考えられる。

II. 調査結果

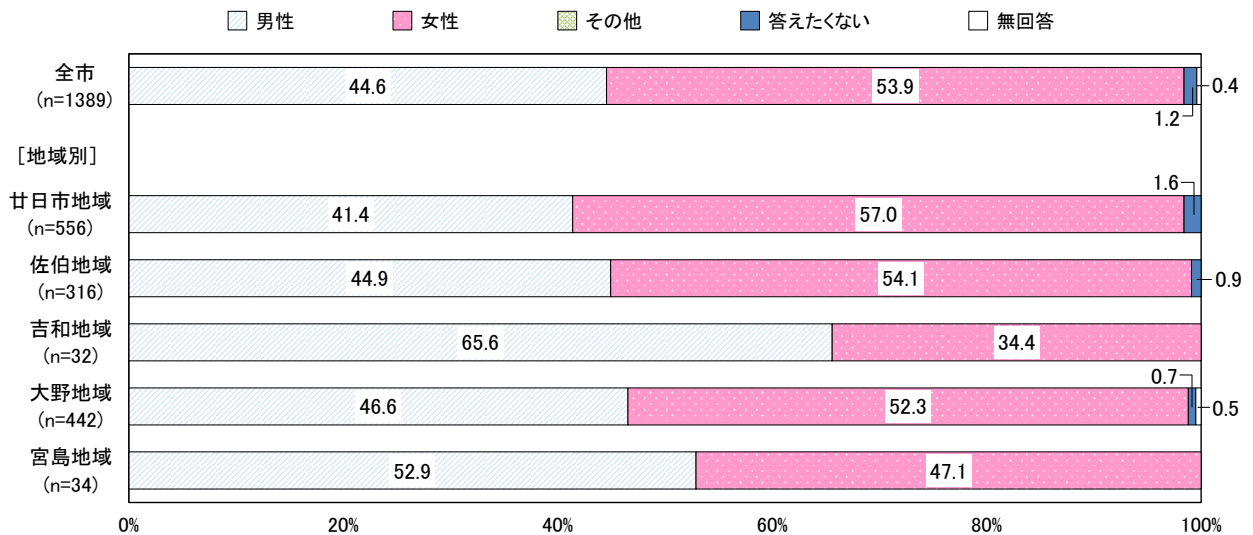
1. 基本的属性

(1) 性別

[全体] 性別については、「女性」(53.9%)が「男性」(44.6%)を9.3ポイント上回っている。

[地域別] 「吉和地域」と「宮島地域」は、「男性」(吉和地域：65.6%、宮島地域：52.9%)が「女性」(吉和地域：34.4%、宮島地域：47.1%)を上回っている。

図1 性別



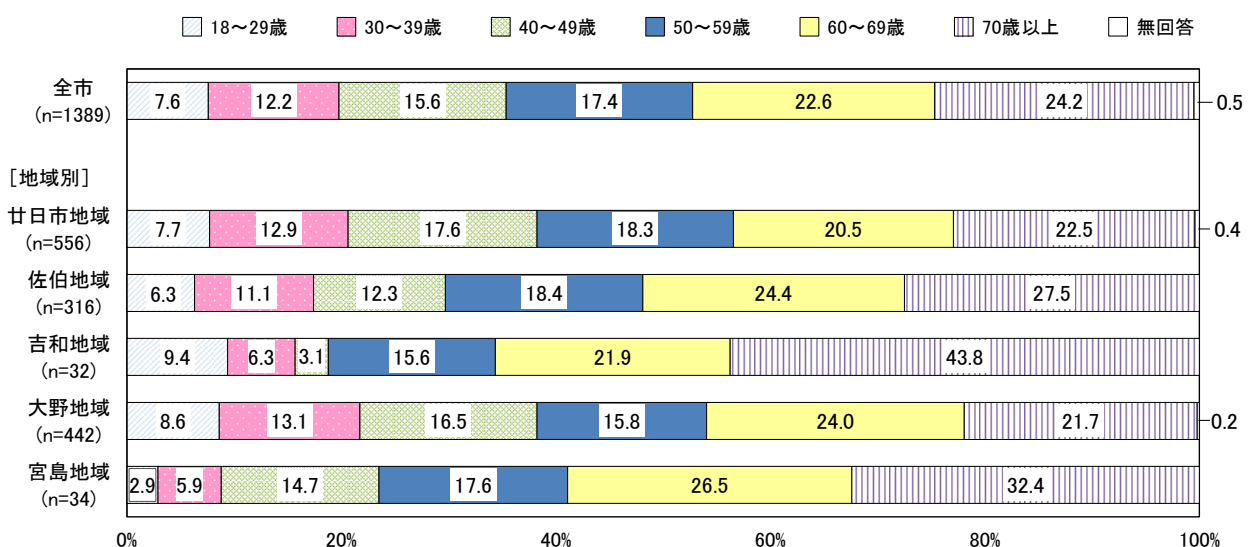
※nはそれぞれの標本数。(以下同様)

(2) 年齢

[全体] 「18～29歳」(7.6%)が最も少なく、「70歳以上」(24.2%)が最も多い。年齢が上がるほど割合が高くなる傾向が見られ、60歳以上が全体の4割台(46.8%)を占める。

[地域別] 「60歳以上」が最も多いのは「吉和地域」(65.7%)、「60歳未満」が最も多いのは「廿日市地域」(56.5%)となっている。

図2 年齢

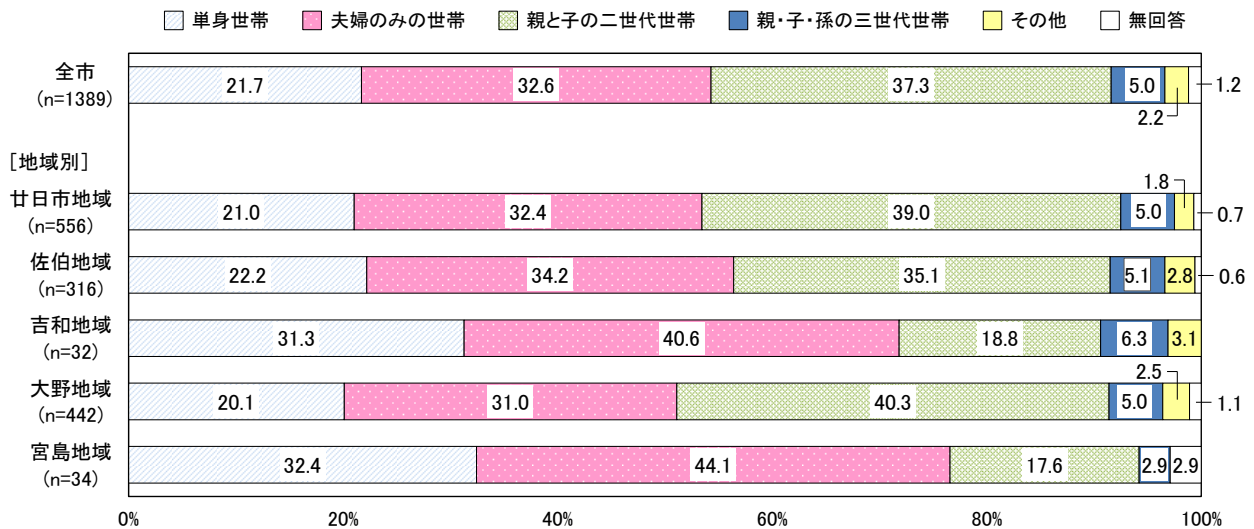


(3) 家族構成

[全体] 家族構成については、「親と子の二世帯世帯」(37.3%)が最も多く、「夫婦のみの世帯」(32.6%)がそれに次ぐ。

[地域別] 「宮島地域」は「単身世帯」(32.4%)と「夫婦のみの世帯」(44.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図3 家族構成

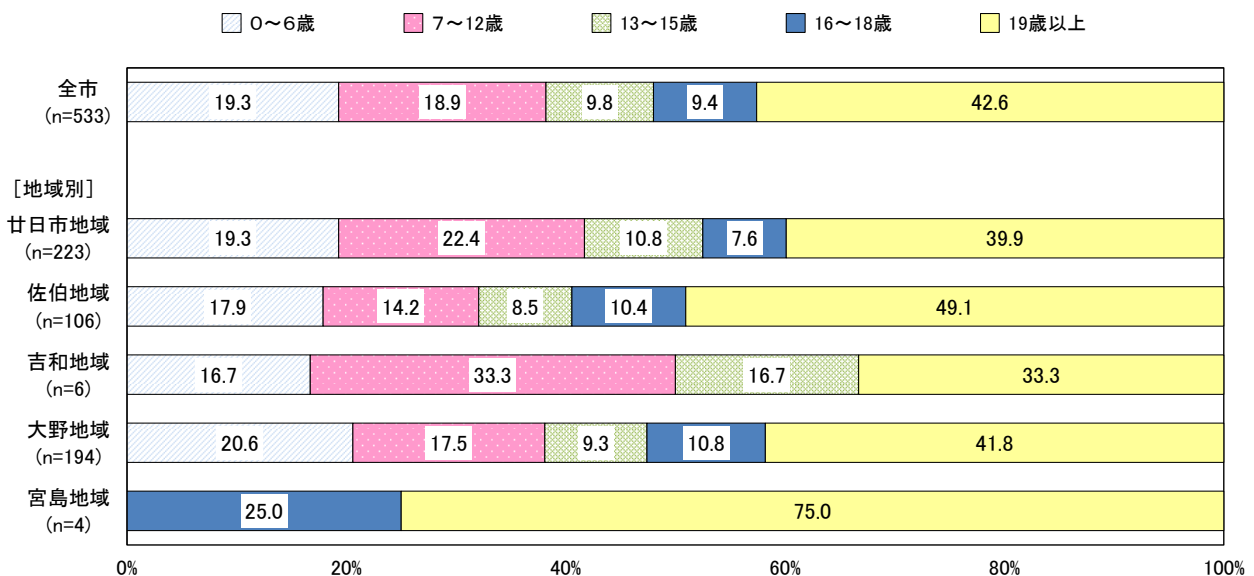


(4) 同居の子または孫の年齢[複数回答]

[全体] 同居の子または孫の年齢については、「19歳以上」(42.6%)が最も多く、「0～6歳」(19.3%)がそれに次ぐ

[地域別] 18歳以下が最も多いのは「廿日市地域」(60.1%)で、「大野地域」(58.2%)がそれに次ぐ。※サンプル数が10未満の地域は分析の対象としていない。

図4 同居の子または孫の年齢



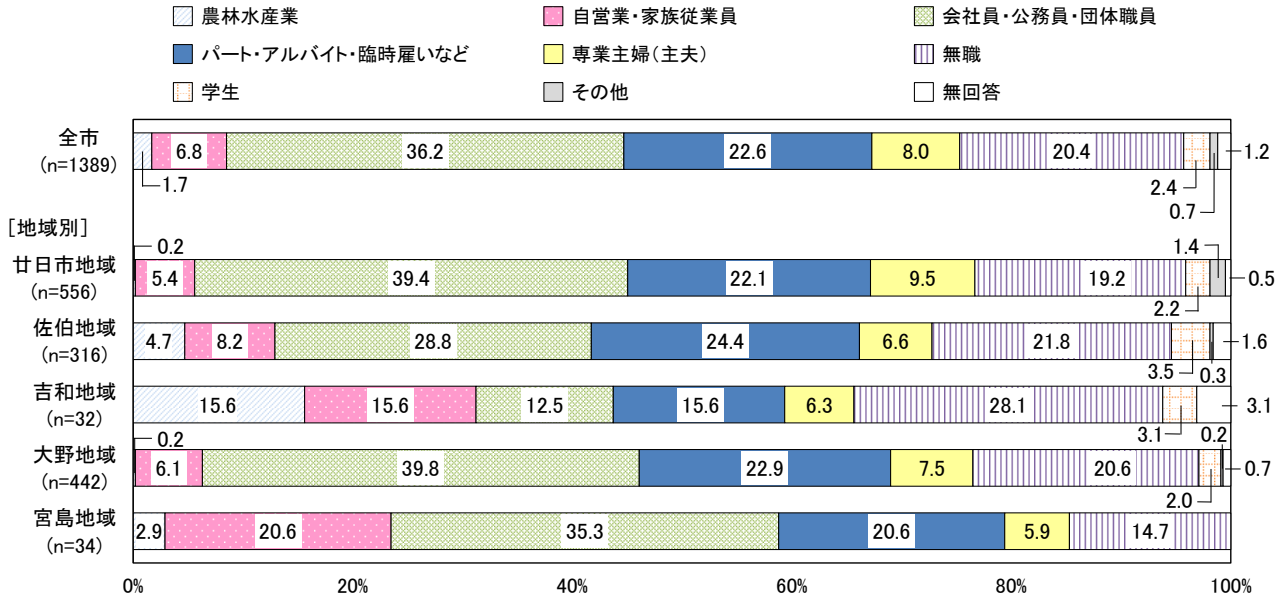
※n(標本数)は年齢がわかっている同居の子または孫の数。ただし、複数の子または孫と同居している場合も、当該子・孫が同じ年齢区分に属する場合、人数は加算されない。

(5) 職業

[全体] 職業については、「会社員・公務員・団体職員」(36.2%)が最も多く、以下、「パート・アルバイト・臨時雇いなど」(22.6%)、「無職」(20.4%)と続く。

[地域別] 「吉和地域」は「農林水産業」(15.6%)が、「宮島地域」は「自営業・家族従業員」(20.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図5 職業

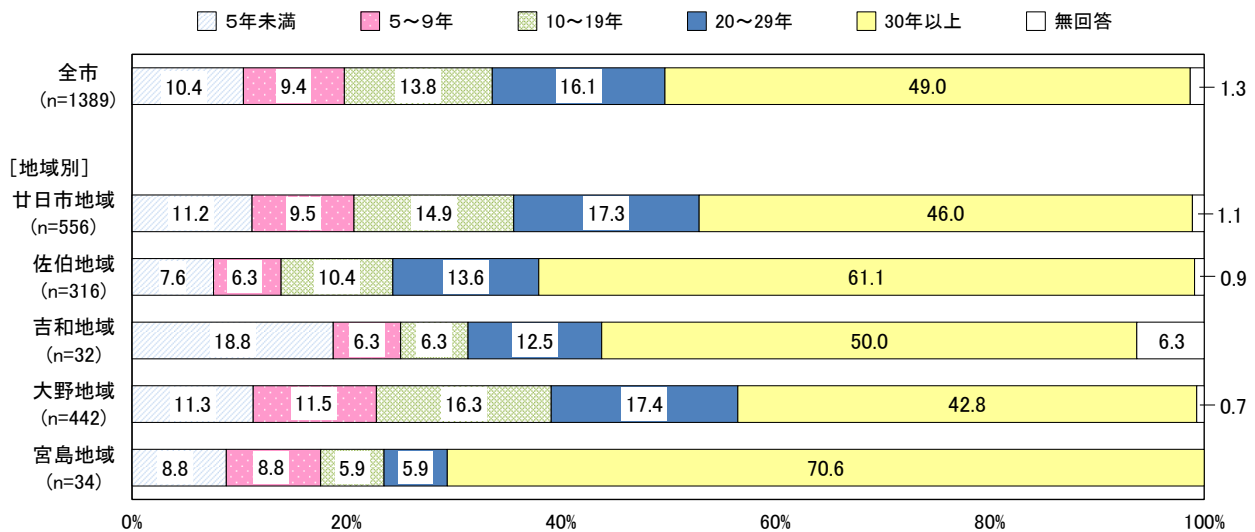


(6) 居住年数

[全体] 居住年数については、「30年以上」(49.0%)が最も多く、「20～29年」(16.1%)がそれに次ぐ。「5年未満」を除き、年数が長いほど割合が高くなる傾向が見られる。

[地域別] 「宮島地域」は「30年以上」(70.6%)が「全市」より20ポイント以上高い。

図6 居住年数

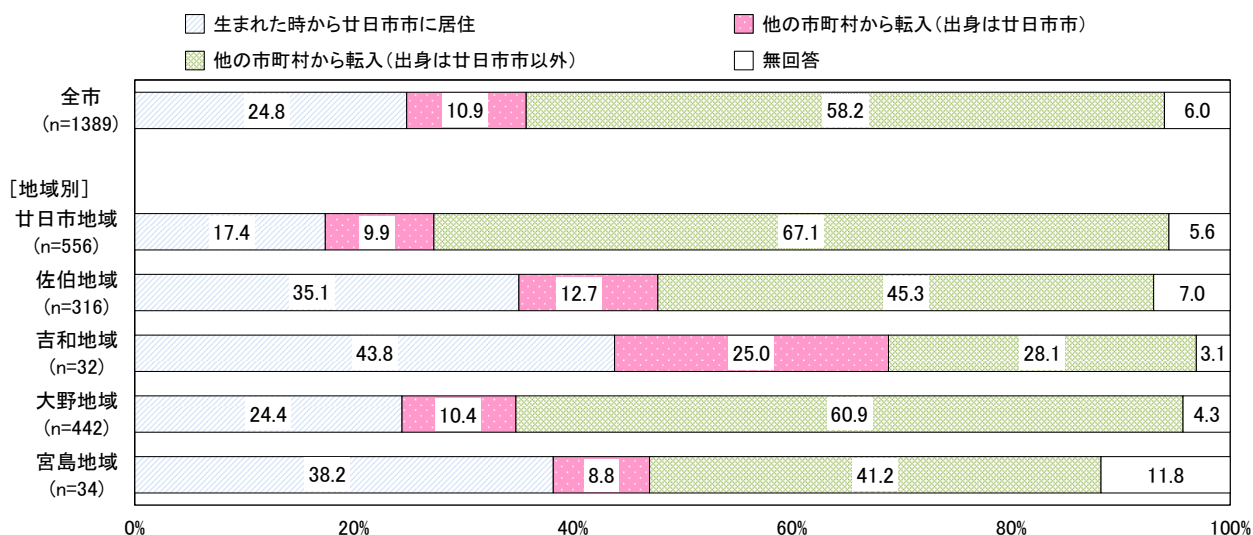


(7) 廿日市市の居住状況

[全体] 旧市町村を含む廿日市市の居住状況については、「他の市町村から転入（出身は廿日市市以外）」（58.2%）が最も多く5割台を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「生まれた時から廿日市市に居住」（43.8%）が全市より15ポイント以上高い。

図7 居住状況



[他の市町村から転入してきた方について]

(8) 転入前の居住地

[全体] 他の市町村からの転入者がどこから転入してきたかについては、「広島県」（68.5%）が6割台を占める。転入前自治体が未記入のサンプル182を除いた476人についてみると、「広島県」からの転入の約8割が「広島市」（79.6%）からの転入である。

「広島県以外」からの転入については、転入前自治体が未記入のサンプル12を除いた254人についてみると、「山口県」（30.3%）が最も多く、以下、「東京都」（7.5%）及び「福岡県」（7.5%）、「島根県」（5.9%）と続く。

図8 転入前自治体

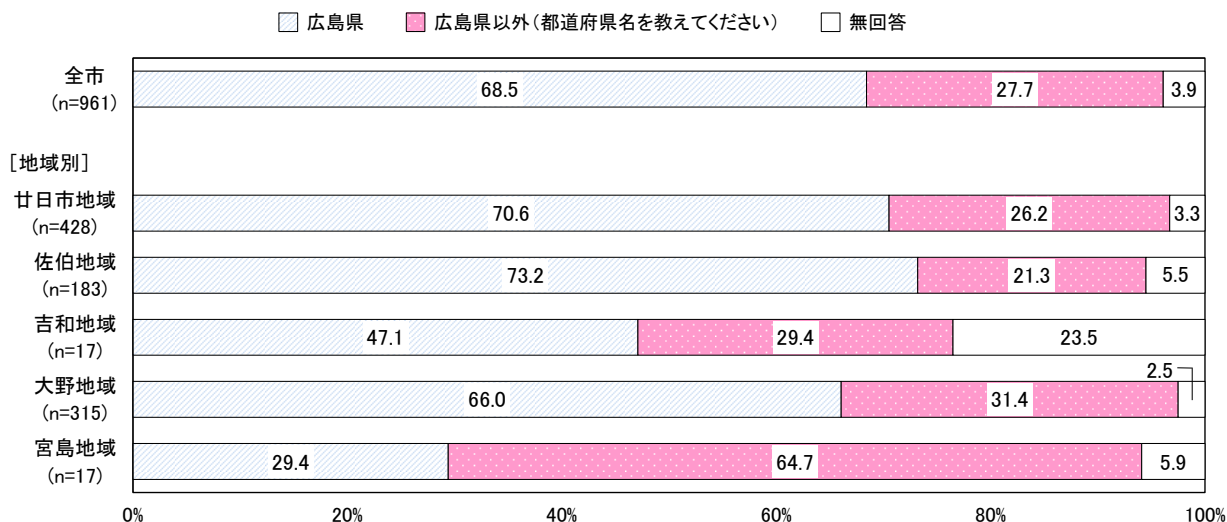


表1 広島県

転入前自治体	件数	構成比 (%)
広島市	379	79.6
大竹市	40	8.4
東広島市	13	2.7
呉市	9	1.9
府中町	9	1.9
福山市	7	1.5
三次市	5	1.1
海田市	3	0.6
庄原市	3	0.6
尾道市	1	0.2
江田島市	1	0.2
安芸太田町	1	0.2
大崎上島町	1	0.2
坂町	1	0.2
三原市	1	0.2
北広島町	1	0.2
竹原市	1	0.2
合計	476	100.0

表2 広島県以外

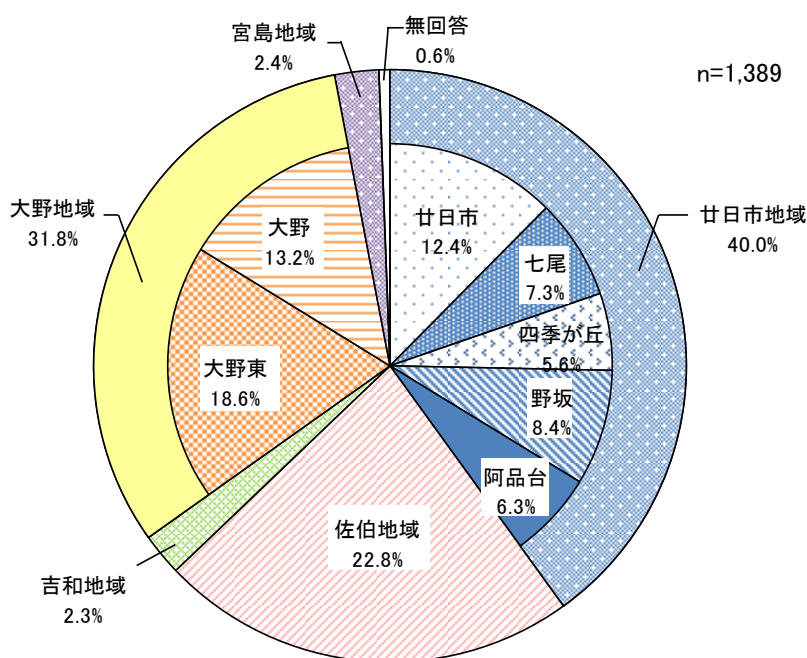
転入前自治体	件数	構成比 (%)	転入前自治体	件数	構成比 (%)
山口県	77	30.3	新潟県	2	0.8
東京都	19	7.5	静岡県	2	0.8
福岡県	19	7.5	奈良県	2	0.8
島根県	15	5.9	和歌山県	2	0.8
大阪府	13	5.1	徳島県	2	0.8
岡山県	13	5.1	沖縄県	2	0.8
埼玉県	10	3.9	茨城県	1	0.4
神奈川県	8	3.1	岐阜県	1	0.4
兵庫県	8	3.1	三重県	1	0.4
愛媛県	7	2.8	滋賀県	1	0.4
愛知県	5	2.0	京都府	1	0.4
香川県	5	2.0	高知県	1	0.4
鹿児島県	5	2.0	佐賀県	1	0.4
千葉県	4	1.6	海外	7	2.8
長崎県	4	1.6	合計	254	100.0
熊本県	4	1.6			
大分県	4	1.6			
北海道	3	1.2			
宮崎県	3	1.2			
青森県	2	0.8			

(9) 居住地 (中学校区別)

[全体] 居住地については、「廿日市地域」(40.0%)が最も多く4割を占め、以下、「大野地域」(31.8%)、「佐伯地域」(22.8%)、「宮島地域」(2.4%)、「吉和地域」(2.3%)と続く。

[中学校区別] 「廿日市地域」は、多い方から「廿日市」(12.4%)、「野坂」(8.4%)、「七尾」(7.3%)、「阿品台」(6.3%)、「四季が丘」(5.6%)の順で、「大野地域」は、「大野東」(18.6%)、「大野」(13.2%)の順である。

図9 居住地



2. お住まいの地域などについて

問1 あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。

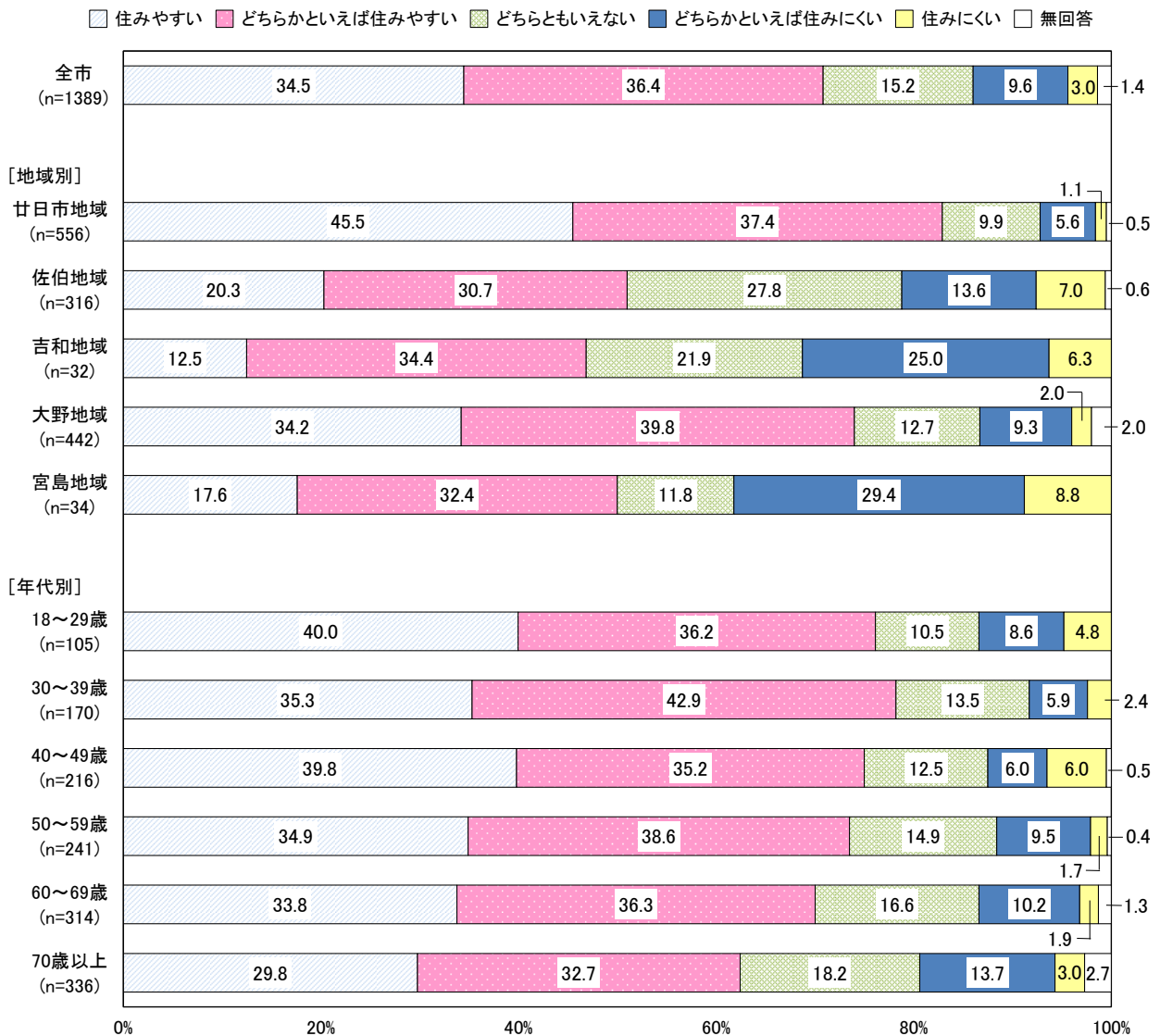
[○は1つ]

[全体] 現在の居住地域の住みやすさについては、「住みやすい」(34.5%)と「どちらかといえば住みやすい」(36.4%)を合わせると7割台(70.9%)を占める。

[地域別] 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「廿日市地域」(82.9%)が最も高く、以下、「大野地域」(74.0%)、「佐伯地域」(51.0%)、「宮島地域」(50.0%)、「吉和地域」(46.9%)と続く。

[年代別] 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「30～39歳」(78.2%)が最も高く、以下、「18～29歳」(76.2%)、「40～49歳」(75.0%)、「50～59歳」(73.5%)、「60～69歳以上」(70.1%)、「70歳以上」(62.5%)と続く。

図10 住みやすさ

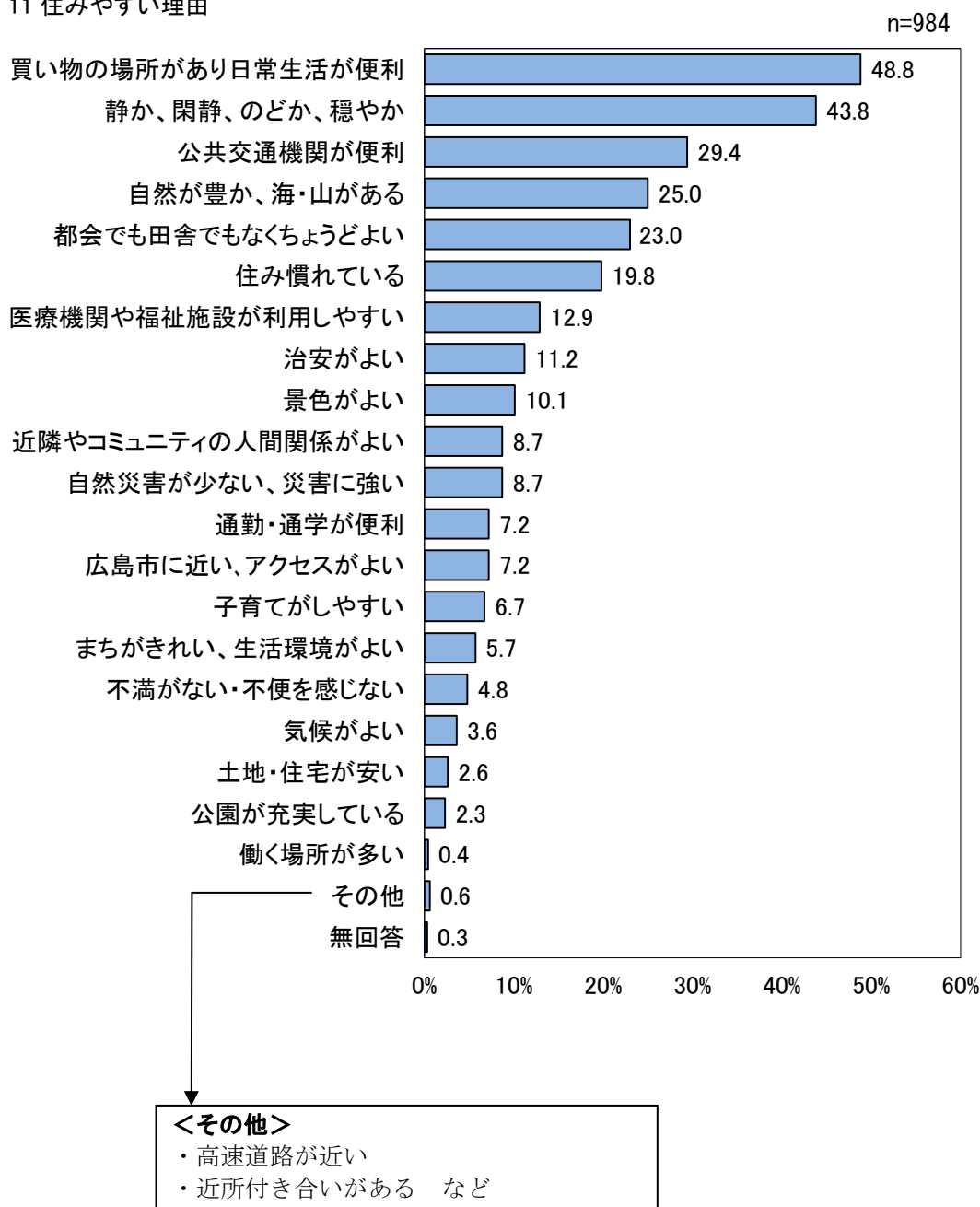


【「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方】

■「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選んだ理由（住みやすい理由）については、「買い物の場所があり日常生活が便利」（48.8%）が最も多く、以下、「静か、閑静、のどか、穏やか」（43.8%）、「公共交通機関が便利」（29.4%）と続く。

図 11 住みやすい理由



【地域別】 「宮島地域」は「自然が豊か、海・山がある」(70.6%)と「住み慣れている」(64.7%)が「全市」より40ポイント以上高い。

【年代別】 「30～39歳」は「子育てがしやすい」(21.8%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表3 住みやすい理由

(単位:%)

項目	便利 あり 日常 生活 所が	ど 静 か、 閑 静、 の	便 公 利 共 交 通 機 関 が	海 自 然 が 豊 か、 山 が あ る	よ も 都 会 で も 田 舎 ど で	住 み 慣 れ て い る	す 施 医 療 機 関 が 利 用 し 福 祉	治 安 が よ い	景 色 が よ い	が テ イ の 人 間 関 係	近 隣 や コ ミ ュ ニ ティ	い 自 然 災 害 に 強 い	利 通 勤 ・ 通 学 が 便	ア 広 ク セ ス に 近 い	い 子 育 て が し や す
全市 (n=984)	48.8	43.8	29.4	25.0	23.0	19.8	12.9	11.2	10.1	8.7	8.7	7.2	7.2	6.7	
地域別	廿日市地域 (n=461)	67.5	32.5	39.0	13.0	26.7	15.8	7.8	5.2	6.5	9.1	10.8	11.5	6.9	
	佐伯地域 (n=161)	30.4	69.6	3.7	38.5	17.4	36.0	8.1	13.7	16.1	13.7	7.5	0.6	1.2	5.0
	吉和地域 (n=15)	-	73.3	-	53.3	-	26.7	-	13.3	33.3	26.7	20.0	-	-	-
	大野地域 (n=327)	35.8	46.2	31.5	31.2	22.6	15.0	11.0	12.8	11.6	8.0	8.6	5.8	4.9	8.0
	宮島地域 (n=17)	5.9	35.3	-	70.6	5.9	64.7	-	35.3	35.3	23.5	-	5.9	-	-
年代別	18～29歳 (n=80)	47.5	36.3	20.0	32.5	15.0	15.0	7.5	18.8	12.5	3.8	2.5	10.0	10.0	15.0
	30～39歳 (n=133)	47.4	41.4	21.8	29.3	24.8	14.3	12.8	7.5	9.8	6.8	9.8	3.8	21.8	
	40～49歳 (n=162)	54.3	44.4	31.5	21.0	24.1	13.0	8.6	9.9	9.3	6.2	6.2	14.8	8.6	11.7
	50～59歳 (n=177)	48.6	47.5	32.8	27.7	23.2	23.7	7.9	13.6	12.4	9.6	5.1	6.2	8.5	1.7
	60～69歳 (n=220)	47.7	46.8	28.2	25.5	23.2	20.9	13.6	9.1	11.8	8.6	10.9	5.9	8.6	0.5
	70歳以上 (n=210)	47.1	41.9	33.8	20.0	22.9	26.2	21.4	8.6	7.6	11.4	15.2	1.0	4.8	1.0

項目	生 ま ち 環 境 が よ い	便 不 満 が な い ・ 不	気 候 が よ い	い 土 地 ・ 住 宅 が 安	い 公 園 が 充 実 し て	働 く 場 所 が 多 い	そ の 他	無 回 答	
全市 (n=984)	5.7	4.8	3.6	2.6	2.3	0.4	0.6	0.3	
地域別	廿日市地域 (n=461)	5.6	3.9	1.7	0.9	2.8	-	0.4	-
	佐伯地域 (n=161)	5.6	4.3	3.7	9.9	0.6	0.6	0.6	1.2
	吉和地域 (n=15)	6.7	-	13.3	-	-	-	6.7	6.7
	大野地域 (n=327)	6.1	6.4	5.2	1.8	2.4	0.9	0.6	-
	宮島地域 (n=17)	-	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-
年代別	18～29歳 (n=80)	8.8	2.5	3.8	6.3	2.5	1.3	1.3	-
	30～39歳 (n=133)	3.8	3.8	1.5	3.0	5.3	0.8	-	-
	40～49歳 (n=162)	4.9	6.2	2.5	3.1	4.9	0.6	0.6	0.6
	50～59歳 (n=177)	5.1	4.5	3.4	1.1	0.6	-	0.6	-
	60～69歳 (n=220)	6.4	5.9	4.1	4.1	0.5	0.5	-	-
	70歳以上 (n=210)	6.2	4.3	5.2	0.5	1.9	-	1.4	1.0

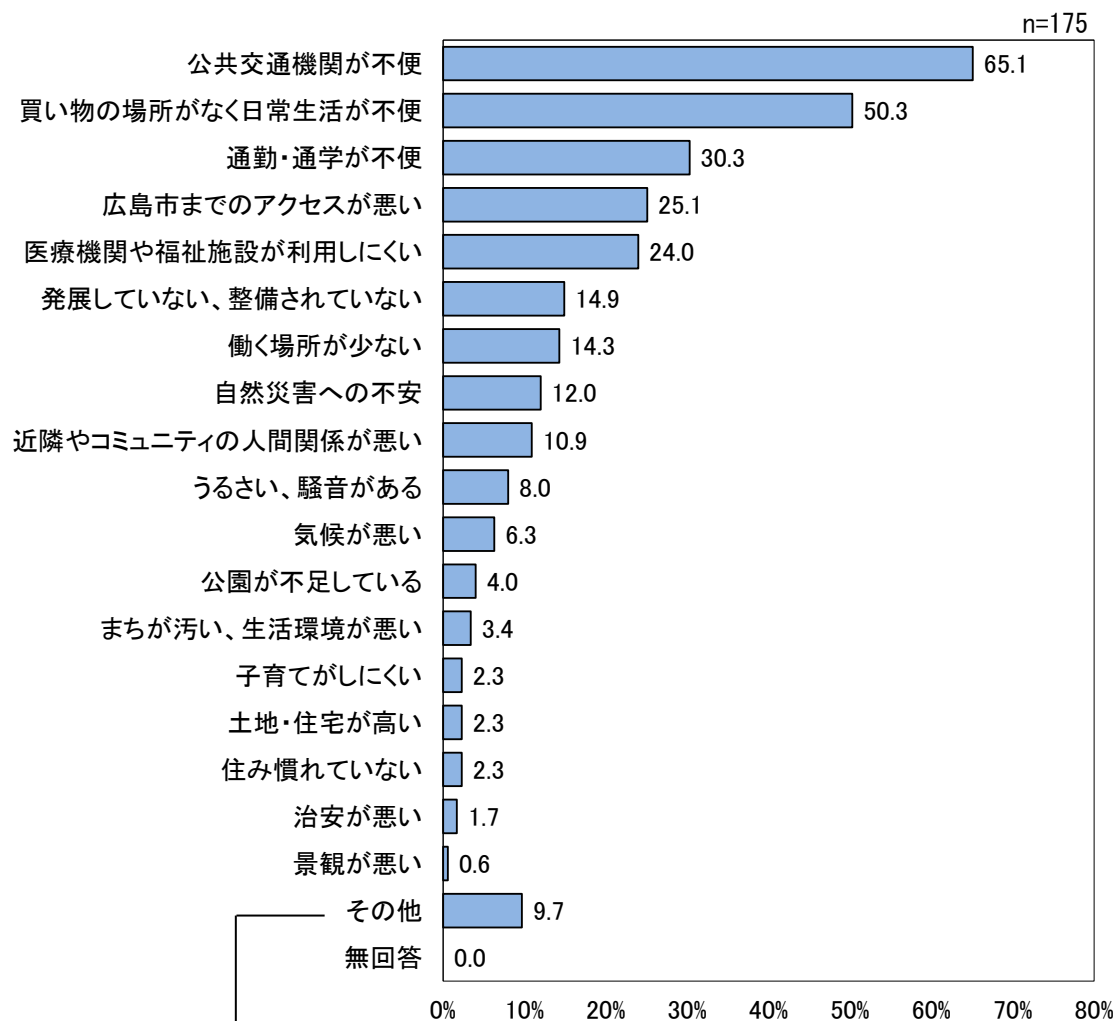
※全市+10ポイント以上に網掛け

【「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選んだ方】

■「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選んだ理由については、「公共交通機関が不便」(65.1%)が最も多く、以下、「買い物の場所がなく日常生活が不便」(50.3%)、「通勤・通学が不便」(30.3%)、「広島市までのアクセスが悪い」(25.1%)と続く。

図 12 住みにくい理由



- <その他>**
- ・自宅まわりに水害が多い
 - ・坂道が多い
 - ・だんだんと近隣と疎遠になっている
 - ・観光客が多すぎる
 - ・冬場の除雪がづらい
 - ・街灯が少ない
 - ・迂回路が極端に少ない
 - ・車道が狭い など

[地域別] 「吉和地域」は「買い物の場所がなく日常生活が不便」(100.0%)と「気候が悪い」(40.0%)が、「宮島地域」は「医療機関や福祉施設が利用しにくい」(46.2%)「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「30～39歳」は「通勤・通学が不便」(57.1%)が「全市」より20ポイント以上高い。

表4 住みにくい理由

(単位:%)

項目	公共交通機関が不便	買い物の場所がない	通勤・通学が不便	セブ島の悪気	医療機関や福祉施設が利用しにくい	発展されていない	働く場所が少ない	自然災害への不安	近隣の人間関係が悪い	うるさい、騒音がある	気候が悪い	公園が不足している	環境が悪い、生活	子育てがしにくい
全市 (n=175)	65.1	50.3	30.3	25.1	24.0	14.9	14.3	12.0	10.9	8.0	6.3	4.0	3.4	2.3
地域別	廿日市地域 (n=37)	59.5	37.8	32.4	27.0	24.3	5.4	10.8	8.1	21.6	10.8	2.7	5.4	-
	佐伯地域 (n=65)	81.5	41.5	49.2	26.2	29.2	10.8	15.4	13.8	7.7	3.1	7.7	3.1	-
	吉和地域 (n=10)	40.0	100.0	30.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	40.0	-	-
	大野地域 (n=50)	56.0	60.0	10.0	22.0	16.0	28.0	20.0	8.0	12.0	10.0	2.0	4.0	4.0
	宮島地域 (n=13)	53.8	53.8	7.7	15.4	46.2	23.1	7.7	23.1	-	23.1	-	7.7	15.4
年代別	18～29歳 (n=14)	71.4	42.9	50.0	28.6	-	21.4	7.1	7.1	-	-	7.1	-	-
	30～39歳 (n=14)	71.4	35.7	57.1	35.7	28.6	21.4	21.4	7.1	21.4	-	7.1	7.1	-
	40～49歳 (n=26)	53.8	38.5	38.5	3.8	19.2	30.8	30.8	15.4	11.5	7.7	7.7	3.8	7.7
	50～59歳 (n=27)	74.1	37.0	40.7	25.9	11.1	3.7	25.9	14.8	22.2	7.4	11.1	7.4	3.7
	60～69歳 (n=38)	63.2	60.5	28.9	26.3	23.7	15.8	7.9	13.2	10.5	5.3	2.6	2.6	2.6
	70歳以上 (n=56)	64.3	60.7	10.7	30.4	37.5	8.9	5.4	10.7	8.9	8.9	1.8	1.8	-

項目	土地・住宅が高い	住み慣れていない	治安が悪い	景観が悪い	その他	無回答	
全市 (n=175)	2.3	2.3	1.7	0.6	9.7	-	
地域別	廿日市地域 (n=37)	8.1	2.7	5.4	-	10.8	-
	佐伯地域 (n=65)	-	1.5	-	1.5	4.6	-
	吉和地域 (n=10)	-	-	-	-	10.0	-
	大野地域 (n=50)	2.0	4.0	2.0	-	12.0	-
	宮島地域 (n=13)	-	-	-	-	23.1	-
年代別	18～29歳 (n=14)	7.1	-	-	-	7.1	-
	30～39歳 (n=14)	-	-	-	-	21.4	-
	40～49歳 (n=26)	-	-	-	-	11.5	-
	50～59歳 (n=27)	-	-	-	3.7	3.7	-
	60～69歳 (n=38)	2.6	5.3	5.3	-	10.5	-
70歳以上 (n=56)	3.6	3.6	1.8	-	8.9	-	

※全市+10ポイント以上に網掛け

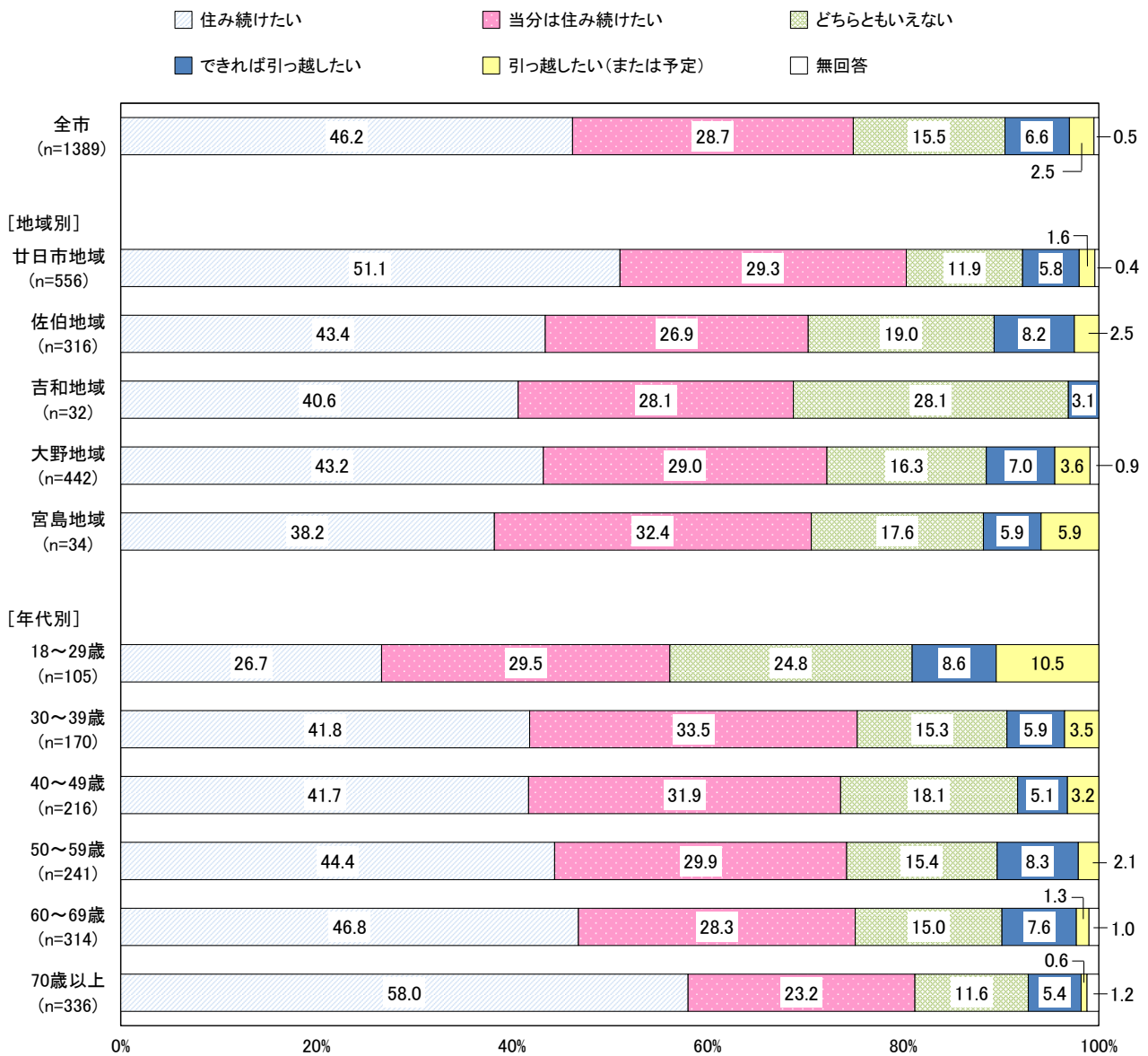
問 2 (1) あなたは、将来も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 将来も現在の居住地に住み続けたいかどうかについては、「住み続けたい」(46.2%)と「当分は住み続けたい」(28.7%)を合わせると7割台(74.9%)を占める。

[地域別] 「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた割合は、「廿日市地域」(80.4%)が最も高く、以下、「大野地域」(72.2%)、「宮島地域」(70.6%)、「佐伯地域」(70.3%)、「吉和地域」(68.7%)と続く。

[年代別] 「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた割合は、「70歳以上」(81.2%)が最も高く、以下、「30～39歳以上」(75.3%)、「60～69歳」(75.1%)、「50～59歳」(74.3%)、「40～49歳」(73.6%)、「18～29歳」(56.2%)と続く。

図 13 居住意向



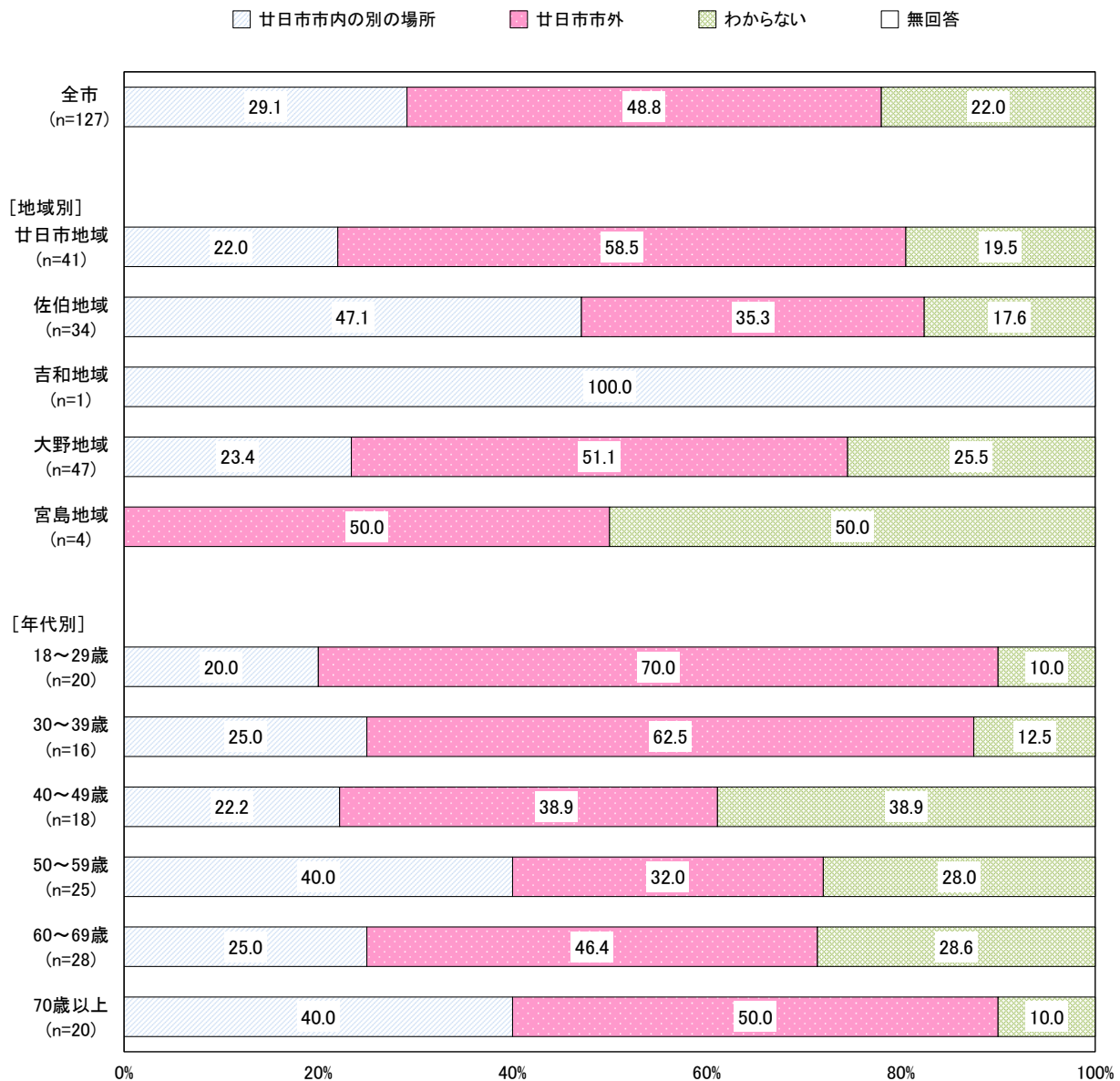
問2(2) 問2(1)で「できれば引っ越したい」または「引っ越したい(または予定)」を選んだ方にお聞きします。引っ越すことになった場合、どこに住みたいですか。[〇は1つ]

[全体] 「できれば引っ越したい」または「引っ越したい(または予定)」を選んだ人が、引っ越すことになった場合、どこに住みたいかについては、「廿日市市外」(48.8%)が4割台を占める。

[地域別] 「佐伯地域」は「廿日市市内の別の場所」(47.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18~29歳」は「廿日市市外」(70.0%)が「全市」より20ポイント以上高い。

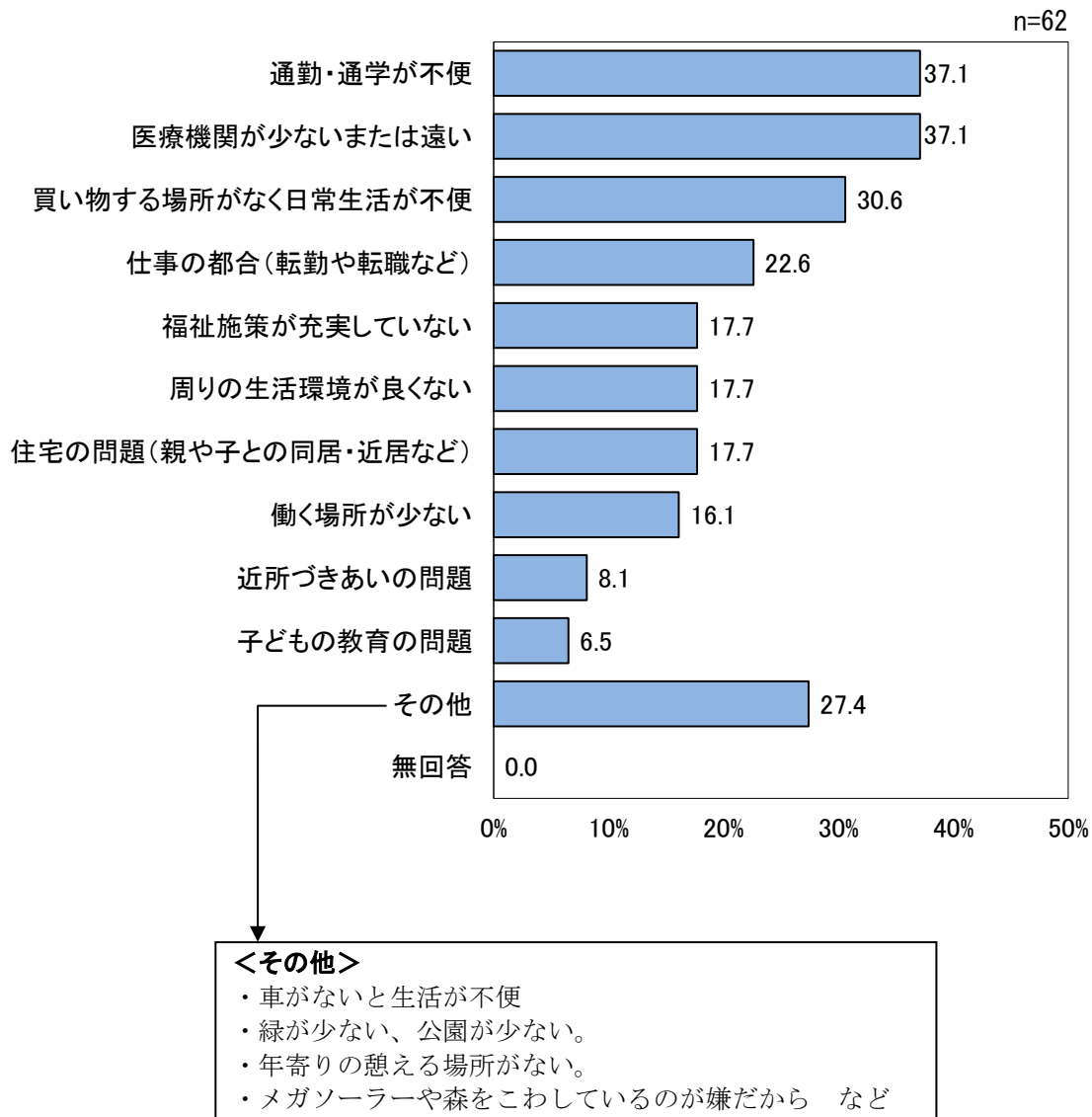
図14 住みたい場所



問 2 (3) 問 2 (2) で「廿日市市外」を選んだ方にお聞きします。廿日市市外に住みたい理由は何ですか。[〇は3つ]

[全体] 住みたい場所として「廿日市市外」を選んだ人の、廿日市市外に住みたい理由については、「通勤・通学が不便」(37.1%)と「医療機関が少ないまたは遠い」(37.1%)が最も多く、以下、「買い物する場所がなく日常生活が不便」(30.6%)、「仕事の都合(転勤や転職など)」(22.6%)と続く。

図 15 廿日市市外に住みたい理由



[地域別] 「佐伯地域」は「通勤・通学が不便」(66.7%)と「医療機関が少ないまたは遠い」(58.3%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「通勤・通学が不便」(71.4%)が「全市」より30ポイント以上高い。

表5 廿日市市外に住みたい理由

(単位:%)

項目		通勤・通学が不便	遠い医療機関が少ないまたは	買い物する場所がなく日常生活が不便	仕事の都合(転勤や転職など)	福祉施策が充実していない	周りの生活環境が良くない	同居・近居など(親や子との)	働く場所が少ない	近所づきあいの問題	子どもの教育の問題	その他	無回答
全市 (n=62)		37.1	37.1	30.6	22.6	17.7	17.7	17.7	16.1	8.1	6.5	27.4	-
地域別	廿日市地域 (n=24)	50.0	25.0	16.7	25.0	16.7	20.8	20.8	29.2	4.2	4.2	29.2	-
	佐伯地域 (n=12)	66.7	58.3	41.7	16.7	16.7	16.7	8.3	16.7	25.0	-	16.7	-
	吉和地域 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大野地域 (n=24)	12.5	41.7	41.7	25.0	16.7	16.7	16.7	4.2	4.2	12.5	29.2	-
	宮島地域 (n=2)	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-
年代別	18～29歳 (n=14)	71.4	21.4	14.3	50.0	-	7.1	21.4	21.4	-	7.1	14.3	-
	30～39歳 (n=10)	50.0	20.0	30.0	30.0	-	20.0	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0	-
	40～49歳 (n=7)	28.6	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	-	-	-	-	28.6	-
	50～59歳 (n=8)	37.5	50.0	50.0	-	12.5	-	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5	-
	60～69歳 (n=13)	23.1	53.8	30.8	7.7	38.5	38.5	15.4	7.7	7.7	-	38.5	-
	70歳以上 (n=10)	-	50.0	40.0	-	30.0	20.0	30.0	-	10.0	-	40.0	-

※全市+10ポイント以上に網掛け

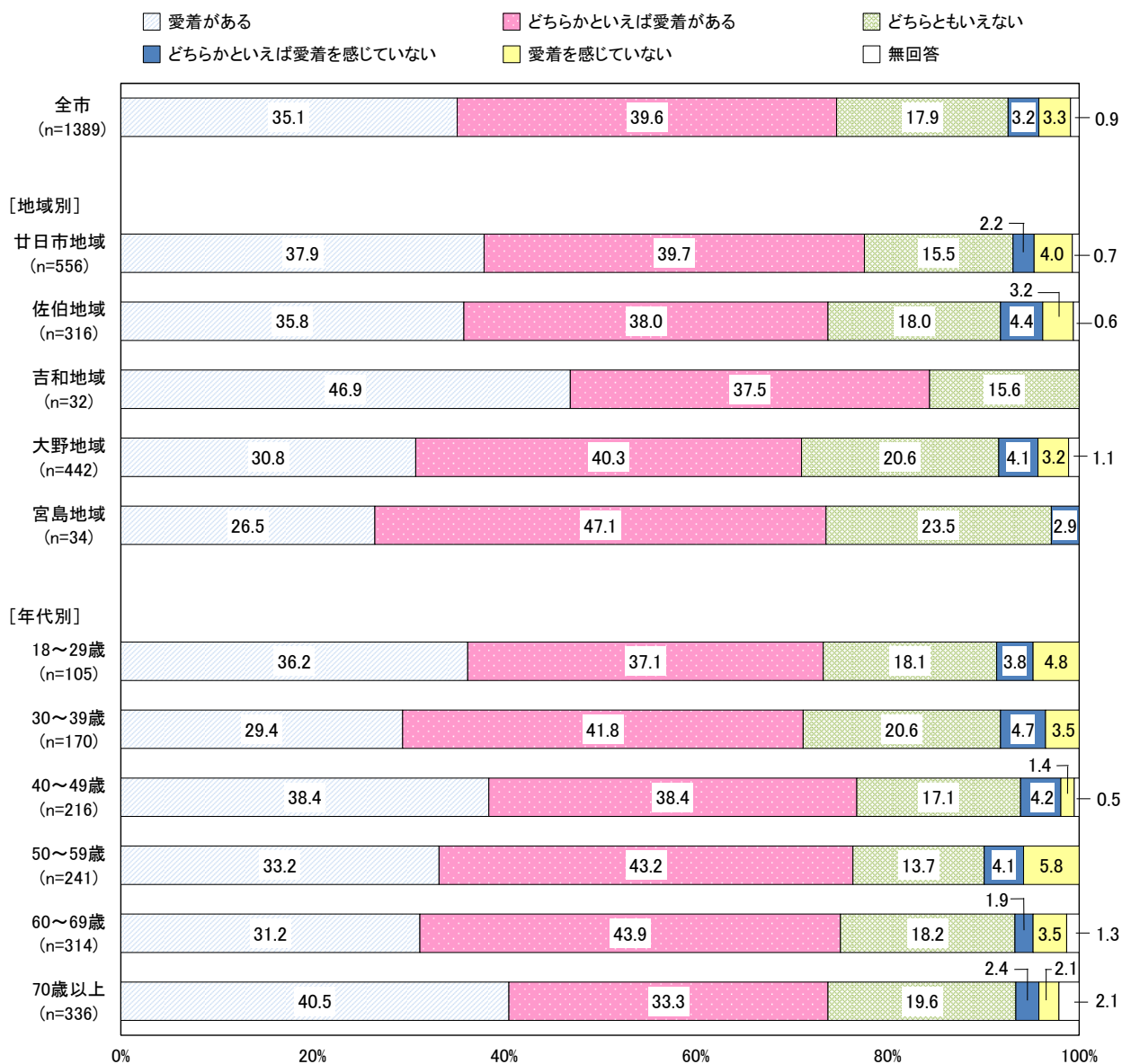
問3 あなたは、「廿日市市」に自分のまちとしての愛着がありますか。[〇は1つ]

[全体] 「廿日市市」に自分のまちとしての愛着を持っているかどうかについては、「愛着がある」(35.1%)と「どちらかといえば愛着がある」(39.6%)を合わせると7割台(74.7%)を占める。

[地域別] 「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた割合は、「吉和地域」(84.4%)が最も高く、以下、「廿日市地域」(77.6%)、「佐伯地域」(73.8%)、「宮島地域」(73.6%)、「大野地域」(71.1%)と続く。

[年代別] 「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた割合は、「40～49歳」(76.8%)が最も高く、以下、「50～59歳」(76.4%)、「60～69歳」(75.1%)、「70歳以上」(73.8%)、「18～29歳」(73.3%)、「30～39歳」(71.2%)と続く。

図16 「廿日市市」への愛着



問 4 (1) あなたは、地域の運動会やとんど、秋祭りなどの行事に参加していますか。

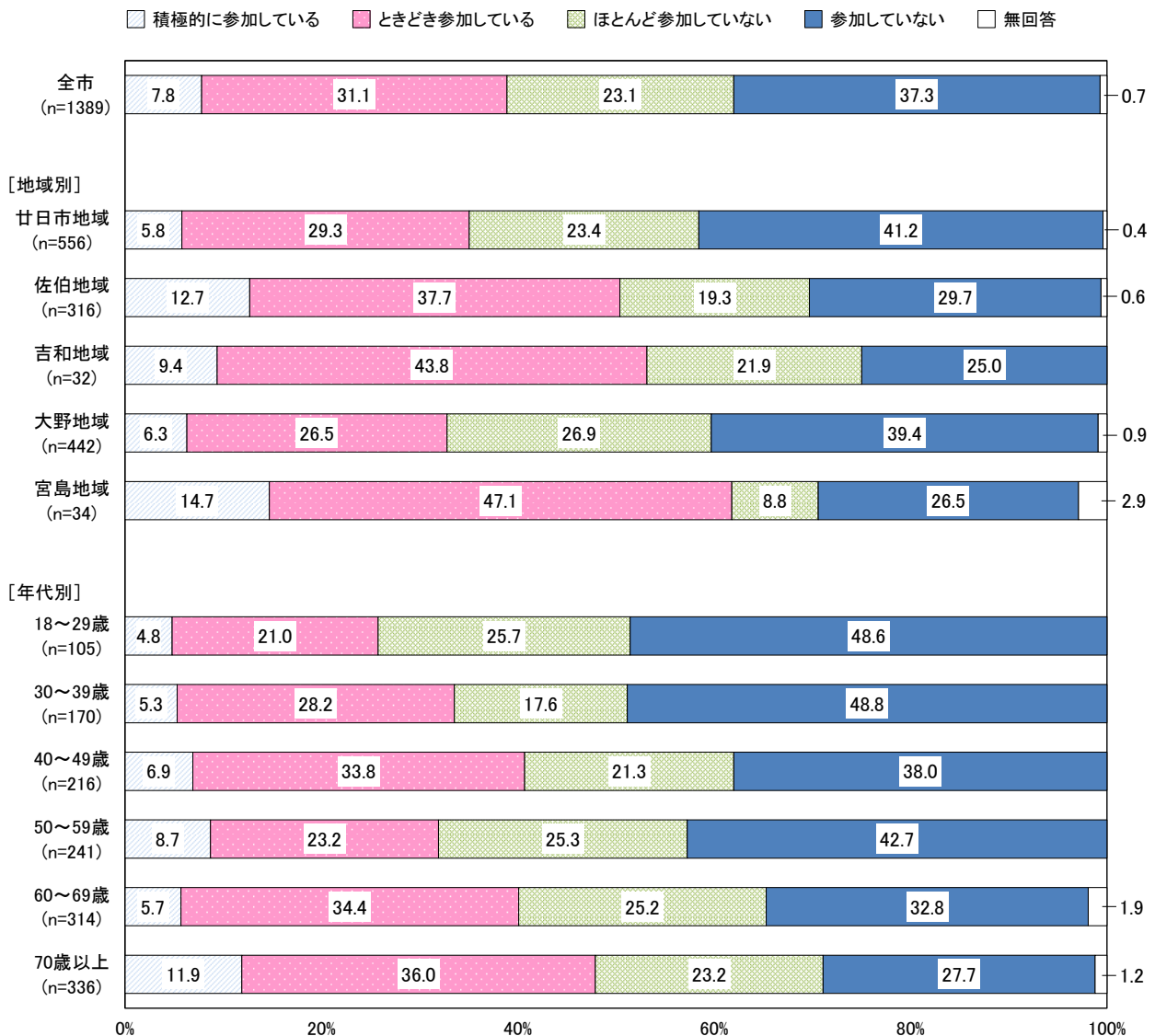
[〇は1つ]

[全体] 地域の行事に参加しているかどうかについては、「積極的に参加している」(7.8%)と「ときどき参加している」(31.1%)を合わせると3割台(38.9%)を占める。

[地域別] 「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「宮島地域」(61.8%)が最も高く、以下、「吉和地域」(53.2%)、「佐伯地域」(50.4%)、「廿日市地域」(35.1%)、「大野地域」(32.8%)と続く。

[年代別] 「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「70歳以上」(47.9%)が最も高く、以下、「40～49歳」(40.7%)、「60～69歳」(40.1%)、「30～39歳」(33.5%)、「50～59歳」(31.9%)、「18～29歳」(25.8%)と続く。

図 17 地域行事への参加



【「ほとんど参加していない」または「参加していない」を選んだ方】

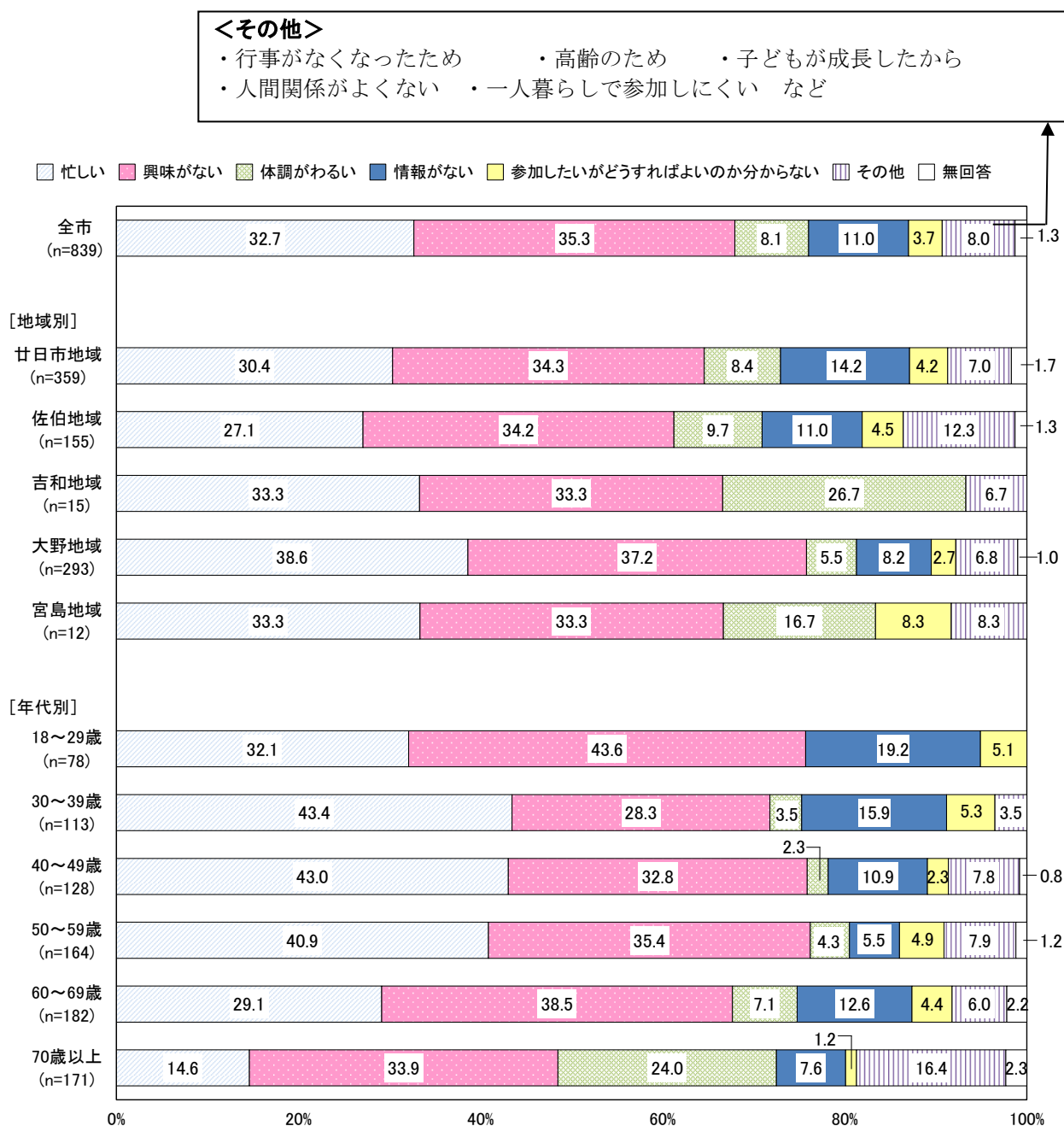
■「ほとんど参加していない」または「参加していない」を選んだ理由【〇は1つ】

【全体】 「ほとんど参加していない」または「参加していない」を選んだ理由については、「興味がない」(35.3%)が最も多く、「忙しい」(32.7%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「吉和地域」は「体調がわるい」(26.7%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 30～49歳は「忙しい」(30～39歳：43.4%、40～49歳：43.0%)が、「70歳以上」は「体調がわるい」(24.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 18 地域行事に参加しない理由



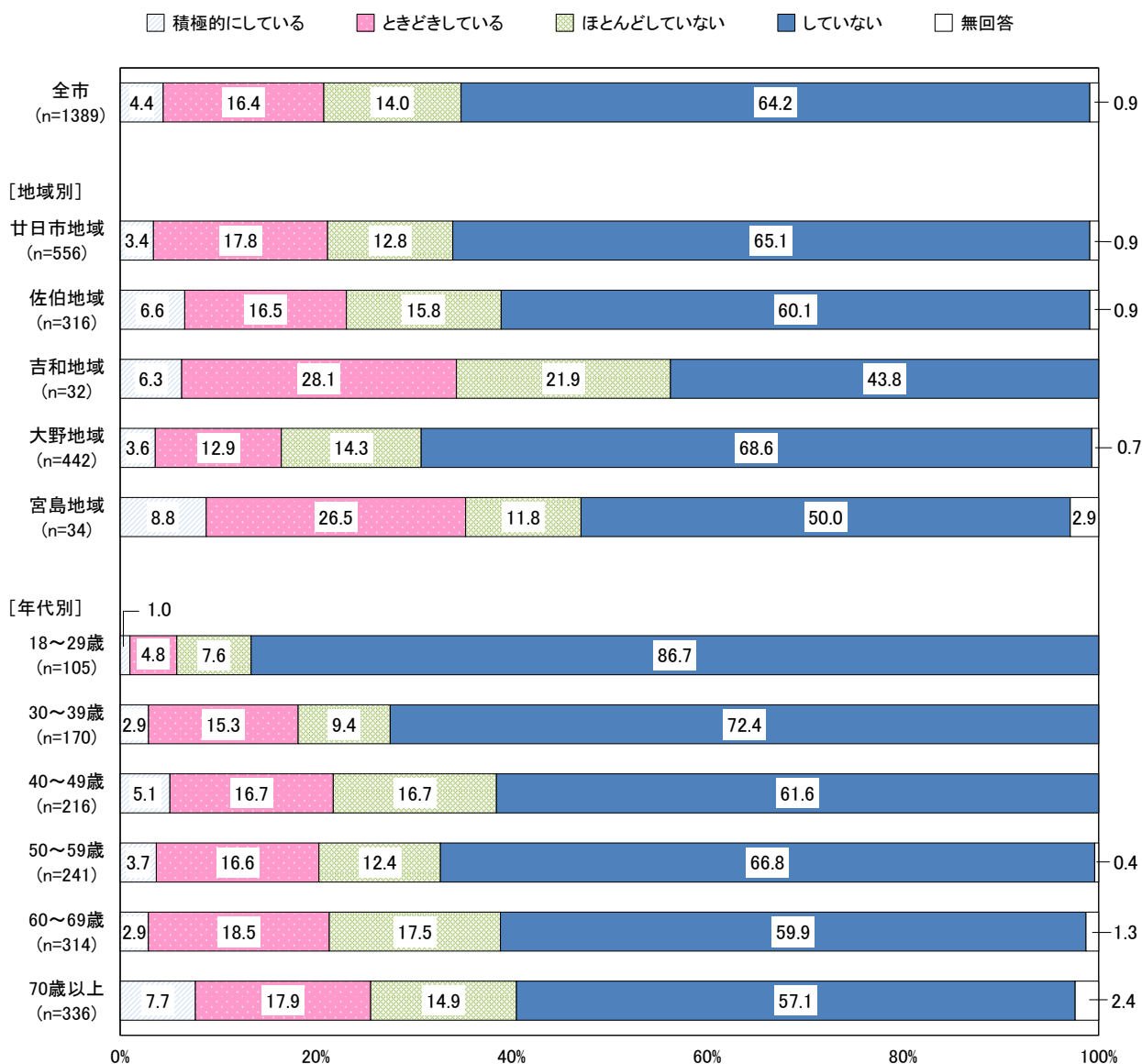
問4(2) あなたは、地域の高齢者のサロン、子どもや高齢者の見守り、地域・PTA・子ども会などの役員など、地域の支え手としての活動をしていますか。[〇は1つ]

[全体] 地域の支え手として活動しているかどうかについては、「積極的にしている」(4.4%)と「ときどきしている」(16.4%)を合わせると2割台(20.8%)を占める。

[地域別] 「積極的にしている」と「ときどきしている」を合わせた割合は、「宮島地域」(35.3%)が最も高く、以下、「吉和地域」(34.4%)、「佐伯地域」(23.1%)、「廿日市地域」(21.2%)、「大野地域」(16.5%)と続く。

[年代別] 「積極的にしている」と「ときどきしている」を合わせた割合は、「70歳以上」(25.6%)が最も高く、以下、「40～49歳」(21.8%)、「60～69歳」(21.4%)、「50～59歳」(20.3%)、「30～39歳」(18.2%)、「18～29歳」(5.8%)と続く。

図19 地域の支え手としての活動



【「ほとんどしていない」または「していない」を選んだ方】

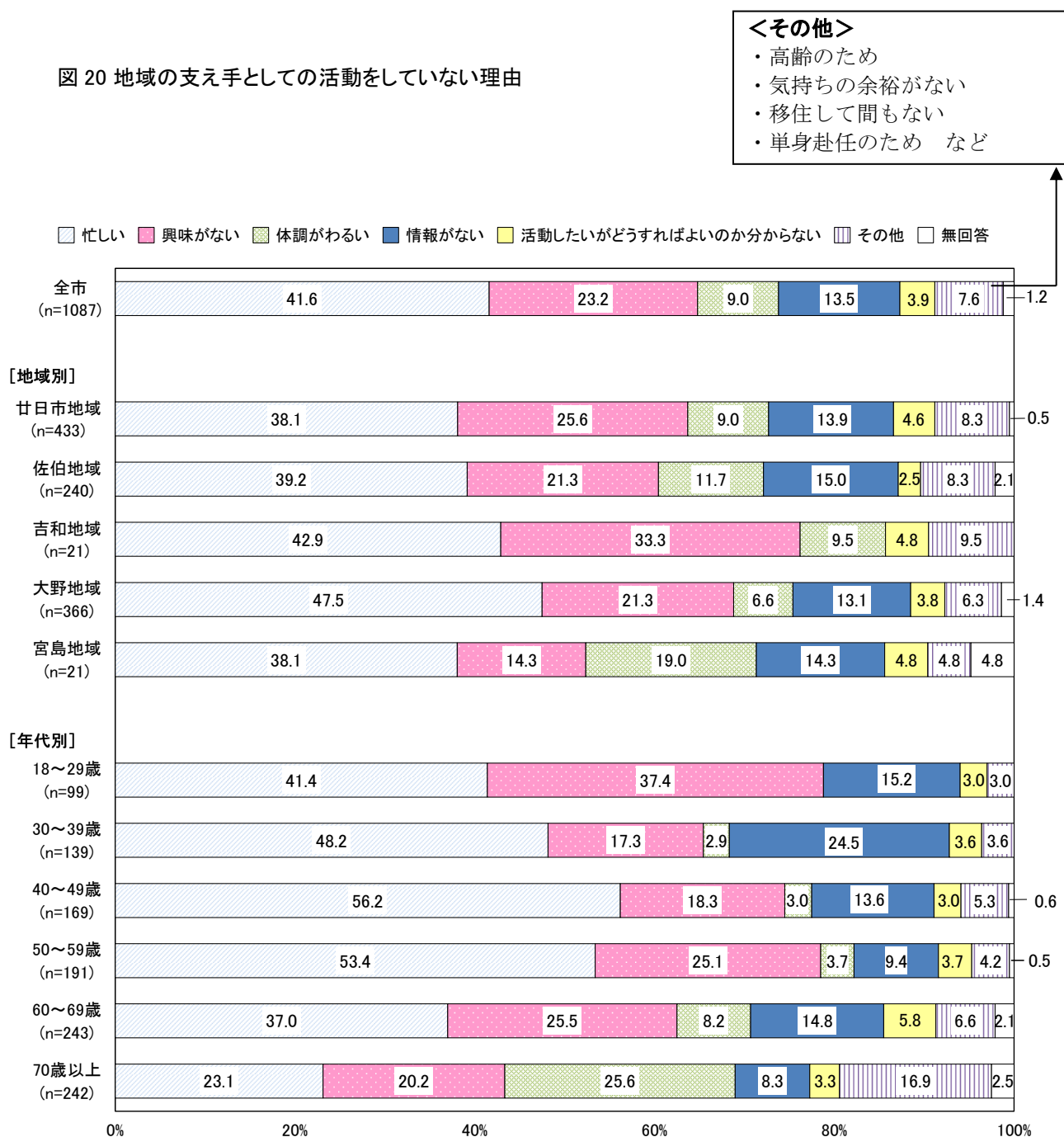
■「ほとんどしていない」または「していない」を選んだ理由【〇は1つ】

【全体】 「ほとんどしていない」または「していない」を選んだ理由については、「忙しい」(41.6%)が最も多く、「興味がない」(23.2%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「吉和地域」は「興味がない」(33.3%)が、「宮島地域」は「体調がわるい」(19.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は「興味がない」(37.4%)が、「30～39歳」は「情報がない」(24.5%)が、40～59歳は「忙しい」(40歳～49歳：56.2%、50歳～59歳：53.4%)が、「70歳以上」は「体調が悪い」(25.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 20 地域の支え手としての活動をしていない理由



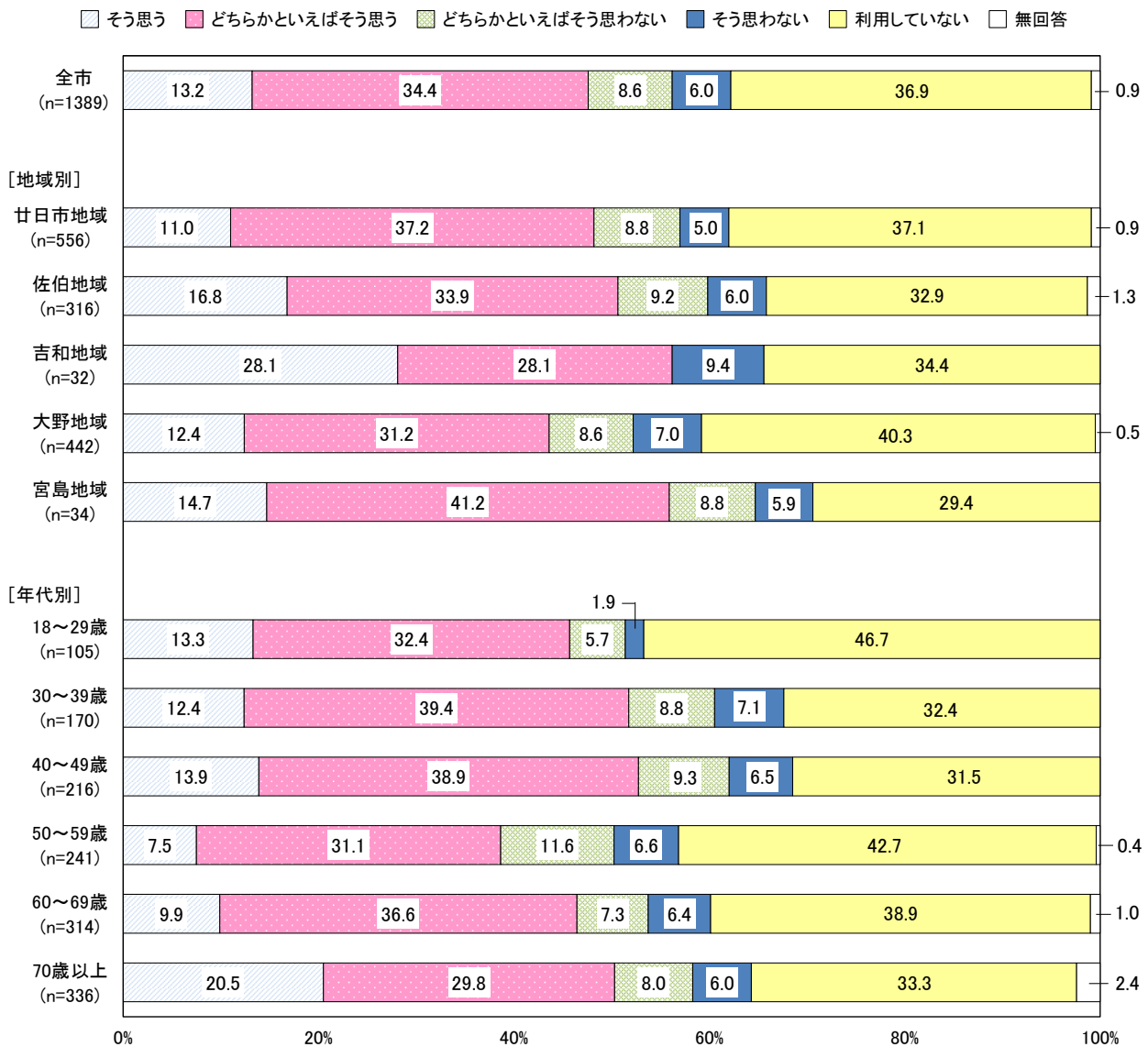
問 4 (3) あなたは、まちづくり活動の拠点として、地域の市民センターが利用しやすいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] まちづくり活動の拠点として地域の市民センターが利用しやすいと思うかどうかについては、「そう思う」(13.2%)と「どちらかといえばそう思う」(34.4%)を合わせると4割台(47.6%)を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(56.2%)が最も高く、以下、「宮島地域」(55.9%)、「佐伯地域」(50.7%)、「廿日市地域」(48.2%)、「大野地域」(43.6%)と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「40～49歳」(52.8%)が最も高く、以下、「30～39歳」(51.8%)、「70歳以上」(50.3%)、「60～69歳」(46.5%)、「18～29歳」(45.7%)、「50～59歳」(38.6%)と続く。

図 21 市民センターの利用しやすさ



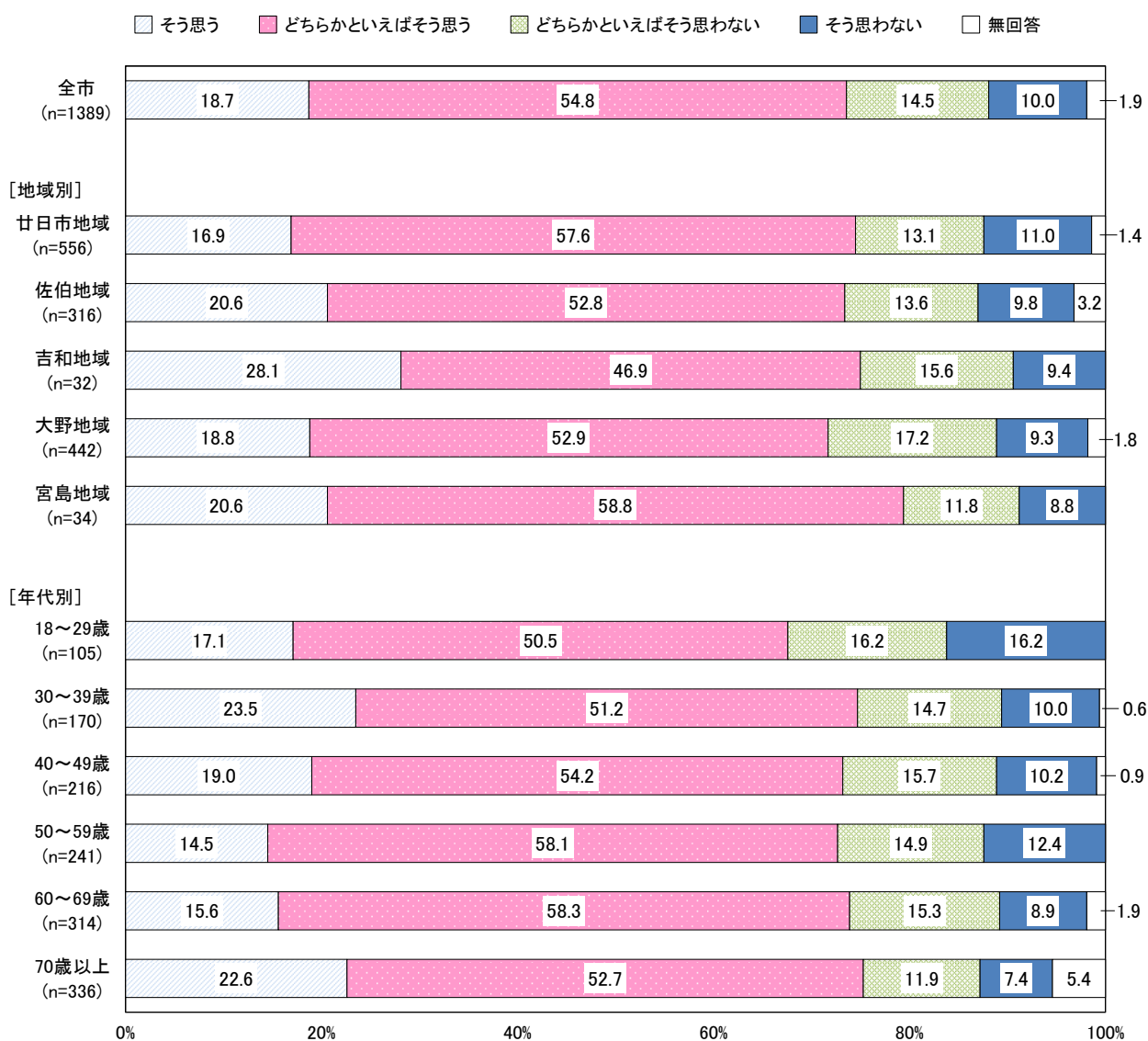
問5 あなたは、地域や近所などのこどもの暮らしを見守る意識がありますか。[〇は1つ]

[全体] 地域や近所などのこどもの暮らしを見守る意識があるかどうかについては、「そう思う」(18.7%)と「どちらかといえばそう思う」(54.8%)を合わせると7割台(73.5%)を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「宮島地域」(79.4%)が最も高く、以下、「吉和地域」(75.0%)、「廿日市地域」(74.5%)、「佐伯地域」(73.4%)「大野地域」(71.7%)と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「70歳以上」(75.3%)が最も高く、以下、「30～39歳」(74.7%)、「60～69歳」(73.9%)、「40～49歳」(73.2%)、「50～59歳」(72.6%)、「18～29歳」(67.6%)と続く。

図22 こどもの暮らしを見守る意識



問6 あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会が十分にあると思いますか。

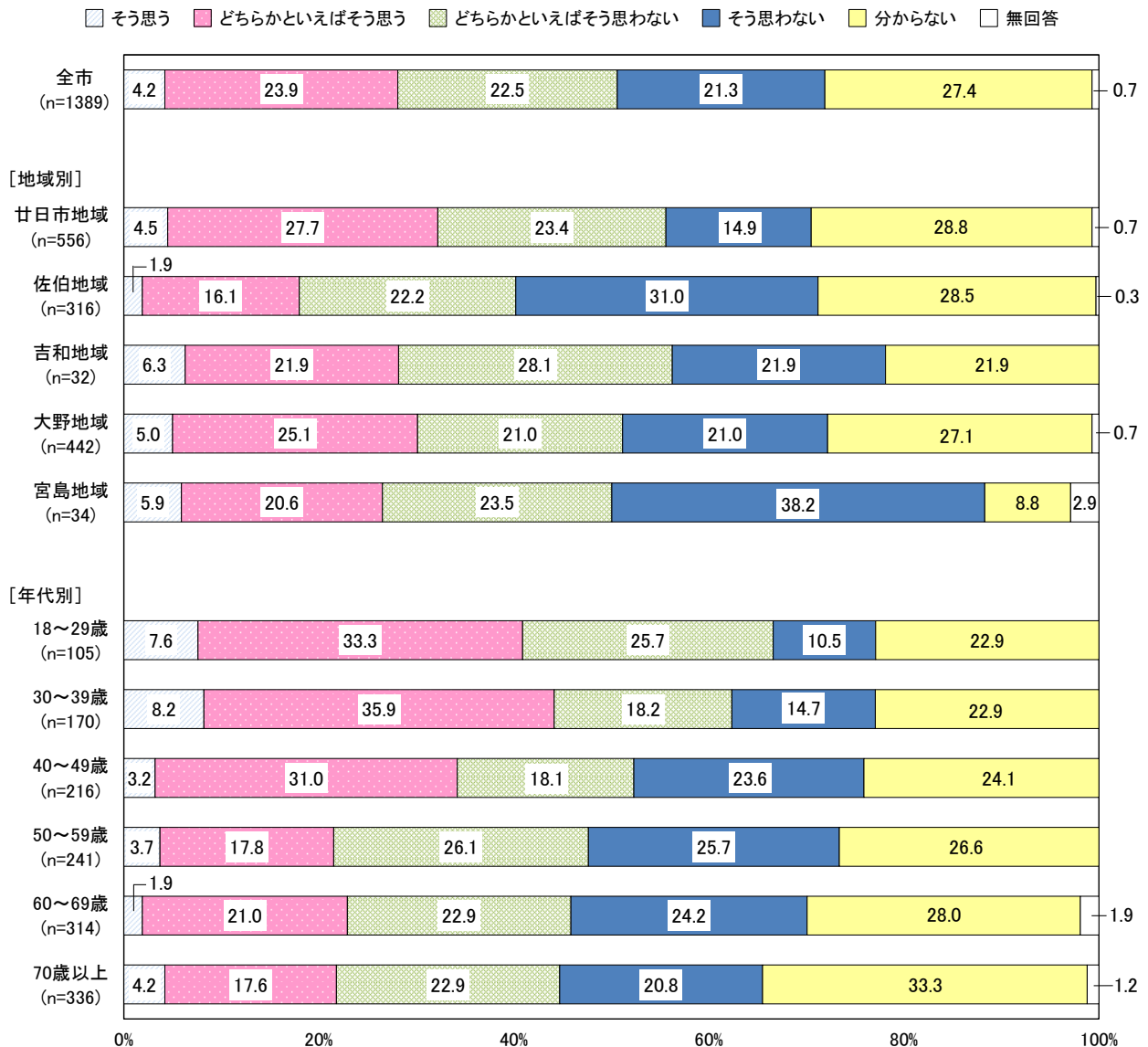
[〇は1つ]

[全体] 周りに子どもや若者の遊びや体験活動の機会が十分にあると思うかどうかについては、「そう思う」(4.2%)と「どちらかといえばそう思う」(23.9%)を合わせると2割台(28.1%)を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「廿日市地域」(32.2%)が最も高く、以下、「大野地域」(30.1%)、「吉和地域」(28.2%)、「宮島地域」(26.5%)「佐伯地域」(18.0%)と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「30～39歳」(44.1%)が最も高く、以下、「18～29歳」(40.9%)、「40～49歳」(34.2%)、「60～69歳」(22.9%)、「70歳以上」(21.8%)、「50～59歳」(21.5%)と続く。

図23 子どもや若者の遊びや体験活動の機会

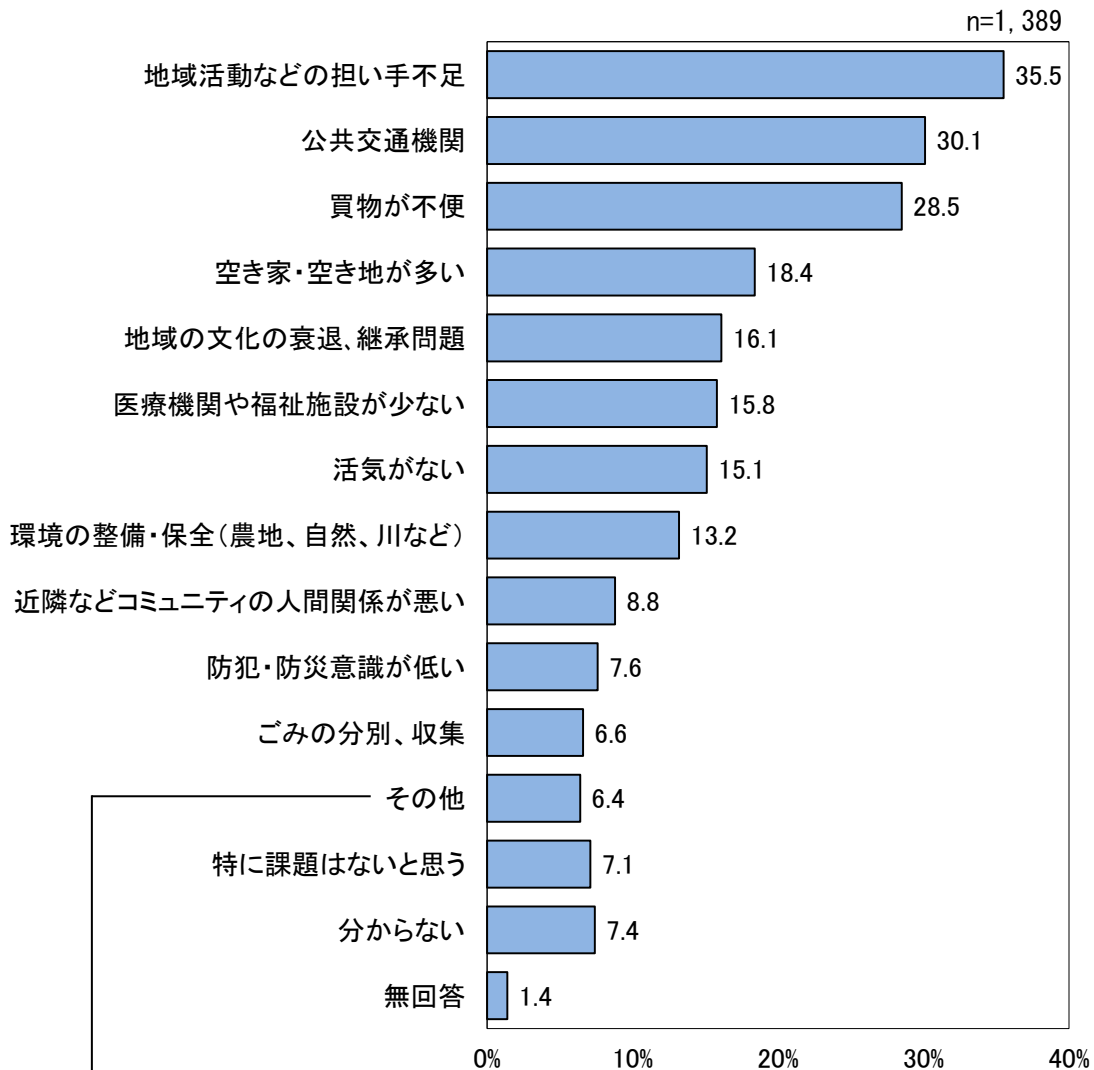


問7(1) あなたは、自分が住んでいる地域にどのような課題があると思いますか。

[〇は3つまで]

[全体] 自分が住んでいる地域にどのような課題があるかについては、「地域活動などの担い手不足」(35.5%)が最も多く、以下、「公共交通機関」(30.1%)、「買物が不便」(28.5%)と続く。

図24 どのような地域課題があると思うか



<その他>

- ・公園の遊具や水道の設備ぼろぼろで汚い
- ・町内会とマンション等とのコミュニケーション不足
- ・子ども、若者が遊べる場所が限られている
- ・子どもの夜間診療がない
- ・自宅や田畑の後継者がいない(過疎化の進行)
- ・道路事情が悪い、渋滞がひどい
- ・若い世代が定住しない
- ・街灯が少ない
- ・下水道の整備
- ・老後の最終的なよりどころなる施設がない など

【地域別】 「吉和地域」と「宮島地域」は「買物が不便」（吉和地域：65.6%、宮島地域：58.8%）が「全市」より30ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は「公共交通機関」（40.0%）が、「60～69歳」は「地域活動などの担い手不足」（41.4%）が「全市」より5ポイント以上高い。

表6 どのような地域課題があると思うか

(単位: %)

項目	足 地域活動などの担い手不	公共 交通機関	買物 が不便	空き 家・空き地が多い	問題 地域の文化の衰退、継承	ない 医療機関や福祉施設が少	活 気がない	環 境の整備・保全（農地、自然、川など）	近 隣などコミュニティの人間関係が悪い	防 犯・防災意識が低い	ご みの分別、収集	そ の他	特 に課題はないと思う	分 からない	無 回答	
全市 (n=1389)	35.5	30.1	28.5	18.4	16.1	15.8	15.1	13.2	8.8	7.6	6.6	6.4	7.1	7.4	1.4	
地域別	廿日市地域 (n=556)	32.7	25.2	17.6	9.4	16.2	8.5	15.3	11.7	10.8	8.8	8.1	10.4	10.6	2.0	
	佐伯地域 (n=316)	42.4	44.0	32.6	39.9	17.1	23.4	17.1	16.8	7.6	6.6	1.6	3.2	1.3	2.5	0.9
	吉和地域 (n=32)	56.3	31.3	65.6	43.8	21.9	12.5	15.6	9.4	3.1	-	-	9.4	-	-	-
	大野地域 (n=442)	32.4	26.9	34.6	10.9	15.2	19.7	14.9	12.4	7.9	7.5	6.8	6.6	7.9	7.5	1.1
	宮島地域 (n=34)	38.2	23.5	58.8	41.2	11.8	20.6	-	14.7	-	2.9	17.6	5.9	-	5.9	-
年代別	18～29歳 (n=105)	21.0	40.0	28.6	14.3	11.4	11.4	17.1	12.4	2.9	6.7	8.6	8.6	11.4	7.6	-
	30～39歳 (n=170)	21.2	31.2	31.8	13.5	16.5	18.2	11.2	13.5	5.3	6.5	9.4	11.2	5.9	11.8	-
	40～49歳 (n=216)	34.7	30.1	25.9	18.5	15.3	17.1	14.4	14.4	6.0	6.9	6.0	8.8	7.4	8.3	-
	50～59歳 (n=241)	39.8	33.2	29.0	16.6	18.7	17.4	10.4	14.5	12.4	5.0	7.1	6.6	6.6	7.9	0.4
	60～69歳 (n=314)	41.4	28.3	26.8	21.7	15.3	15.6	17.8	13.4	7.6	8.0	5.7	4.8	8.3	6.1	1.6
	70歳以上 (n=336)	38.7	26.5	30.1	20.2	17.0	14.0	17.9	11.3	12.2	9.8	5.1	3.3	5.4	5.4	4.2

※全市+10ポイント以上に網掛け

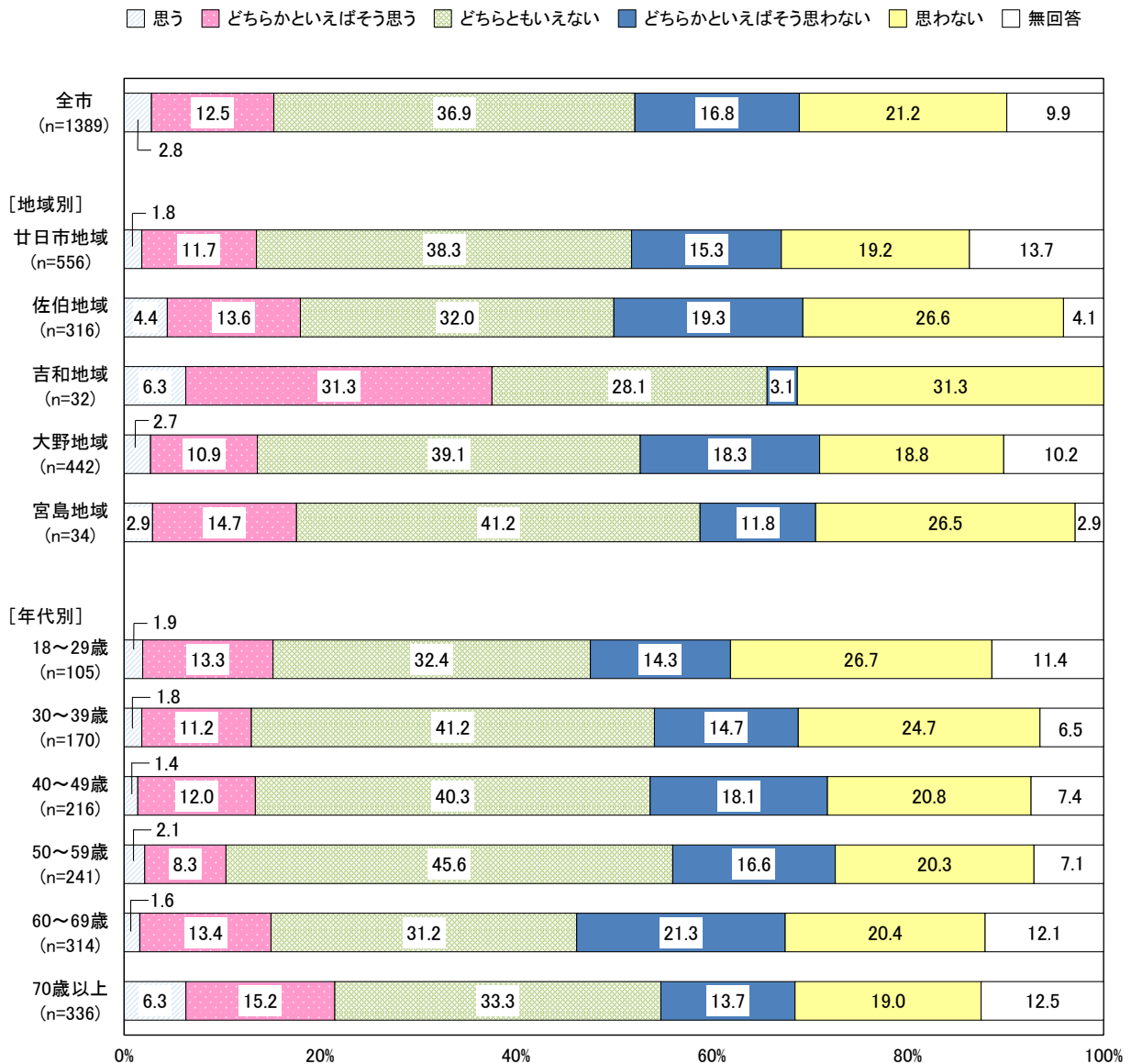
問 7 (2) あなたは、地域の課題を地域の住民で、解決に向けて取り組んでいると思いますか。[〇は1つ]

[全体] 地域の課題を地域で主体的に解決できていると感じるかどうかについては、「思う」(2.8%)と「どちらかといえばそう思う」(12.5%)を合わせると1割台(15.3%)を占める。

[地域別] 「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(37.6%)が最も高く、以下、「佐伯地域」(18.0%)、「宮島地域」(17.6%)、「大野地域」(13.6%)、「廿日市地域」(13.5%)と続く。

[年代別] 「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「70歳以上」(21.5%)が最も高く、以下、「18～29歳」(15.2%)、「60～69歳」(15.0%)、「40～49歳」(13.4%)、「30～39歳」(13.0%)、「50～59歳」(10.4%)と続く。

図 25 地域課題の解決に向けて取り組んでいると思うか



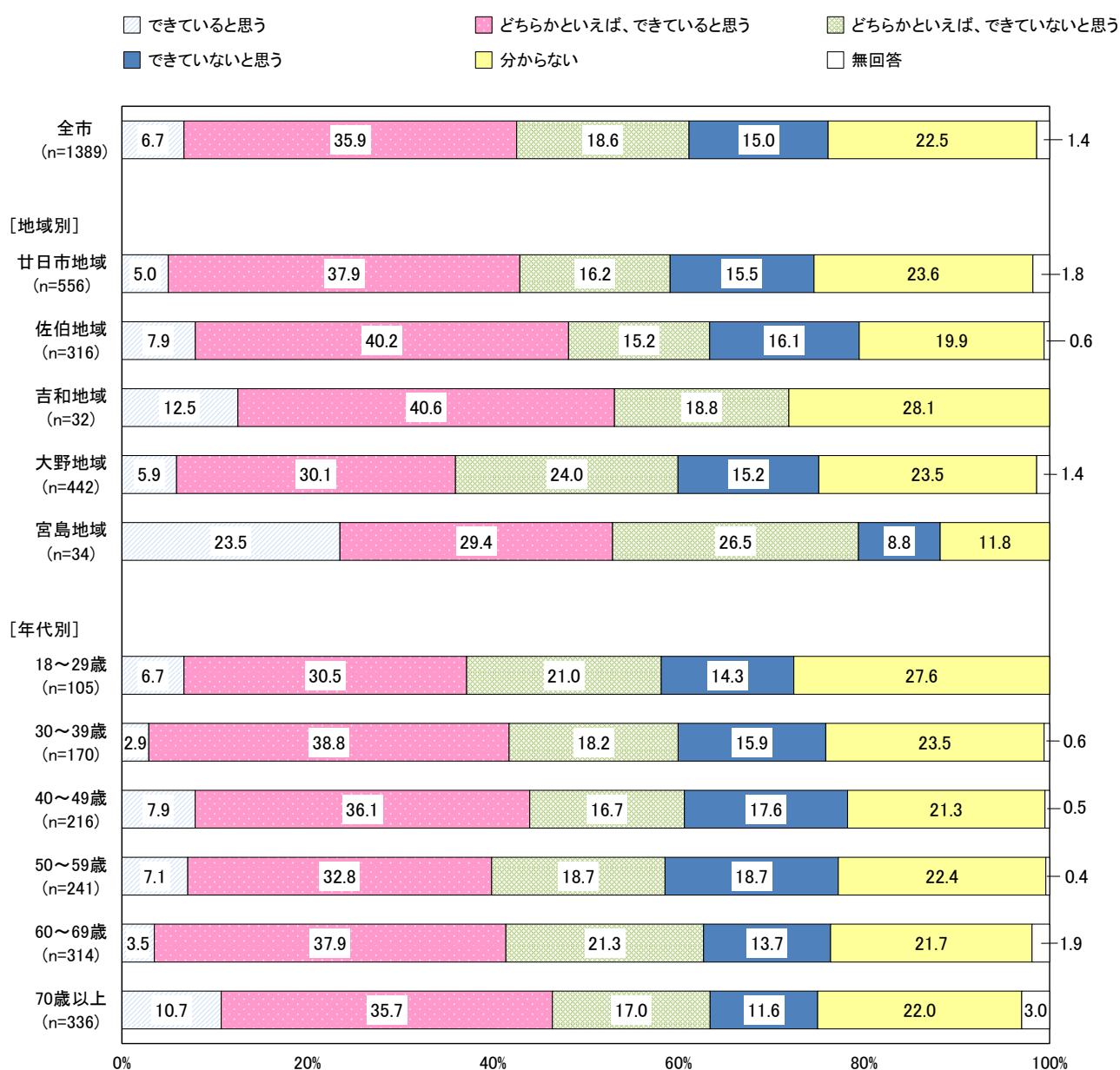
問 8 (1) あなたは、普段の生活で地域の助け合いができていますか。[〇は1つ]

[全体] 普段の生活の中で地域の助け合いができていますかどうかについては、「できていると思う」(6.7%)と「どちらかといえば、できていると思う」(35.9%)を合わせると4割台(42.6%)を占める。

[地域別] 「できていると思う」と「どちらかといえば、できていると思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(53.1%)が最も高く、以下、「宮島地域」(52.9%)、「佐伯地域」(48.1%)、「廿日市地域」(42.9%)、「大野地域」(36.0%)と続く。

[年代別] 「できていると思う」と「どちらかといえば、できていると思う」を合わせた割合は、「70歳以上」(46.4%)が最も高く、以下、「40～49歳」(44.0%)、「30～39歳」(41.7%)、「60～69歳」(41.4%)、「50～59歳」(39.9%)、「18～29歳」(37.2%)と続く。

図 26 地域の助け合いができていますか



【「できていると思う」または「どちらかといえば、できていると思う」を選んだ方】

■「できていると思う」または「どちらかといえば、できていると思う」を選んだ理由

【〇は1つ】

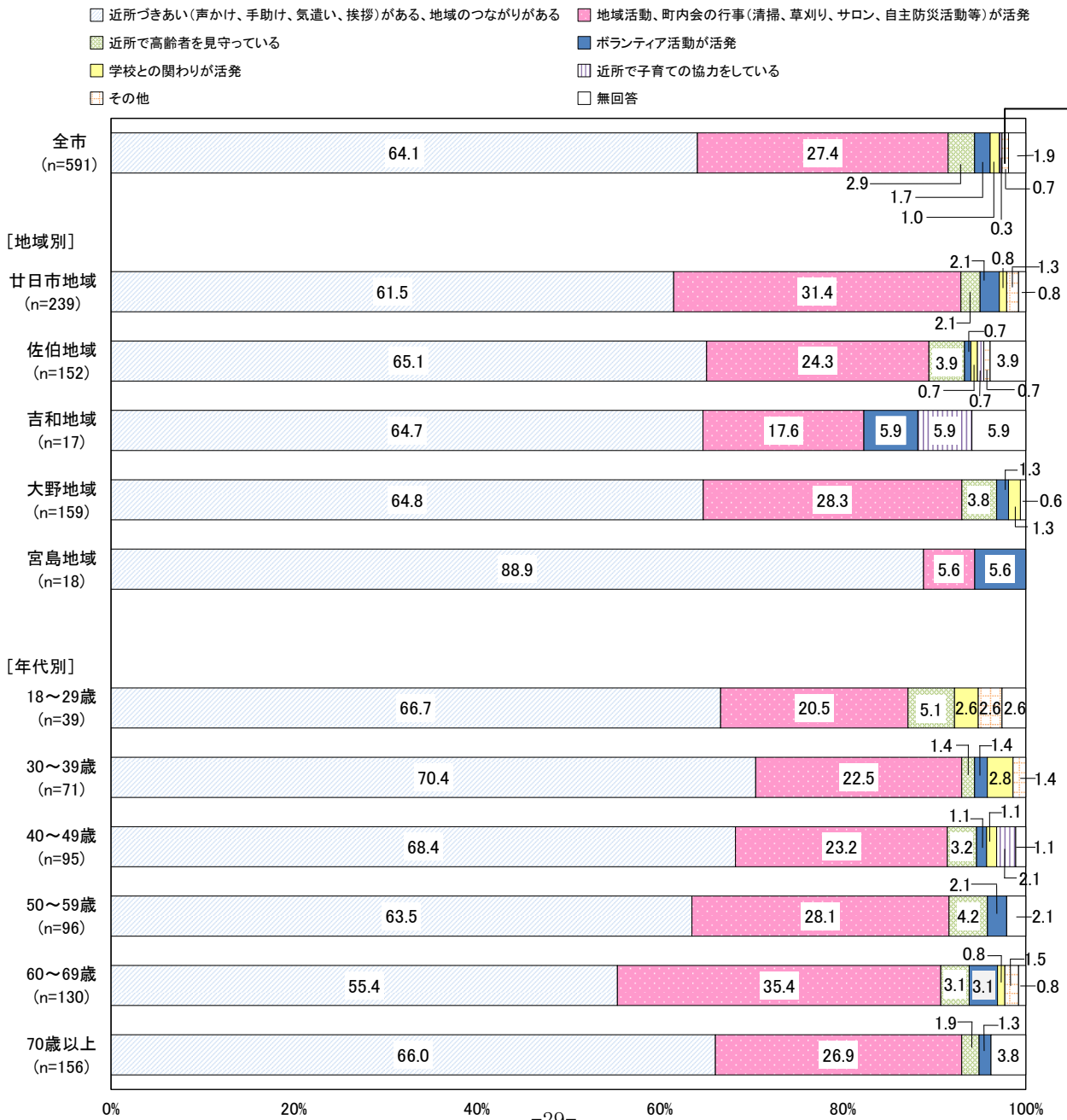
【全体】 普段の生活の中で地域の助け合いが「できていると思う」または「どちらかといえば、できていると思う」を選んだ理由については、「近所づきあい（声かけ、手助け、気遣い、挨拶）がある、地域のつながりがある」（64.1%）が最も多く、「地域活動、町内会の行事（清掃、草刈り、サロン、自主防災活動等）が活発」（27.4%）がそれに次ぐ。

【地域別】 「宮島地域」は「近所づきあい（声かけ、手助け、気遣い、挨拶）がある、地域のつながりがある」（88.9%）が「全市」より20ポイント以上高い。

【年代別】 「30～39歳」は「近所づきあいがある、地域のつながりがある」（70.4%）が、「60～69歳」は「地域活動、町内会の行事が活発」（35.4%）が「全市」より5ポイント以上高い。

図 27 地域の助け合いができていると思う理由

＜その他＞
・ 廿日市市の祭りに参加している など



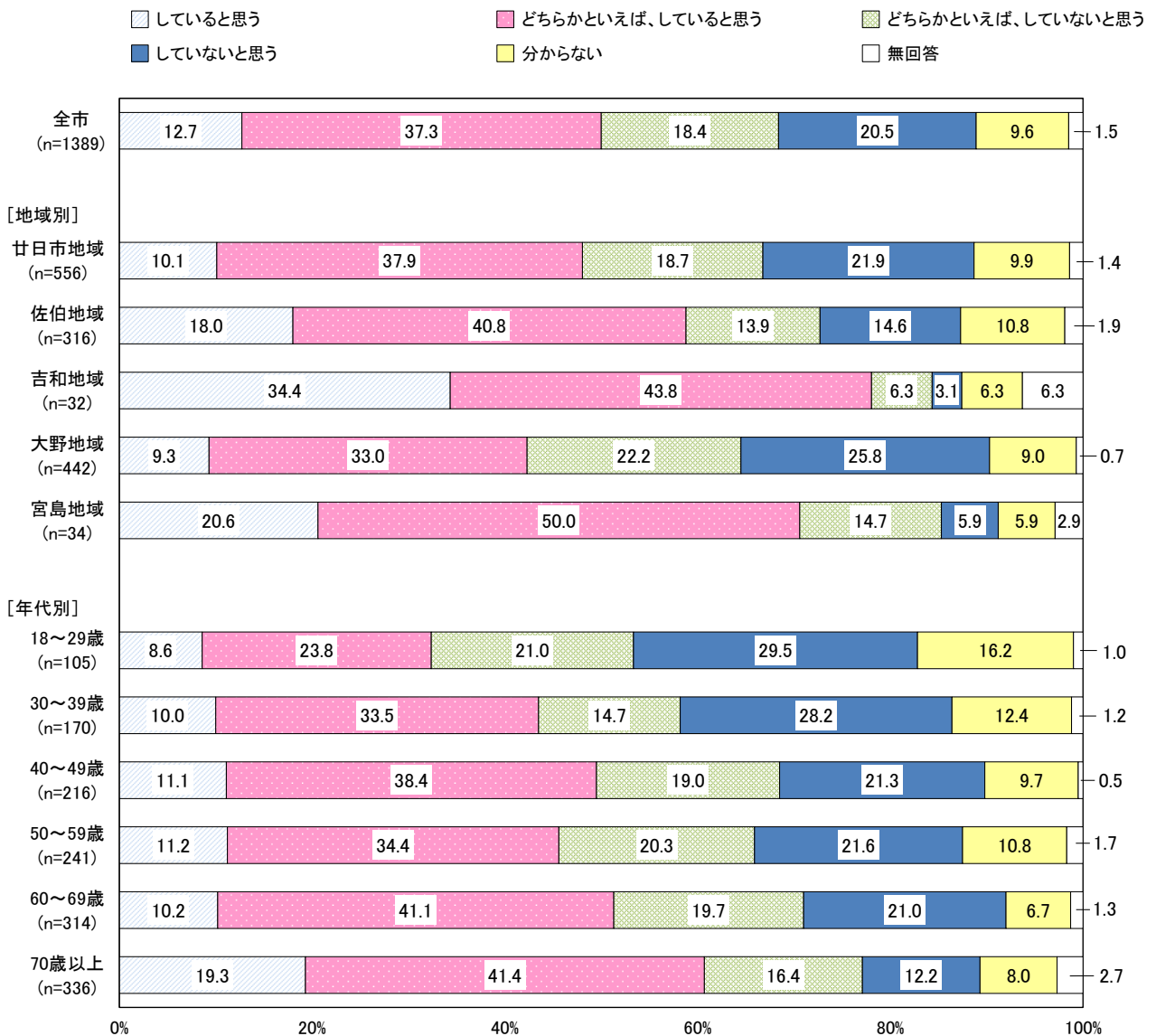
問 8 (2) あなたは、普段の生活で近所の人と困ったときに助け合うような付き合いをしていますか。[〇は1つ]

[全体] 普段の生活の中で困った時に助け合うような付き合いをしているかどうかについては、「していると思う」(12.7%)と「どちらかといえば、していると思う」(37.3%)を合わせると5割(50.0%)を占める。

[地域別] 「していると思う」と「どちらかといえば、していると思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(78.2%)が最も高く、以下、「宮島地域」(70.6%)、「佐伯地域」(58.8%)、「廿日市地域」(48.0%)、「大野地域」(42.3%)と続く。

[年代別] 「していると思う」と「どちらかといえば、していると思う」を合わせた割合は、「70歳以上」(60.7%)が最も高く、以下、「60～69歳」(51.3%)、「40～49歳」(49.5%)、「50～59歳」(45.6%)、「30～39歳」(43.5%)、「18～29歳」(32.4%)と続く。

図 28 困った時に助け合うような付き合い



【「どちらかといえば、していないと思う」または「していないと思う」を選んだ方】

■「どちらかといえば、していないと思う」または「していないと思う」を選んだ理由

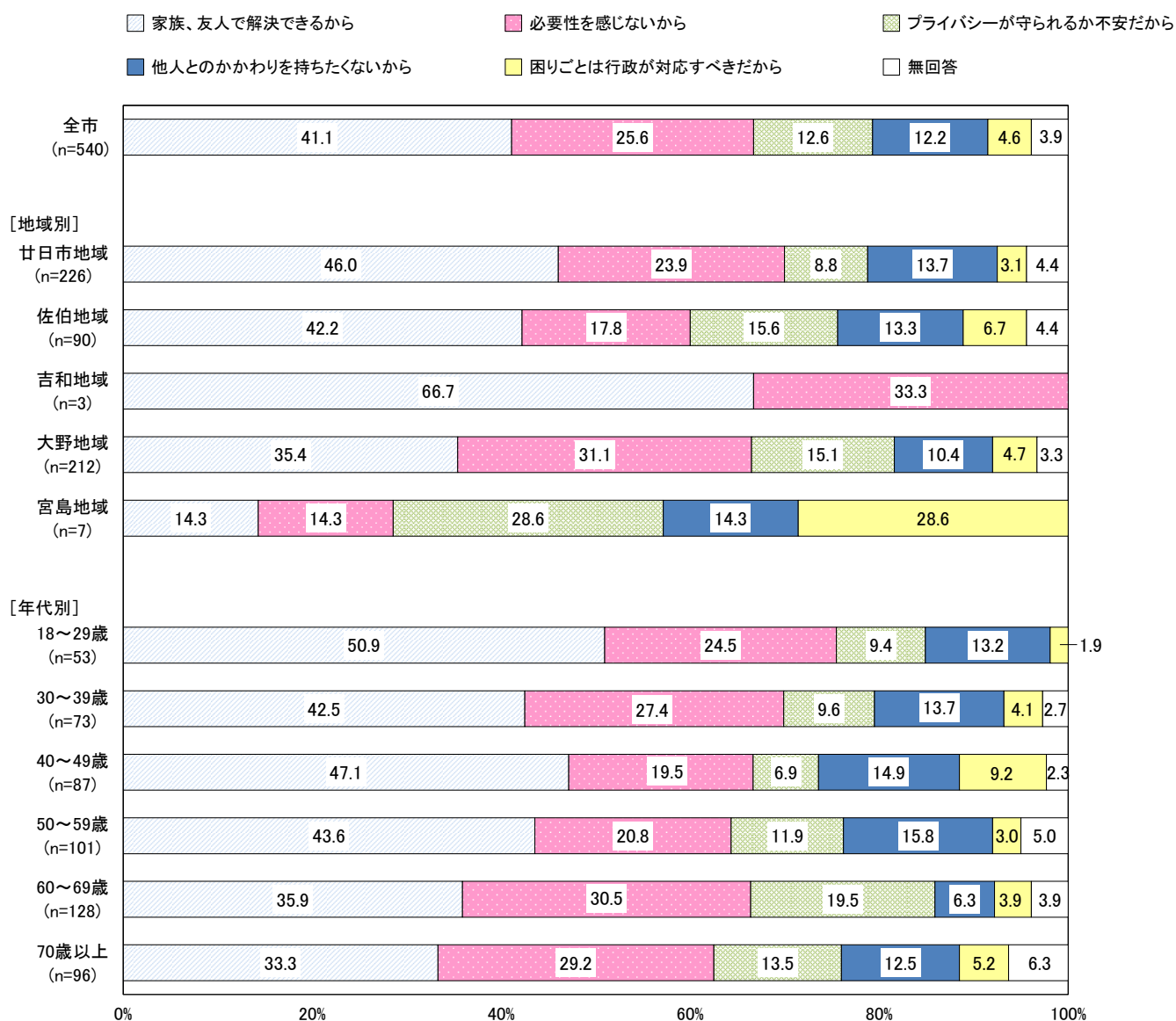
【〇は1つ】

【全体】 普段の生活の中で困った時に助け合うような付き合いをしていないと思う理由については、「家族、友人で解決できるから」(41.1%)が最も多く、「必要性を感じないから」(25.6%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「大野地域」は「必要性を感じないから」(31.1%)が「全市」より5ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」と「40～49歳」は「家族、友人で解決できるから」(18～29歳：50.9%、40～49歳：47.1%)が、「60～69歳」は「プライバシーが守られるか不安だから」(19.5%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 29 助け合うような付き合いをしていないと思う理由



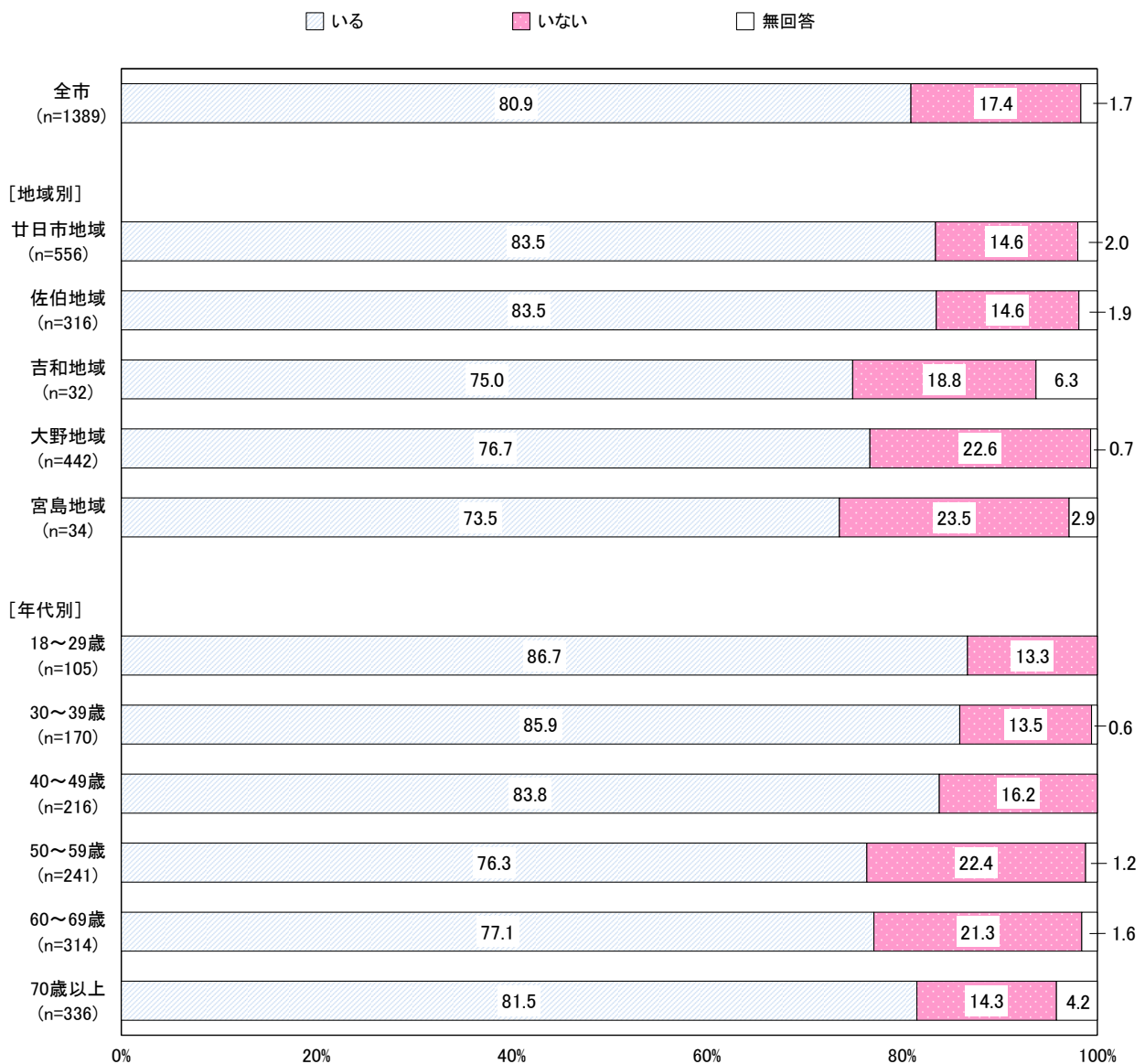
問 8 (3) あなたは、普段の生活の中で困りごとを相談したり、助けてもらったりする人がいますか。[〇は1つ]

[全体] 普段の生活の中で困ったときに助けてもらえる人がいるかどうかについては、「いる」(80.9%)が8割台を占める。

[地域別] 「大野地域」と「宮島地域」は「いない」(大野地域：22.6%、宮島地域：23.5%)が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 18～39歳は「いる」(18～29歳：86.7%、30～39歳：85.9%)が、「50～59歳」は「いない」(22.4%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 30 困ったときに助けてくれる人の有無

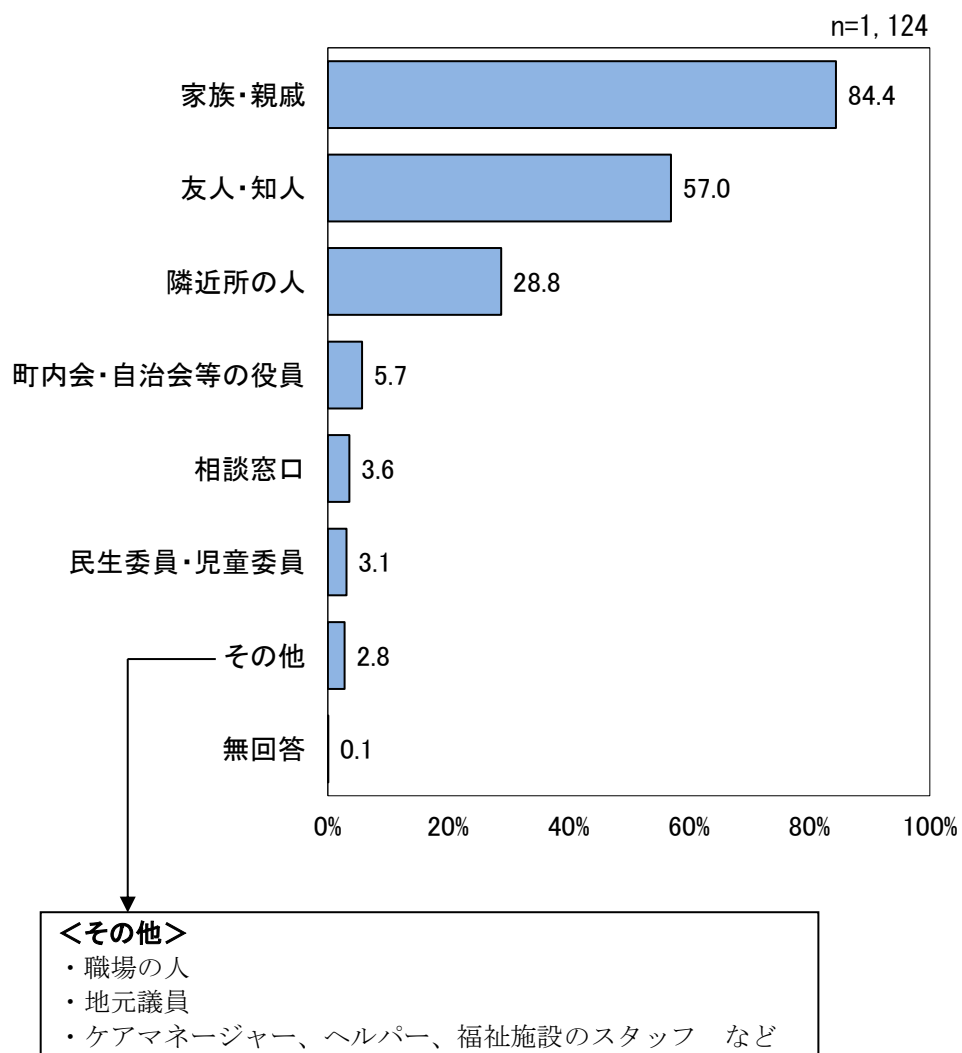


[「いる」を選んだ方]

■「いる」を選んだ方は、それは誰ですか。[あてはまる全てに○]

[全体] 普段の生活の中で困ったときに助けてもらえる人が誰かについては、「家族・親戚」(84.4%)が最も多く8割台を占め、以下、「友人・知人」(57.0%)、「隣近所の人」(28.8%)と続く。

図 31 困ったときに助けてくれる人は誰か



[地域別] 「宮島地域」は「友人・知人」(68.0%)と「隣近所の人」(40.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「友人・知人」(71.4%)が、「70歳以上」は「隣近所の人」(43.8%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表7 困ったときに助けてくれる人は誰か

(単位:%)

項目		家族・親戚	友人・知人	隣近所の人	町内会・自治会等の役員	相談窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
全市 (n=1124)		84.4	57.0	28.8	5.7	3.6	3.1	2.8	0.1
地域別	廿日市地域 (n=464)	87.5	55.8	27.2	5.6	4.3	3.2	3.2	0.2
	佐伯地域 (n=264)	79.5	58.0	33.7	7.2	1.9	3.0	1.5	-
	吉和地域 (n=24)	54.2	41.7	37.5	12.5	8.3	-	4.2	-
	大野地域 (n=339)	86.4	59.0	26.0	4.4	2.9	3.5	2.9	-
	宮島地域 (n=25)	80.0	68.0	40.0	4.0	4.0	-	8.0	-
年代別	18～29歳 (n=91)	83.5	71.4	8.8	1.1	3.3	-	9.9	-
	30～39歳 (n=146)	92.5	55.5	17.8	2.1	2.7	-	2.7	-
	40～49歳 (n=181)	90.1	58.6	23.8	3.3	1.7	1.7	4.4	-
	50～59歳 (n=184)	85.9	59.2	27.7	4.3	5.4	0.5	1.6	-
	60～69歳 (n=242)	81.8	55.8	30.2	7.0	5.8	2.5	2.1	-
	70歳以上 (n=274)	78.1	51.8	43.8	10.2	1.8	9.1	1.1	0.4

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

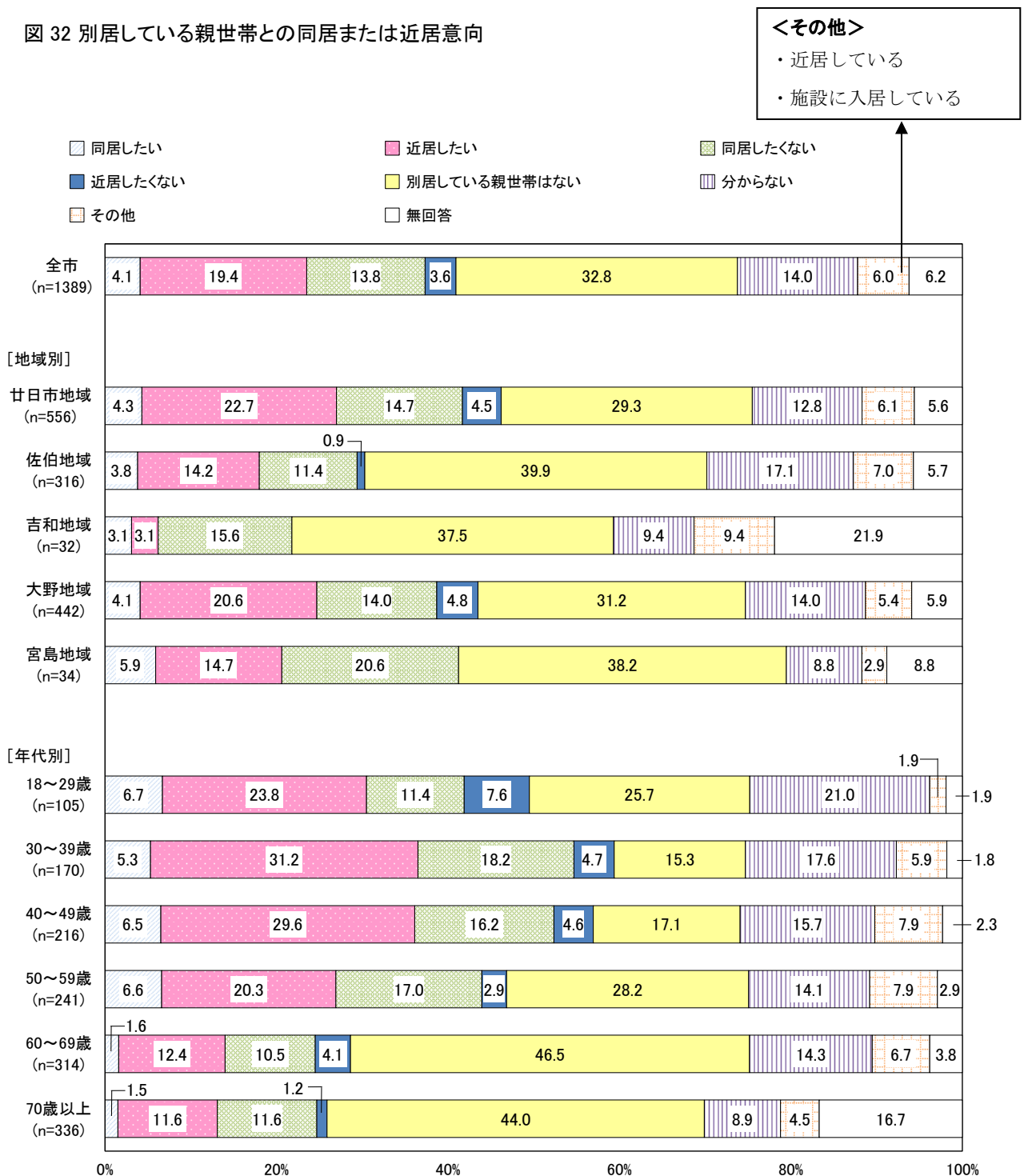
問9 あなたは、別居している親世帯と同居または近くに住みたい（以降「近居」という）と思いますか。（近居とは、徒歩15分圏内（1.2km）の距離とします。） [〇は1つ]

[全体] 別居している親世帯と同居または近居したいと思うかどうかについては、「別居している親世帯はない」（32.8%）が最も多い。「同居したい」（4.1%）と「近居したい」（19.4%）を合わせると2割台（23.5%）を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「同居したい」と「近居したい」を合わせた割合（6.2%）が「全市」より10ポイント以上低い。

[年代別] 30～49歳は「同居したい」と「近居したい」を合わせた割合（30～39歳：36.5%、40～49歳：36.1%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図32 別居している親世帯との同居または近居意向



【「同居したい」「近居したい」「同居したくない」「近居したくない」のいずれかを選んだ方】

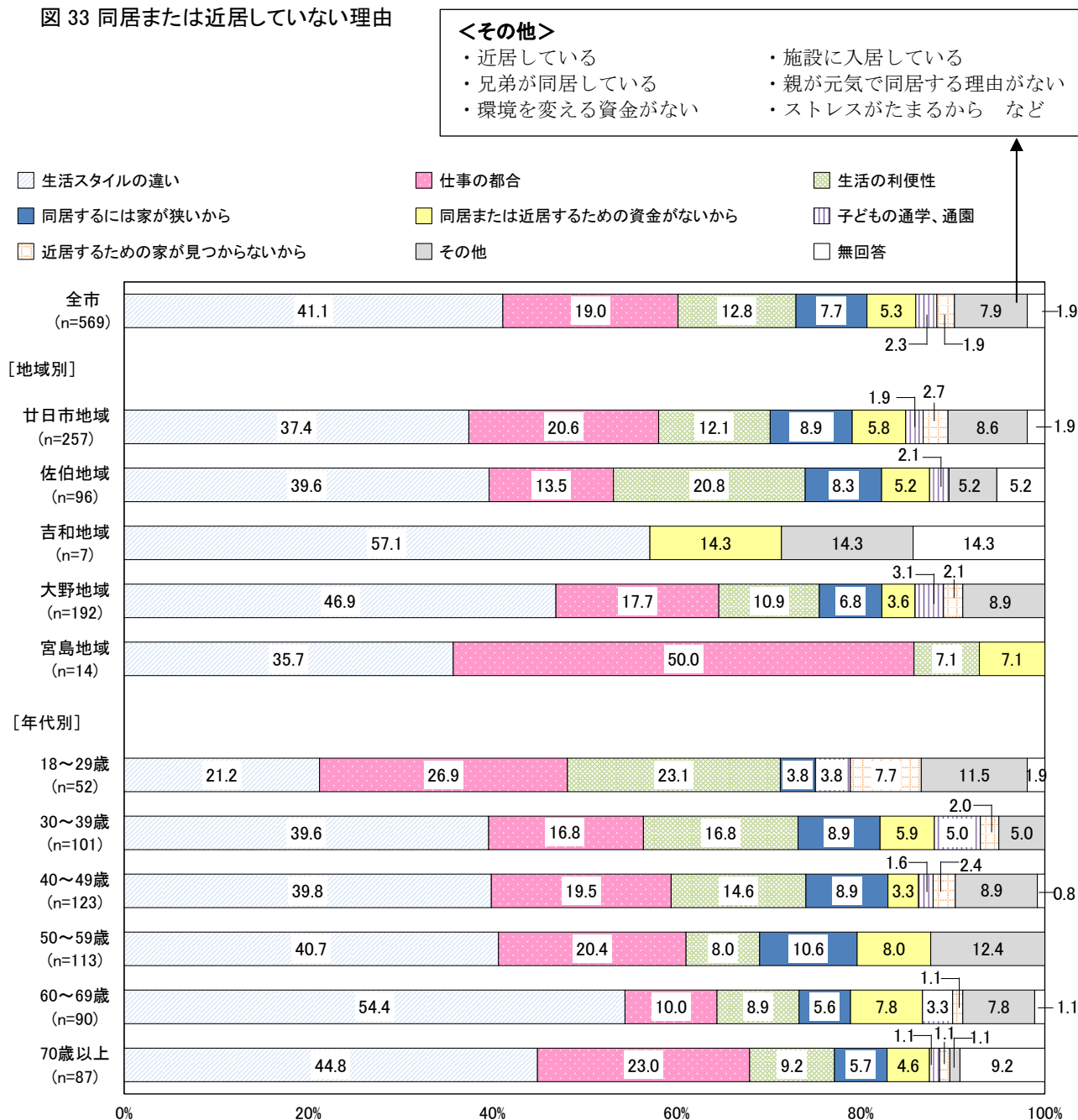
■同居または近居していない理由[〇は1つ]

【全体】同居または近居していない理由については、「生活スタイルの違い」(41.1%)が最も多く、以下、「仕事の都合」(19.0%)、「生活の利便性」(12.8%)と続く。

【地域別】「宮島地域」は「仕事の都合」(50.0%)が「全市」より30ポイント以上高い。

【年代別】「18～29歳」は「生活の利便性」(23.1%)が、「60～69歳」は「生活スタイルの違い」(54.4%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 33 同居または近居していない理由



問 10 あなたは、自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするための取組に参加したいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするための取組に参加したいかどうかについては、「参加したい」(7.9%)と「参加したいがどうすればよいのか分からない」(6.9%)を合わせた14.8%が参加の意向を持っている。

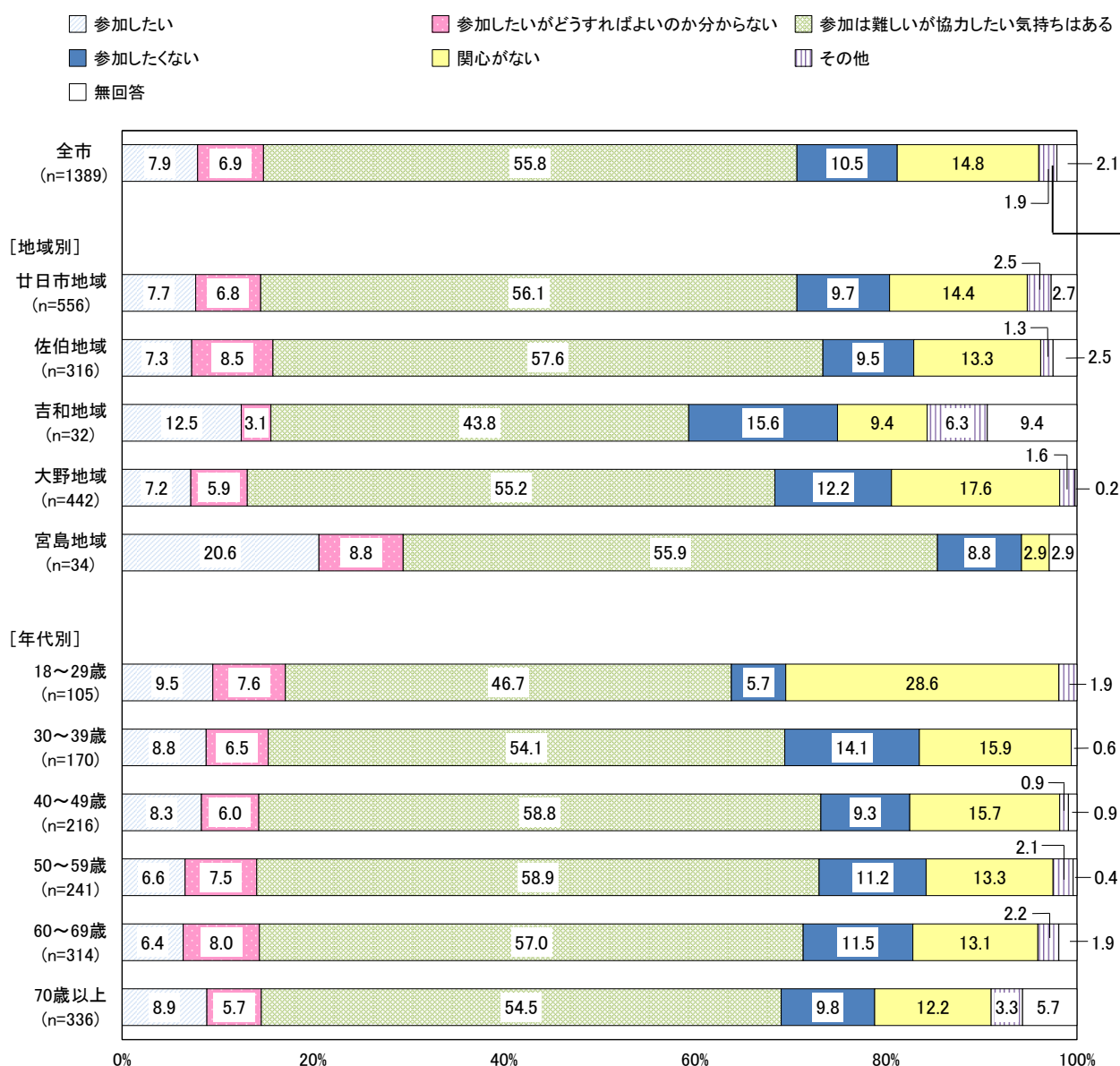
また、「参加は難しいが協力したい気持ちはある」(55.8%)が5割台を占める。

[地域別] 「参加したい」と「参加したいがどうすればよいのか分からない」を合わせた割合が最も高いのは「宮島地域」(29.4%)で、以下、「佐伯地域」(15.8%)、「吉和地域」(15.6%)、「廿日市地域」(14.5%)、「大野地域」(13.1%)と続く。

[年代別] 「参加したい」と「参加したいがどうすればよいのか分からない」を合わせた割合が最も高いのは「18～29歳」(17.1%)で、以下、「30～39歳」(15.3%)、「70歳以上」(14.6%)、「60～69歳」(14.4%)、「40～49歳」(14.3%)、「50～59歳」(14.1%)と続く。

<その他>
 ・高齢のため難しい
 ・体調に不安がある など

図 34 地域課題解決等の取組への参加意向



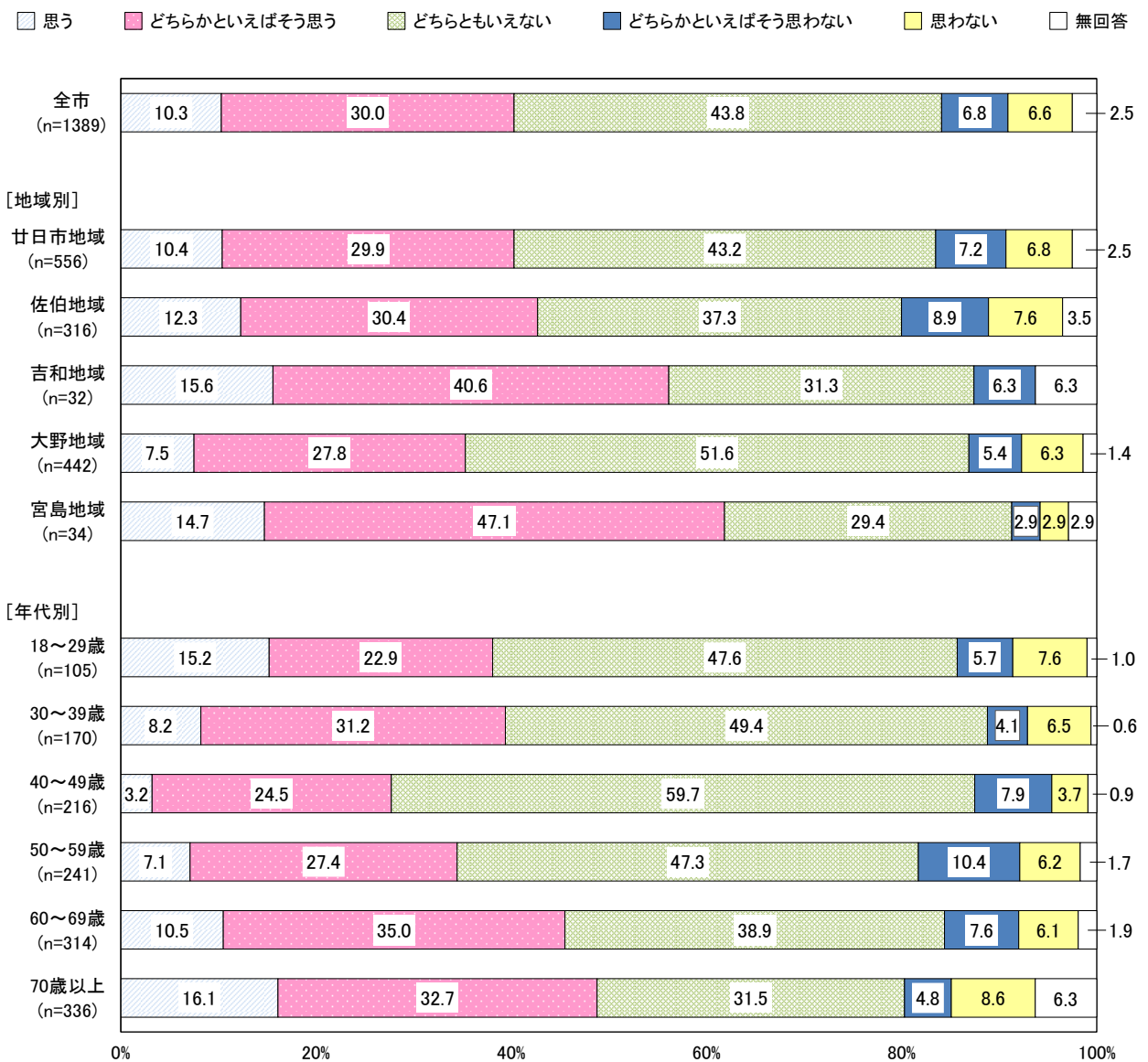
問 11 あなたは、福祉・介護に関するサービス（高齢者や障がい者に関するサービス）が適正に提供されていると思いますか。[〇は1つ]

[全体] 福祉・介護に関するサービスが適正に提供されているかどうかについては、「どちらともいえない」(43.8%)が最も多い。「思う」(10.3%)と「どちらかといえばそう思う」(30.0%)を合わせると約4割(40.3%)を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合(61.8%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 60歳以上は「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合(60～69歳：45.5%、70歳以上：48.8%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 35 福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思うか



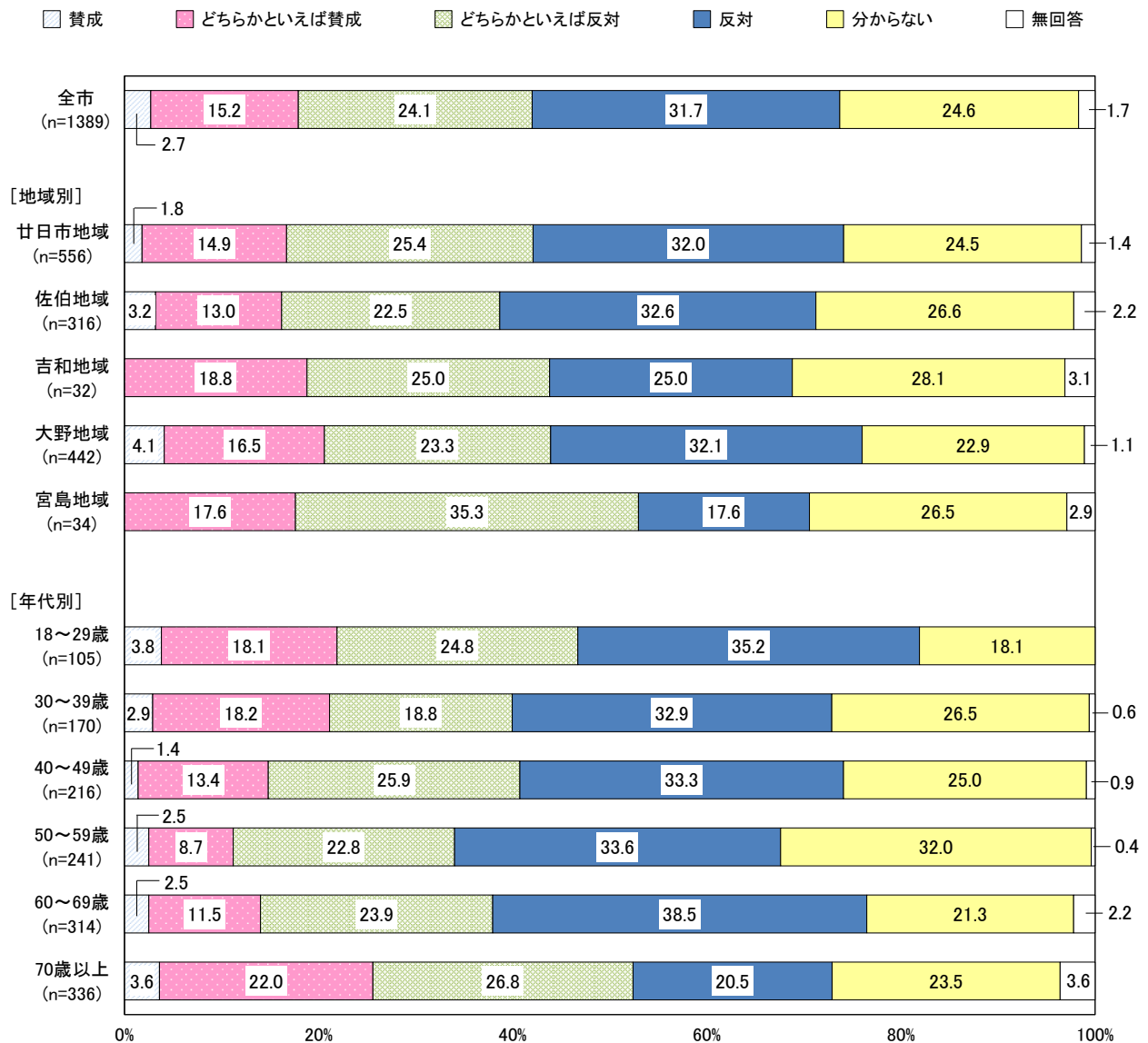
問 12 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対してどう思いますか。[〇は1つ]

[全体] 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「反対」(31.7%)と「どちらかといえば反対」(24.1%)を合わせると5割台(55.8%)を占め、「賛成」(2.7%)と「どちらかといえば賛成」(15.2%)を合わせた割合は、1割台(17.9%)に留まっている。

[地域別] 地域による顕著な差異は見られない。

[年代別] 「70歳以上」は「賛成」(3.6%)と「どちらかといえば賛成」(22.0%)を合わせた割合(25.6%)が、「全市」より5ポイント以上高い。

図 36 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否



3. 保健・医療について

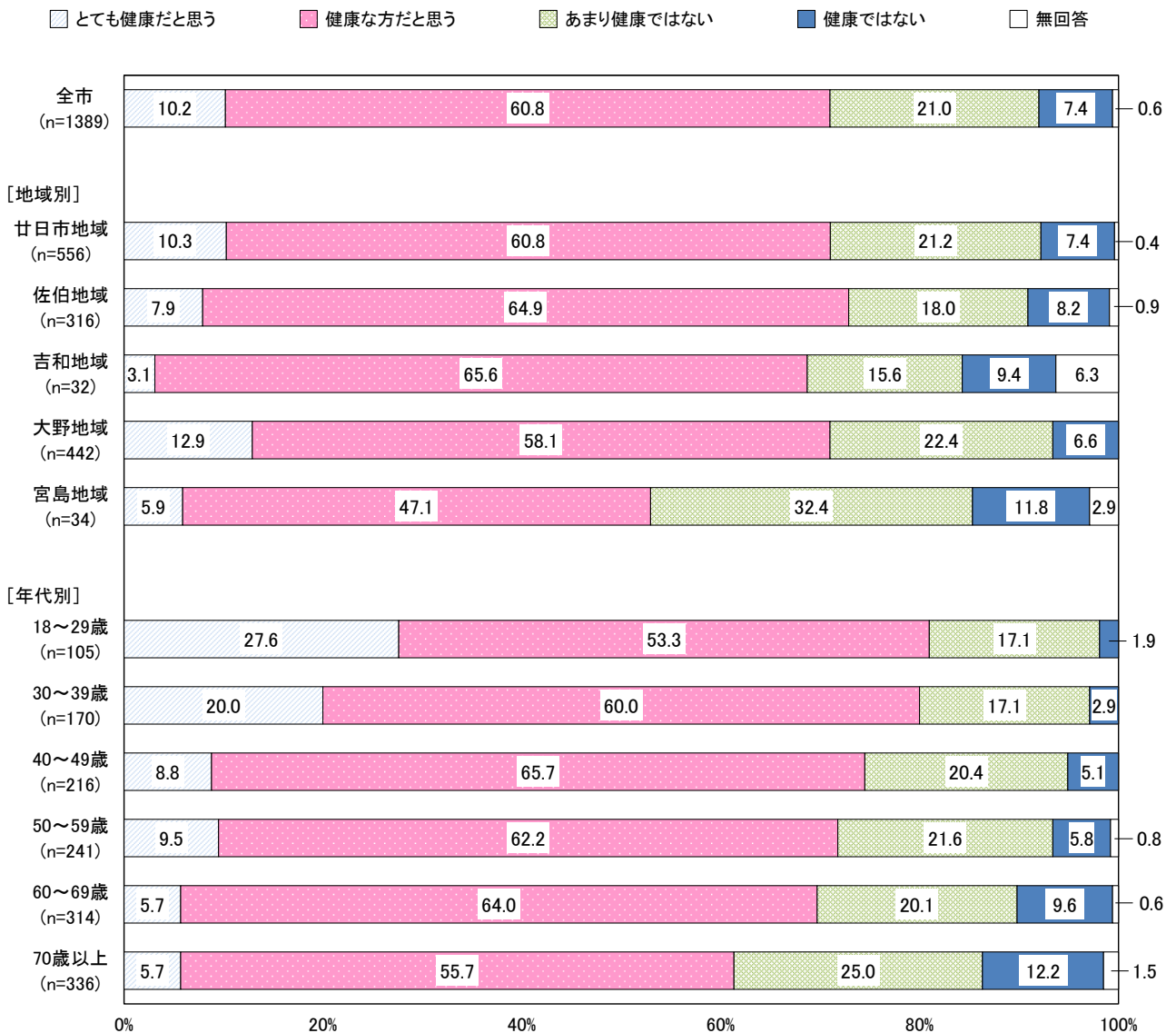
問 13 あなたは、普段、心身ともに健康だと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 普段、心身ともに健康だと感じているかどうかについては、「とても健康だと思う」(10.2%)と「健康な方だと思う」(60.8%)を合わせると7割台(71.0%)を占める。

[地域別] 「とても健康だと思う」と「健康な方だと思う」を合わせた割合が最も高いのは「佐伯地域」(72.8%)で、以下、「廿日市地域」(71.1%)、「大野地域」(71.0%)、「吉和地域」(68.7%)、「宮島地域」(53.0%)と続く。

[年代別] 「とても健康だと思う」と「健康な方だと思う」を合わせた割合は、年齢が上がるほど低くなる傾向が見られる。

図 37 心身ともに健康だと思うか

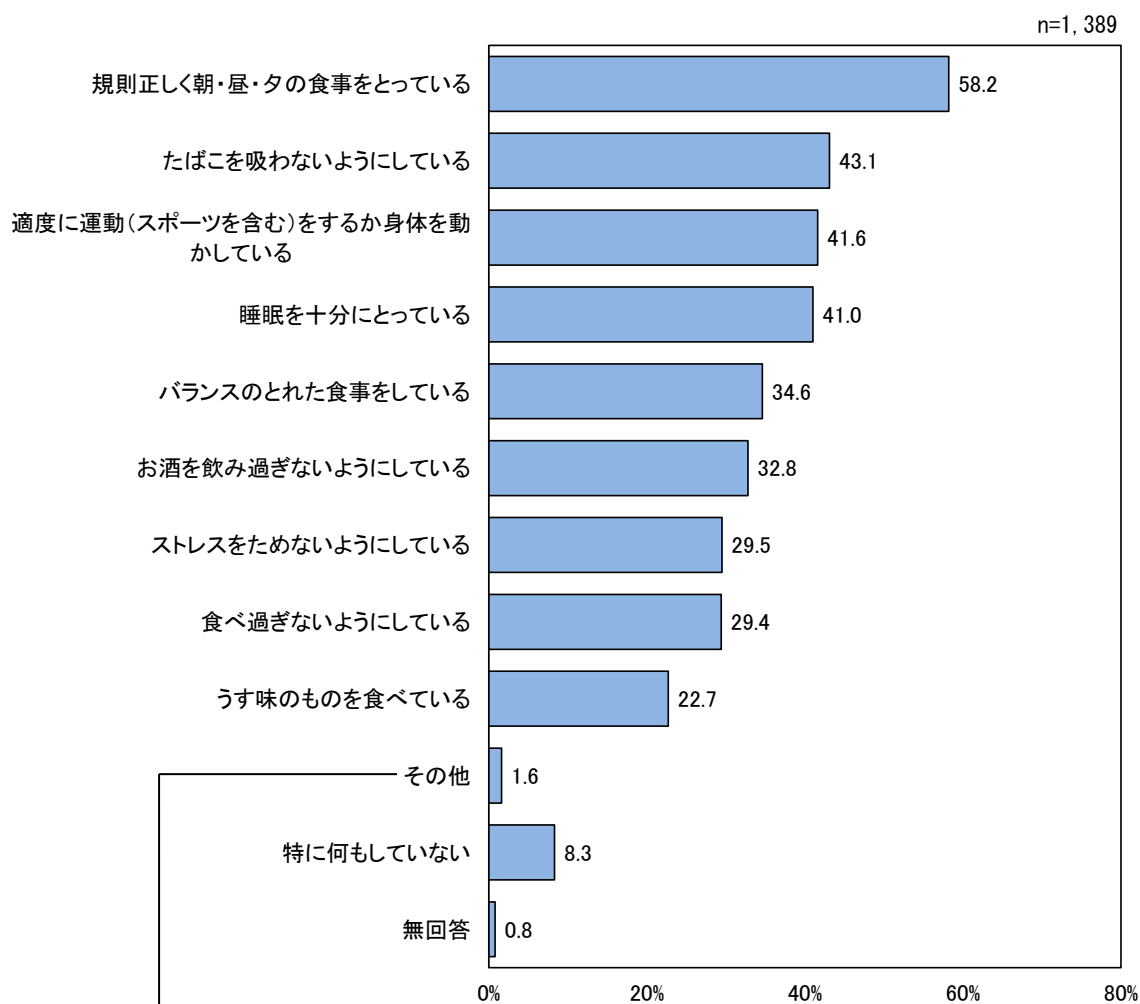


問 14 あなたは日頃、健康のために次のような事柄を実行していますか。

[当てはまる全てに○]

[全体] 日頃、健康のために実行している事柄については、「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」(58.2%)が最も多く、以下、「たばこを吸わないようにしている」(43.1%)、「適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている」(41.6%)と続く。

図 38 健康のために実行している事



<その他>

- ・考えすぎない
- ・時々、瞑想する
- ・飲酒しない
- ・趣味の時間を大切にしている
- ・検診を受ける
- ・歯のメンテナンスに行く など

[地域別] 「吉和地域」は「睡眠を十分にとっている」(56.3%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「たばこを吸わないようにしている」(56.2%)と「お酒を飲み過ぎないようにしている」(45.7%)が、「70歳以上」は「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」(79.2%)、「適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている」(51.8%)、「うす味のもの食べている」(33.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表8 健康のために実行している事

(単位:%)

項目	規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている	たばこを吸わないようにしている	適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている	睡眠を十分にとっている	バランスのとれた食事をしている	お酒を飲み過ぎないようにしている	ストレスをためないようにしている	食べ過ぎないようにしている	うす味のもの食べている	その他	特に何もしていない	無回答	
全市 (n=1389)	58.2	43.1	41.6	41.0	34.6	32.8	29.5	29.4	22.7	1.6	8.3	0.8	
地域別	廿日市地域 (n=556)	58.5	45.0	43.7	37.4	36.5	31.8	27.9	28.4	21.9	0.9	8.1	0.5
	佐伯地域 (n=316)	61.4	41.1	36.7	45.9	32.3	32.3	30.4	31.3	25.3	1.6	6.6	1.3
	吉和地域 (n=32)	59.4	37.5	46.9	56.3	34.4	37.5	15.6	31.3	18.8	3.1	9.4	3.1
	大野地域 (n=442)	55.9	42.3	42.3	41.2	34.6	33.7	32.8	30.3	21.3	2.5	9.7	0.2
	宮島地域 (n=34)	52.9	47.1	35.3	38.2	23.5	38.2	14.7	20.6	29.4	-	8.8	2.9
年代別	18～29歳 (n=105)	39.0	56.2	37.1	38.1	24.8	45.7	34.3	19.0	11.4	1.0	10.5	-
	30～39歳 (n=170)	48.2	51.2	32.9	38.2	27.1	41.2	22.4	22.9	10.6	0.6	11.2	-
	40～49歳 (n=216)	46.8	44.0	35.6	34.3	31.9	30.1	21.8	22.7	16.7	2.8	11.6	0.5
	50～59歳 (n=241)	53.1	44.0	36.1	38.6	31.1	31.1	27.4	28.2	19.5	2.1	11.6	0.4
	60～69歳 (n=314)	59.9	46.8	44.9	39.8	39.5	31.2	36.3	32.5	27.7	1.3	6.1	1.0
	70歳以上 (n=336)	79.2	30.1	51.8	50.6	40.8	29.2	31.8	38.7	33.6	1.5	3.6	1.8

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 15 あなたは、かかりつけ医（すぐに相談できる一番身近な医師）がいますか。

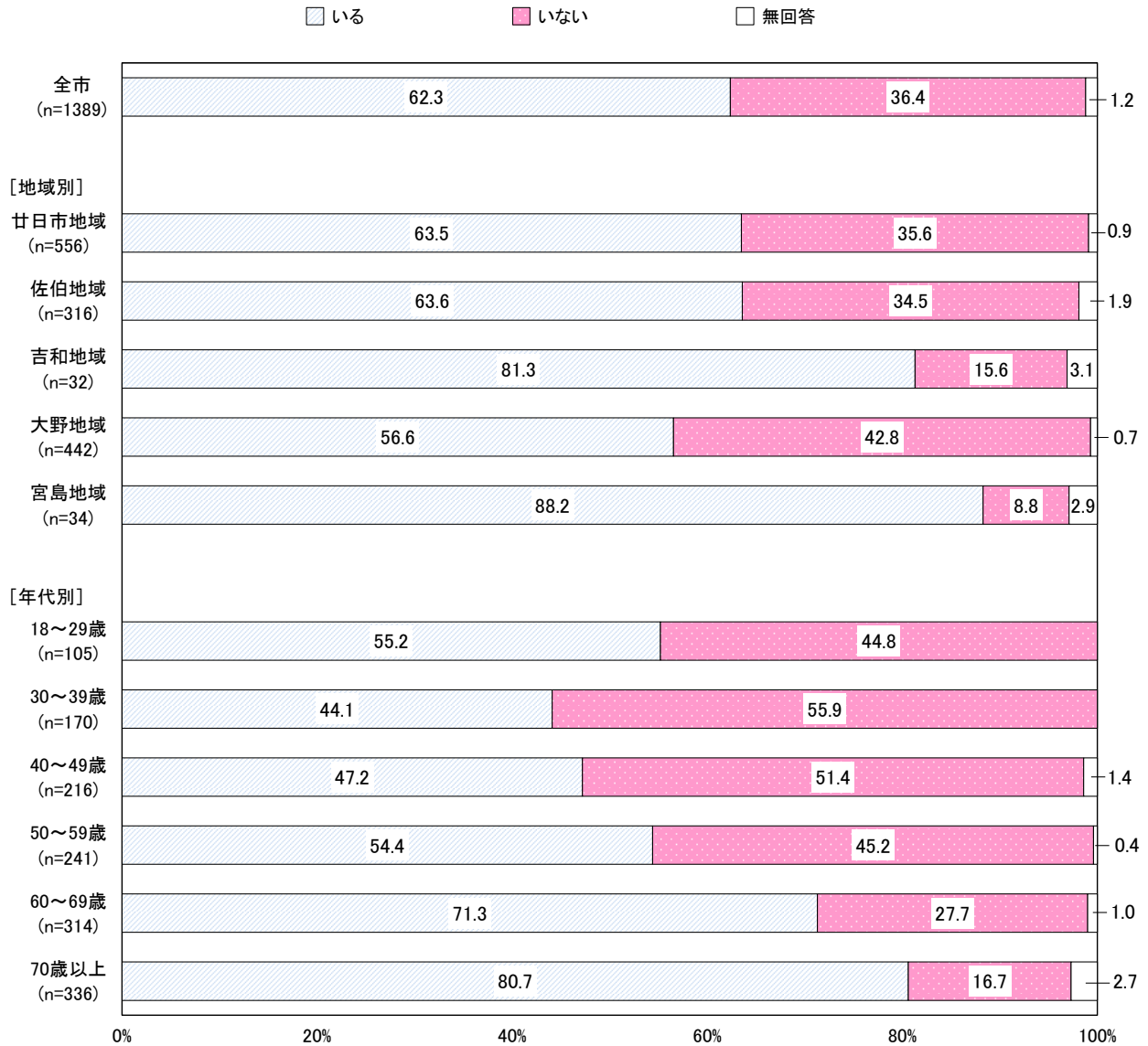
〔〇は1つ〕

〔全体〕 かかりつけ医がいるかどうかについては、「いる」（62.3%）が6割台を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は「いる」（88.2%）が「全市」より20ポイント以上高い。

〔年代別〕 「70歳以上」は「いる」（80.7%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 39 かかりつけ医の有無



問 16 あなたは、人生会議（ACP）※について知っていますか。[〇は1つ]

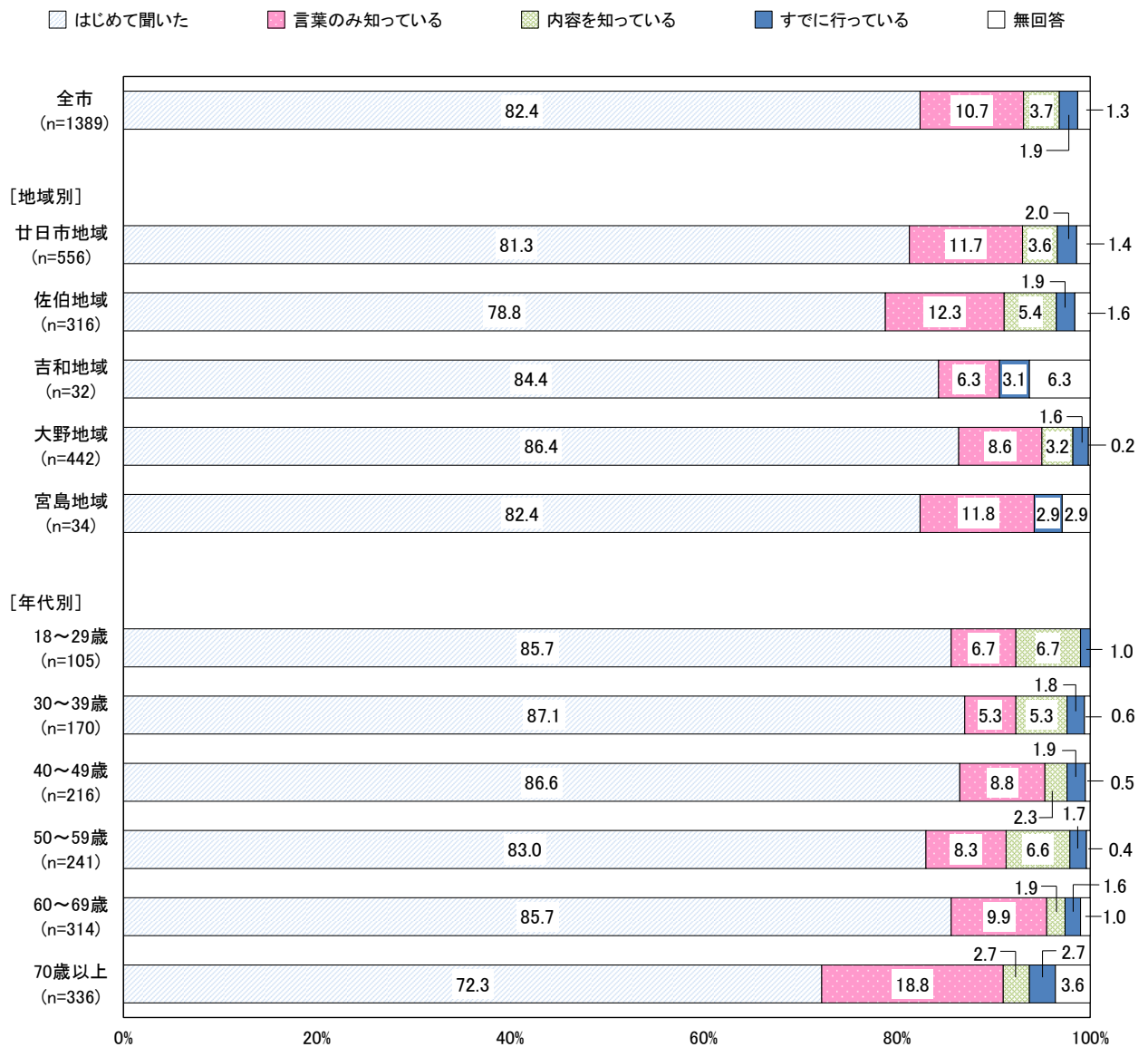
※人生会議（ACP）とは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有する取組です。

[全体] 人生会議（ACP）について知っているかどうかについては、「はじめて聞いた」（82.4%）が8割台を占める。「内容を知っている」（3.7%）と「すでに行っている」（1.9%）を合わせた割合（5.6%）は1割に満たない。

[地域別] 地域による顕著な差異は見られない。

[年代別] 「70歳以上」は「言葉のみ知っている」（18.8%）の割合が「全市」より5ポイント以上高い。

図 40 人生会議の認知度



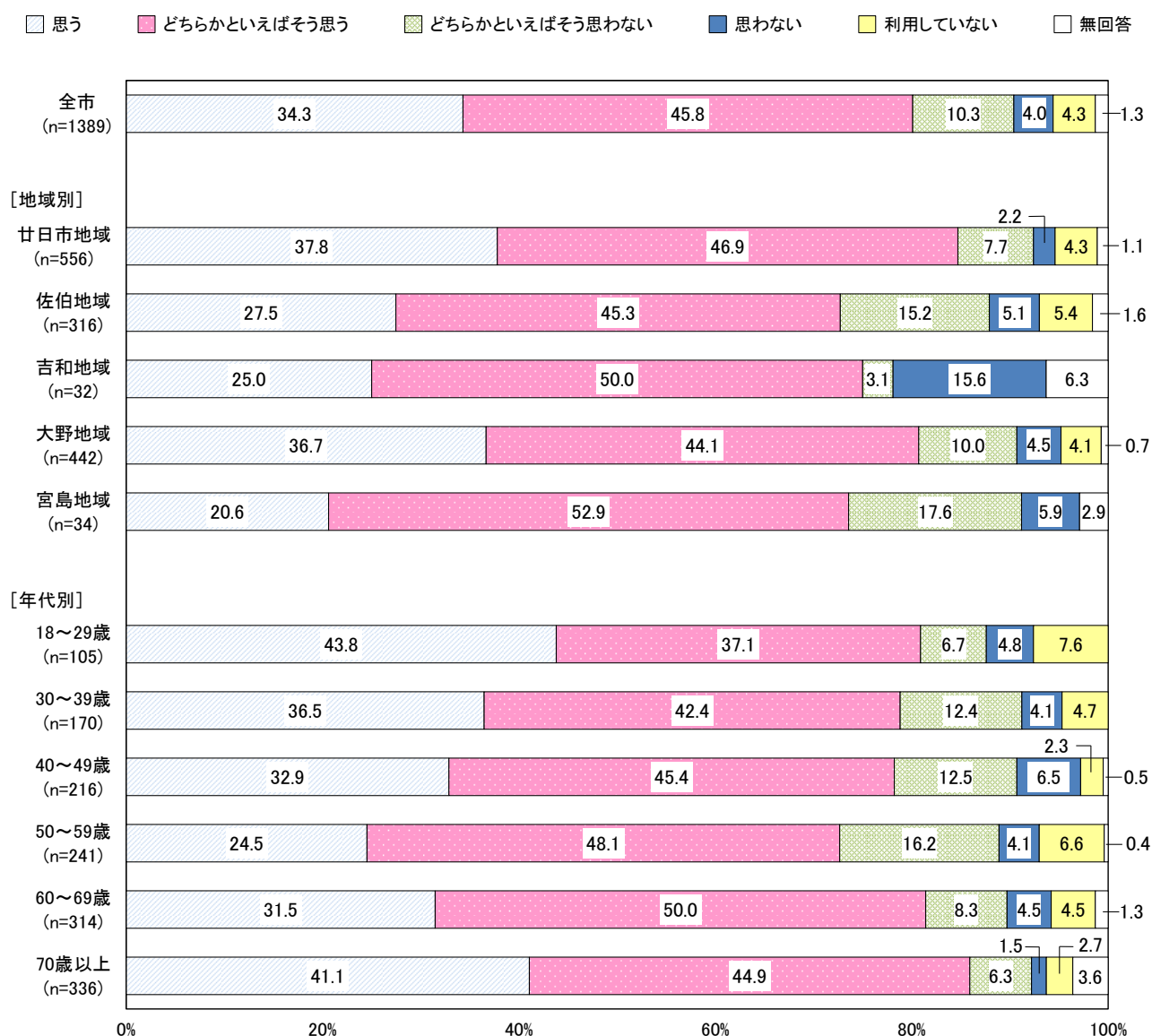
問 17 あなたは適切に医療機関を利用できる（必要なときに、適切に医療サービスの提供を受ける環境だ）と思いますか。[〇は1つ]

[全体] 適切に医療機関を利用できると感じているかどうかについては、「思う」(34.3%)と「どちらかといえばそう思う」(45.8%)を合わせると約8割(80.1%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「思わない」(15.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「思う」(41.1%)と「どちらかといえばそう思う」(44.9%)を合わせた割合(86.0%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 41 適切に医療機関を利用できるか



【「どちらかといえばそう思わない」または「思わない」を選んだ方】

■「どちらかといえばそう思わない」または「思わない」を選んだ理由【〇は1つ】

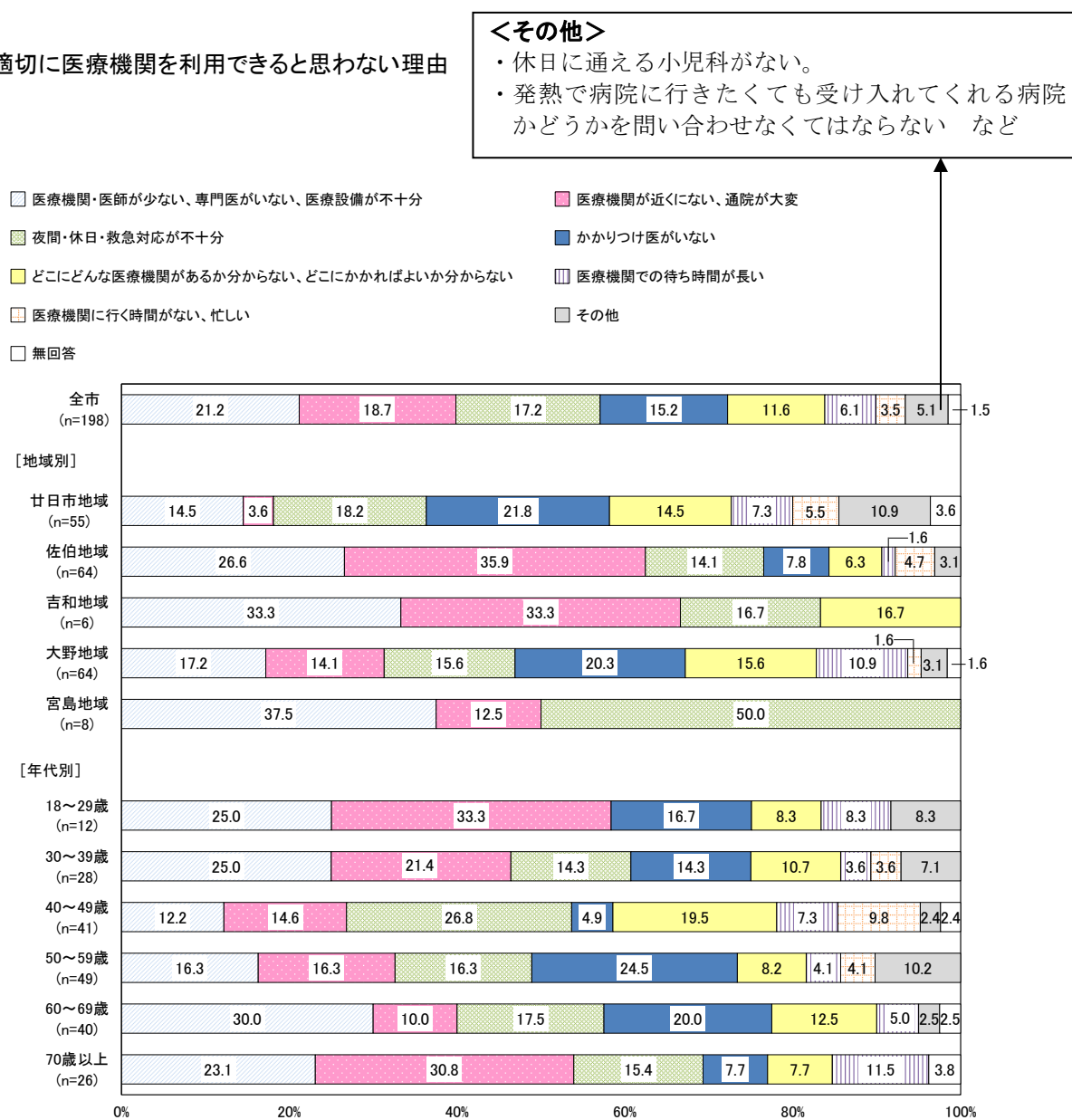
【全体】 「どちらかというと思わない」または「思わない」を選んだ理由（適切に医療機関を利用できると思わない理由）については、「医療機関・医師が少ない、専門医がない、医療設備が不十分」（21.2%）が最も多く、「医療機関が近くにない、通院が大変」（18.7%）がそれに次ぐ。

【地域別】 「佐伯地域」は「医療機関が近くにない、通院が大変」（35.9%）が「全市」より10ポイント以上高い。

※サンプル数が10未満の地域は分析の対象としていない。

【年代別】 「18～29歳」と「70歳以上」は「医療機関が近くにない、通院が大変」（18～29歳：33.3%、70歳以上：30.8%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 42 適切に医療機関を利用できると思わない理由



4. 生活環境について

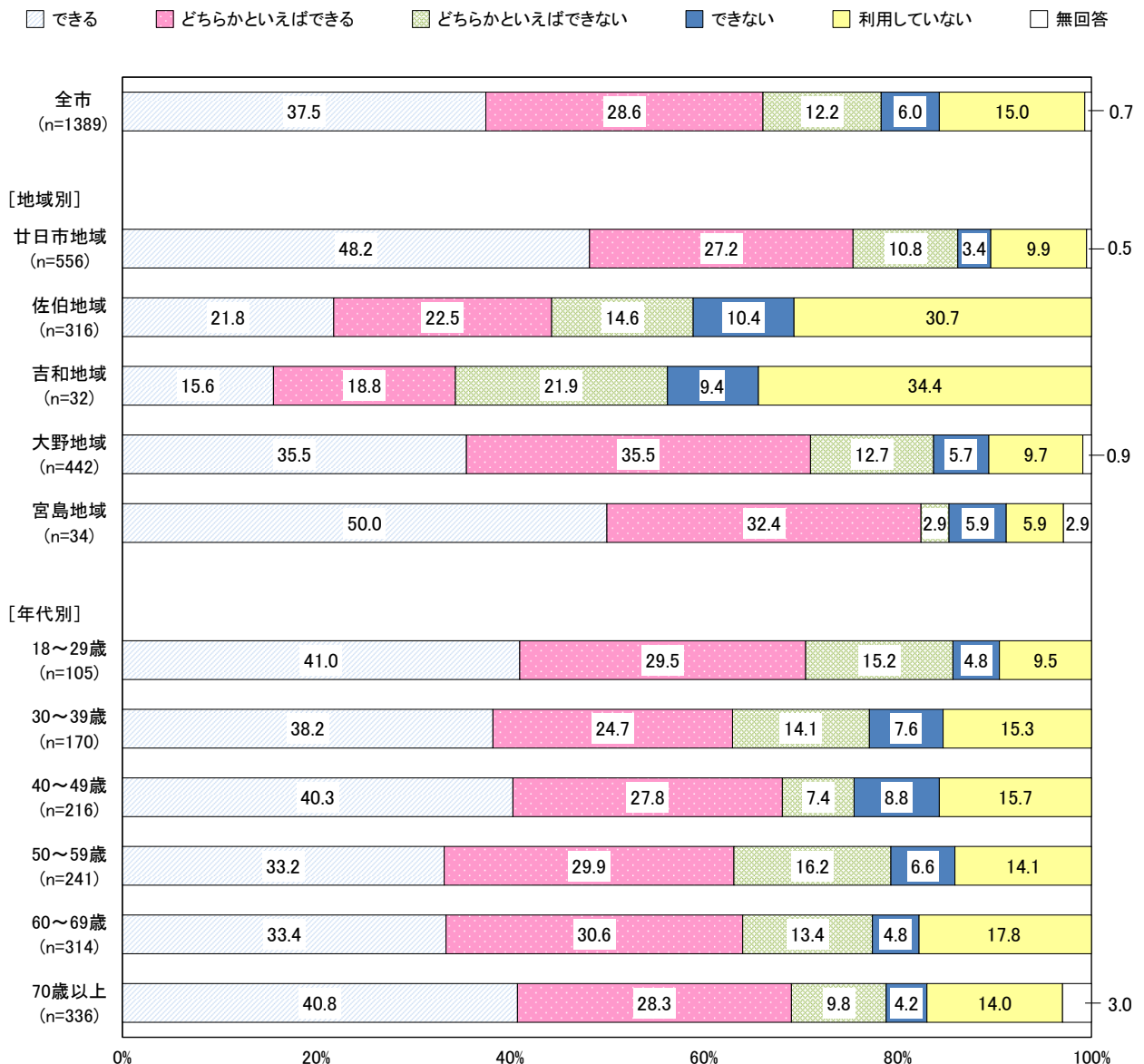
問 18 あなたは、廿日市市内の公共交通機関（JR、広電、バス、航路、タクシー）で安全、快適、円滑に目的地まで移動できますか。[〇は1つ]

[全体] 廿日市市内の公共交通機関（JR、広電、バス、航路、タクシー）で安全、快適、円滑に目的地まで移動できるかどうかについては、「できる」(37.5%)と「どちらかといえはできる」(28.6%)を合わせると6割台(66.1%)を占める。

[地域別] 「できる」と「どちらかといえはできる」を合わせた割合が最も高いのは「宮島地域」(82.4%)で、以下、「廿日市地域」(75.4%)、「大野地域」(71.0%)、「佐伯地域」(44.3%)、「吉和地域」(34.4%)と続く。

[年代別] 「できる」と「どちらかといえはできる」を合わせた割合が最も高いのは「18～29歳」(70.5%)で、以下、「70歳以上」(69.1%)、「40～49歳」(68.1%)、「60～69歳」(64.0%)、「50～59歳」(63.1%)、「30～39歳」(62.9%)と続く。

図 43 市内公共交通機関による移動

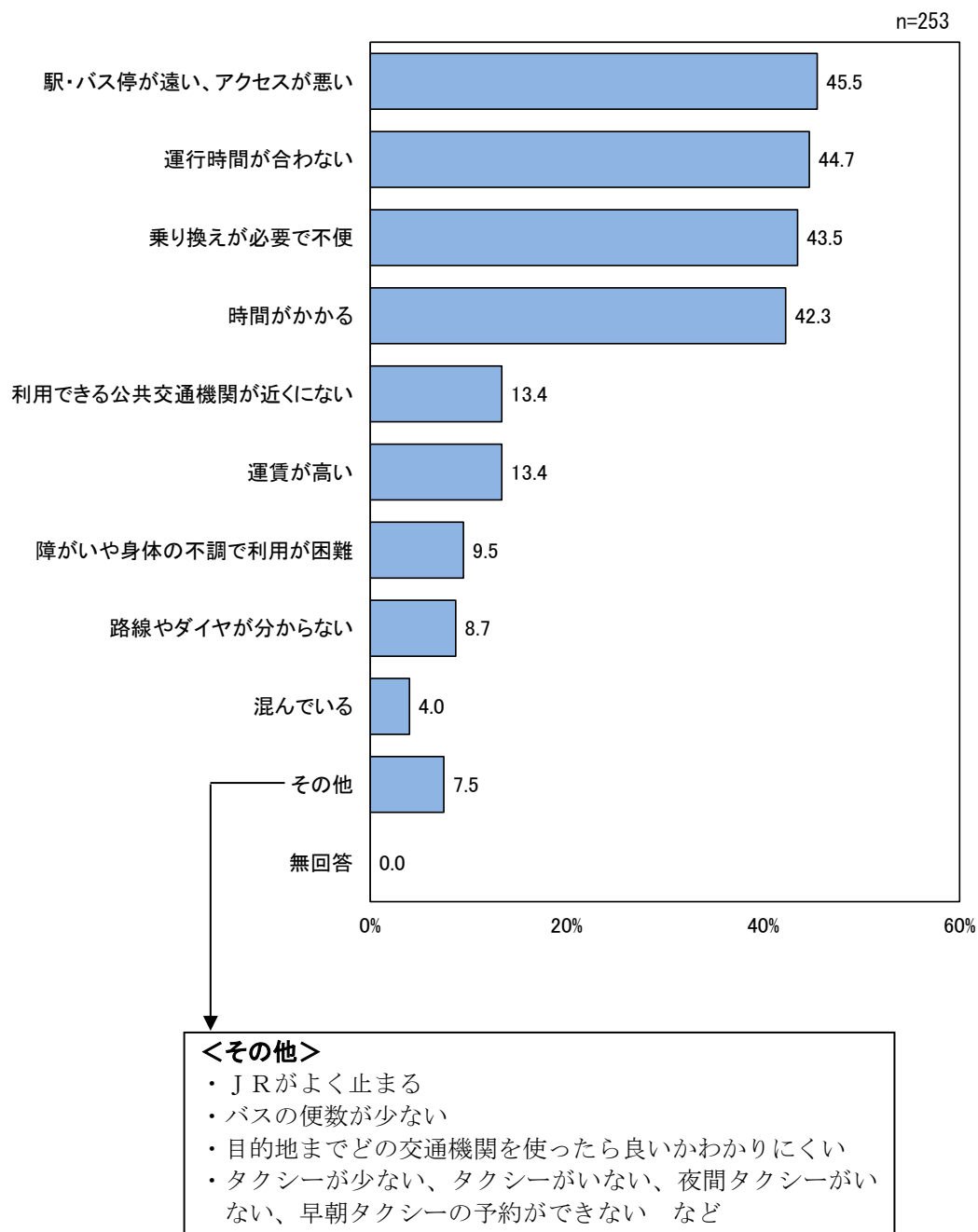


【「どちらかといえばできない」または「できない」を選んだ方】

■「どちらかといえばできない」または「できない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかといえばできない」または「できない」を選んだ理由（市内の公共交通機関で安全、快適、円滑に目的地まで移動できない理由）については、「駅・バス停が遠い、アクセスが悪い」（45.5%）が最も多く、以下、「運行時間が合わない」（44.7%）、「乗り換えが必要で不便」（43.5%）、「時間がかかる」（42.3%）と続く。

図 44 市内公共交通機関で安全、快適、円滑に目的地まで移動できない理由



[地域別] 「吉和地域」は「乗り換えが必要で不便」(90.0%)が「全市」より40ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「運行時間が合わない」(66.7%)が「全市」より20ポイント以上高い。

表9 市内公共交通機関で安全、快適、円滑に目的地まで移動できない理由

(単位:%)

項目		駅・バス停が遠い、アクセスが悪い	運行時間が合わない	乗り換えが必要で不便	時間がかかる	利用できる公共交通機関が近くにない	運賃が高い	障がいや身体の不調で利用が困難	路線やダイヤが分からない	混んでいる	その他	無回答
全市 (n=253)		45.5	44.7	43.5	42.3	13.4	13.4	9.5	8.7	4.0	7.5	-
地域別	廿日市地域 (n=79)	48.1	48.1	39.2	41.8	11.4	12.7	15.2	6.3	6.3	7.6	-
	佐伯地域 (n=79)	48.1	48.1	53.2	45.6	16.5	24.1	3.8	2.5	-	2.5	-
	吉和地域 (n=10)	30.0	30.0	90.0	30.0	-	-	10.0	20.0	10.0	-	-
	大野地域 (n=81)	43.2	42.0	33.3	42.0	14.8	4.9	8.6	16.0	2.5	13.6	-
	宮島地域 (n=3)	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	66.7	-	-
年代別	18～29歳 (n=21)	23.8	66.7	33.3	57.1	4.8	14.3	-	14.3	-	9.5	-
	30～39歳 (n=37)	48.6	48.6	32.4	37.8	8.1	13.5	5.4	8.1	10.8	5.4	-
	40～49歳 (n=35)	45.7	40.0	37.1	42.9	11.4	11.4	5.7	11.4	2.9	8.6	-
	50～59歳 (n=55)	45.5	56.4	40.0	41.8	16.4	14.5	5.5	3.6	5.5	12.7	-
	60～69歳 (n=57)	52.6	38.6	50.9	42.1	15.8	12.3	7.0	10.5	1.8	5.3	-
	70歳以上 (n=47)	42.6	29.8	55.3	38.3	17.0	14.9	27.7	8.5	2.1	4.3	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

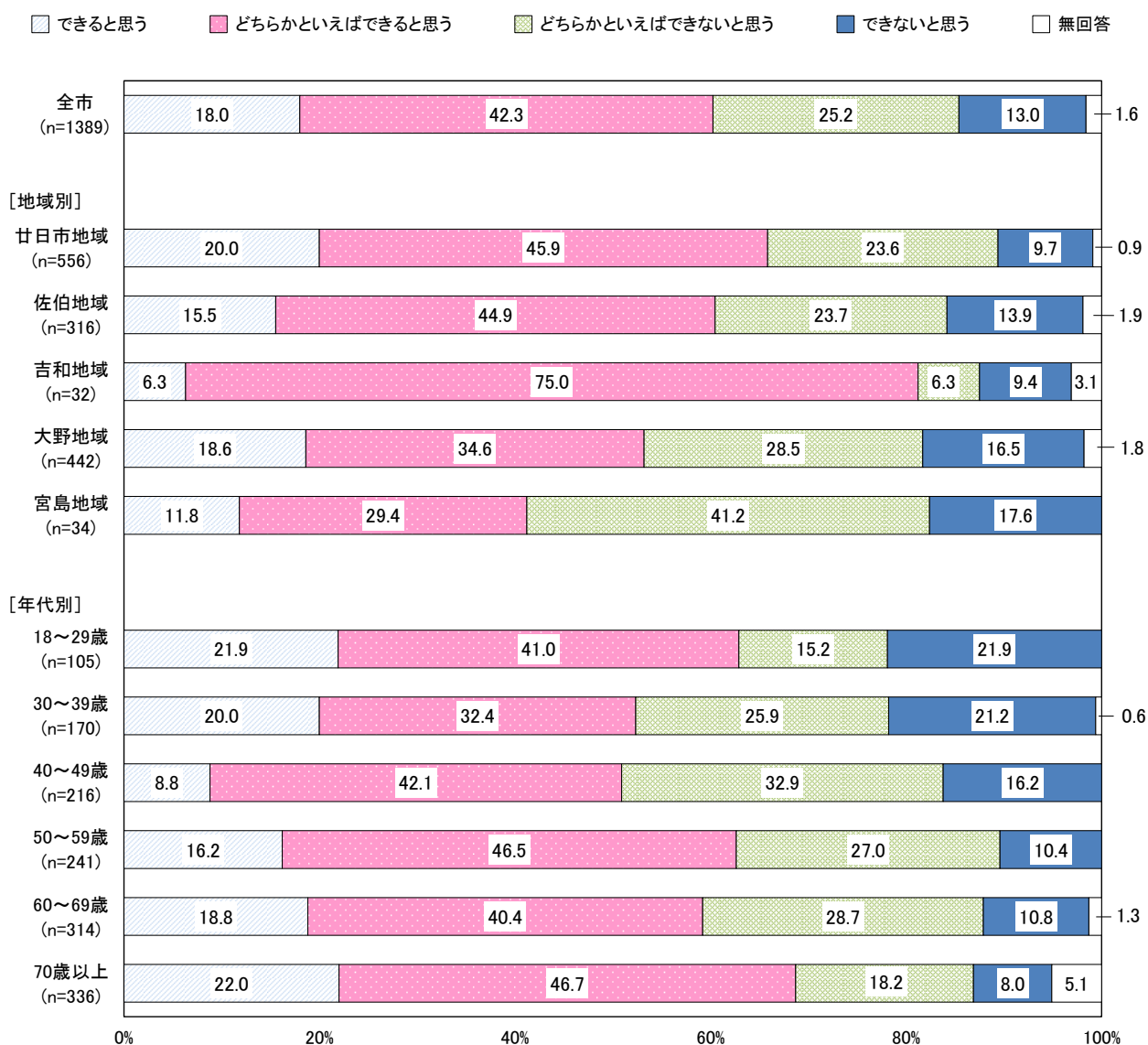
問 19 あなたは、都市間（広島市や大竹市と廿日市市）の移動が、自動車やバスで、渋滞なく円滑にできると思いますか。[〇は1つ]

[全体] 都市間の移動が自動車やバスで渋滞なく円滑にできるかどうかについては、「できると思う」(18.0%)と「どちらかといえばできると思う」(42.3%)を合わせると約6割(60.3%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「できると思う」と「どちらかといえばできると思う」を合わせた割合(81.3%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「できると思う」と「どちらかといえばできると思う」を合わせた割合(68.7%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 45 都市間移動



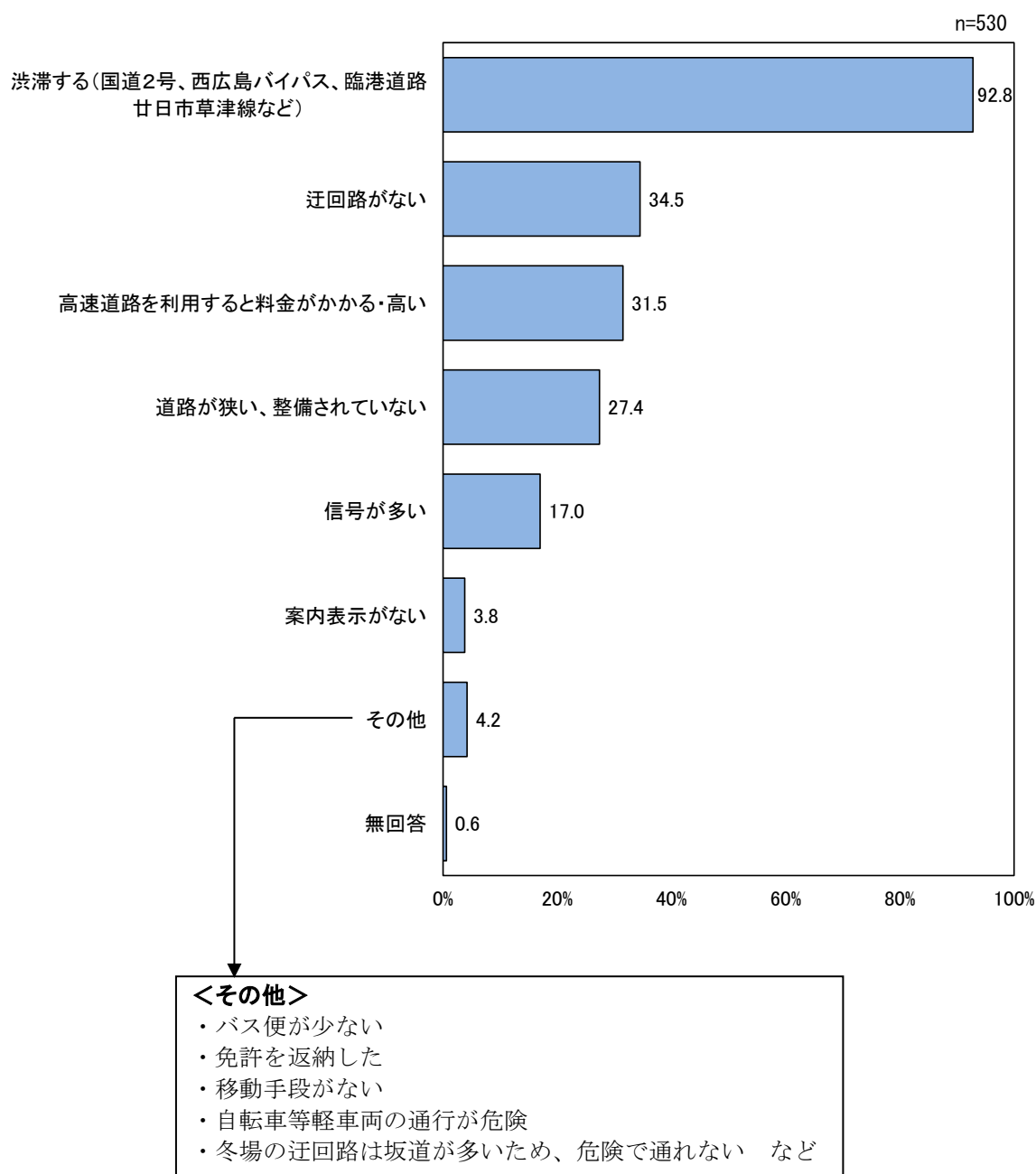
[「どちらかといえばできないと思う」または「できないと思う」を選んだ方]

■「どちらかといえばできないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由

[〇は3つまで]

[全体] 「どちらかといえばできないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由（都市間の移動が自動車やバスで渋滞なく円滑にできないと思う理由）については、「渋滞する（国道2号、西広島バイパス、臨港道路廿日市草津線など）」（92.8%）が最も多く、以下、「迂回路がない」（34.5%）、「高速道路を利用すると料金がかかる・高い」（31.5%）と続く。

図 46 都市間移動が円滑にできないと思う理由



[地域別] 「佐伯地域」は「道路が狭い、整備されていない」(38.7%)と「迂回路がない」(49.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「50～59歳」は「高速道路を利用すると料金がかかる・高い」(44.4%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 10 都市間移動が円滑にできないと思う理由

(単位:%)

項目		渋滞する(国道2号、西広島バイパス、臨港道路など)	迂回路がない	高速道路を利用すると料金がかかる・高い	道路が狭い、整備されていない	信号が多い	案内表示がない	その他	無回答
全市 (n=530)		92.8	34.5	31.5	27.4	17.0	3.8	4.2	0.6
地域別	廿日市地域 (n=185)	93.0	26.5	33.0	22.2	17.8	6.5	3.8	1.1
	佐伯地域 (n=119)	85.7	49.6	27.7	38.7	12.6	1.7	4.2	-
	吉和地域 (n=5)	60.0	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-
	大野地域 (n=199)	98.0	33.7	35.2	24.6	19.1	3.0	3.0	-
	宮島地域 (n=20)	90.0	25.0	10.0	35.0	20.0	-	10.0	5.0
年代別	18～29歳 (n=39)	94.9	41.0	25.6	35.9	23.1	5.1	5.1	-
	30～39歳 (n=80)	95.0	33.8	30.0	30.0	13.8	1.3	3.8	-
	40～49歳 (n=106)	96.2	30.2	23.6	31.1	15.1	2.8	1.9	-
	50～59歳 (n=90)	93.3	31.1	44.4	28.9	21.1	4.4	1.1	-
	60～69歳 (n=124)	95.2	42.7	32.3	20.2	16.9	4.0	5.6	0.8
	70歳以上 (n=88)	81.8	29.5	30.7	25.0	15.9	4.5	8.0	2.3

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 20 あなたは、地域間（「地域」とは、廿日市、佐伯、吉和、大野、宮島の各地域のことです）の移動が、自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできると思いますか。

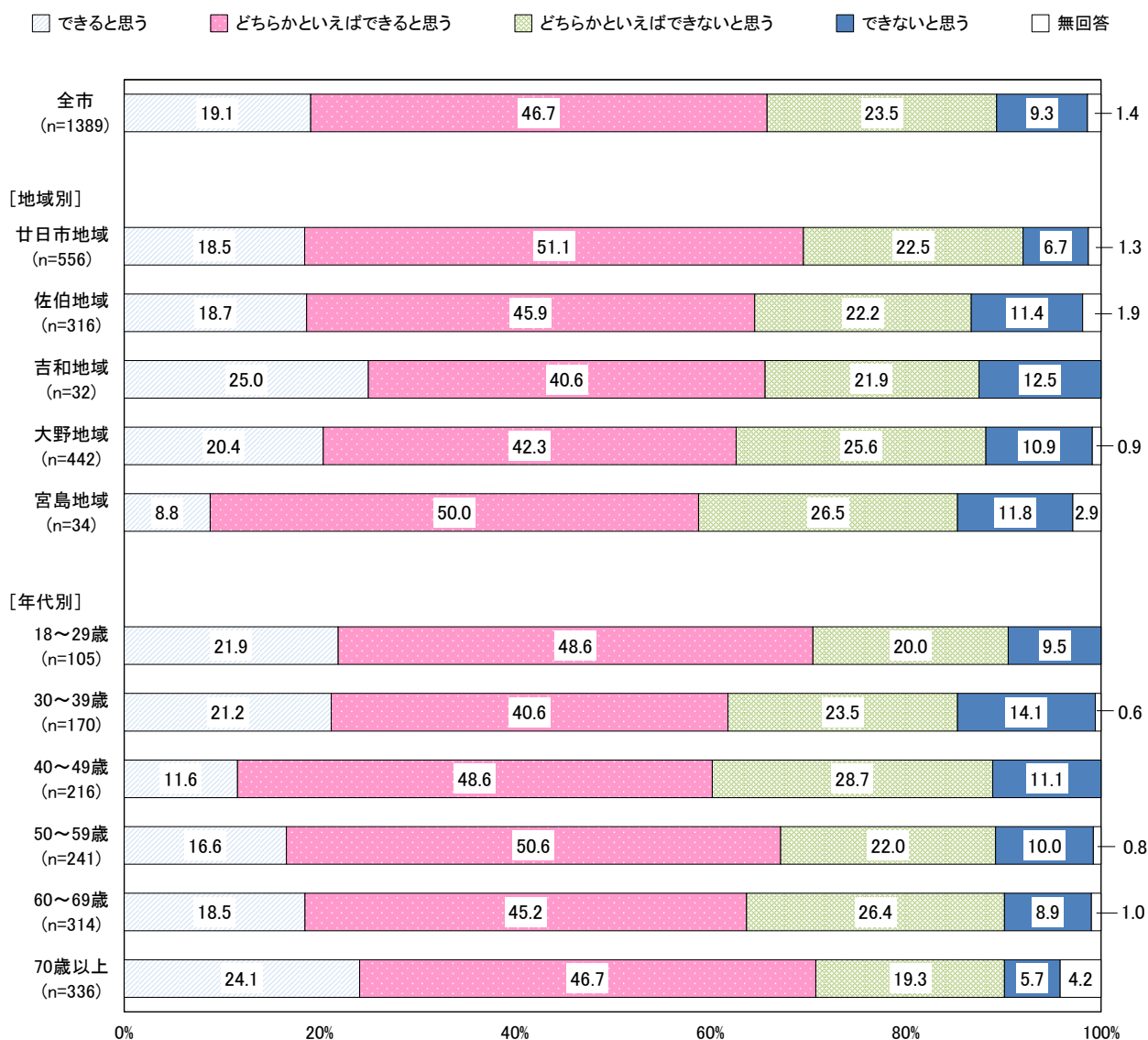
[○は1つ]

[全体] 地域間の移動が自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできるかどうかについては、「できると思う」(19.1%)と「どちらかといえばできると思う」(46.7%)を合わせると6割台(65.8%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「できると思う」(25.0%)が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「できると思う」と「どちらかといえばできると思う」を合わせた割合(70.8%)が「全市」より5ポイント高い。

図 47 地域間の移動



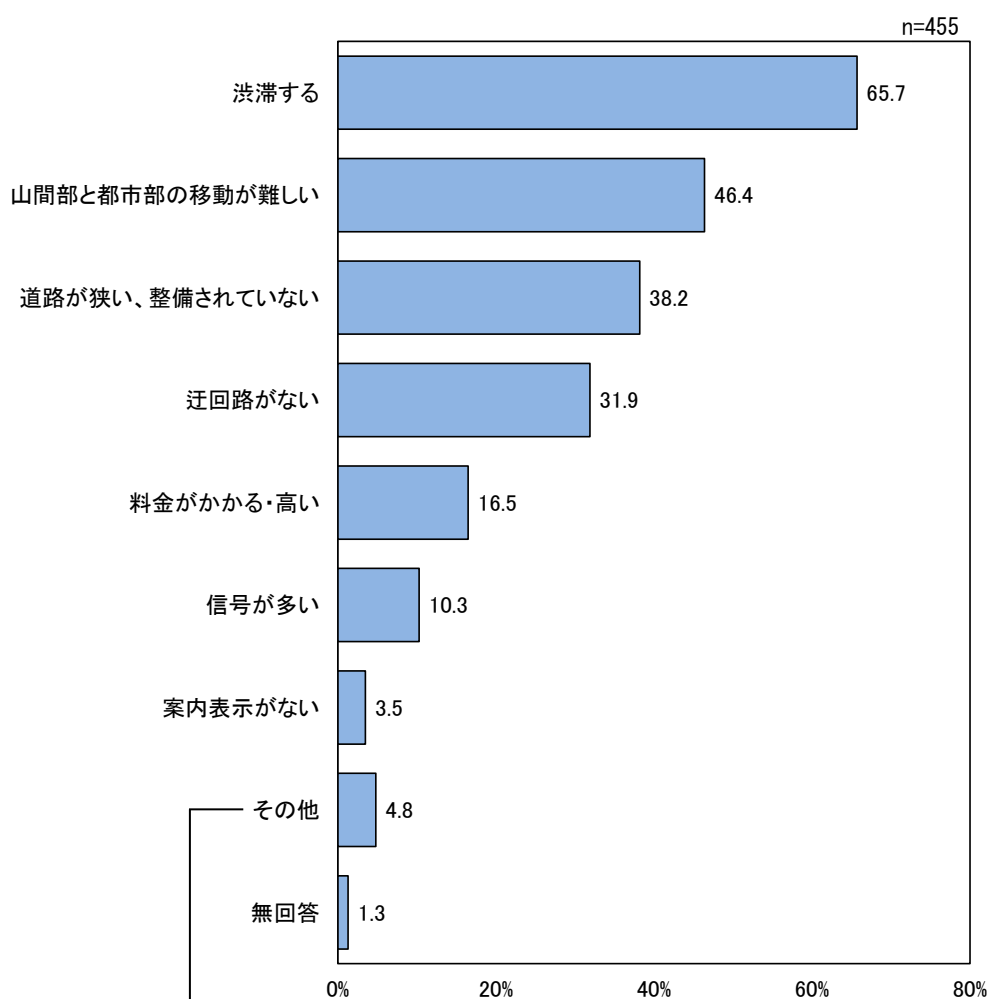
[「どちらかといえばできないと思う」または「できないと思う」を選んだ方]

■「どちらかといえばできないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由

[〇は3つまで]

[全体] 「どちらかといえばできないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由（地域間の移動が自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできないと思う理由）については、「渋滞する」（65.7%）が最も多く、以下、「山間部と都市部の移動が難しい」（46.4%）、「道路が狭い、整備されていない」（38.2%）と続く。

図 48 地域間の移動が渋滞なく円滑にできないと思う理由



<その他>

- ・オーバーツーリズム、観光客が多い
- ・時間がかかる
- ・バスの便が少ない
- ・乗り換えがわかりにくい
- ・廿日市から大野や宮浜温泉側に行くのは大変。さくらバスで乗換せずに行けたり、乗換料金不要で行けると良いと思う。 など

[地域別] 「佐伯地域」は「迂回路がない」(54.7%)が、「吉和地域」は「山間部と都市部の移動が難しい」(72.7%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 18～39歳は「渋滞する」(18～29歳：77.4%、30～39歳：79.7%)が、「50～59歳」は「山間部と都市部の移動が難しい」(57.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 11 地域間の移動が渋滞なく円滑にできないと思う理由

(単位：%)

項目		渋滞する	山間部と都市部の移動が難しい	道路が狭い、整備されていない	迂回路がない	料金がかかる・高い	信号が多い	案内表示がない	その他	無回答
全市 (n=455)		65.7	46.4	38.2	31.9	16.5	10.3	3.5	4.8	1.3
地域別	廿日市地域 (n=162)	65.4	46.9	36.4	23.5	17.3	11.1	6.8	4.3	1.2
	佐伯地域 (n=106)	46.2	66.0	44.3	54.7	18.9	4.7	1.9	2.8	0.9
	吉和地域 (n=11)	27.3	72.7	-	-	27.3	-	-	18.2	9.1
	大野地域 (n=161)	82.0	32.9	39.8	28.0	13.7	13.0	1.9	5.6	0.6
	宮島地域 (n=13)	61.5	23.1	23.1	23.1	15.4	23.1	-	7.7	7.7
年代別	18～29歳 (n=31)	77.4	35.5	38.7	19.4	16.1	12.9	6.5	3.2	-
	30～39歳 (n=64)	79.7	42.2	34.4	32.8	12.5	7.8	1.6	3.1	-
	40～49歳 (n=86)	67.4	40.7	43.0	36.0	14.0	5.8	2.3	3.5	-
	50～59歳 (n=77)	57.1	57.1	42.9	32.5	14.3	9.1	2.6	5.2	-
	60～69歳 (n=111)	67.6	47.7	36.0	37.8	14.4	11.7	5.4	5.4	-
	70歳以上 (n=84)	54.8	47.6	34.5	23.8	26.2	15.5	3.6	7.1	7.1

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

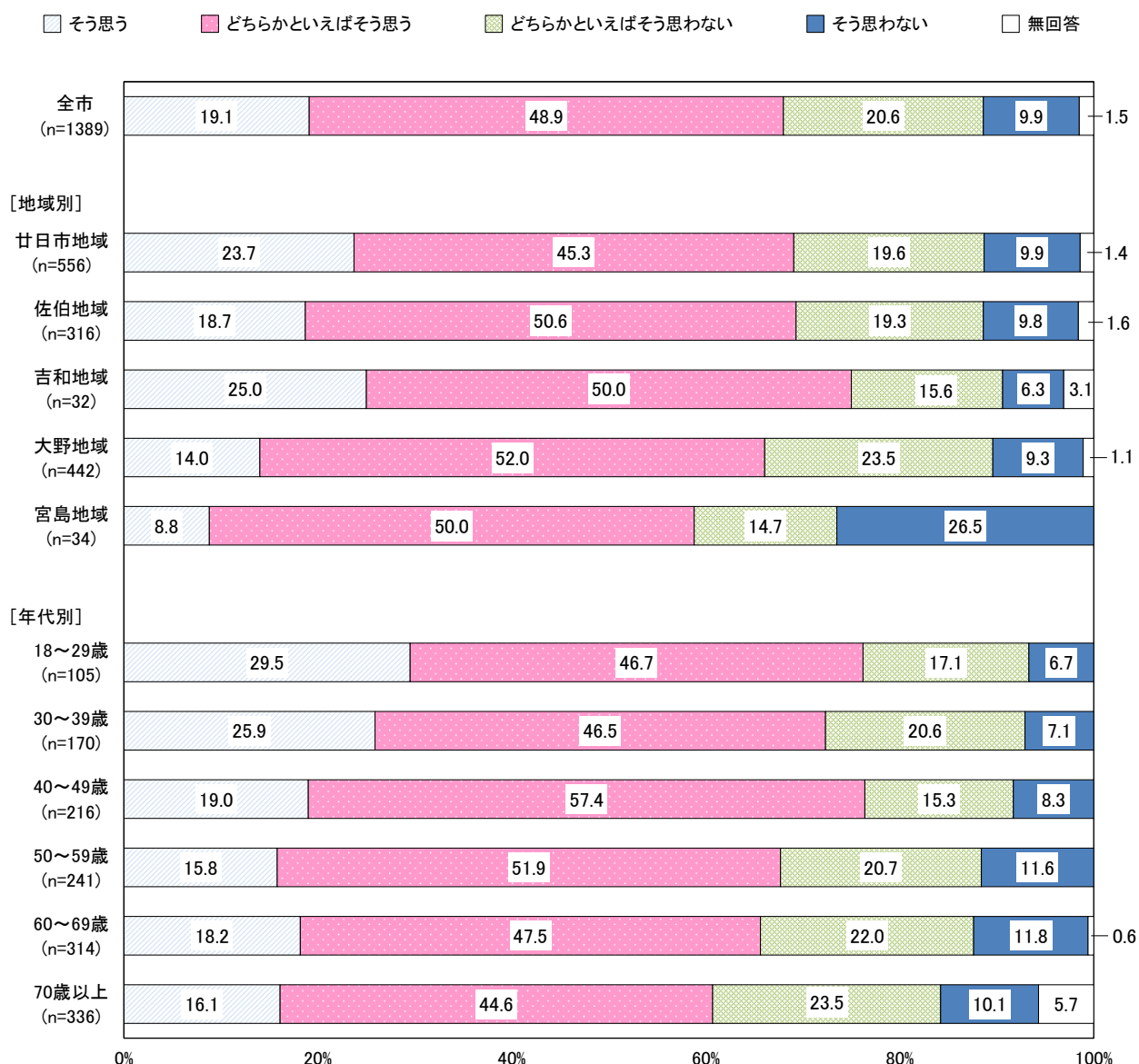
問 21 あなたは、JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思うかどうかについては、「そう思う」(19.1%)と「どちらかといえばそう思う」(48.9%)を合わせると6割台(68.0%)を占める。

[地域別] 「宮島地域」は、「そう思わない」(26.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は、「そう思う」(29.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 49 JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が市の中心地としてふさわしいと思うか

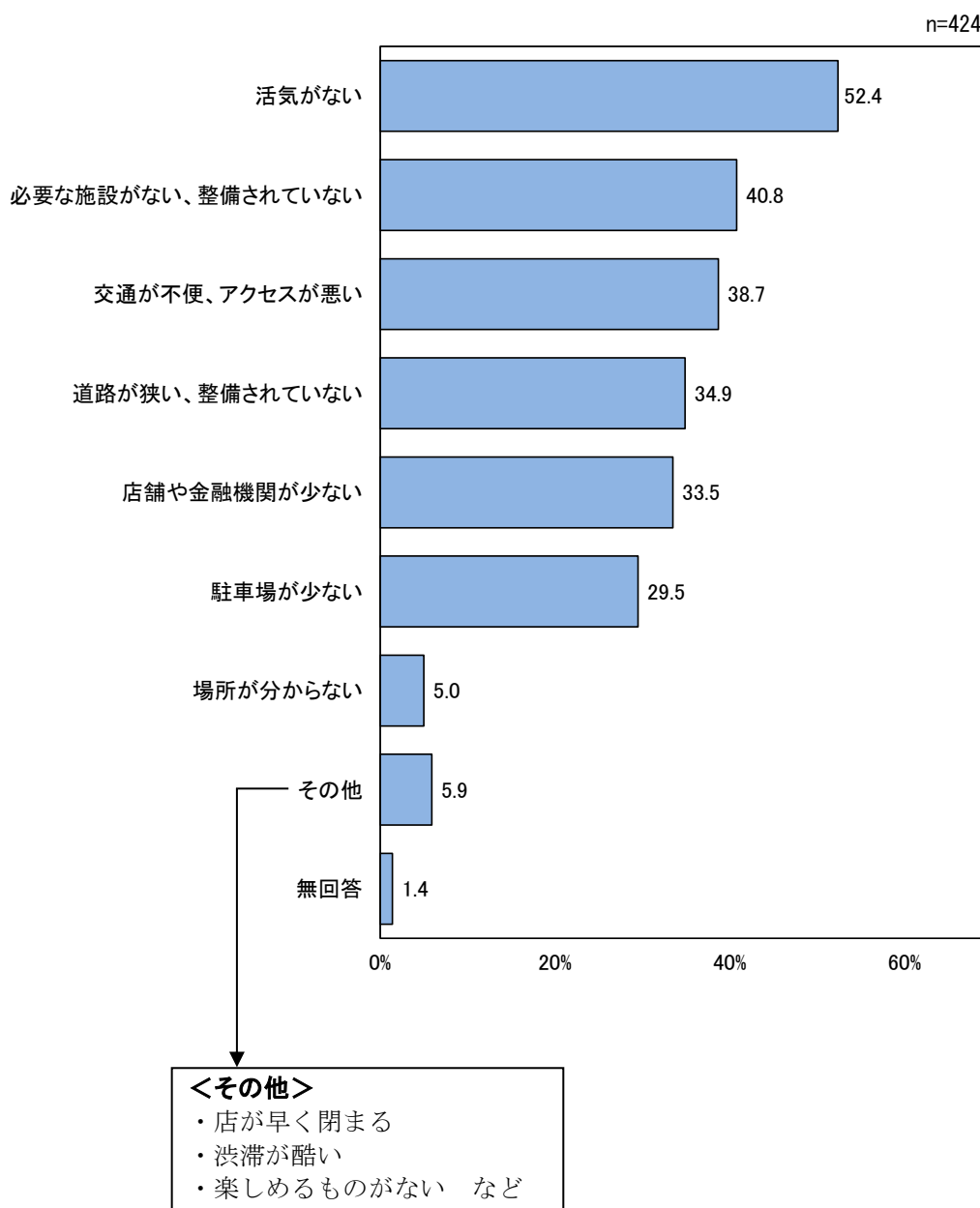


【「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由[〇は3つまで]

[全体] 「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思わない理由）については、「活気がない」（52.4%）が最も多く、以下、「必要な施設がない、整備されていない」（40.8%）、「交通が不便、アクセスが悪い」（38.7%）、「道路が狭い、整備されていない」（34.9%）と続く。

図 50 JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が市の中心地としてふさわしいと思わない理由



[地域別] 「佐伯地域」は「駐車場が少ない」(40.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「30～39歳」は「駐車場が少ない」(40.4%)が、「50～59歳」は「活気がない」(62.8%)が、「70歳以上」は「交通が不便、アクセスが悪い」(48.7%)と「道路が狭い、整備されていない」(45.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 12 JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が市の中心地としてふさわしいと思わない理由

(単位:%)

項目		活気がない	必要な施設がない、整備されていない	交通が不便、アクセスが悪い	道路が狭い、整備されていない	店舗や金融機関が少ない	駐車場が少ない	場所が分らない	その他	無回答
全市 (n=424)		52.4	40.8	38.7	34.9	33.5	29.5	5.0	5.9	1.4
地域別	廿日市地域 (n=164)	57.9	45.7	32.9	36.0	39.0	29.3	3.0	5.5	1.2
	佐伯地域 (n=92)	35.9	34.8	38.0	38.0	26.1	40.2	9.8	8.7	2.2
	吉和地域 (n=7)	14.3	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	14.3	-	14.3
	大野地域 (n=145)	57.9	37.9	47.6	30.3	31.0	22.8	4.1	4.8	0.7
	宮島地域 (n=14)	57.1	50.0	14.3	42.9	42.9	21.4	-	7.1	-
年代別	18～29歳 (n=25)	44.0	36.0	44.0	8.0	32.0	12.0	4.0	12.0	-
	30～39歳 (n=47)	55.3	42.6	34.0	23.4	36.2	40.4	4.3	4.3	-
	40～49歳 (n=51)	60.8	45.1	25.5	31.4	35.3	25.5	2.0	5.9	-
	50～59歳 (n=78)	62.8	44.9	42.3	28.2	32.1	24.4	1.3	6.4	-
	60～69歳 (n=106)	43.4	40.6	33.0	41.5	34.9	32.1	6.6	4.7	2.8
	70歳以上 (n=113)	50.4	37.2	48.7	45.1	30.1	31.0	7.1	6.2	2.7

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

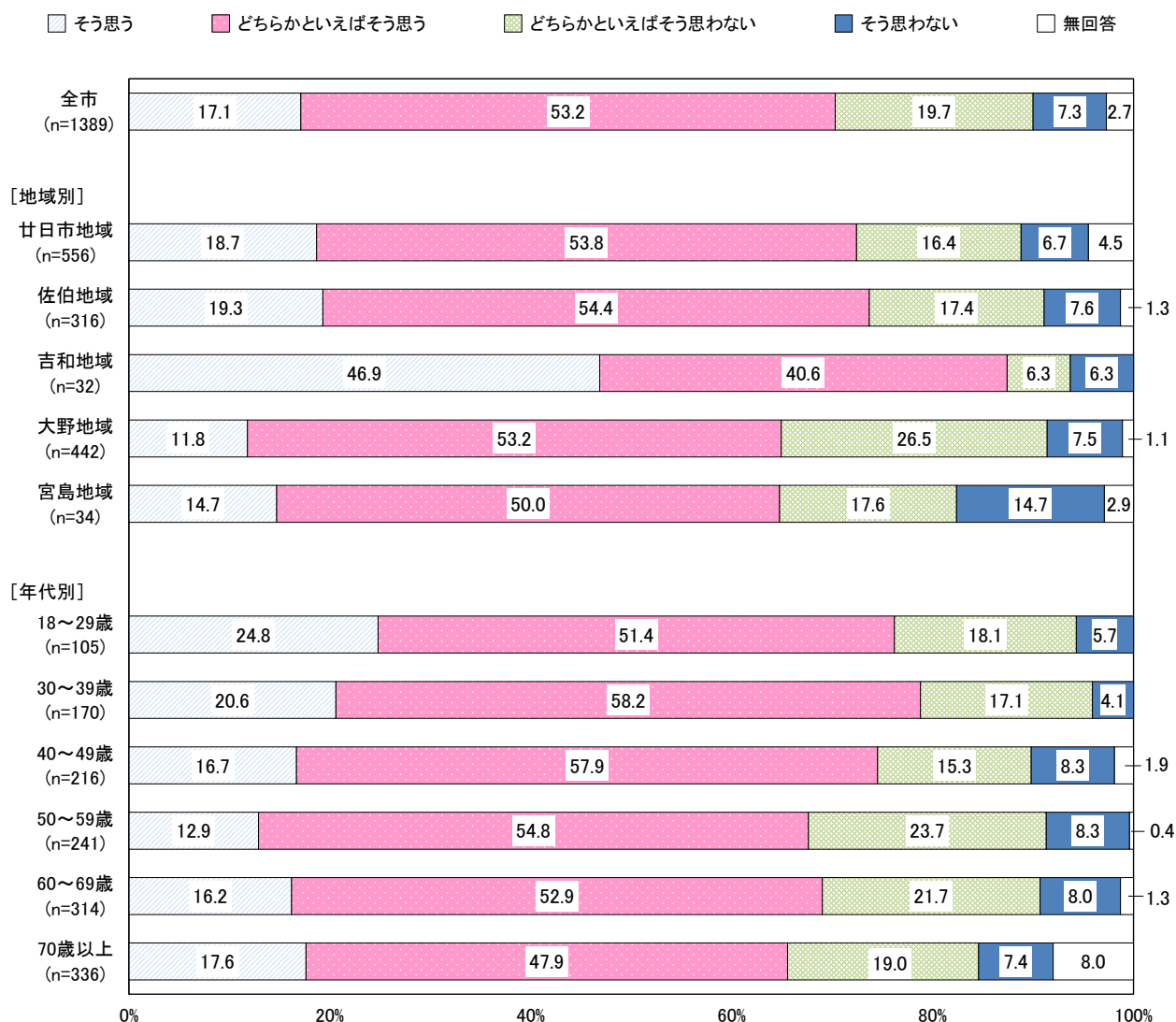
問 22 あなたは、支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思いますか。

[全体] 支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思うかどうかについては、「そう思う」(17.1%)と「どちらかといえばそう思う」(53.2%)を合わせると約7割(70.3%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「そう思う」(46.9%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 18～39歳は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合(18～29歳：76.2%、30～39歳：78.8%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 51 支所周辺が地域の中心としてふさわしいと思うか

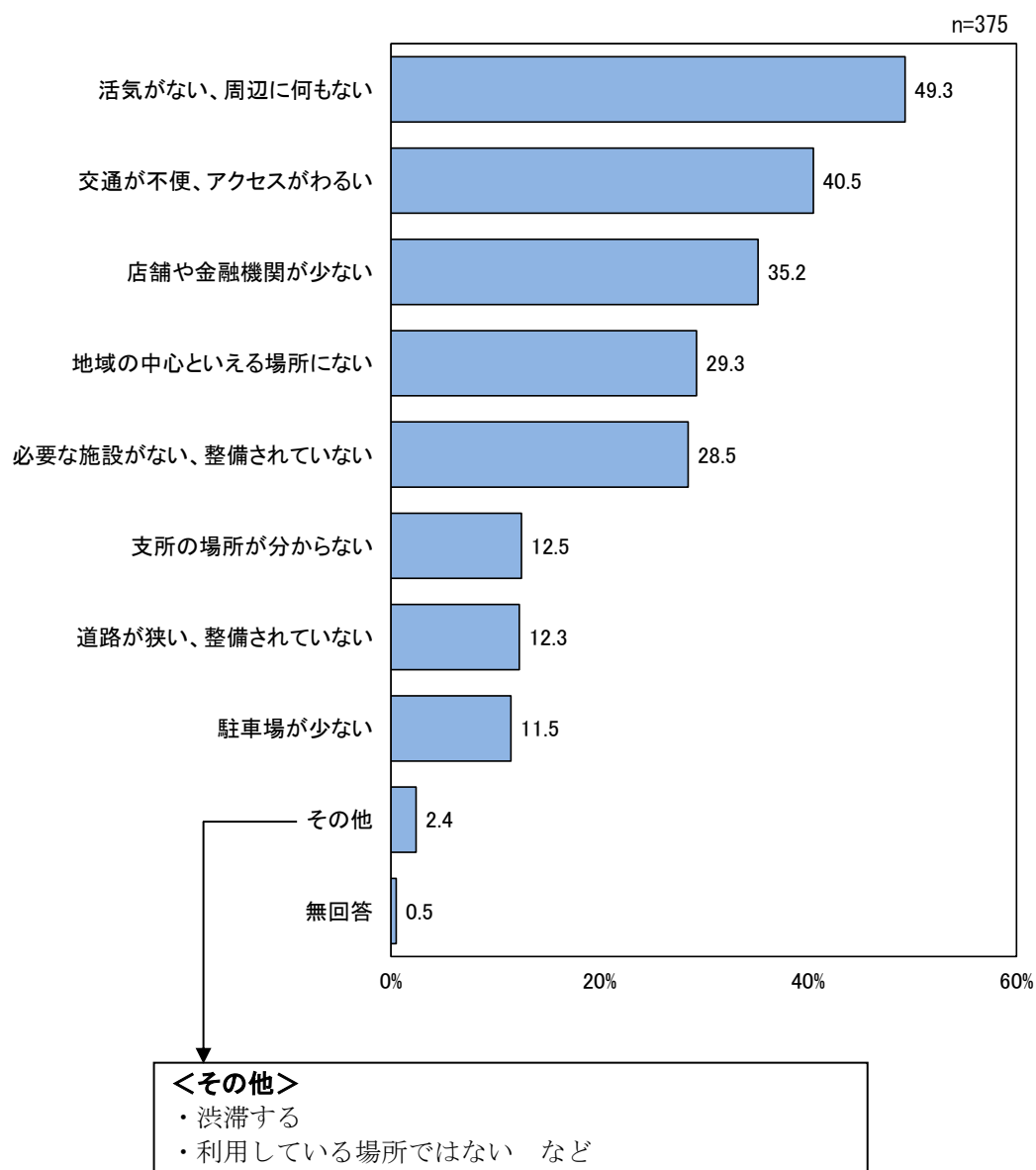


【「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思わない理由）については、「活気がない、周辺に何も無い」（49.3%）が最も多く、以下、「交通が不便、アクセスがわるい」（40.5%）、
「店舗や金融機関が少ない」（35.2%）と続く。

図 52 支所周辺が地域の中心としてふさわしいと思わない理由



[地域別] 「廿日市地域」は「支所の場所が分からない」(28.1%)が、「大野地域」は「交通が不便、アクセスがわるい」(51.3%)が、「宮島地域」は「地域の中心といえる場所がない」(54.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「必要な施設がない、整備されていない」(40.0%)と「道路が狭い、整備されていない」(24.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 13 支所周辺が地域の中心としてふさわしいと思わない理由

(単位:%)

項目	活気がない、周辺に何もありません	交通が不便、アクセスがわるい	店舗や金融機関が少ない	地域の中心といえる場所がない	必要な施設がない、整備されていない	支所の場所が分からない	道路が狭い、整備されていない	駐車場が少ない	その他	無回答	
全市 (n=375)	49.3	40.5	35.2	29.3	28.5	12.5	12.3	11.5	2.4	0.5	
地域別	廿日市地域 (n=128)	44.5	31.3	25.0	20.3	28.9	28.1	17.2	14.8	1.6	-
	佐伯地域 (n=79)	54.4	39.2	36.7	36.7	25.3	5.1	13.9	15.2	3.8	1.3
	吉和地域 (n=4)	25.0	50.0	-	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0
	大野地域 (n=150)	52.0	51.3	44.7	32.0	30.0	3.3	6.0	5.3	2.7	-
	宮島地域 (n=11)	45.5	9.1	27.3	54.5	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-
年代別	18～29歳 (n=25)	56.0	20.0	20.0	12.0	40.0	20.0	24.0	12.0	-	-
	30～39歳 (n=36)	58.3	30.6	27.8	25.0	27.8	22.2	8.3	8.3	2.8	-
	40～49歳 (n=51)	58.8	43.1	33.3	25.5	27.5	9.8	11.8	15.7	2.0	-
	50～59歳 (n=77)	48.1	35.1	31.2	27.3	26.0	14.3	9.1	10.4	3.9	-
	60～69歳 (n=93)	43.0	47.3	40.9	33.3	24.7	9.7	12.9	9.7	3.2	-
	70歳以上 (n=89)	44.9	48.3	40.4	37.1	31.5	10.1	12.4	11.2	1.1	2.2

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

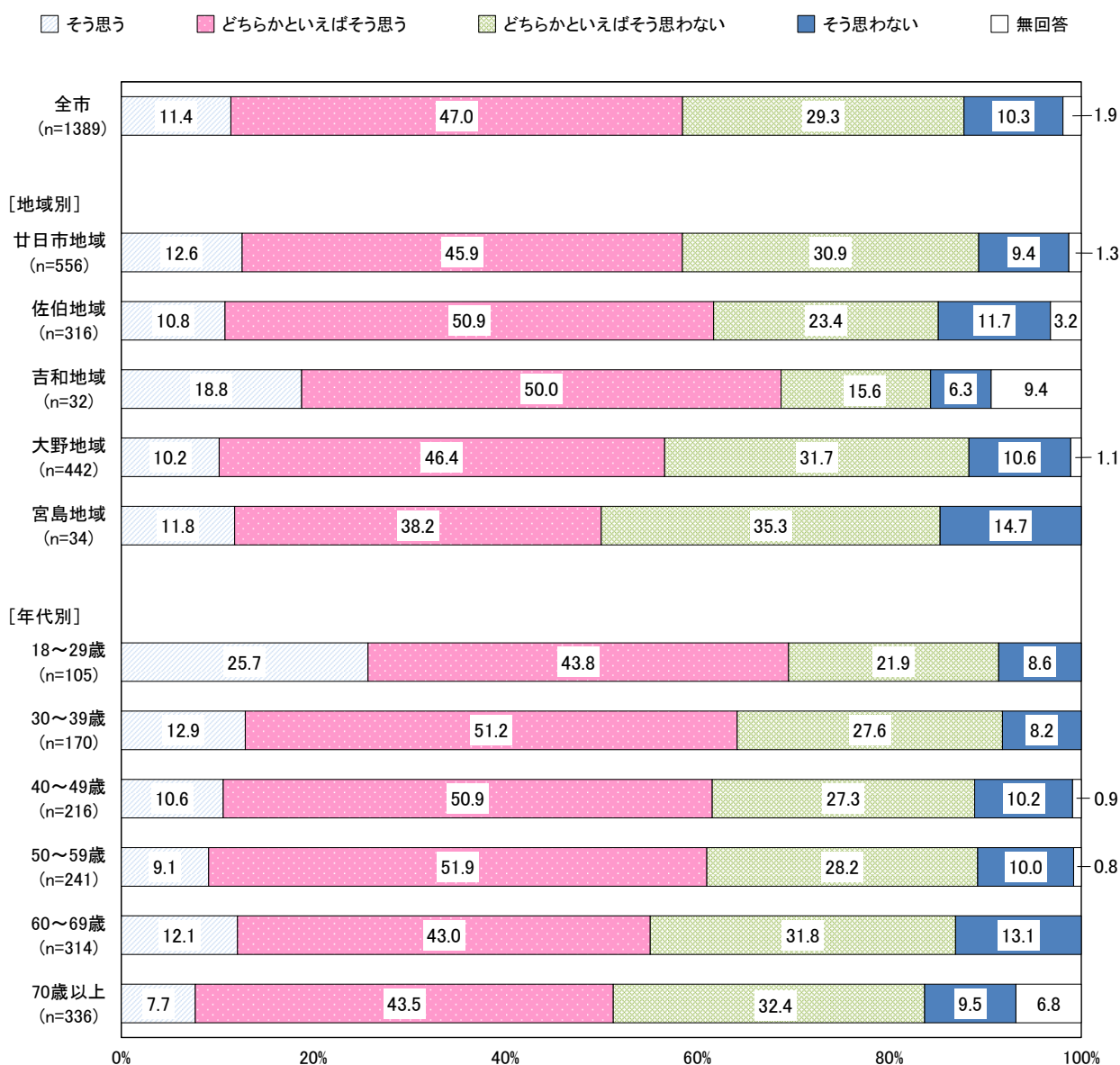
問 23 あなたは、廿日市市内の各JR駅周辺が、日常生活の利便性が高い地区だと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 廿日市市内の各JR駅周辺が、日常生活の利便性が高い地区だと思うかどうかについては、「そう思う」(11.4%)と「どちらかといえばそう思う」(47.0%)を合わせると5割台(58.4%)を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(68.8%)が最も高く、以下、「佐伯地域」(61.7%)、「廿日市地域」(58.5%)、「大野地域」(56.6%)、「宮島地域」(50.0%)と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、年齢が上がるほど低くなる傾向が見られる。

図 53 市内各JR駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思うか

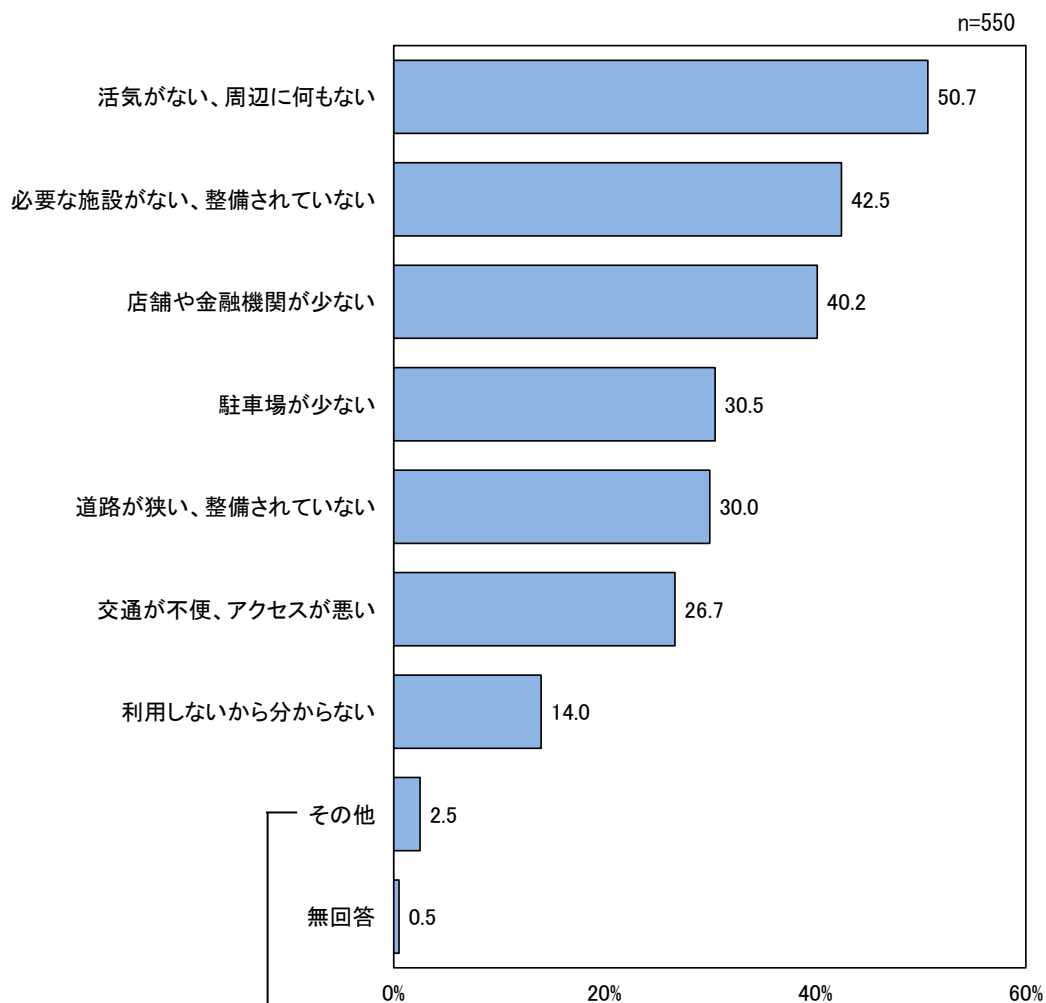


【「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（廿日市市内の各JR駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思わない理由）については、「活気がない、周辺に何も無い」（50.7%）が最も多く、以下、「必要な施設がない、整備されていない」（42.5%）、「店舗や金融機関が少ない」（40.2%）と続く。

図 54 市内各JR駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思わない理由



<その他>

- ・バスもアクセス悪いのに、駐車場の1日の料金が安い
- ・駅員がいない（ゴミなどが放置されている時がある、防犯面で不安）
- ・宮島口以外は広電の駅周辺に目的場所がある
- ・JRのシティライナーが廿日市駅に停車しない など

[地域別] 「佐伯地域」は「交通が不便、アクセスが悪い」(37.8%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「店舗や金融機関が少ない」(59.4%)が、「30～39歳」は「駐車場の少ない」(42.6%)が、「70歳以上」は「交通が不便、アクセスが悪い」(38.3%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 14 市内各JR駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思わない理由

(単位:%)

項目		活気がない、 周辺に何も ない	い 必要 な施設が ない、整 備されて いな	店 舗や金 融機 関が少 ない	駐 車場 が少 ない	道 路が 狭い、 整備 され てい ない	交 通が 不便、 アク セス が悪 い	利 用し ない から 分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
全市 (n=550)		50.7	42.5	40.2	30.5	30.0	26.7	14.0	2.5	0.5
地域別	廿日市地域 (n=224)	52.2	45.1	42.4	31.7	32.6	22.8	12.5	1.3	0.4
	佐伯地域 (n=111)	36.0	32.4	33.3	36.9	31.5	37.8	19.8	1.8	1.8
	吉和地域 (n=7)	14.3	14.3	28.6	28.6	42.9	28.6	57.1	14.3	-
	大野地域 (n=187)	58.3	47.1	44.9	26.7	24.6	24.1	10.7	4.3	-
	宮島地域 (n=17)	58.8	47.1	5.9	-	35.3	35.3	17.6	-	-
年代別	18～29歳 (n=32)	50.0	50.0	59.4	15.6	9.4	34.4	6.3	3.1	-
	30～39歳 (n=61)	47.5	34.4	36.1	42.6	31.1	26.2	11.5	1.6	-
	40～49歳 (n=81)	54.3	48.1	48.1	30.9	22.2	22.2	9.9	2.5	-
	50～59歳 (n=92)	56.5	47.8	41.3	23.9	35.9	15.2	5.4	5.4	-
	60～69歳 (n=141)	45.4	39.0	44.0	25.5	30.5	24.1	19.9	2.1	1.4
	70歳以上 (n=141)	51.8	41.8	28.4	36.9	33.3	38.3	19.1	1.4	0.7

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

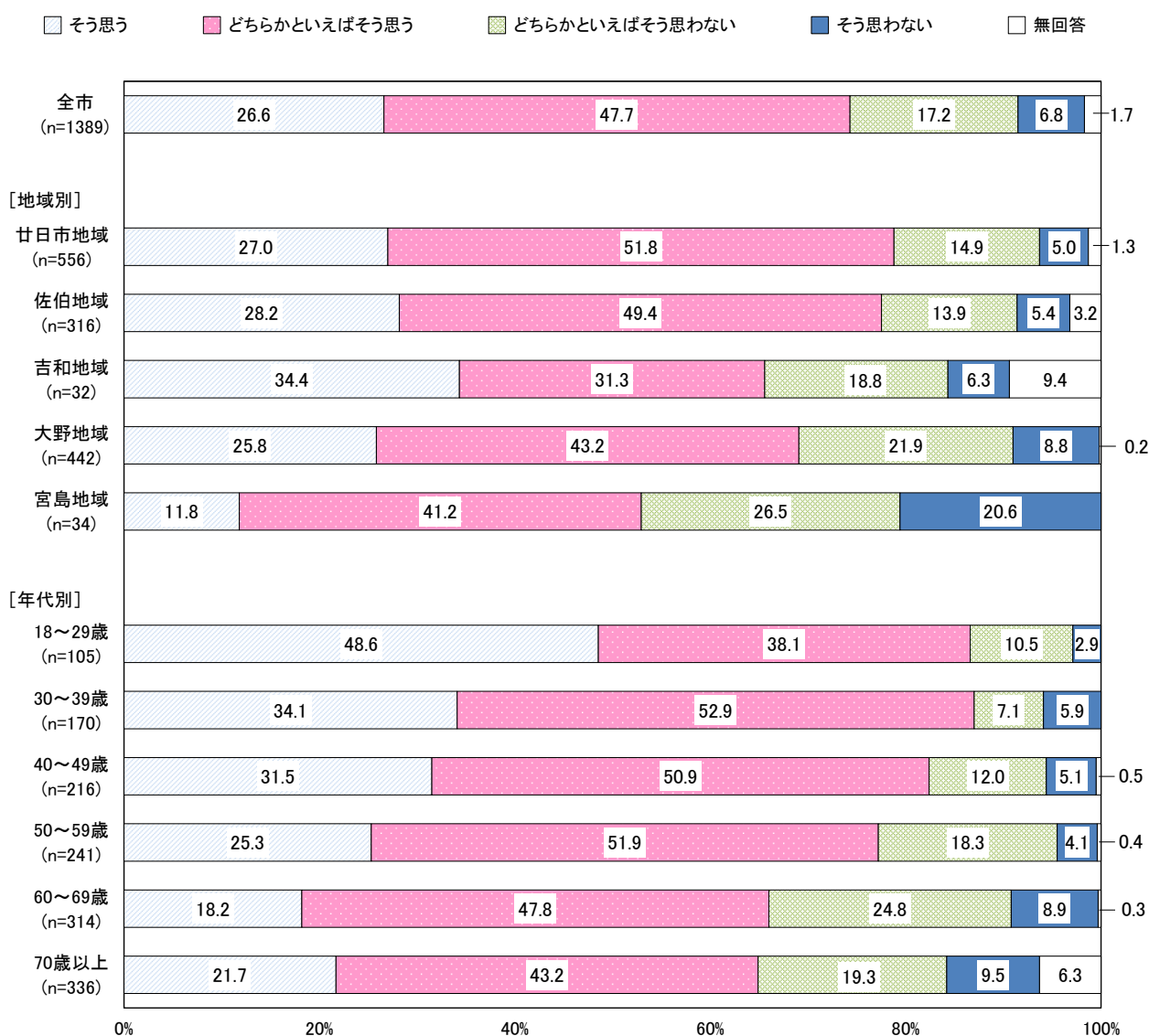
問 24 あなたは、宮島口地区が、国際的な観光交流拠点としてふさわしい景観であると思いますか。[〇は1つ]

[全体] 宮島口地区が国際的な観光交流拠点としてふさわしい景観であると思うかどうかについては、「そう思う」(26.6%)と「どちらかといえばそう思う」(47.7%)を合わせると7割台(74.3%)を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「そう思わない」(20.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は、「そう思う」(48.6%)が、「全市」より20ポイント以上高い。

図 55 宮島口地区の景観は国際的な観光交流拠点にふさわしいか



問 25 あなたは、宮島口地区が、国際的な観光交流拠点として賑わっていると思いますか。

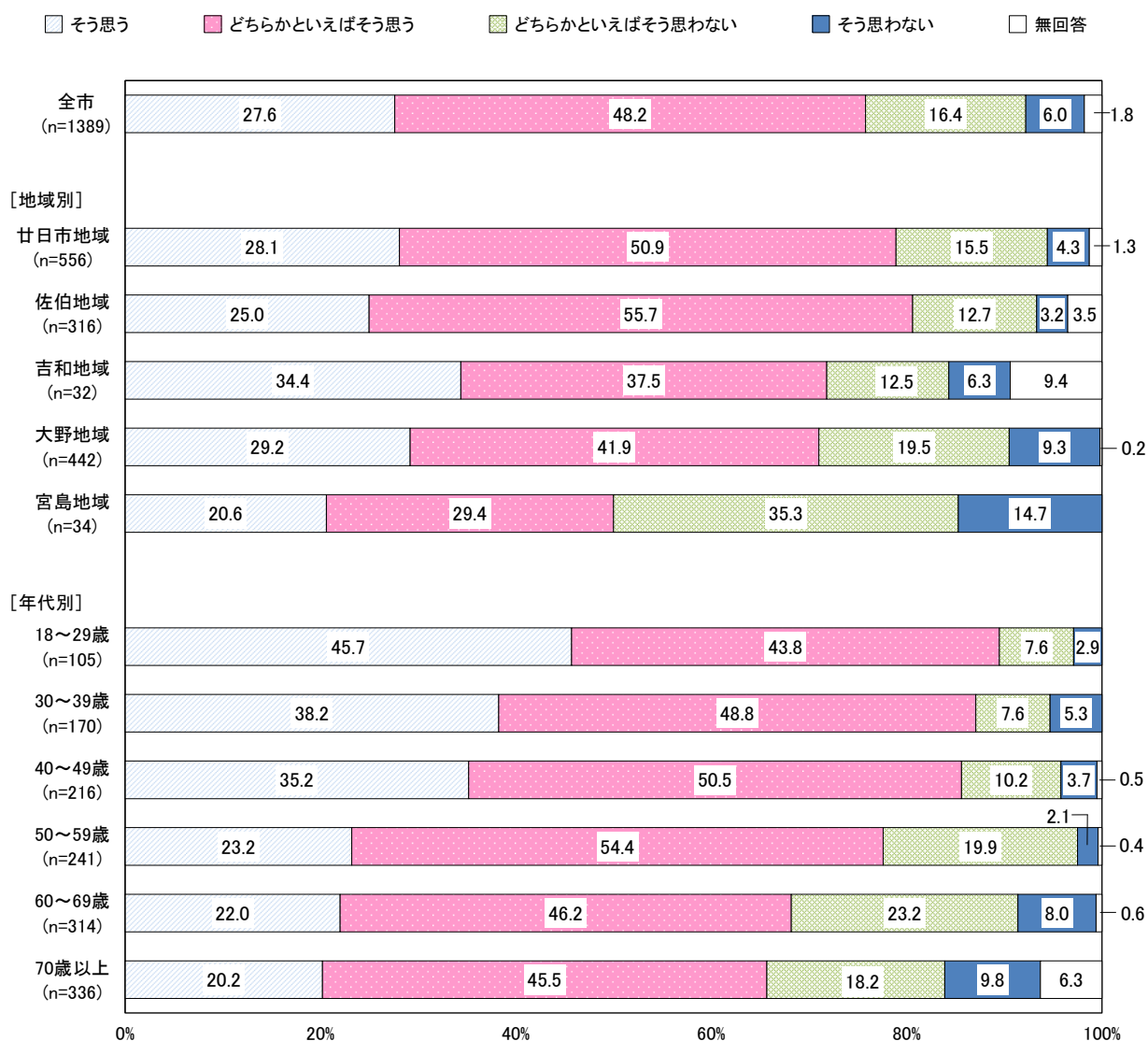
[〇は1つ]

[全体] 宮島口地区が国際的な観光交流拠点として賑わっていると思うかどうかについては、「そう思う」(27.6%)と「どちらかといえばそう思う」(48.2%)を合わせると7割台(75.8%)を占める。

[地域別] 「宮島地域」は、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合(50.0%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、年齢が上がるほど低くなる傾向が見られる。

図 56 宮島口地区は国際的な観光交流拠点として賑わっているか



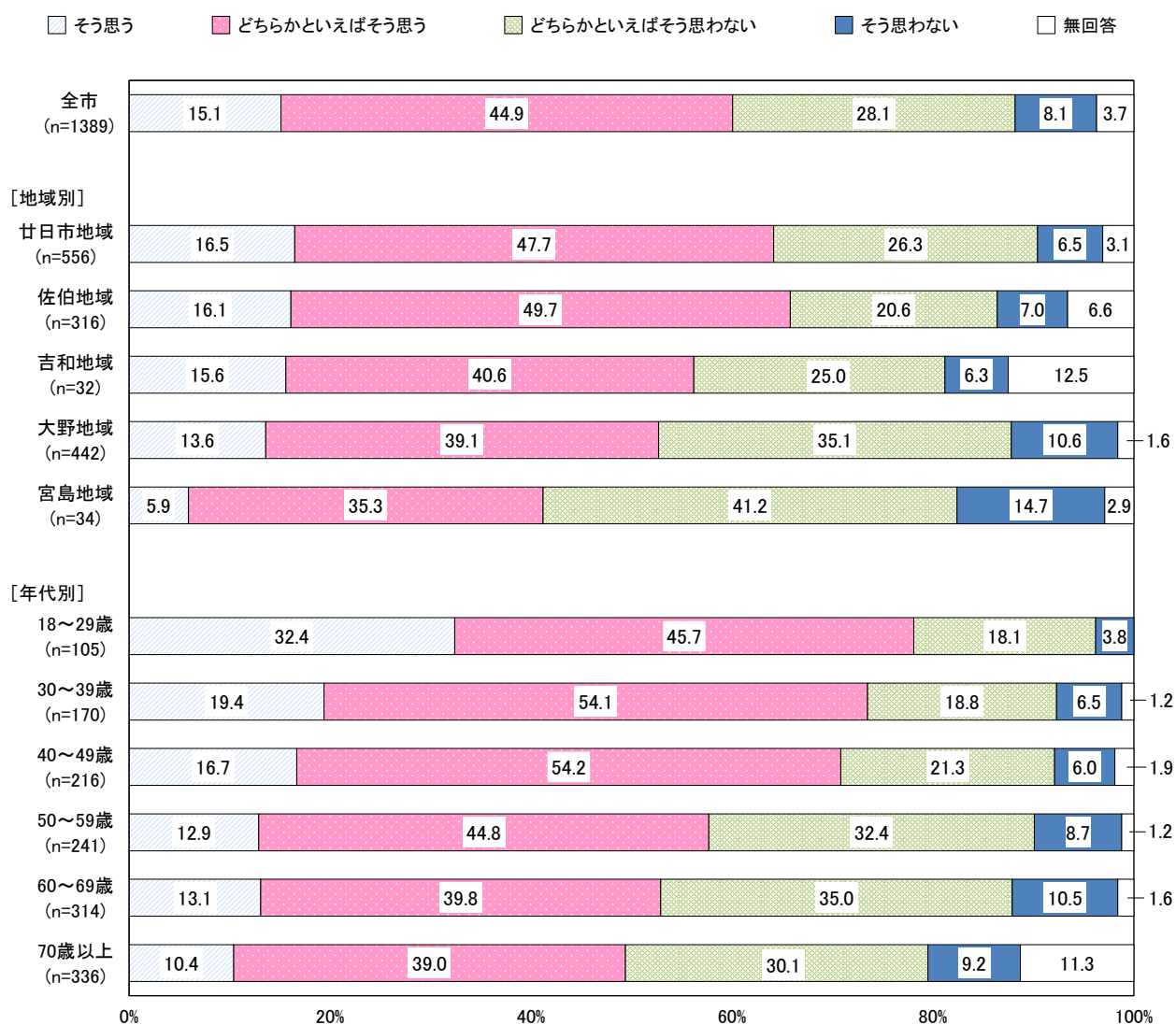
問 26 あなたは、宮島口地区のまちづくりについてよいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 宮島口地区のまちづくりについてよいと思うかどうかについては、「そう思う」(15.1%)と「どちらかといえばそう思う」(44.9%)を合わせると6割(60.0%)を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「どちらかといえばそう思わない」(41.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、年齢が上がるほど低くなる傾向が見られる。

図 57 宮島口地区のまちづくりについてよいと思うか

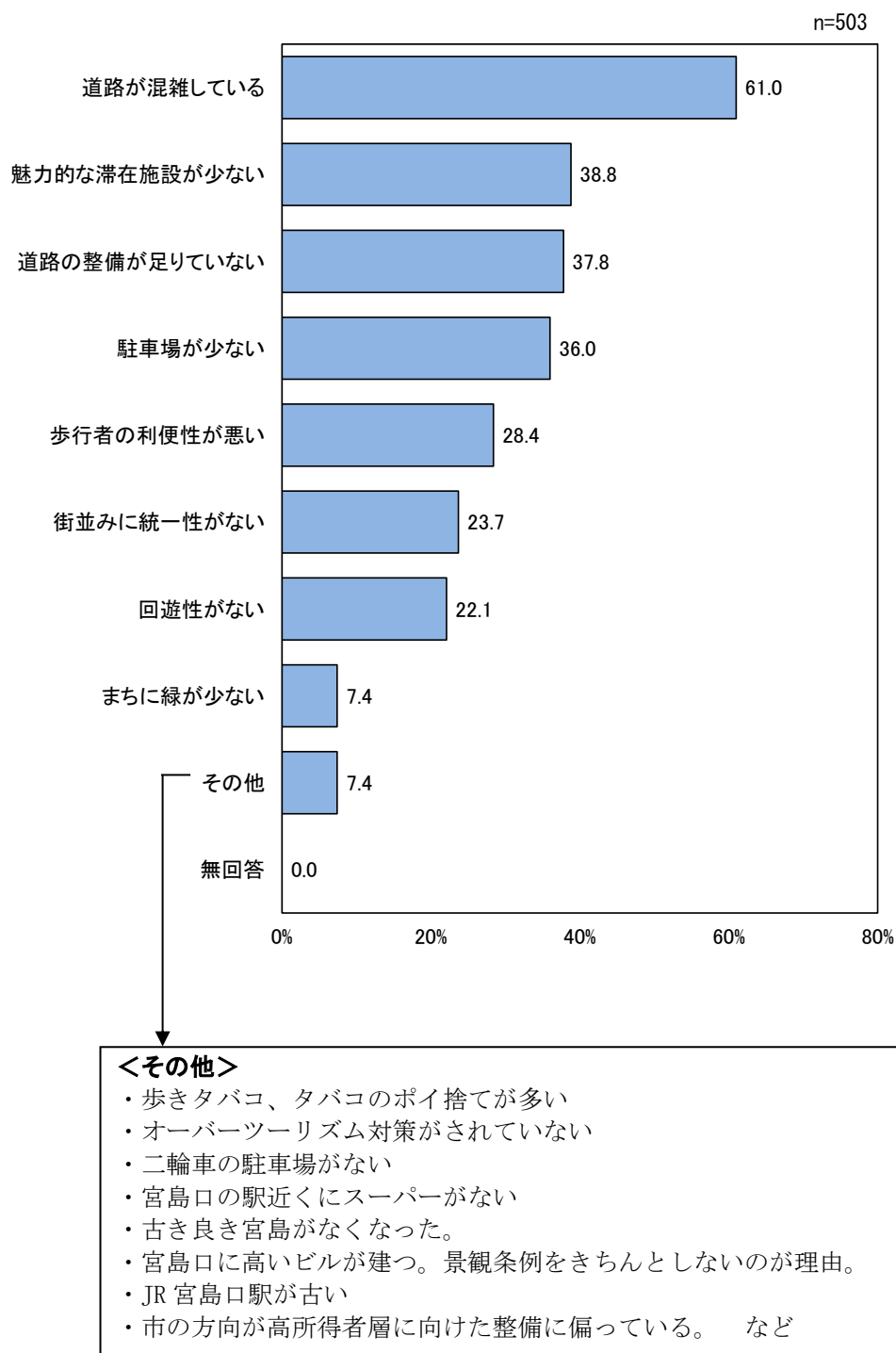


【「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（宮島口地区のまちづくりについてよいと思わない理由）については、「道路が混雑している」（61.0%）が最も多く、以下、「魅力的な滞在施設が少ない」（38.8%）、「道路の整備が足りていない」（37.8%）、「駐車場が少ない」（36.0%）と続く。

図 58 宮島口地区のまちづくりについてよいと思わない理由



[地域別] 「吉和地域」は「道路の整備が足りていない」(70.0%)と「駐車場が少ない」(50.0%)が、「宮島地域」は「道路の整備が足りていない」(52.6%)と「まちに緑が少ない」(21.1%)「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「道路が混雑している」(78.3%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 15 宮島口地区のまちづくりについてよいと思わない理由

(単位:%)

項目		道路が混雑している	魅力的な滞在施設が少ない	道路の整備が足りていない	駐車場が少ない	歩行者の利便性が悪い	街並みに統一性がない	回遊性がない	まちに緑が少ない	その他	無回答
全市 (n=503)		61.0	38.8	37.8	36.0	28.4	23.7	22.1	7.4	7.4	-
地域別	廿日市地域 (n=182)	56.6	45.1	33.5	36.8	25.3	26.4	22.5	9.9	7.7	-
	佐伯地域 (n=87)	69.0	31.0	39.1	44.8	26.4	23.0	20.7	4.6	8.0	-
	吉和地域 (n=10)	50.0	10.0	70.0	50.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	-
	大野地域 (n=202)	62.4	39.6	37.6	32.2	31.7	22.8	23.8	4.5	6.9	-
	宮島地域 (n=19)	63.2	21.1	52.6	26.3	36.8	5.3	10.5	21.1	10.5	-
年代別	18～29歳 (n=23)	78.3	39.1	26.1	17.4	21.7	21.7	13.0	4.3	21.7	-
	30～39歳 (n=43)	62.8	39.5	25.6	41.9	20.9	18.6	23.3	11.6	9.3	-
	40～49歳 (n=59)	57.6	45.8	33.9	25.4	27.1	20.3	23.7	11.9	10.2	-
	50～59歳 (n=99)	63.6	37.4	36.4	33.3	27.3	21.2	20.2	4.0	10.1	-
	60～69歳 (n=143)	61.5	37.8	43.4	35.0	28.7	21.0	23.8	7.7	6.3	-
	70歳以上 (n=132)	57.6	37.9	40.2	45.5	34.1	31.1	20.5	6.1	2.3	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 27 あなたは、日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できていますか。

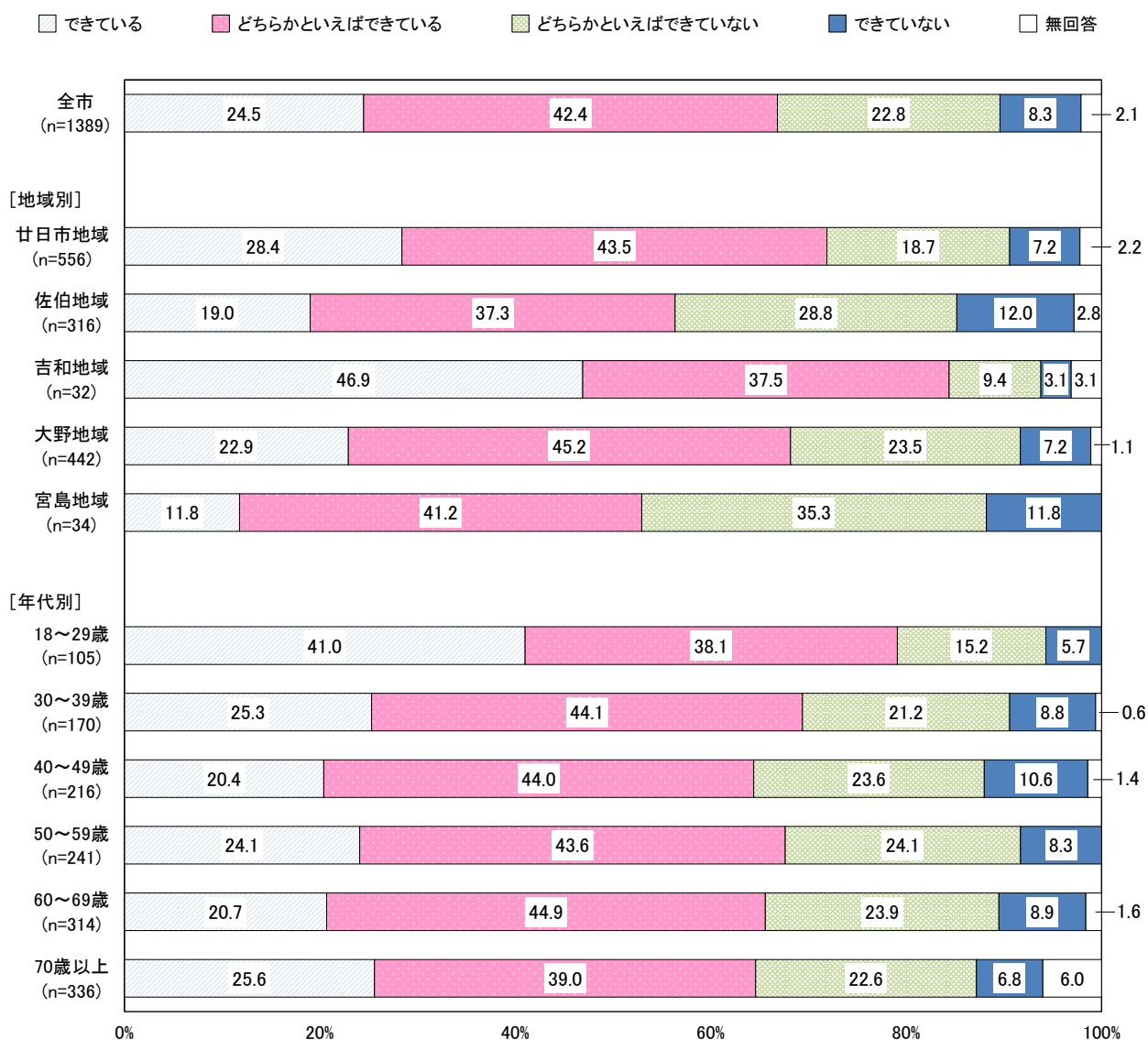
【○は1つ】

【全体】 日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できているかどうかについては、「できている」(24.5%)と「どちらかというとできている」(42.4%)を合わせると6割台(66.9%)を占める。

【地域別】 「吉和地域」は、「できている」と「どちらかというとできている」を合わせた割合(84.4%)が、「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は、「できている」と「どちらかというとできている」を合わせた割合(79.1%)が、「全市」より10ポイント以上高い。

図 59 生活道路を安心して歩行・通行できているか

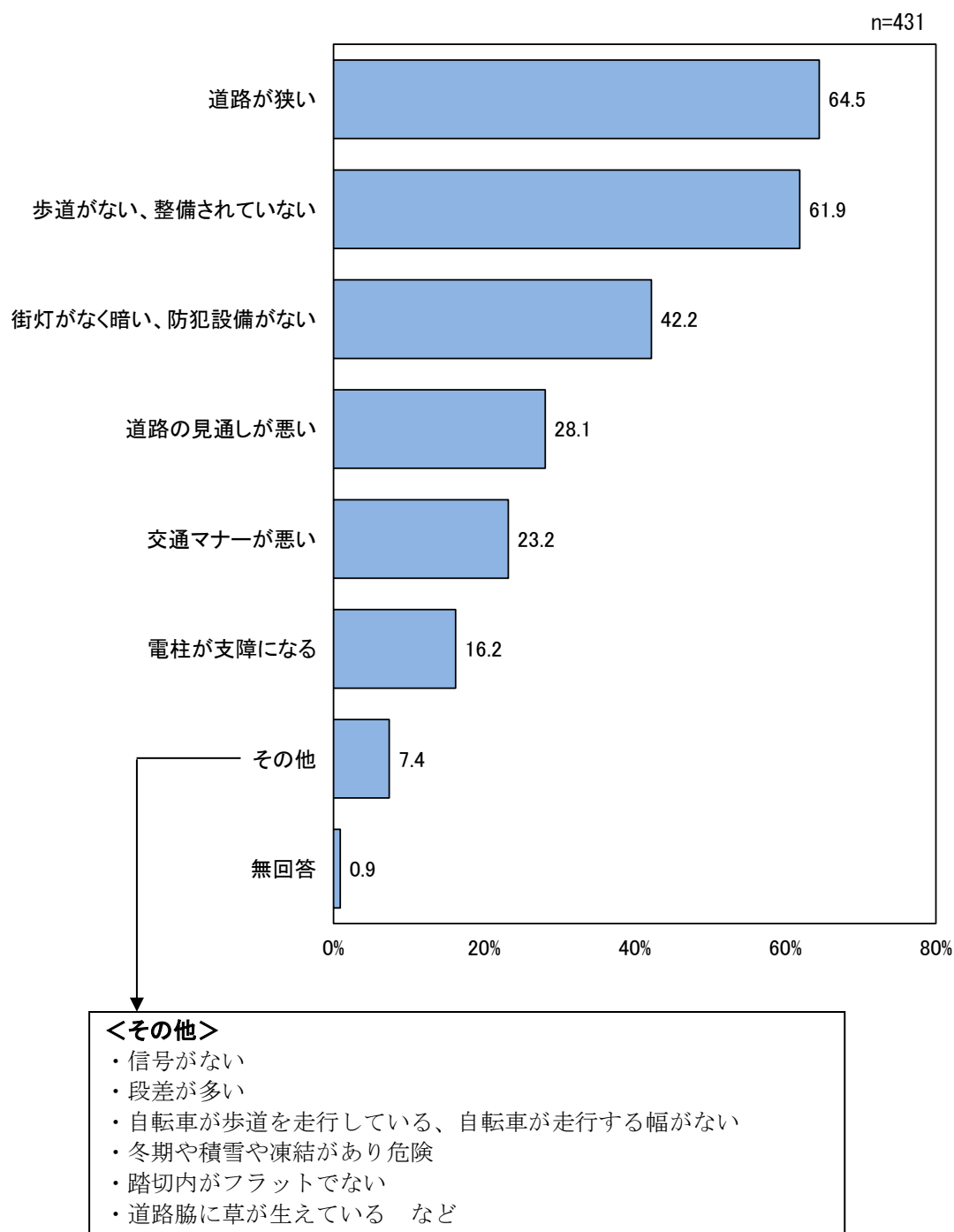


【「どちらかというとできていない」または「できていない」を選んだ方】

■「どちらかというとできていない」または「できていない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかというとできていない」または「できていない」を選んだ理由（日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できていない理由）については、「道路が狭い」（64.5%）が最も多く、以下、「歩道がない、整備されていない」（61.9%）、「街灯がなく暗い、防犯設備がない」（42.2%）と続く。

図 60 生活道路を安心して歩行・通行できていない理由



[地域別] 「佐伯地域」は「歩道がない、整備されていない」(75.2%)が、「宮島地域」は「道路が狭い」(87.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「40～49歳」は「街灯がなく暗い、防犯設備がない」(52.7%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 16 生活道路を安心して歩行・通行できていない理由

(単位:%)

項目		道路が狭い	歩道がない、整備されていない	街灯がなく暗い、防犯設備がない	道路の見通しが悪い	交通マナーが悪い	電柱が支障になる	その他	無回答
全市 (n=431)		64.5	61.9	42.2	28.1	23.2	16.2	7.4	0.9
地域別	廿日市地域 (n=144)	63.2	55.6	36.8	25.0	29.9	18.8	9.0	0.7
	佐伯地域 (n=129)	69.8	75.2	45.0	26.4	14.7	5.4	5.4	-
	吉和地域 (n=4)	25.0	-	25.0	75.0	-	25.0	25.0	25.0
	大野地域 (n=136)	58.8	61.0	49.3	30.9	25.0	23.5	6.6	1.5
	宮島地域 (n=16)	87.5	43.8	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	-
年代別	18～29歳 (n=22)	54.5	59.1	40.9	27.3	18.2	18.2	4.5	-
	30～39歳 (n=51)	68.6	60.8	43.1	29.4	25.5	5.9	3.9	-
	40～49歳 (n=74)	68.9	63.5	52.7	27.0	29.7	13.5	5.4	-
	50～59歳 (n=78)	62.8	66.7	34.6	28.2	20.5	15.4	9.0	1.3
	60～69歳 (n=103)	63.1	67.0	44.7	29.1	18.4	17.5	6.8	-
	70歳以上 (n=99)	62.6	54.5	36.4	28.3	26.3	22.2	11.1	3.0

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 28 あなたの住んでいる地域は、地震・風水害などの対策がされていると思いますか。

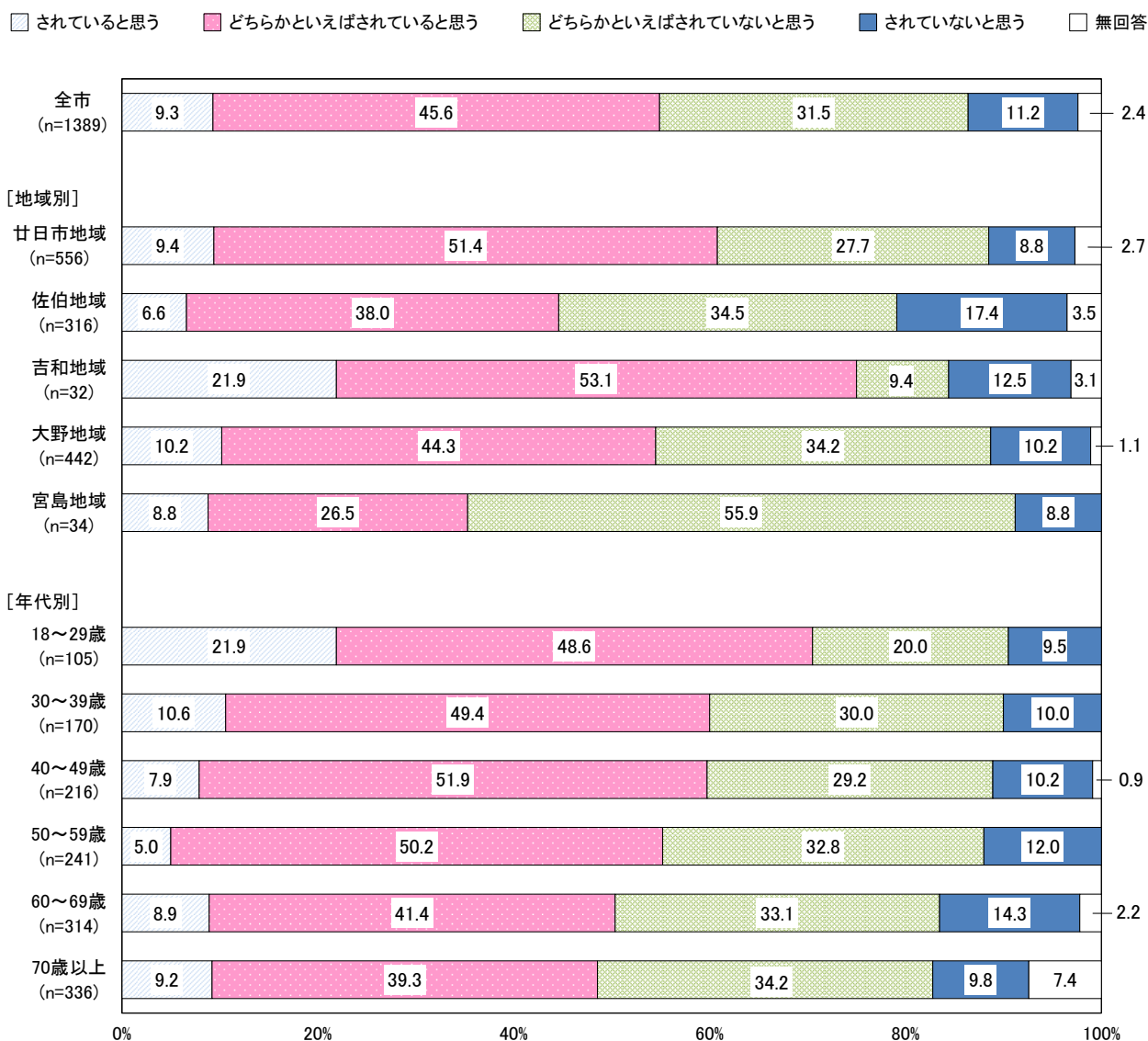
[○は1つ]

[全体] 住んでいる地域は、地震・風水害などの対策がされていると思うかどうかについては、「されていると思う」(9.3%)と「どちらかといえばされていると思う」(45.6%)を合わせると5割台(54.9%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は、「されていると思う」と「どちらかといえばされていると思う」を合わせた割合(75.0%)が、「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は、「されていると思う」と「どちらかといえばされていると思う」を合わせた割合(70.5%)が、「全市」より10ポイント高い。

図 61 地震・風水害などの対策



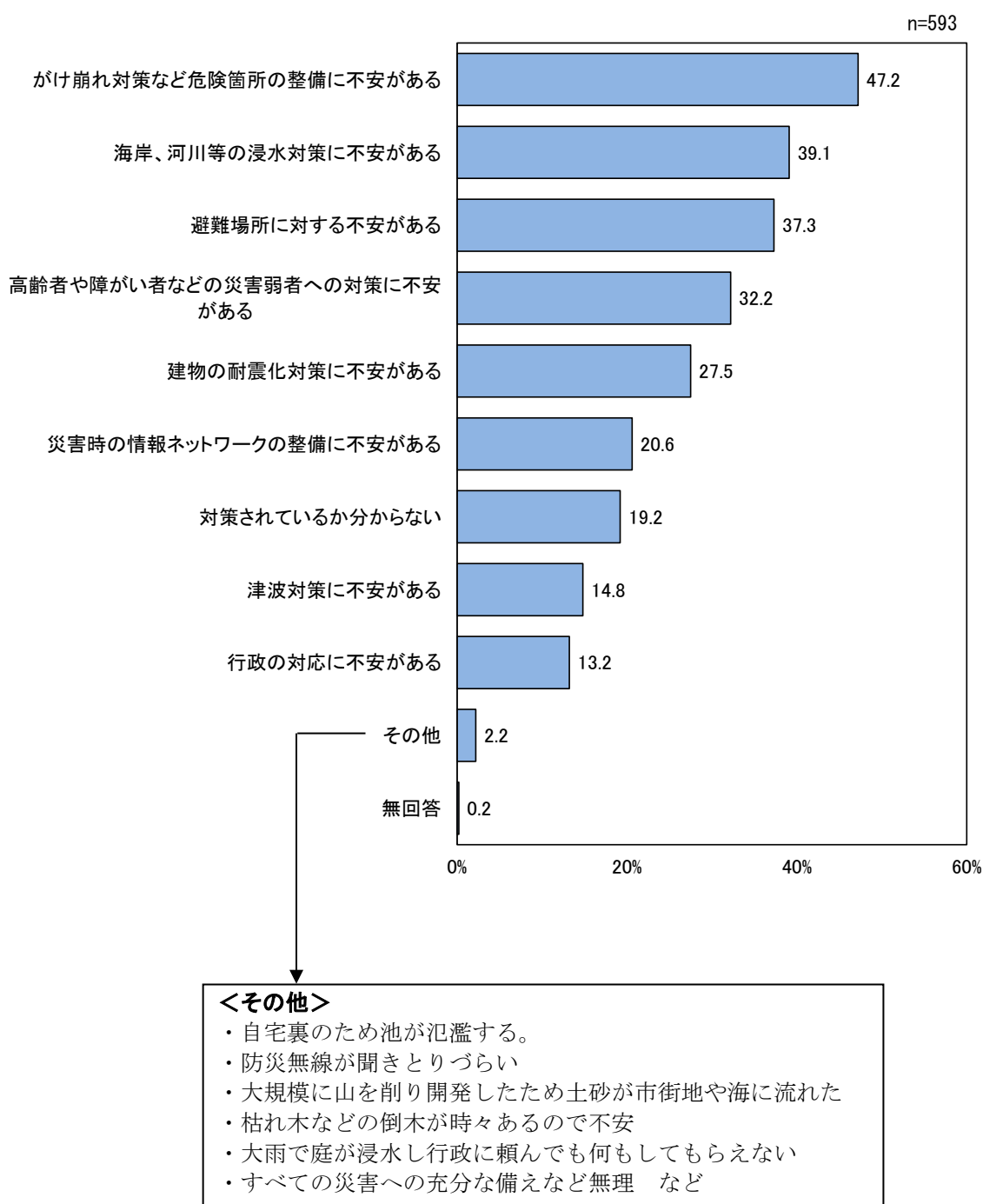
[「どちらかといえばされていないと思う」または「されていないと思う」を選んだ方]

■「どちらかといえばされていないと思う」または「されていないと思う」を選んだ理由

[〇は3つまで]

[全体] 「どちらかといえばされていないと思う」または「されていないと思う」を選んだ理由（地震・風水害などの対策がされていないと思う理由）については、「がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある」（47.2%）が最も多く、以下、「海岸、河川等の浸水対策に不安がある」（39.1%）、「避難場所に対する不安がある」（37.3%）と続く。

図 62 地震・風水害などの対策がされていないと思う理由



[地域別] 「佐伯地域」は「がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある」(65.9%)が、「宮島地域」は「がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある」(59.1%)と「建物の耐震化対策に不安がある」(63.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「高齢者や障がい者などの災害弱者への対策に不安がある」(44.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 17 地震・風水害などの対策がされていないと思う理由

(単位:%)

項目		がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある	海岸、河川等の浸水対策に不安がある	避難場所に対する不安がある	高齢者や障がい者などの災害弱者への対策に不安がある	建物の耐震化対策に不安がある	災害時の情報ネットワークの整備に不安がある	対策されているか分からない	津波対策に不安がある	行政の対応に不安がある	その他	無回答
全市 (n=593)		47.2	39.1	37.3	32.2	27.5	20.6	19.2	14.8	13.2	2.2	0.2
地域別	廿日市地域 (n=203)	41.4	41.4	38.4	34.0	28.6	23.2	22.2	16.7	11.3	1.5	-
	佐伯地域 (n=164)	65.9	33.5	34.1	36.6	24.4	17.1	17.7	1.8	18.9	0.6	-
	吉和地域 (n=7)	28.6	28.6	42.9	28.6	42.9	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-
	大野地域 (n=196)	37.2	43.4	37.2	26.5	24.5	21.9	19.4	23.5	10.2	3.6	0.5
	宮島地域 (n=22)	59.1	27.3	45.5	31.8	63.6	13.6	4.5	22.7	13.6	4.5	-
年代別	18～29歳 (n=31)	41.9	22.6	16.1	19.4	16.1	19.4	29.0	9.7	12.9	9.7	-
	30～39歳 (n=68)	42.6	39.7	29.4	25.0	27.9	22.1	17.6	19.1	11.8	1.5	-
	40～49歳 (n=85)	55.3	44.7	34.1	25.9	17.6	15.3	12.9	18.8	8.2	1.2	1.2
	50～59歳 (n=108)	48.1	41.7	40.7	21.3	24.1	18.5	23.1	21.3	14.8	4.6	-
	60～69歳 (n=149)	51.0	38.9	41.6	36.9	29.5	26.2	16.1	8.7	9.4	0.7	-
	70歳以上 (n=148)	41.9	37.8	38.5	44.6	36.5	17.6	22.3	13.5	19.6	1.4	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 29 あなたは、災害の種別（地震、風水害など）ごとに、避難場所や避難経路を確認していますか。[〇は1つ]

[全体] 災害の種別（地震、風水害など）ごとに、避難場所や避難経路を確認しているかどうかについては、「確認している」（65.8%）が6割台を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「確認している」（75.0%）が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「確認していない」（44.8%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 63 避難場所や避難経路の確認



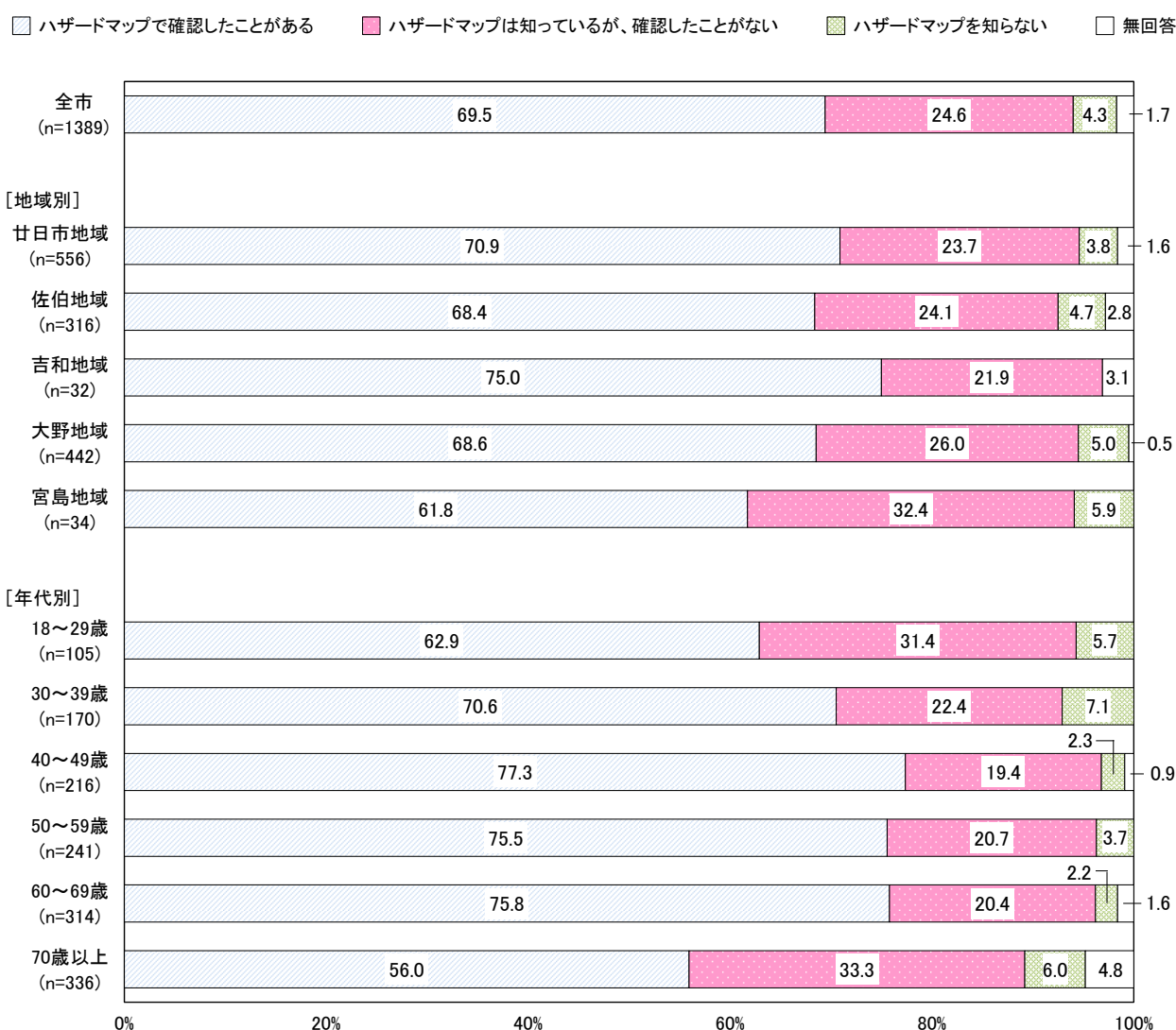
問 30 あなたの住んでいる場所の災害時の危険性について、土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等により確認したことがありますか。[〇は1つ]

[全体] 住んでいる場所の災害時の危険性について、土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等により確認したことがあるかどうかについては、「ハザードマップで確認したことがある」(69.5%)が約7割を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「ハザードマップで確認したことがある」(75.0%)が、「宮島地域」は「ハザードマップは知っているが、確認したことがない」(32.4%)が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「ハザードマップで確認したことがある」(56.0%)が「全市」より10ポイント以上低い。

図 64 土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等による確認



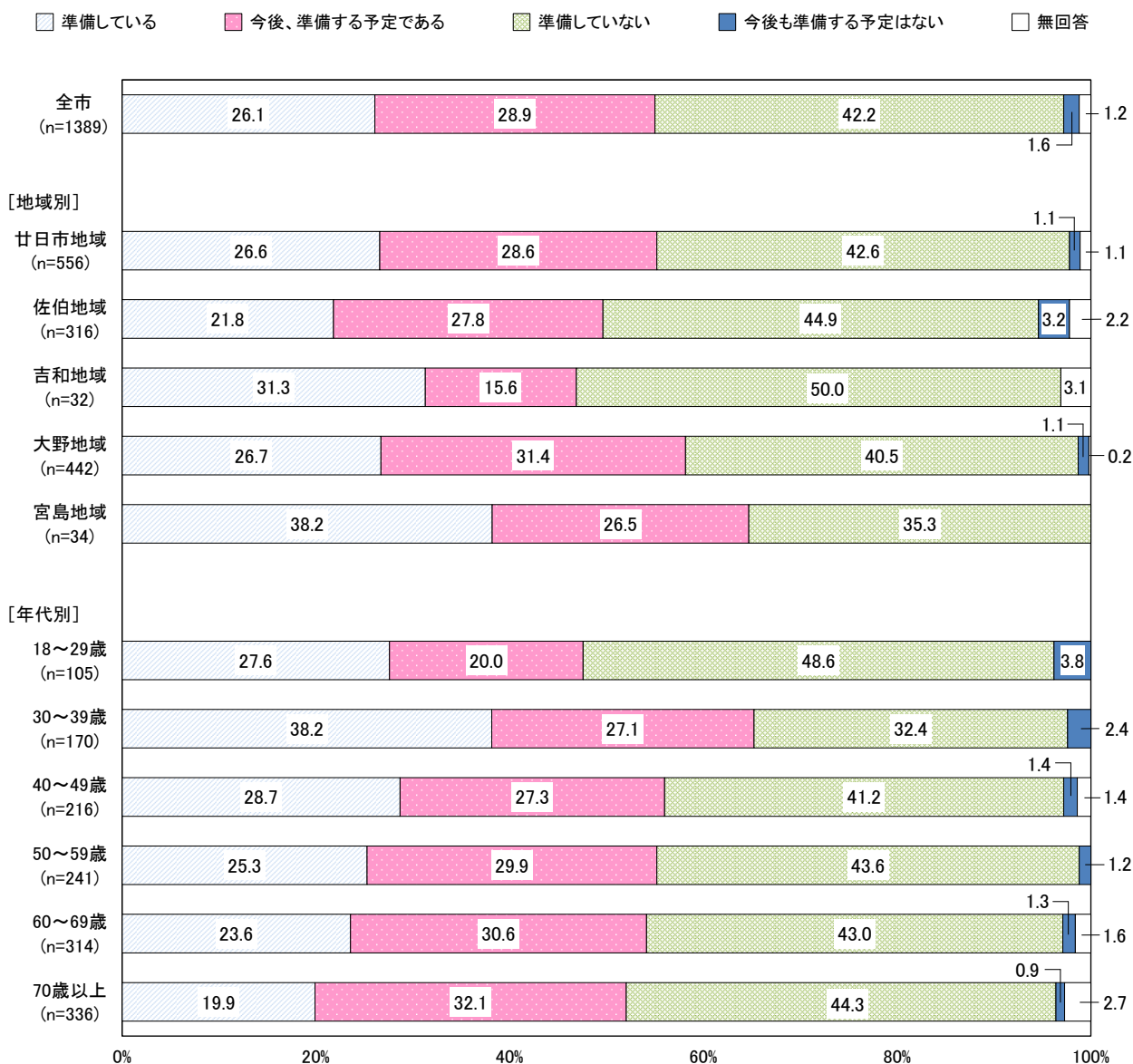
問 31 あなたは、災害時の非常持ち出し品の準備をしていますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 災害時の非常持ち出し品の準備をしているかどうかについては、「準備していない」(42.2%)が最も多く4割台を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は「準備している」(38.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「30～39歳」は「準備している」(38.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 65 非常持ち出し品の準備

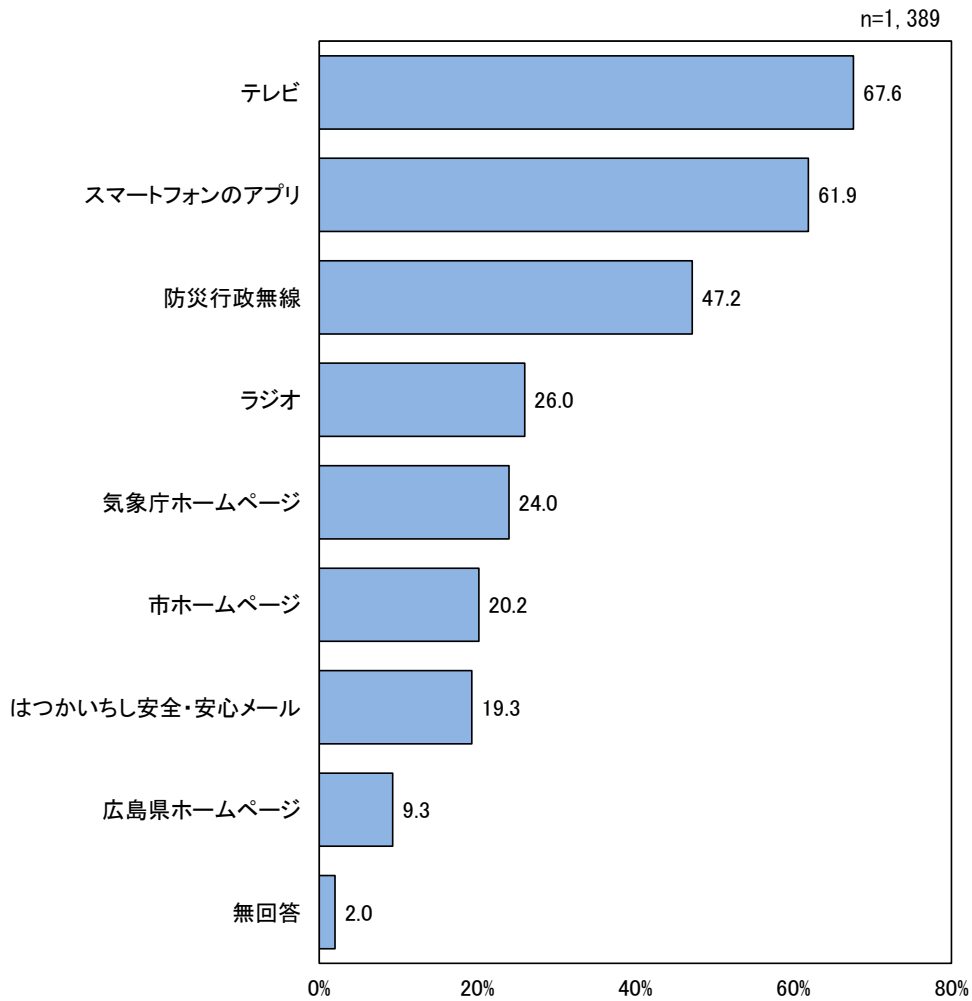


問 32 あなたは、避難するための情報や災害時の情報をどのような手段で収集しますか

[当てはまる全てに○]

[全体] 避難するための情報や災害時の情報をどのような手段で収集しているかについては、「テレビ」(67.6%)が最も多く、以下、「スマートフォンのアプリ」(61.9%)、「防災行政無線」(47.2%)と続く。

図 66 避難するための情報や災害時の情報収集手段



[地域別] 「佐伯地域」と「吉和地域」は「防災行政無線」（佐伯地域：64.6%、吉和地域：65.6%）が、「宮島地域」は「防災行政無線」（70.6%）と「ラジオ」（41.2%）が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「気象庁ホームページ」（40.0%）と「広島県ホームページ」（21.9%）が、「40～49歳」は「スマートフォンのアプリ」（73.6%）と「はつかいちし安全・安心メール」（29.6%）が、「50～59歳」は「スマートフォンのアプリ」（72.6%）が、「70歳以上」は「防災行政無線」（58.9%）が「全市」より10ポイント以上高い。

表 18 避難するための情報や災害時の情報収集手段

（単位：％）

項目		テレビ	スマートフォンのアプリ	防災行政無線	ラジオ	気象庁ホームページ	市ホームページ	はつかいちし安全・安心メール	広島県ホームページ	無回答
全市 (n=1389)		67.6	61.9	47.2	26.0	24.0	20.2	19.3	9.3	2.0
地域別	廿日市地域 (n=556)	70.1	62.4	34.9	23.0	23.7	20.5	21.4	8.5	2.2
	佐伯地域 (n=316)	66.1	57.9	64.6	30.4	23.1	20.3	15.8	10.1	2.2
	吉和地域 (n=32)	59.4	53.1	65.6	25.0	21.9	18.8	15.6	6.3	6.3
	大野地域 (n=442)	65.4	64.9	46.8	25.6	24.9	19.5	19.2	10.0	1.1
	宮島地域 (n=34)	76.5	61.8	70.6	41.2	29.4	26.5	17.6	11.8	-
年代別	18～29歳 (n=105)	55.2	66.7	23.8	13.3	40.0	29.5	12.4	21.9	-
	30～39歳 (n=170)	62.4	65.9	41.2	25.9	30.0	25.9	20.6	12.4	-
	40～49歳 (n=216)	67.6	73.6	40.7	26.4	30.1	29.6	29.6	13.9	0.9
	50～59歳 (n=241)	62.7	72.6	46.1	23.7	24.5	18.3	14.1	7.1	-
	60～69歳 (n=314)	73.2	63.7	50.6	31.8	21.0	19.4	20.1	8.0	1.6
	70歳以上 (n=336)	72.0	41.7	58.9	26.2	14.9	10.4	17.0	3.9	6.3

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

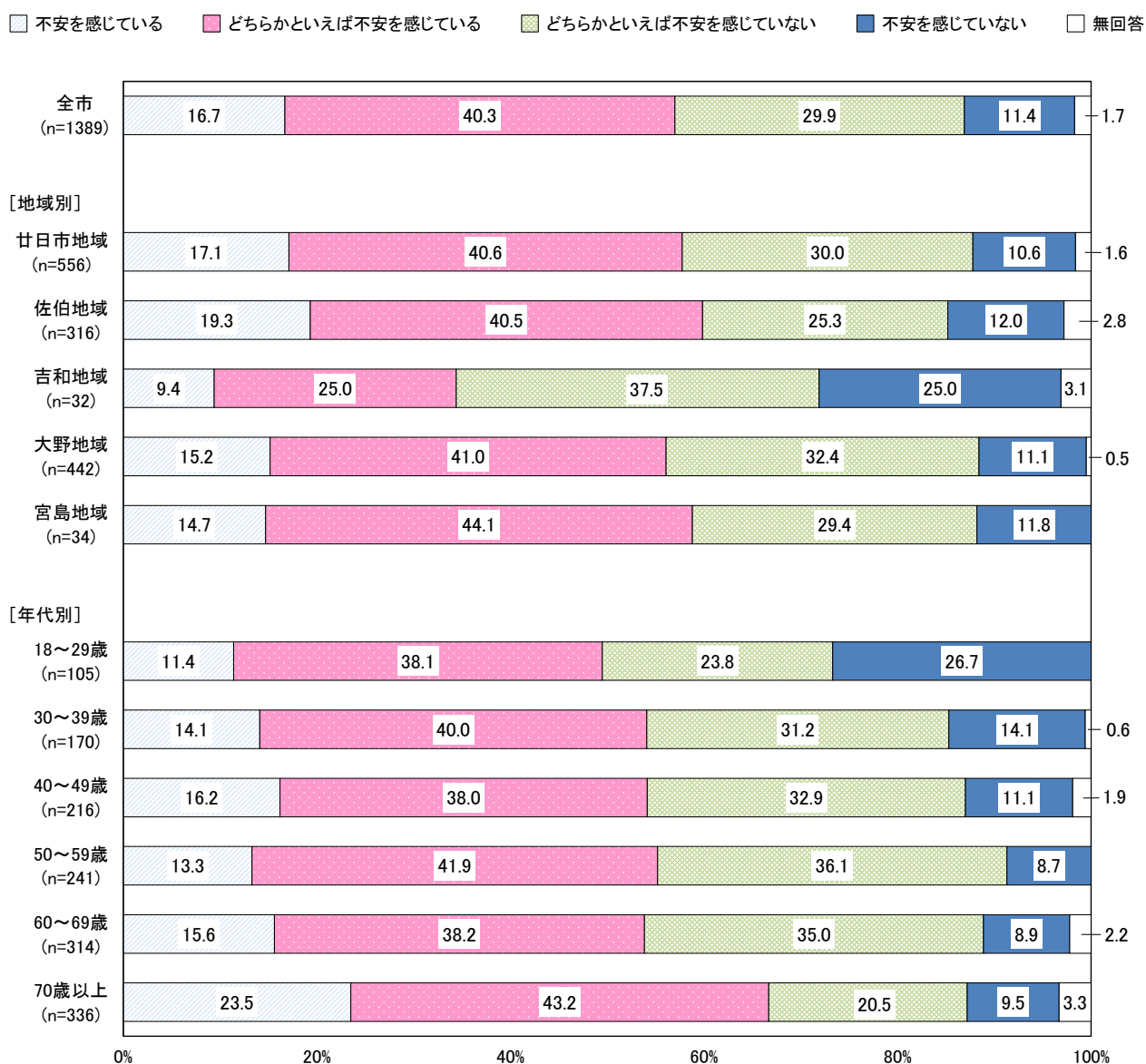
問 33 あなたは、身近なところで犯罪（窃盗、傷害、特殊詐欺など）に遭う不安を感じていますか。【〇は1つ】

【全体】 身近なところで犯罪（窃盗、傷害、特殊詐欺など）に遭う不安を感じているかどうかについては、「不安を感じている」（16.7%）と「どちらかといえば不安を感じている」（40.3%）を合わせると5割台（57.0%）になる。

【地域別】 「吉和地域」は「不安を感じていない」と「どちらかといえば不安を感じていない」を合わせた割合（62.5%）が「全市」より20ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は「不安を感じていない」（26.7%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 67 犯罪に遭う不安



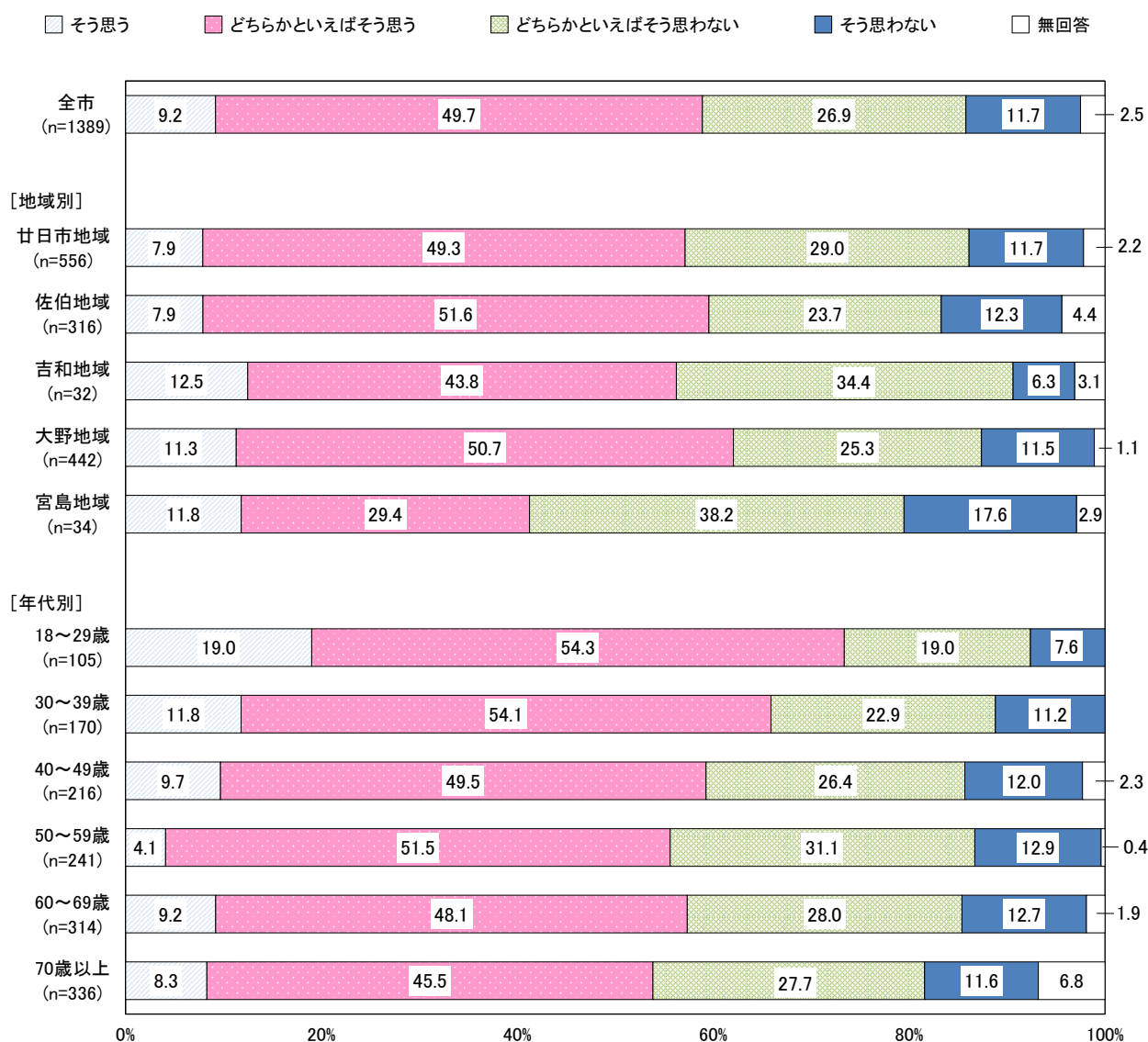
問 34 あなたは、廿日市市の自然環境（海、山、川、大気、動植物など）が守られていると思いますか。[〇は1つ]

[全体] 廿日市市の自然環境が守られていると思うかどうかについては、「そう思う」（9.2%）と「どちらかといえばそう思う」（49.7%）を合わせると5割台（58.9%）を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「大野地域」（62.0%）が最も高く、以下、「佐伯地域」（59.5%）、「廿日市地域」（57.2%）、「吉和地域」（56.3%）、「宮島地域」（41.2%）と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「18～29歳」（73.3%）が最も高く、以下、「30～39歳」（65.9%）、「40～49歳」（59.2%）、「60～69歳」（57.3%）、「50～59歳」（55.6%）、「70歳以上」（53.8%）と続く。

図 68 自然環境の保全

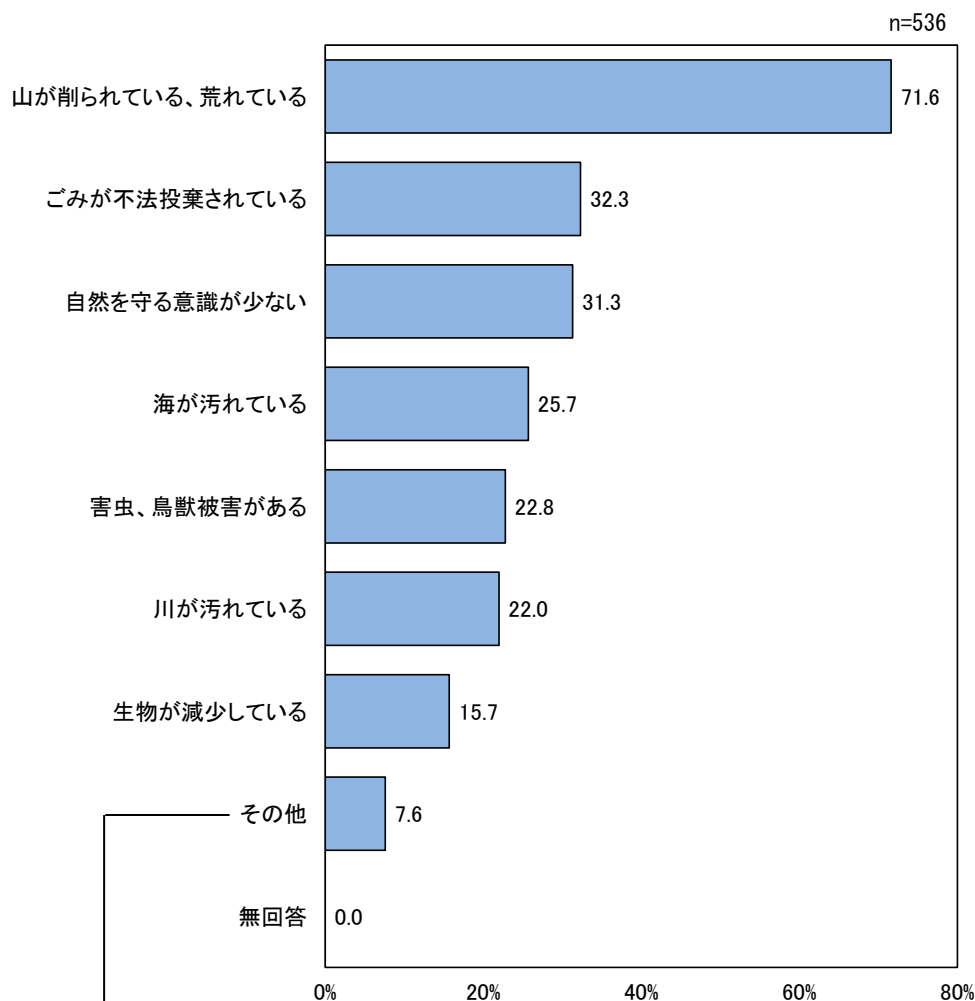


【「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（廿日市市の自然環境が守られていると思わない理由）については、「山が削られている、荒れている」（71.6%）が最も多く、以下、「ごみが不法投棄されている」（32.3%）、「自然を守る意識が少ない」（31.3%）と続く。

図 69 自然環境が守られていると思わない理由



＜その他＞

- ・災害時に出た岩などを処理していない
- ・里山が減少している
- ・どんどん山奥が削られて、市街は空家が放置されて、開発するところが間違っているように思う
- ・ソーラーパネルが多い
- ・鹿を大事にしてほしい
- ・カキ養殖の浮き（発砲スチロール）が砕けたものが浜にたくさんある。
- ・緑地等の清掃が行き届いてなく荒れている など

[地域別] 「吉和地域」は「害虫、鳥獣被害がある」(46.2%)と「川が汚れている」(46.2%)が、「宮島地域」は「害虫、鳥獣被害がある」(52.6%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「海が汚れている」(46.4%)が「全市」より20ポイント以上高い。

表 19 自然環境が守られていると思わない理由

(単位:%)

項目		山が削られている、荒れている	ごみが不法投棄されている	自然を守る意識が少ない	海が汚れている	害虫、鳥獣被害がある	川が汚れている	生物が減少している	その他	無回答
全市 (n=536)		71.6	32.3	31.3	25.7	22.8	22.0	15.7	7.6	-
地域別	廿日市地域 (n=226)	79.6	26.1	29.2	24.8	14.6	22.6	12.8	9.7	-
	佐伯地域 (n=114)	69.3	39.5	29.8	8.8	40.4	25.4	14.9	9.6	-
	吉和地域 (n=13)	30.8	30.8	15.4	15.4	46.2	46.2	23.1	7.7	-
	大野地域 (n=163)	66.9	35.6	37.4	38.7	16.6	18.4	19.0	4.3	-
	宮島地域 (n=19)	57.9	31.6	26.3	36.8	52.6	5.3	21.1	-	-
年代別	18～29歳 (n=28)	67.9	46.4	32.1	46.4	7.1	25.0	21.4	3.6	-
	30～39歳 (n=58)	75.9	20.7	27.6	27.6	17.2	12.1	8.6	12.1	-
	40～49歳 (n=83)	79.5	27.7	30.1	34.9	13.3	21.7	13.3	8.4	-
	50～59歳 (n=106)	79.2	36.8	29.2	18.9	19.8	19.8	13.2	5.7	-
	60～69歳 (n=128)	68.8	28.1	29.7	20.3	32.8	16.4	21.1	9.4	-
	70歳以上 (n=132)	62.1	37.1	37.1	25.0	27.3	33.3	15.9	6.1	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

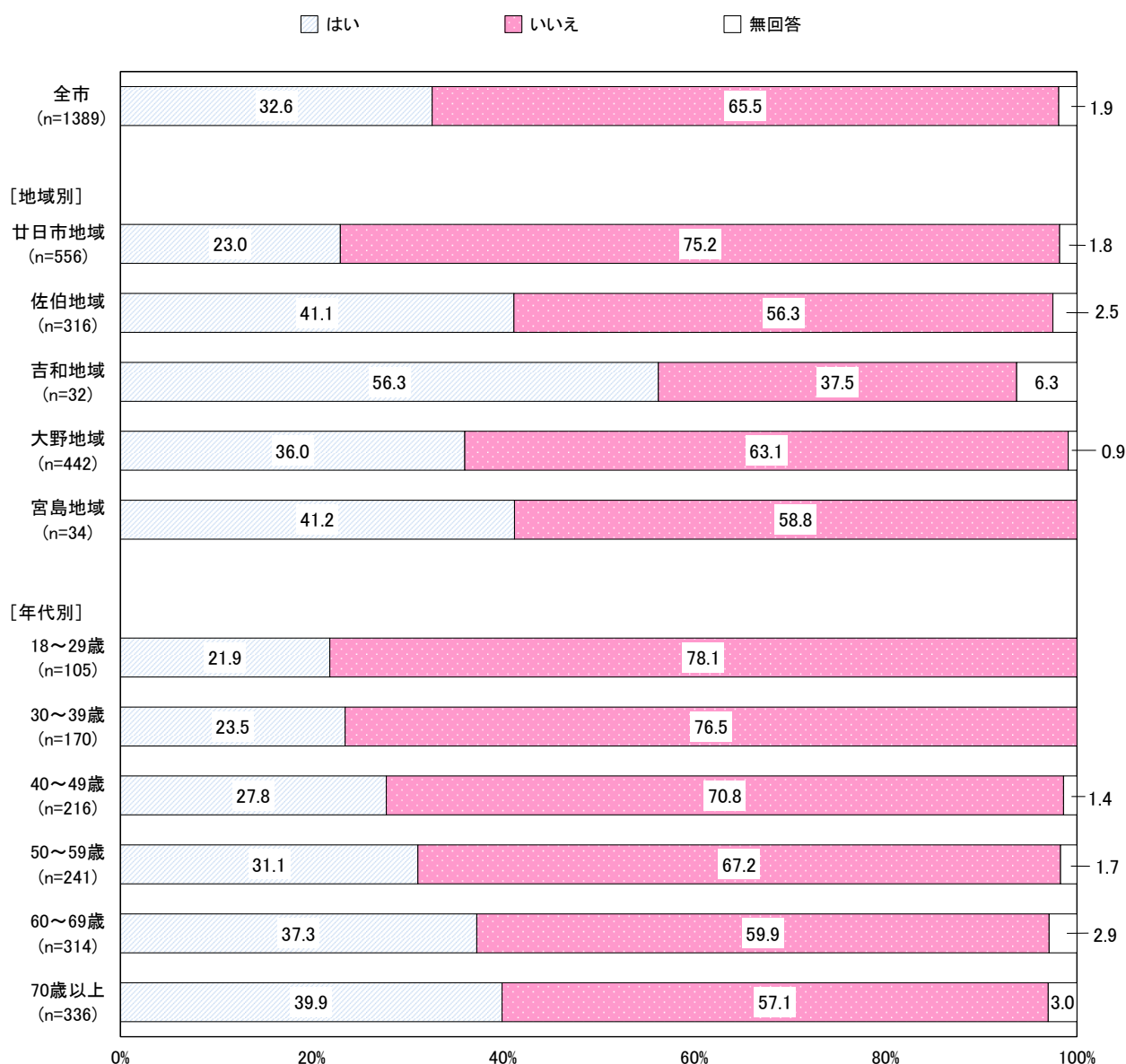
問 35 あなたは、環境保護活動（海岸のゴミ拾いや草刈りなどを含む）に取り組んでいますか。[〇は1つ]

[全体] 環境保護活動に取り組んでいるかどうかについては、「いいえ」(65.5%)が6割台を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「はい」(56.3%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 18～39歳は「いいえ」(18～29歳：78.1%、30～39歳：76.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向が見られる。

図 70 環境保護活動に取り組んでいるか



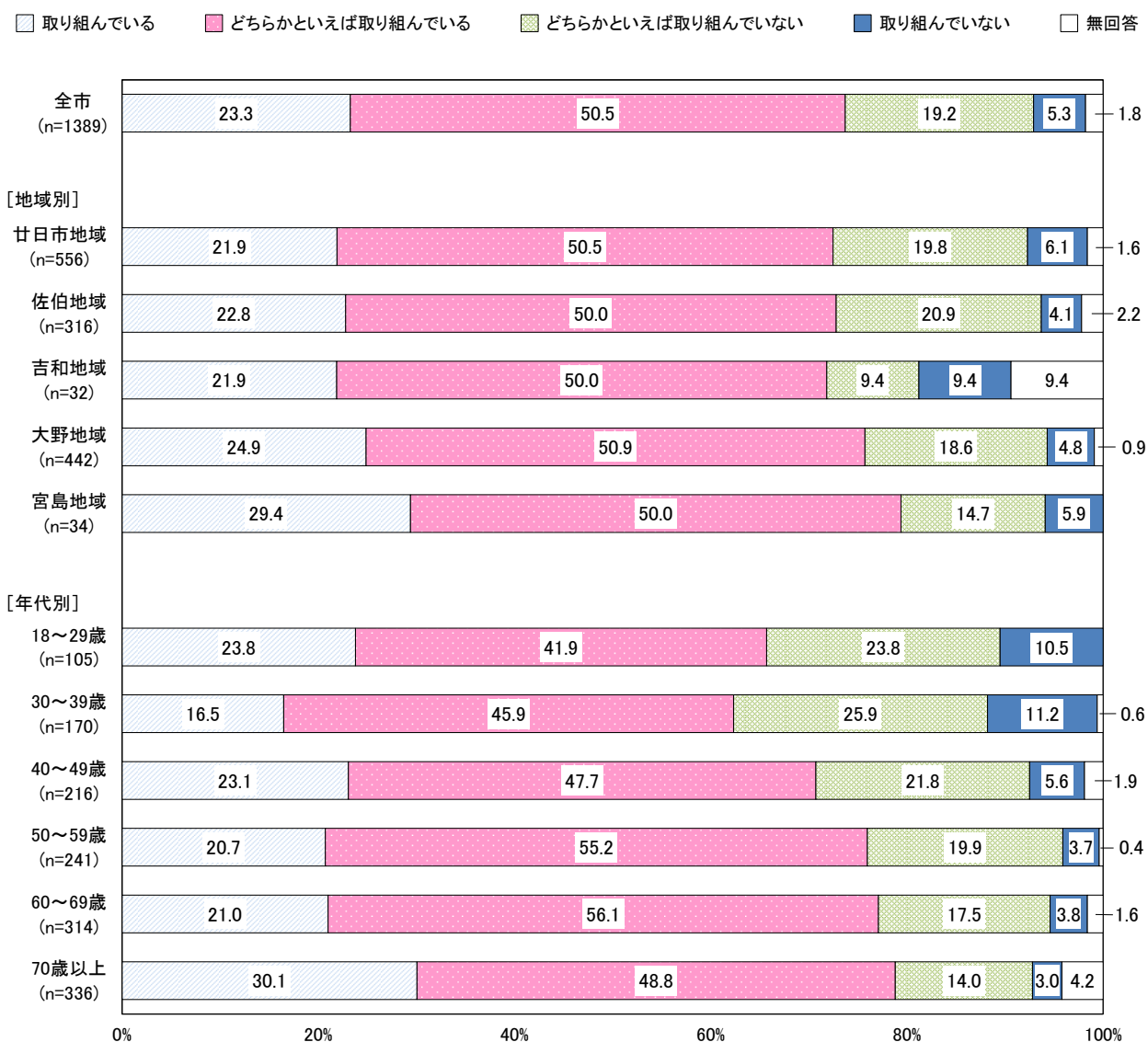
問 36 あなたは、家庭で省エネ・省資源に取り組んでいますか。[○は1つ]

[全体] 家庭で省エネ・省資源に取り組んでいるかどうかについては、「取り組んでいる」(23.3%)と「どちらかといえば取り組んでいる」(50.5%)を合わせると7割台(73.8%)を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「取り組んでいる」と「どちらかといえば取り組んでいる」を合わせた割合(79.4%)が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 「取り組んでいる」と「どちらかといえば取り組んでいる」を合わせた割合は、「70歳以上」(78.9%)が最も高く、以下、「60～69歳」(77.1%)、「50～59歳」(75.9%)、「40～49歳」(70.8%)、「18～29歳」(65.7%)、「30～39歳」(62.4%)と続く。

図 71 家庭での省エネ・省資源に取り組んでいるか

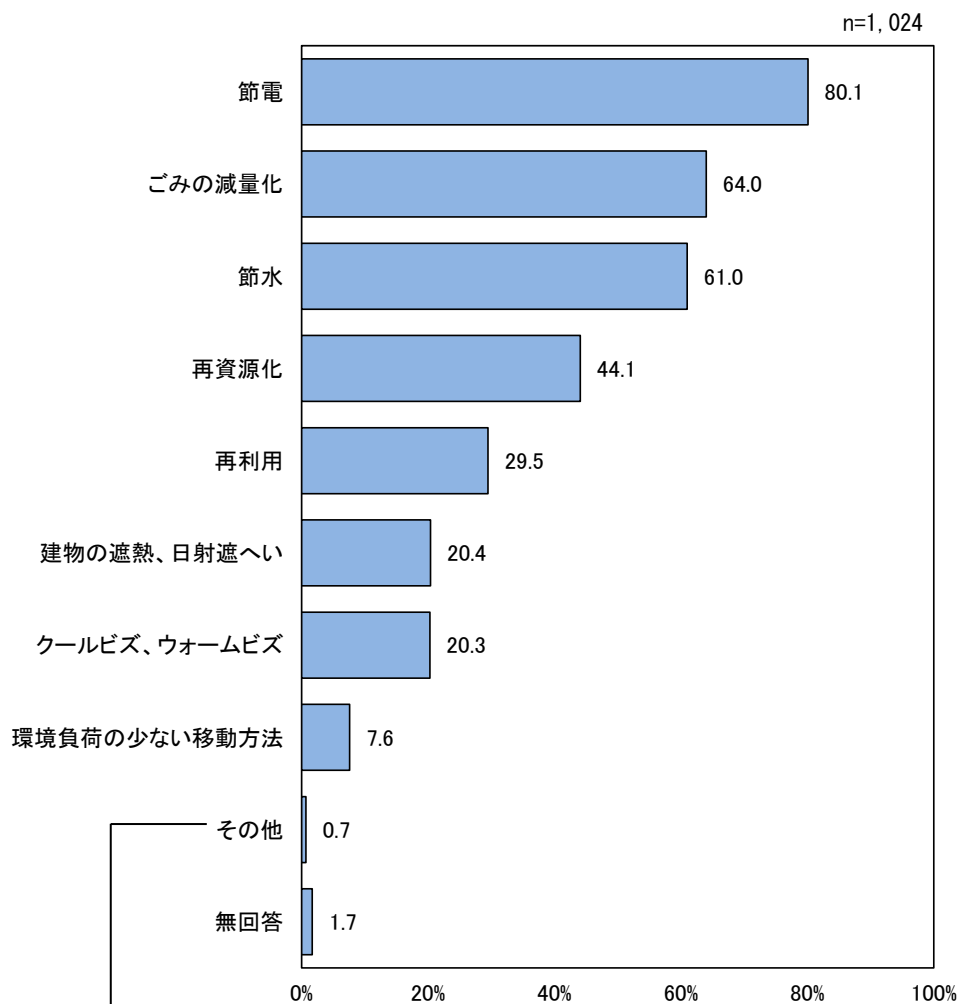


[「取り組んでいる」または「どちらかといえば取り組んでいる」を選んだ方]

■どんな内容に取り組んでいますか。[当てはまる全てに○]

[全体] 家庭での省エネ・省資源の取組については、「節電」(80.1%)が最も多く、以下、「ごみの減量化」(64.0%)、「節水」(61.0%)と続く。

図 72 家庭での省エネ・省資源の取組



<その他>

- ・太陽光を設置している
- ・車をエコモードにしている
- ・エアコンの適切な温度設定
- ・ソーラーライトを活用している など

[地域別] 「宮島地域」は「節電」(96.3%)、「節水」(88.9%)、「再利用」(40.7%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「節水」(71.0%)が、「50～59歳」は「クールビズ、ウォームビズ」(31.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 20 家庭での省エネ・省資源の取組

(単位:%)

項目		節電	ごみの減量化	節水	再資源化	再利用	建物の遮熱、日射遮へい	クールビズ、ウォームビズ	環境負荷の少ない移動方法	その他	無回答
全市 (n=1024)		80.1	64.0	61.0	44.1	29.5	20.4	20.3	7.6	0.7	1.7
地域別	廿日市地域 (n=403)	80.1	65.0	61.0	47.6	28.0	20.3	22.8	10.2	0.5	2.2
	佐伯地域 (n=230)	78.3	67.0	56.5	41.3	30.9	20.9	13.0	4.8	0.4	2.2
	吉和地域 (n=23)	82.6	56.5	60.9	21.7	30.4	13.0	26.1	4.3	4.3	-
	大野地域 (n=335)	80.3	63.0	62.4	45.1	29.6	20.6	22.1	7.2	0.9	0.9
	宮島地域 (n=27)	96.3	44.4	88.9	25.9	40.7	18.5	14.8	-	-	-
年代別	18～29歳 (n=69)	78.3	43.5	71.0	29.0	30.4	5.8	14.5	8.7	1.4	-
	30～39歳 (n=106)	80.2	45.3	55.7	34.0	35.8	9.4	13.2	6.6	-	1.9
	40～49歳 (n=153)	76.5	58.8	49.0	45.8	31.4	16.3	20.9	7.2	-	1.3
	50～59歳 (n=183)	80.9	67.8	62.3	46.4	27.3	19.1	31.1	8.7	1.6	1.6
	60～69歳 (n=242)	78.9	71.1	61.2	49.6	29.3	28.1	23.6	7.0	1.2	1.7
	70歳以上 (n=265)	83.8	70.2	67.2	44.2	27.5	24.2	13.2	7.9	-	2.3

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

5. 産業について

問 37 あなたは、普段の買い物で、意識して廿日市産の農産物を購入していますか。

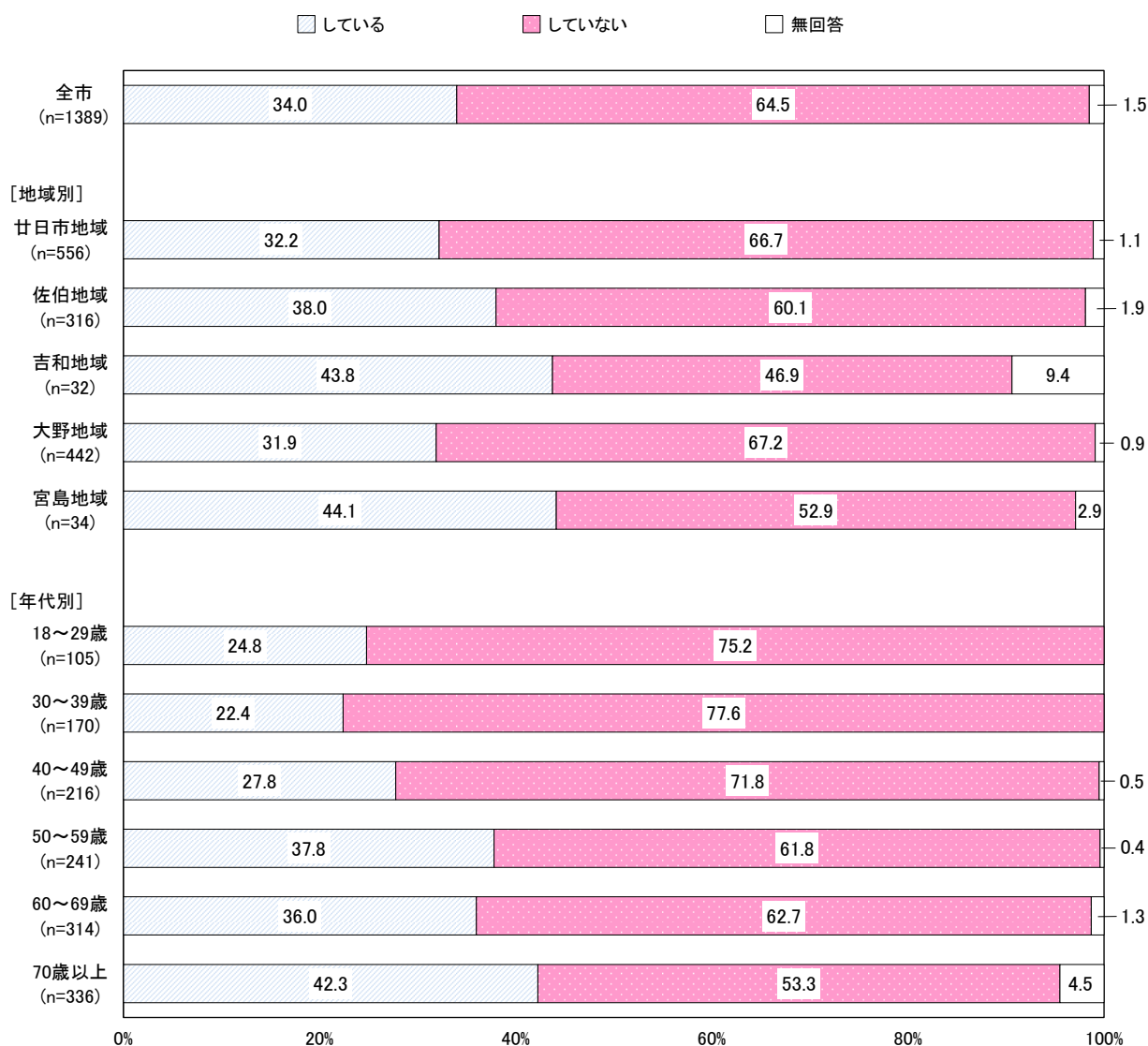
[〇は1つ]

[全体] 普段の買い物で、意識して廿日市産の農産物を購入しているかどうかについては、「していない」(64.5%)が6割台を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「している」(44.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 18～39歳は「していない」(18～29歳：75.2%、30～39歳：77.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 73 廿日市産の農産物の購入

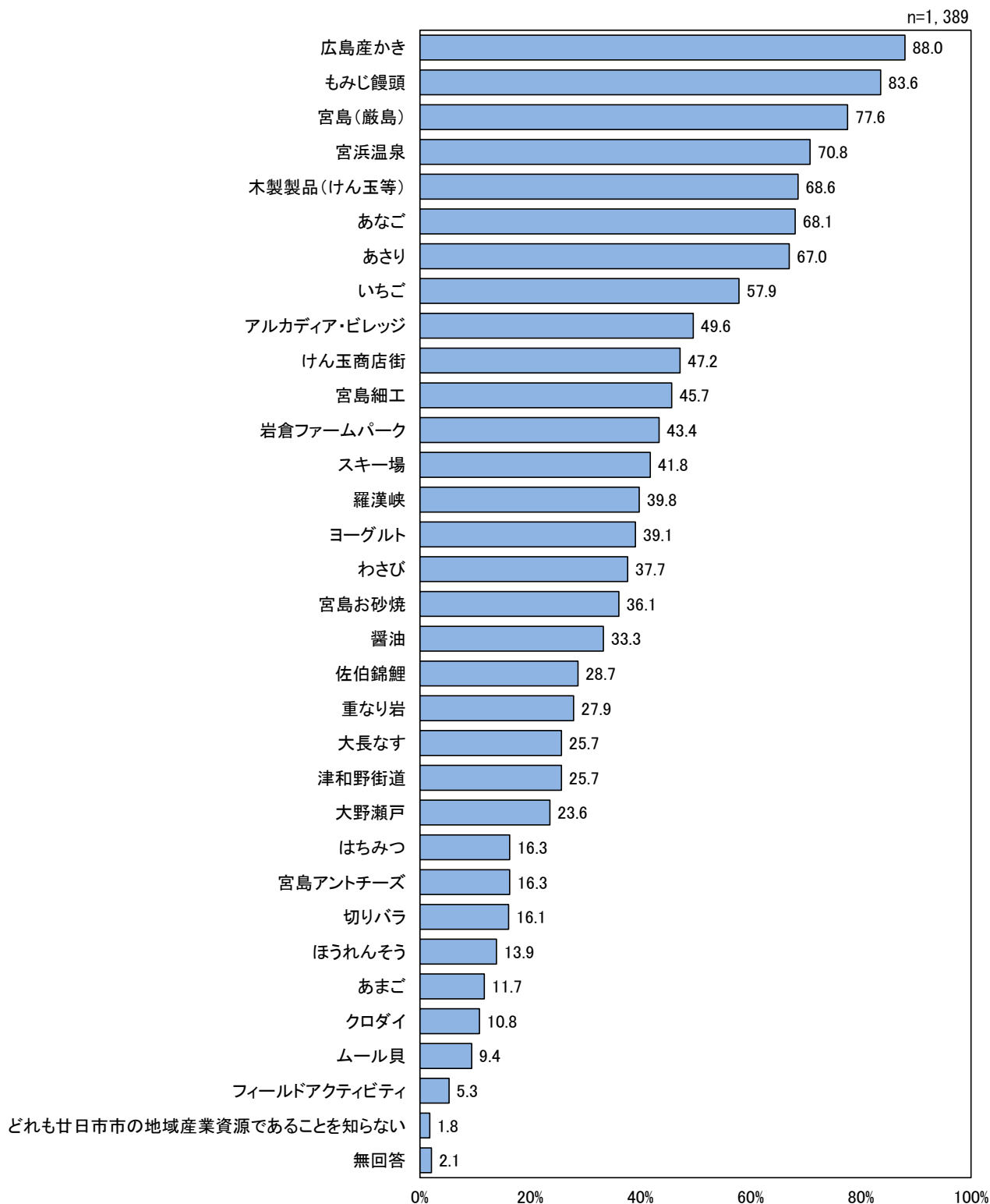


問 38 あなたは、廿日市市の地域産業資源について知っていますか。

【あてはまる全てに○】

【全体】 知っている廿日市市の地域産業資源については、「広島産かき」(88.0%)が最も多く、以下、「もみじ饅頭」(83.6%)、「宮島(厳島)」(77.6%)、「宮浜温泉」(70.8%)、「木製製品(けん玉等)」(68.6%)、「あなご」(68.1%)と続く。

図 74 地域産業資源の認知状況



[認知度 1位～16位]

[地域別] 「吉和地域」は「スキー場」(71.9%)と「わさび」(78.1%)が、「宮島地域」は「宮島細工」(76.5%)が「全市」より30ポイント以上高い。

[年代別] 「50～59歳」は「けん玉商店街」(57.3%)が、「70歳以上」は「宮島細工」(56.0%)と「わさび」(47.9%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 21 地域産業資源の認知状況(1～16位)

(単位:%)

項目	広島産かき	もみじ饅頭	宮島(厳島)	宮浜温泉	木製製品(けん玉等)	あなご	あさり	いちご	アルカディア・ビレッジ	けん玉商店街	宮島細工	岩倉ファームパーク	スキー場	羅漢峡	ヨーグルト	わさび	
全市 (n=1389)	88.0	83.6	77.6	70.8	68.6	68.1	67.0	57.9	49.6	47.2	45.7	43.4	41.8	39.8	39.1	37.7	
地域別	廿日市地域 (n=556)	87.8	83.3	78.1	67.6	71.0	69.2	57.0	56.8	55.6	46.0	37.4	38.5	37.9	37.4	30.8	
	佐伯地域 (n=316)	86.4	83.9	74.7	65.8	70.3	57.3	59.5	76.6	51.6	43.4	41.1	69.0	61.1	54.7	38.3	62.3
	吉和地域 (n=32)	65.6	65.6	53.1	34.4	62.5	53.1	59.4	56.3	31.3	18.8	43.8	40.6	71.9	37.5	31.3	78.1
	大野地域 (n=442)	91.4	85.5	81.0	82.6	65.4	75.1	84.4	44.3	43.2	43.0	46.6	35.7	33.0	33.9	43.0	25.6
	宮島地域 (n=34)	91.2	82.4	82.4	55.9	64.7	76.5	91.2	41.2	20.6	29.4	76.5	8.8	8.8	11.8	38.2	44.1
年代別	18～29歳 (n=105)	88.6	79.0	74.3	57.1	57.1	59.0	36.2	37.1	30.5	39.0	32.4	32.4	40.0	31.4	26.7	20.0
	30～39歳 (n=170)	85.9	82.4	75.9	65.3	65.3	56.5	44.7	42.4	41.2	39.4	27.6	35.3	30.0	24.1	14.1	
	40～49歳 (n=216)	89.4	84.3	81.0	74.1	71.3	71.8	68.1	57.9	51.9	51.4	45.4	48.6	40.7	39.4	40.3	30.6
	50～59歳 (n=241)	89.6	88.8	83.0	75.5	71.4	75.5	73.4	61.8	57.3	57.3	46.5	50.6	44.4	46.9	48.1	42.7
	60～69歳 (n=314)	89.2	83.4	79.3	72.3	72.0	70.1	75.2	63.4	54.5	46.8	49.0	46.2	43.3	40.4	43.6	46.5
	70歳以上 (n=336)	86.0	81.5	71.7	70.8	66.7	67.3	75.3	63.7	48.5	43.5	56.0	39.9	45.8	41.4	39.6	47.9

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

[認知度 17位～31位]

[地域別] 「佐伯地域」は「醤油」(65.8%)、「佐伯錦鯉」(63.6%)、「重なり岩」(59.2%)、「大長なす」(63.9%)、「津和野街道」(55.7%)が、「吉和地域」は「ほうれんそう」(50.0%)と「あまご」(46.9%)が、「宮島地域」は「宮島お砂焼」(67.6%)が「全市」より30ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「ほうれんそう」(24.7%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 22 地域産業資源の認知状況(17～31位)

(単位:%)

項目		宮島お砂焼	醤油	佐伯錦鯉	重なり岩	大長なす	津和野街道	大野瀬戸	はちみつ	宮島アントチーズ	切りバラ	ほうれんそう	あまご	クロダイ	ムール貝	ワールドアクティビティ
全市 (n=1389)		36.1	33.3	28.7	27.9	25.7	25.7	23.6	16.3	16.3	16.1	13.9	11.7	10.8	9.4	5.3
地域別	廿日市地域 (n=556)	32.6	25.5	18.0	20.9	15.3	19.4	16.0	15.8	17.1	16.5	9.9	6.1	9.5	7.0	4.1
	佐伯地域 (n=316)	21.5	65.8	63.6	59.2	63.9	55.7	13.0	12.3	14.6	22.2	30.1	25.9	7.9	5.7	7.6
	吉和地域 (n=32)	12.5	43.8	37.5	53.1	28.1	31.3	9.4	15.6	6.3	12.5	50.0	46.9	12.5	6.3	9.4
	大野地域 (n=442)	50.5	20.8	17.0	14.5	13.3	13.3	42.1	19.0	17.2	12.0	5.9	6.1	14.0	15.2	5.0
	宮島地域 (n=34)	67.6	14.7	20.6	5.9	2.9	5.9	23.5	26.5	20.6	11.8	2.9	11.8	17.6	11.8	2.9
年代別	18～29歳 (n=105)	22.9	32.4	18.1	24.8	23.8	19.0	13.3	9.5	9.5	5.7	7.6	8.6	4.8	3.8	6.7
	30～39歳 (n=170)	20.0	20.6	18.2	18.8	17.6	12.9	11.2	11.2	7.1	6.5	7.6	7.1	6.5	5.3	2.4
	40～49歳 (n=216)	34.7	31.5	22.7	29.6	21.3	23.6	21.8	17.6	22.2	14.4	9.3	6.0	8.3	12.0	8.8
	50～59歳 (n=241)	40.2	33.2	34.9	30.3	24.5	27.4	27.4	19.5	21.6	18.7	9.5	13.7	10.4	14.1	6.6
	60～69歳 (n=314)	42.4	36.0	30.3	27.7	25.8	27.4	27.1	15.3	22.3	17.8	14.6	16.9	11.8	9.9	5.1
	70歳以上 (n=336)	41.1	38.7	34.8	31.0	33.9	32.4	28.6	18.8	10.4	22.0	24.7	12.5	15.8	7.7	3.0

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

6. 教育・文化について

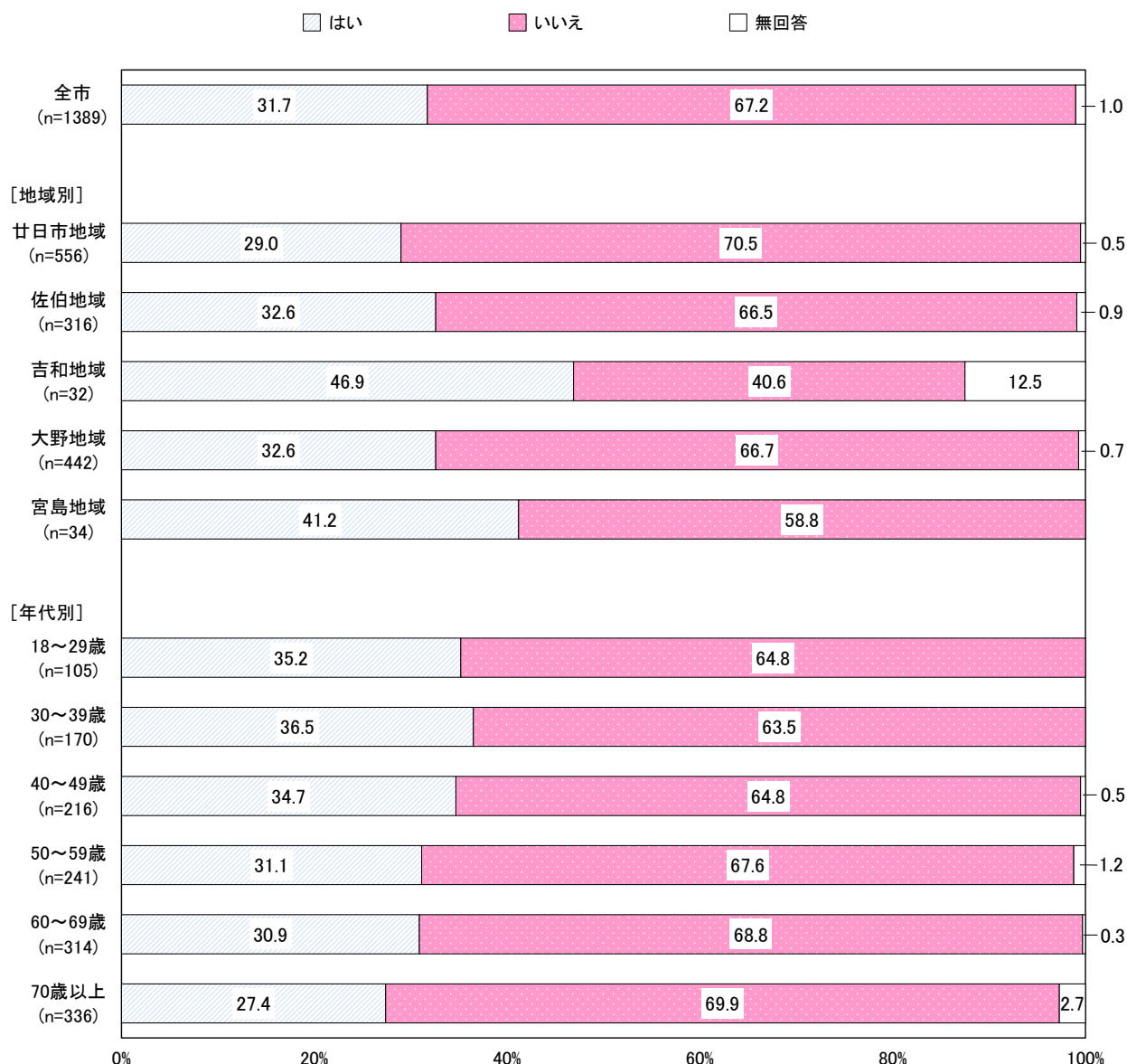
問 39 あなたは、過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたり、無形・有形民俗文化（人形芝居・神楽・踊等）を観たりしましたか。[〇は1つ]

[全体] 過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたり、無形・有形民俗文化を見たかかどうかについては、「いいえ」(67.2%)が6割台を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「はい」(46.9%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 30歳以降は、年齢が上がるほど「はい」の割合が低くなる傾向が見られる。

図 75 歴史探訪・文化鑑賞



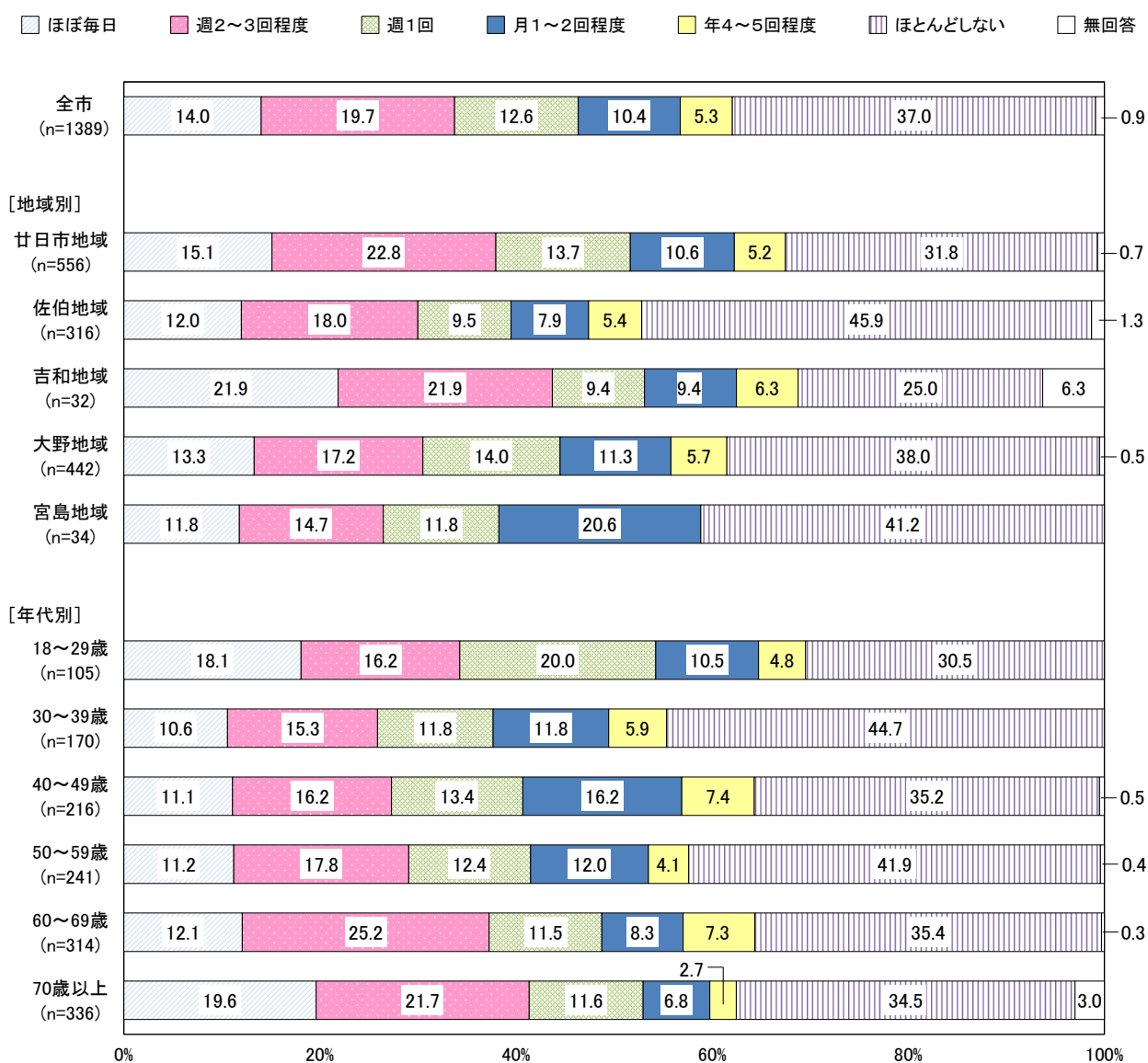
問 40 あなたは、この1年間にスポーツや運動（ウォーキングや健康づくりのための体操などの軽スポーツを含む）をどの程度しましたか。[〇は1つ]

[全体] この1年間にスポーツや運動をどの程度したかについては、「ほとんどしない」(37.0%)が最も多く、「週2～3回程度」(19.7%)がそれに次ぐ。

[地域別] 「宮島地域」は「月1～2回程度」(20.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「週1回」(20.0%)が、「30～39歳」は「ほとんどしない」(44.7%)が、「40～49歳」は「月1～2回程度」(16.2%)が、「60～69歳」は「週2～3回程度」(25.2%)が、「70歳以上」は「ほぼ毎日」(19.6%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 76 スポーツや運動



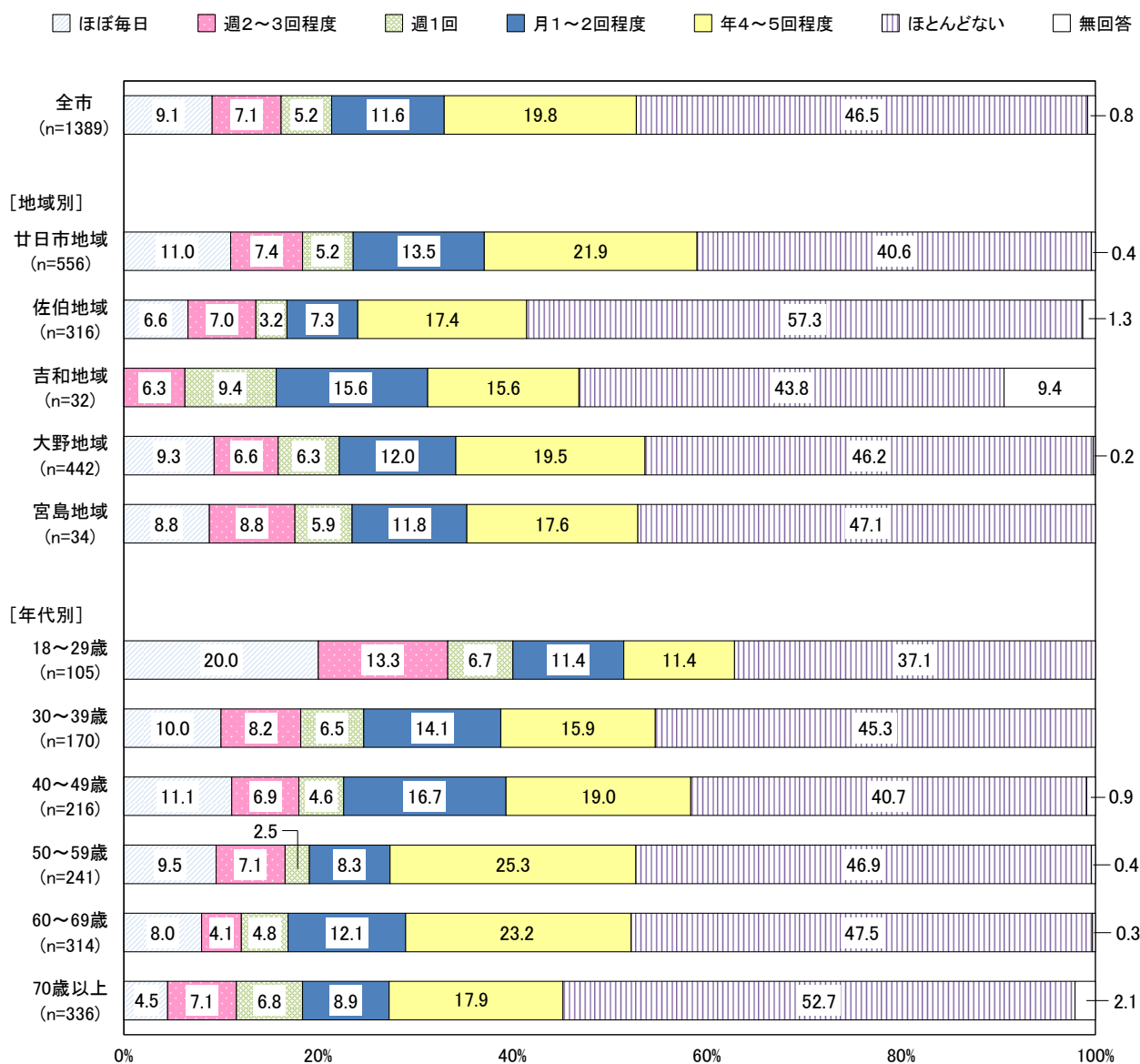
問 41 あなたは、日頃から文化芸術活動（音楽、演劇、舞踏、美術、伝統芸能、文学、映画など）に親しむことがありますか。〔〇は1つ〕

[全体] 日頃から文化芸術活動に親しむことがあるかどうかについては、「ほとんどない」(46.5%)が4割台を占める。

[地域別] 「佐伯地域」は「ほとんどない」(57.3%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「ほぼ毎日」(20.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 77 文化芸術活動



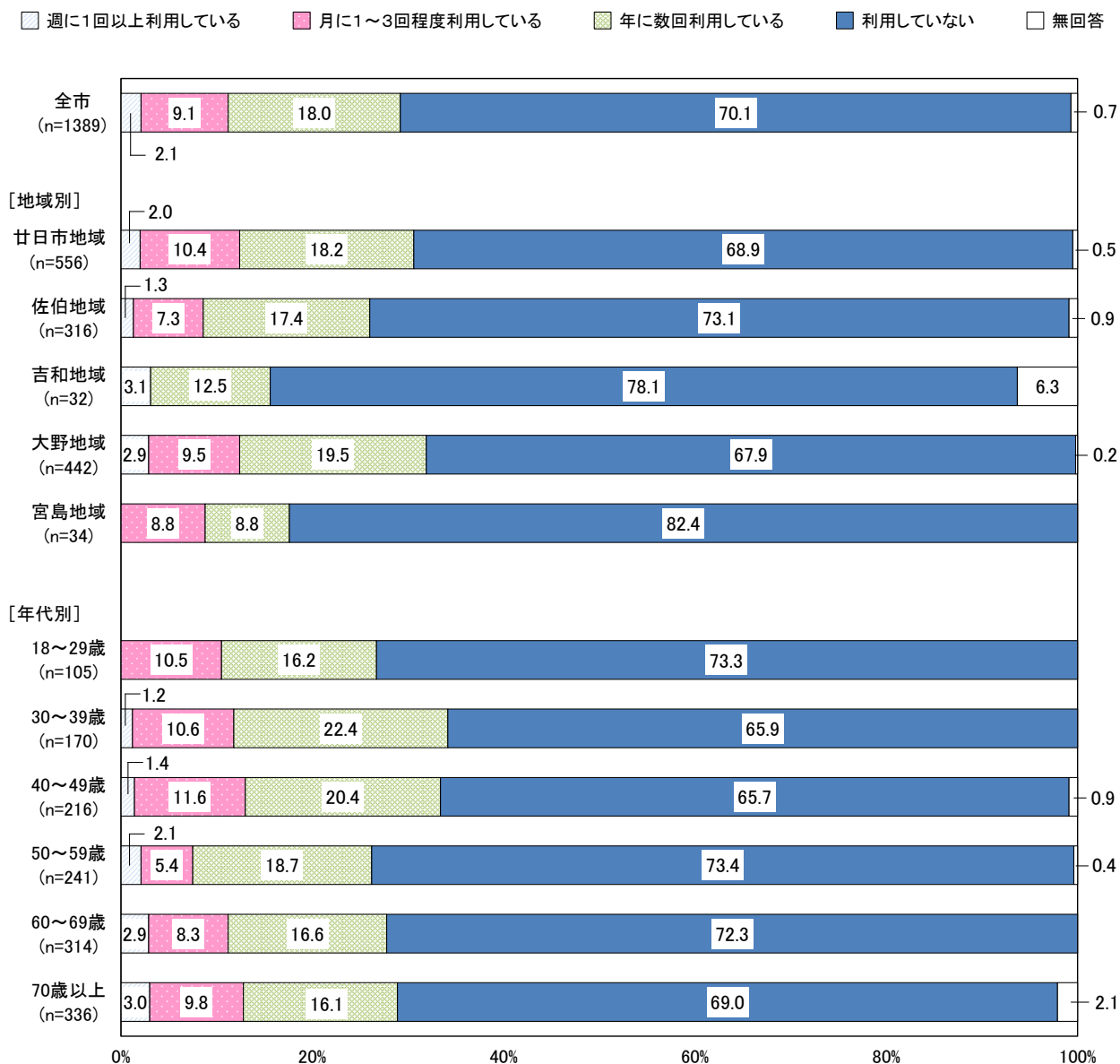
問 42 あなたは、図書館を利用していますか。[〇は1つ]

[全体] 図書館を利用しているかどうかについては、「利用していない」(70.1%)が約7割を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「利用していない」(82.4%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 年齢が上がるほど「週に1回以上利用している」の割合が高くなる傾向が見られる。

図 78 図書館の利用



7. 行政サービス・まちづくり全般について

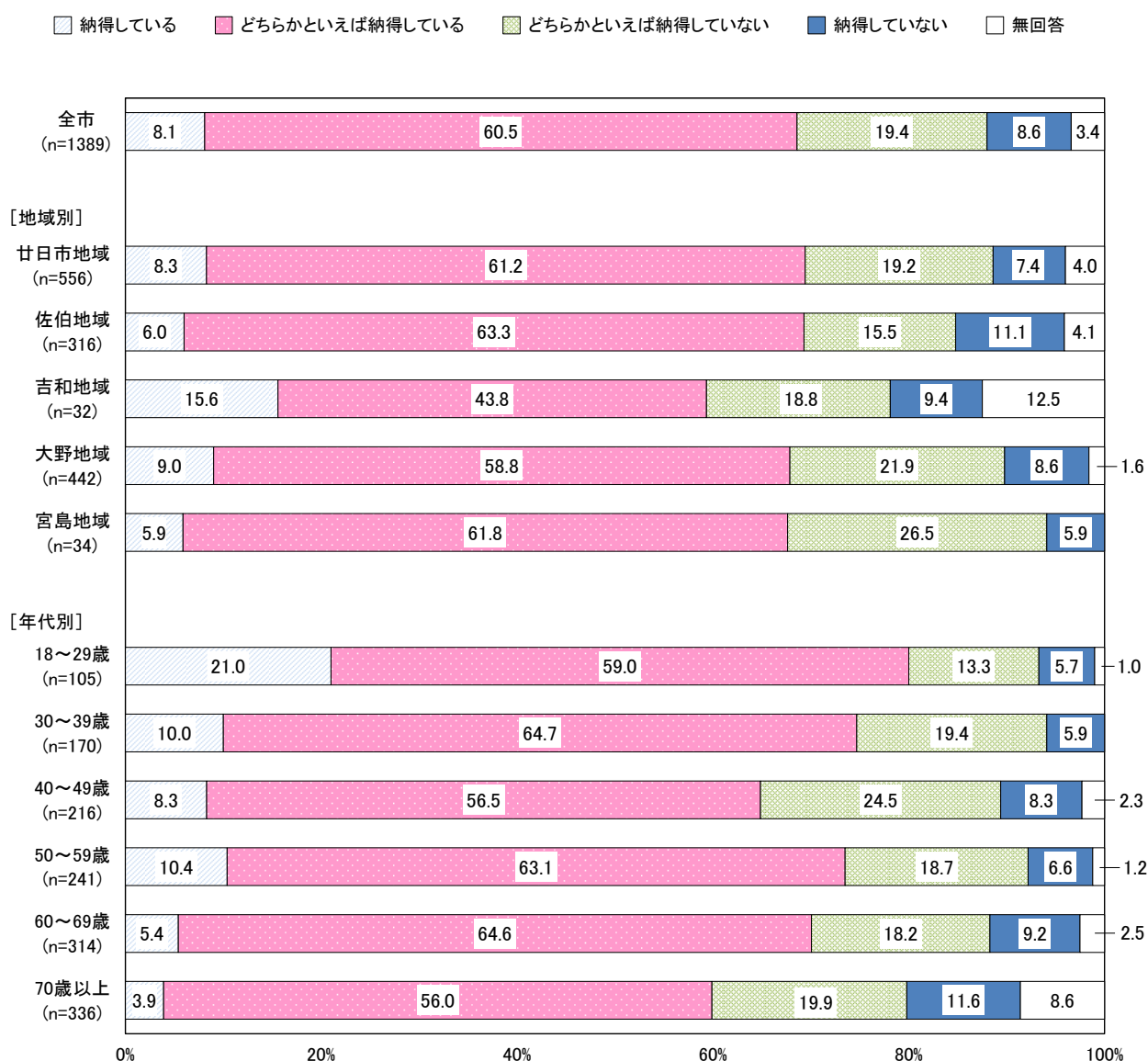
問 43 あなたは、廿日市市の行政サービスに納得していますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 廿日市市の行政サービスに納得しているかどうかについては、「納得している」(8.1%)と「どちらかといえば納得している」(60.5%)を合わせると6割台(68.6%)を占める。

〔地域別〕 「吉和地域」は、「納得している」と「どちらかといえば納得している」を合わせた割合(59.4%)が「全市」より5ポイント以上低い。

〔年代別〕 「18～29歳」は「納得している」と「どちらかといえば納得している」を合わせた割合(80.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 79 行政サービスの納得性



問 44 あなたは、廿日市市の行政サービスが効果的・効率的に行われていると思いますか。

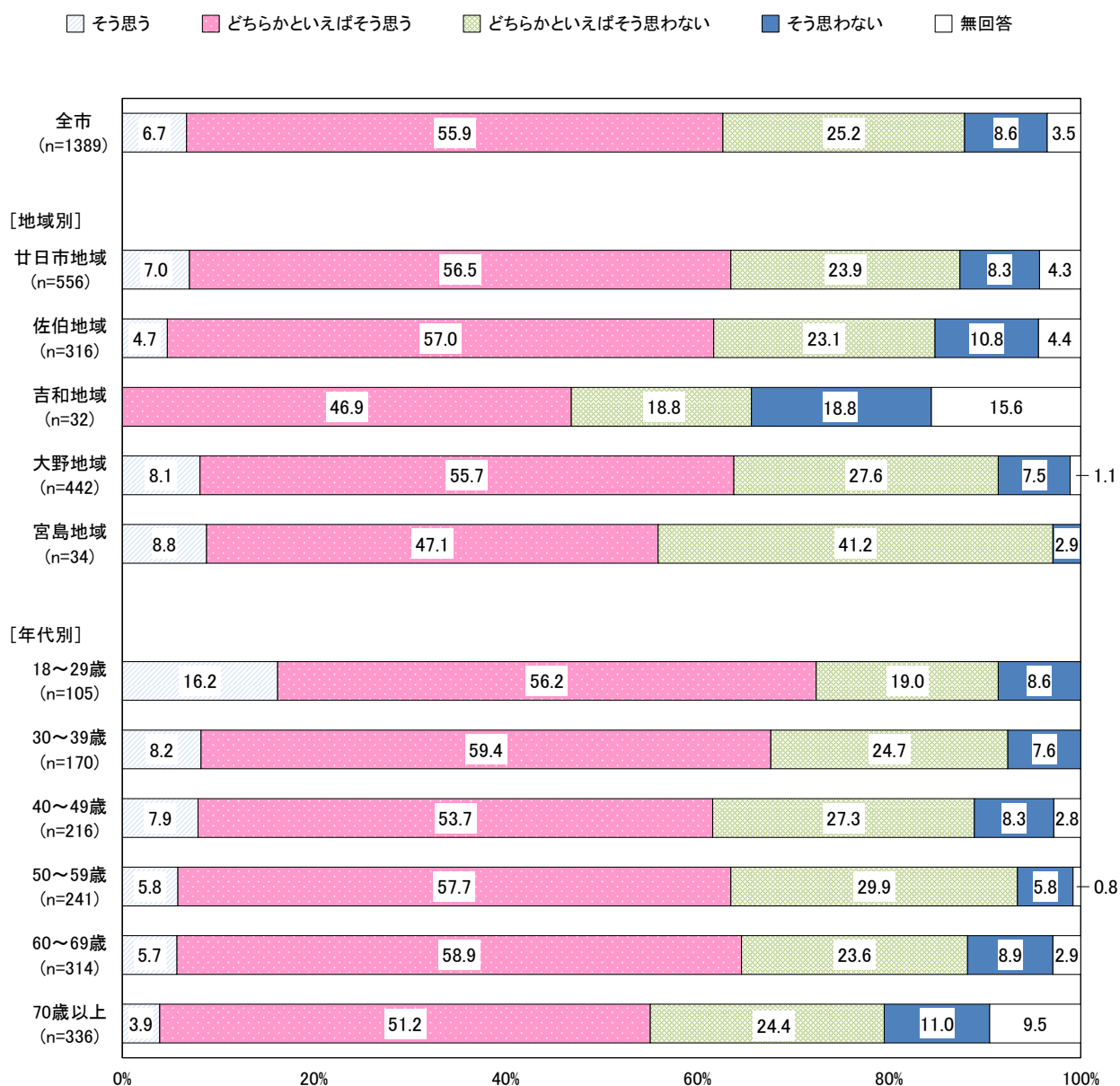
[〇は1つ]

[全体] 廿日市市の行政サービスが効果的・効率的に行われていると思うかどうかについては、「そう思う」(6.7%)と「どちらかといえばそう思う」(55.9%)を合わせると6割台(62.6%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合(46.9%)が、「全市」より10ポイント以上低い。

[年代別] 18～39歳は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合(18～29歳：72.4%、30～39歳：67.6%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 80 行政サービスは効果的・効率的か



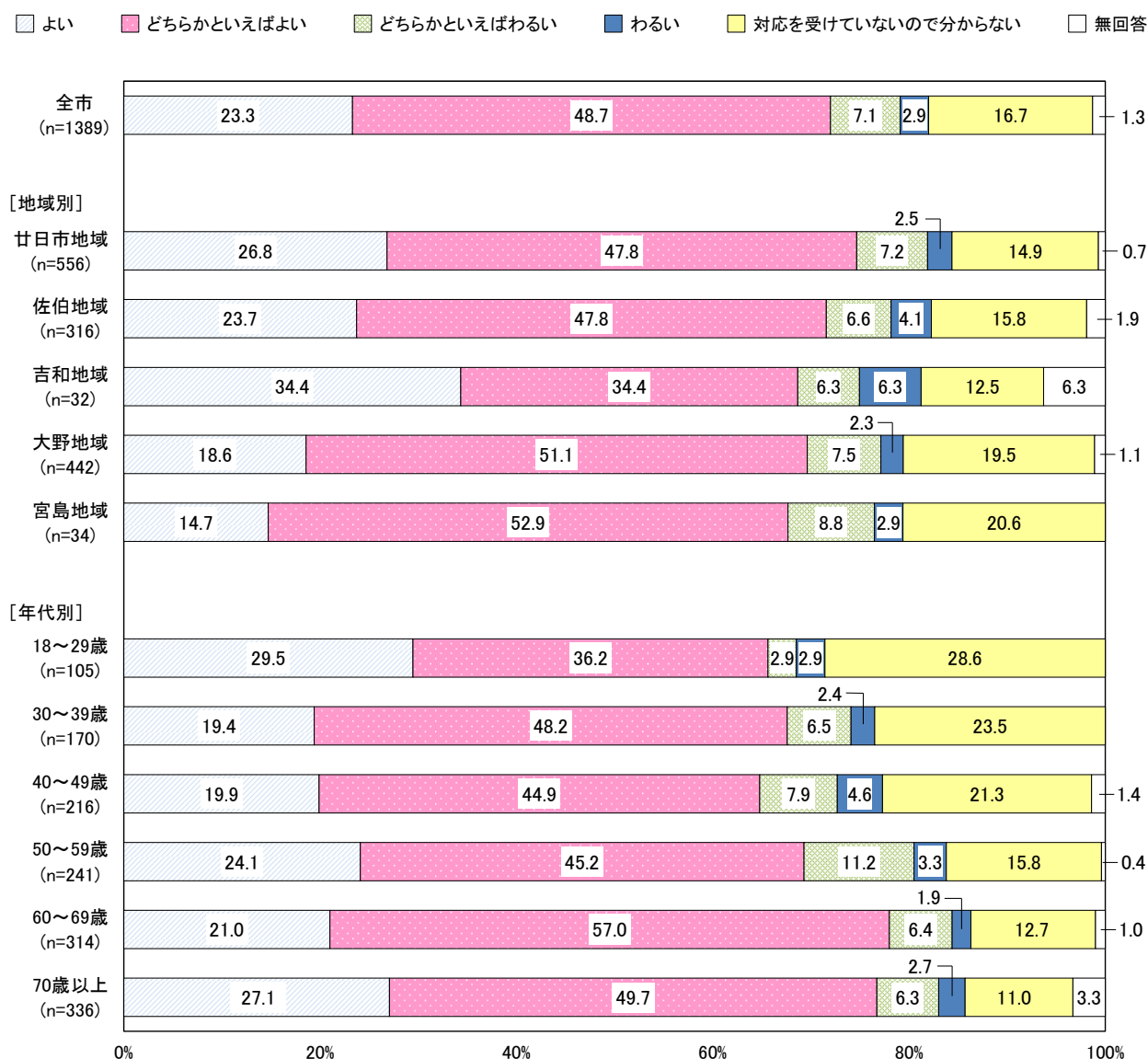
問 45 あなたは、市役所の窓口（電話対応を含む）や、地域での職員の対応はよいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 市役所の窓口や、地域での職員の対応については、「よい」(23.3%)と「どちらかといえばよい」(48.7%)を合わせると7割台(72.0%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「よい」(34.4%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「対応を受けていないので分からない」(28.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 81 市役所窓口や地域での職員の対応はよいと思うか

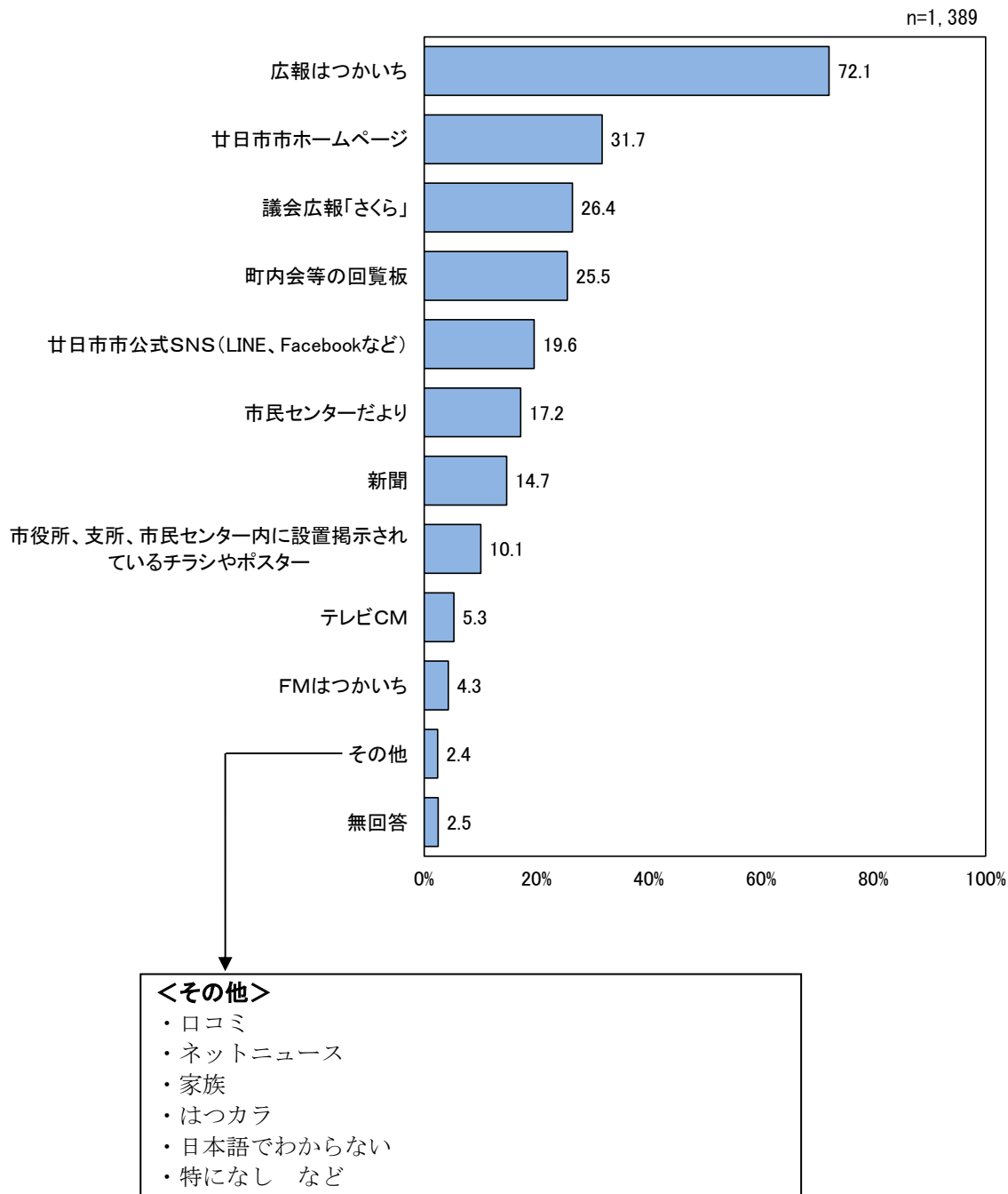


問 46 あなたは、市政やまちづくりに関して、重要な情報源としているものは何ですか。

[〇は3つまで]

[全体] 市政やまちづくりに関して、重要な情報源としているものについては、「広報はつかいち」(72.1%)が最も多く、以下、「廿日市市ホームページ」(31.7%)、「議会広報「さくら」」(26.4%)及び「町内会等の回覧板」(25.5%)と続く。

図 82 市政やまちづくりに関する重要な情報源



[地域別] 「吉和地域」は「町内会等の回覧板」(3.1%)が「全市」より20ポイント以上低い。

[年代別] 「18～29歳」は「広報はつかいち」(42.9%)が「全市」より20ポイント以上低い。

表 23 市政やまちづくりに関する重要な情報源

(単位:%)

項目	広報はつかいち	廿日市市ホームページ	議会広報「さくら」	町内会等の回覧板	F a c e b o o k 等 (LINE、)	市民センターだより	新聞	市役所、支所、市民センター内に設置 掲示されているチラシやポスター	テレビCM	FMはつかいち	その他	無回答	
全市 (n=1389)	72.1	31.7	26.4	25.5	19.6	17.2	14.7	10.1	5.3	4.3	2.4	2.5	
地域別	廿日市地域 (n=556)	75.5	33.5	25.0	28.1	22.1	19.8	10.8	8.5	5.2	2.5	3.1	1.8
	佐伯地域 (n=316)	63.0	30.7	22.5	9.5	21.8	20.3	19.3	16.1	5.1	7.6	0.9	3.8
	吉和地域 (n=32)	71.9	25.0	37.5	3.1	9.4	15.6	21.9	21.9	6.3	9.4	3.1	6.3
	大野地域 (n=442)	73.1	31.4	30.5	36.0	16.5	11.8	15.2	7.5	4.8	3.6	2.7	2.0
	宮島地域 (n=34)	91.2	23.5	26.5	20.6	5.9	14.7	23.5	5.9	11.8	5.9	-	2.9
年代別	18～29歳 (n=105)	42.9	49.5	14.3	9.5	24.8	5.7	12.4	12.4	10.5	6.7	8.6	1.9
	30～39歳 (n=170)	53.5	41.2	15.9	15.9	34.7	12.4	8.2	7.6	7.6	4.1	5.9	0.6
	40～49歳 (n=216)	67.6	39.4	24.1	17.6	30.6	11.1	8.3	6.9	4.2	2.8	0.9	2.8
	50～59歳 (n=241)	73.4	39.8	22.4	19.5	21.6	16.2	11.2	9.1	4.1	5.0	0.4	2.5
	60～69歳 (n=314)	79.3	30.6	28.3	34.1	16.9	18.2	15.6	8.9	5.1	5.4	1.0	1.6
	70歳以上 (n=336)	85.4	12.2	38.1	36.6	4.5	27.1	24.4	14.6	4.2	3.3	2.4	4.5

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

8. 廿日市市のまちづくりについて

問 47 廿日市市が行っている施策の満足度と重要度についてお伺いします。

○廿日市市の施策の満足度と重要度について、下記の算式により数値化した値でみると、満足度の平均は 2.99、最大値は 3.35、最小値は 2.35、重要度の平均は 4.01、最大値は 4.42、最小値は 3.46 であった。

<算式>

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times 5 + (\text{どちらかといえば満足}) \times 4 + (\text{普通}) \times 3 + (\text{どちらかといえば不満}) \times 2 + (\text{不満}) \times 1}{(\text{有効回答数} - (\text{わからない} + \text{無回答}))}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times 5 + (\text{やや重要}) \times 4 + (\text{どちらともいえない}) \times 3 + (\text{あまり重要ではない}) \times 2 + (\text{重要ではない}) \times 1}{(\text{有効回答数} - (\text{わからない} + \text{無回答}))}$$

■満足度

[上位 5 項目]

- 「19 消防・救急体制の充実」(3.35)
- 「51 窓口での内容に応じた適切な職員の対応」(3.35)
- 「35 安全で良質な水を供給する上水道の整備」(3.29)
- 「1 一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり」(3.21)
- 「52 支所機能の充実」(3.20)

[下位 5 項目]

- 「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.35)
- 「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(2.59)
- 「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備 (バリアフリーの状況)」(2.60)
- 「45 ノーカーダー、パークアンドライドが実践できる環境整備」(2.61)
- 「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(2.70)

■重要度

[上位 5 項目]

- 「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(4.42)
- 「19 消防・救急体制の充実」(4.40)
- 「35 安全で良質な水を供給する上水道の整備」(4.37)
- 「20 地震・風水害などの災害対策」(4.37)
- 「21 防犯や交通安全に向けた取組」(4.33)

[下位 5 項目]

- 「37 市営墓地の整備」(3.46)
- 「3 地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり」(3.48)
- 「47 NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり」(3.60)
- 「45 ノーカーダー、パークアンドライドが実践できる環境整備」(3.63)
- 「29 立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組」(3.65)

○重要度と満足度の差を「ニーズ度」として数値化した値でみると、最もニーズ度が高いのは「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.88)であった。

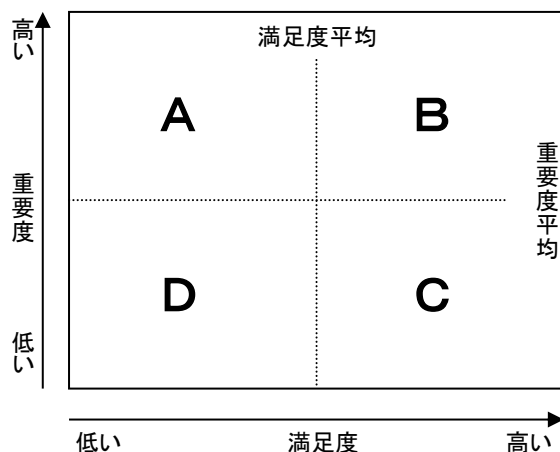
<算式>	ニーズ度 = 重要度 - 満足度
-------------------	-------------------------

■ニーズ度

[上位5項目]

- 「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.88)
- 「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備 (バリアフリーの状況)」(1.59)
- 「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.53)
- 「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.40)
- 「20 地震・風水害などの災害対策」(1.36)
- 「21 防犯や交通安全に向けた取組」(1.36)

○縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図で各施策の位置づけを分類したところ、53 項目中、A (重点化・見直し領域) が9項目、B (現状維持領域) が18項目、C (現状維持・見直し領域) が13項目、D (改善・見直し領域) が13項目であった。



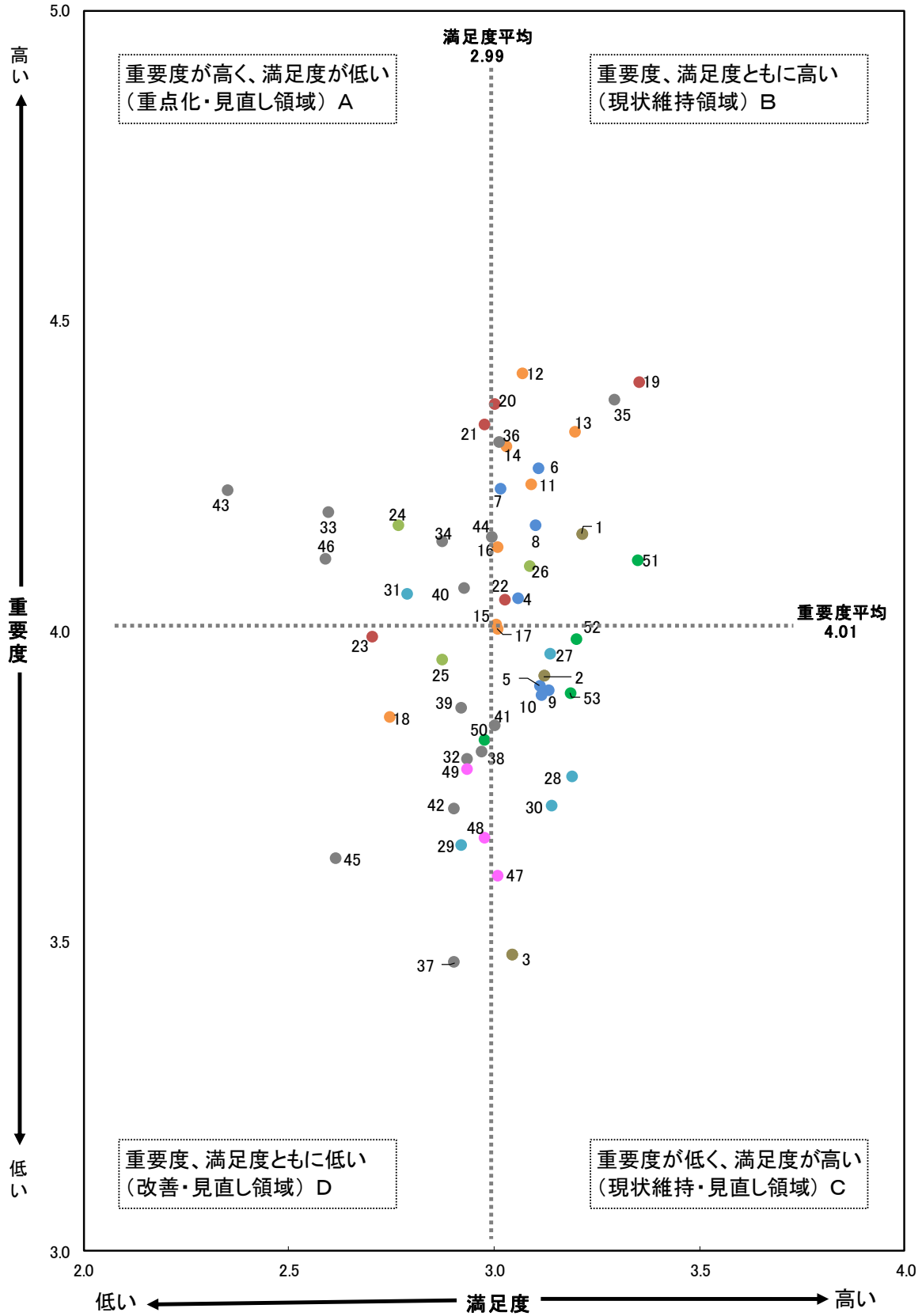
<p><施策の位置づけ></p> <p>A. 重要度が高く、満足度が低い (重点化・見直し領域) 重要度は高いが満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。</p> <p>B. 重要度、満足度ともに高い (現状維持領域) 重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。</p> <p>C. 重要度が低く、満足度が高い (現状維持・見直し領域) 重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直す必要のある領域。</p> <p>D. 重要度、満足度ともに低い (改善・見直し領域) 重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。</p>
--

表 24 満足度・重要度・ニーズ度(全市)

順位	凡例	NO	全市	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.35	53位	4.23	12位	1.88	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.60	51位	4.19	13位	1.59	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.59	52位	4.12	20位	1.53	A
4位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.77	47位	4.17	15位	1.40	A
5位		20	地震・風水害などの災害対策	3.00	31位	4.37	4位	1.36	B
6位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.98	34位	4.33	5位	1.36	A
7位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.07	19位	4.42	1位	1.34	B
8位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.01	25位	4.30	7位	1.29	B
9位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.70	49位	3.99	29位	1.29	D
10位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.79	46位	4.06	24位	1.27	A
11位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.87	44位	4.14	18位	1.27	A
12位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.03	22位	4.30	8位	1.27	B
13位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.01	24位	4.23	11位	1.21	B
14位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.99	32位	4.15	17位	1.16	A
15位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.11	15位	4.26	9位	1.15	B
16位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.09	17位	4.24	10位	1.14	B
17位		40	安全で快適な市街地の整備	2.93	39位	4.07	23位	1.14	A
18位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.01	26位	4.13	19位	1.12	B
19位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.20	6位	4.32	6位	1.12	B
20位		18	低所得者への支援	2.75	48位	3.86	39位	1.11	D
21位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.87	45位	3.95	32位	1.08	D
22位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.29	3位	4.37	3位	1.08	B
23位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.10	16位	4.17	14位	1.07	B
24位		19	消防・救急体制の充実	3.35	1位	4.40	2位	1.05	B
25位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.03	23位	4.05	26位	1.02	B
26位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.61	50位	3.63	50位	1.02	D
27位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.09	18位	4.10	22位	1.01	B
28位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.01	29位	4.01	27位	1.00	B
29位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.01	28位	4.00	28位	1.00	C
30位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.06	20位	4.05	25位	0.99	B
31位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.92	41位	3.88	38位	0.96	D
32位		1	一人ひとりを大切に人権が保障された社会づくり	3.21	4位	4.16	16位	0.94	B
33位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.93	38位	3.79	43位	0.86	D
34位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.98	35位	3.82	41位	0.85	D
35位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.00	30位	3.85	40位	0.85	C
36位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.93	37位	3.77	44位	0.84	D
37位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.97	36位	3.80	42位	0.83	D
38位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.14	10位	3.96	31位	0.82	C
39位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.90	43位	3.71	47位	0.81	D
40位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.12	12位	3.93	33位	0.80	C
41位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.11	14位	3.91	34位	0.80	C
42位		52	支所機能の充実	3.20	5位	3.99	30位	0.79	C
43位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.12	13位	3.89	37位	0.78	C
44位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.13	11位	3.90	35位	0.77	C
45位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.35	2位	4.11	21位	0.76	B
46位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.92	40位	3.65	49位	0.73	D
47位		53	市民センター機能の充実	3.19	8位	3.90	36位	0.71	C
48位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.98	33位	3.67	48位	0.69	D
49位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.01	27位	3.60	51位	0.60	C
50位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.14	9位	3.72	46位	0.58	C
51位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.19	7位	3.76	45位	0.57	C
52位		37	市営墓地の整備	2.90	42位	3.46	53位	0.56	D
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.05	21位	3.48	52位	0.43	C
平均				2.99		4.01		1.01	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 83 満足度・重要度の相関図(全市)



<施策分野>

■ 1-3 : 人権	■ 4-10 : 教育	■ 11-18 : 子育て・福祉	■ 19-23 : 安全安心	■ 24-26 : 環境保全
■ 27-31 : 産業	■ 32-46 : 都市基盤	■ 47-49 : 協働	■ 50-53 : 行政	

【地域別】

○廿日市地域

【満足度の平均】

・満足度の平均は 3.05 で「全市」(2.99)より 0.06 ポイント高い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 4.00 で「全市」(4.01)より 0.01 ポイント低い。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.66)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.53)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.51)、「21 防犯や交通安全に向けた取組」(1.33)、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.32)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 11 項目、B（現状維持領域）が 16 項目、C（現状維持・見直し領域）が 11 項目、D（改善・見直し領域）が 15 項目であった。

○佐伯地域

【満足度の平均】

・満足度の平均は 2.91 で「全市」(2.99)より 0.08 ポイント低い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 4.01 で「全市」(4.01)と同じである。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.89)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.76)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.63)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.56)「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.55)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 14 項目、B（現状維持領域）が 14 項目、C（現状維持・見直し領域）が 12 項目、D（改善・見直し領域）が 13 項目であった。

・「佐伯地域」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。

「36 快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備」

○吉和地域

【満足度の平均】

・満足度の平均は 3.17 で「全市」(2.99)より 0.18 ポイント高い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 4.06 で「全市」(4.01)より 0.05 ポイント高い。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「18 低所得者への支援」(2.08)が最も高く、以下、「31 まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況」(1.77)、「14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援」(1.66)、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.60)、「15 地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり」(1.45)及び「16 障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり」(1.45)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 17 項目、B（現状維持領域）が 10 項目、C（現状維持・見直し領域）が 14 項目、D（改善・見直し領域）が 12 項目であった。

・「吉和地域」のみA（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。

「6 学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保」

「13 保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり」

「15 地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり」

「19 消防・救急体制の充実」

○大野地域

【満足度の平均】

・満足度の平均は 2.98 で「全市」(2.99)より 0.01 ポイント低い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 4.01 で「全市」(4.01)と同じである。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.16)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.59)「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.54)、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.41)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.36)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 10 項目、B（現状維持領域）が 16 項目、C（現状維持・見直し領域）が 13 項目、D（改善・見直し領域）が 14 項目であった。

○宮島地域

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 2.95 で「全市」(2.99)より 0.04 ポイント低い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.11 で「全市」(4.01)より 0.10 ポイント高い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.10)が最も高く、以下、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(2.02)、「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(1.68)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.66)、「34 安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備」(1.65)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 13 項目、B（現状維持領域）が 18 項目、C（現状維持・見直し領域）が 12 項目、D（改善・見直し領域）が 10 項目であった。

- ・「宮島地域」のみA（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。

「8 障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実」

「25 省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組」

「26 ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり」

表 25 地域別施策の位置づけ

項目	全市	廿日市地域	佐伯地域	吉和地域	大野地域	宮島地域
1 一人ひとりを大切に人権が保障された社会づくり	B	B	B	B	B	B
2 家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	C	C	C	D	C	C
3 地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	C	C	C	D	C	C
4 青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	B	A	B	A	B	A
5 生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	C	C	C	C	C	C
6 学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	B	B	B	A	B	B
7 確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	B	A	B	A	B	B
8 障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	B	B	B	D	B	A
9 スポーツ施設の整備及び活動の支援	C	C	C	D	C	C
10 文化施設の整備及び活動の支援	C	C	C	D	C	C
11 市民が健康に生活できるための支援	B	B	B	D	B	B
12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	B	B	A	B	B	A
13 保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	B	B	B	A	B	B
14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	B	B	B	A	A	B
15 地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	B	B	C	A	D	B
16 障がい者の自立支援や福祉サービスなど障がい者が地域で安心して暮らすための環境づくり	B	B	A	A	B	B
17 生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	C	D	A	A	C	B
18 低所得者への支援	D	D	D	A	D	A
19 消防・救急体制の充実	B	B	B	A	B	B
20 地震・風水害などの災害対策	B	B	A	A	B	A
21 防犯や交通安全に向けた取組	A	A	A	B	A	B
22 相談窓口など消費者の支援体制の充実	B	A	A	B	C	B
23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	D	D	A	D	D	A
24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	A	A	A	A	A	A
25 省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	D	D	D	D	D	A
26 ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	B	B	B	C	B	A
27 特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	C	C	C	B	C	C
28 市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	C	C	C	C	C	C
29 立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	D	D	D	C	D	D
30 おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	C	C	C	C	C	C
31 まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	A	A	A	A	A	A
32 公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	D	D	D	C	D	B
33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	A	A	A	D	A	A
34 安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	A	A	A	A	A	A
35 安全で良質な水を供給する上水道の整備	B	B	B	B	B	B
36 快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	B	B	A	B	B	B
37 市営墓地の整備	D	D	D	C	D	D
38 地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	D	D	D	C	D	C
39 適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	D	D	D	C	D	D
40 安全で快適な市街地の整備	A	A	D	B	A	D
41 市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	C	C	D	B	D	D
42 支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	D	D	D	C	D	D
43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	A	A	A	A	A	A
44 駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	A	B	B	A	A	B
45 ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	D	D	D	D	D	D
46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	A	A	A	A	A	D
47 NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	C	D	C	C	C	C
48 地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	D	D	D	C	C	C
49 市民と行政の協働のまちづくり	D	D	D	D	D	D
50 市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	D	D	C	D	D	D
51 窓口での内容に応じた適切な職員の対応	B	B	B	C	B	B
52 支所機能の充実	C	C	B	B	B	B
53 市民センター機能の充実	C	C	C	C	C	C

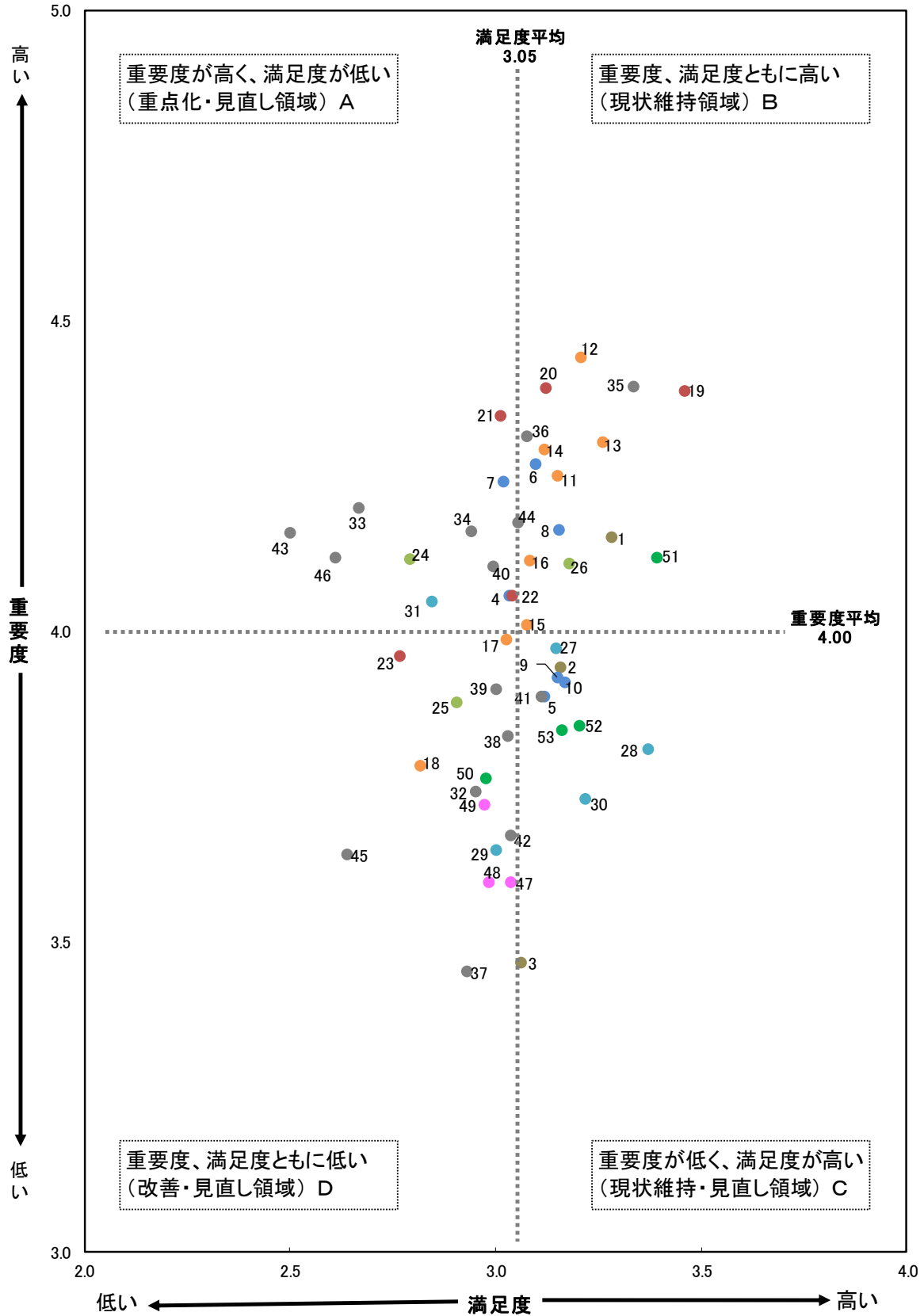
※A 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)に網掛け

表 26 満足度・重要度・ニーズ度(廿日市地域)

順位	凡例	NO	廿日市地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.50	53位	4.16	16位	1.66	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.67	50位	4.20	12位	1.53	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.61	52位	4.12	19位	1.51	A
4位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.01	35位	4.35	5位	1.33	A
5位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.79	48位	4.12	20位	1.32	A
6位		20	地震・風水害などの災害対策	3.12	18位	4.39	3位	1.27	B
7位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.07	24位	4.31	6位	1.24	B
8位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.21	8位	4.44	1位	1.23	B
9位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.02	34位	4.24	11位	1.22	A
10位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.94	43位	4.16	15位	1.22	A
11位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.84	46位	4.05	26位	1.20	A
12位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.77	49位	3.96	30位	1.19	D
13位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.12	20位	4.29	8位	1.17	B
14位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.10	22位	4.27	9位	1.17	B
15位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.06	27位	4.17	13位	1.12	B
16位		40	安全で快適な市街地の整備	2.99	38位	4.10	23位	1.11	A
17位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.15	15位	4.25	10位	1.10	B
18位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.33	4位	4.39	2位	1.06	B
19位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.26	6位	4.30	7位	1.04	B
20位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.08	23位	4.11	21位	1.03	B
21位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.03	31位	4.06	25位	1.02	A
22位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.04	28位	4.06	24位	1.02	A
23位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.15	14位	4.16	14位	1.01	B
24位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.64	51位	3.64	49位	1.00	D
25位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.91	45位	3.88	37位	0.98	D
26位		18	低所得者への支援	2.82	47位	3.78	42位	0.96	D
27位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.03	33位	3.98	28位	0.96	D
28位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.07	25位	4.01	27位	0.93	B
29位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.18	10位	4.11	22位	0.93	B
30位		19	消防・救急体制の充実	3.46	1位	4.38	4位	0.92	B
31位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.00	37位	3.91	34位	0.91	D
32位		1	一人ひとりを大切にすること人権が保障された社会づくり	3.28	5位	4.15	17位	0.87	B
33位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.15	17位	3.97	29位	0.82	C
34位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.03	32位	3.83	40位	0.80	D
35位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.95	42位	3.74	44位	0.79	D
36位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.98	40位	3.76	43位	0.79	D
37位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.11	21位	3.89	36位	0.78	C
38位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.16	13位	3.94	31位	0.78	C
39位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.12	19位	3.89	35位	0.78	C
40位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.15	16位	3.93	32位	0.78	C
41位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.97	41位	3.72	46位	0.75	D
42位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.17	11位	3.92	33位	0.75	C
43位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.39	2位	4.12	18位	0.72	B
44位		53	市民センター機能の充実	3.16	12位	3.84	39位	0.68	C
45位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.00	36位	3.65	48位	0.64	D
46位		52	支所機能の充実	3.21	9位	3.85	38位	0.64	C
47位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	3.04	29位	3.67	47位	0.63	D
48位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.99	39位	3.59	51位	0.61	D
49位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.04	30位	3.60	50位	0.56	D
50位		37	市営墓地の整備	2.93	44位	3.45	53位	0.52	D
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.22	7位	3.73	45位	0.51	C
52位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.37	3位	3.81	41位	0.44	C
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.06	26位	3.47	52位	0.41	C
平均				3.05		4.00		0.95	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 84 満足度・重要度の相関図(廿日市地域)



<施策分野>

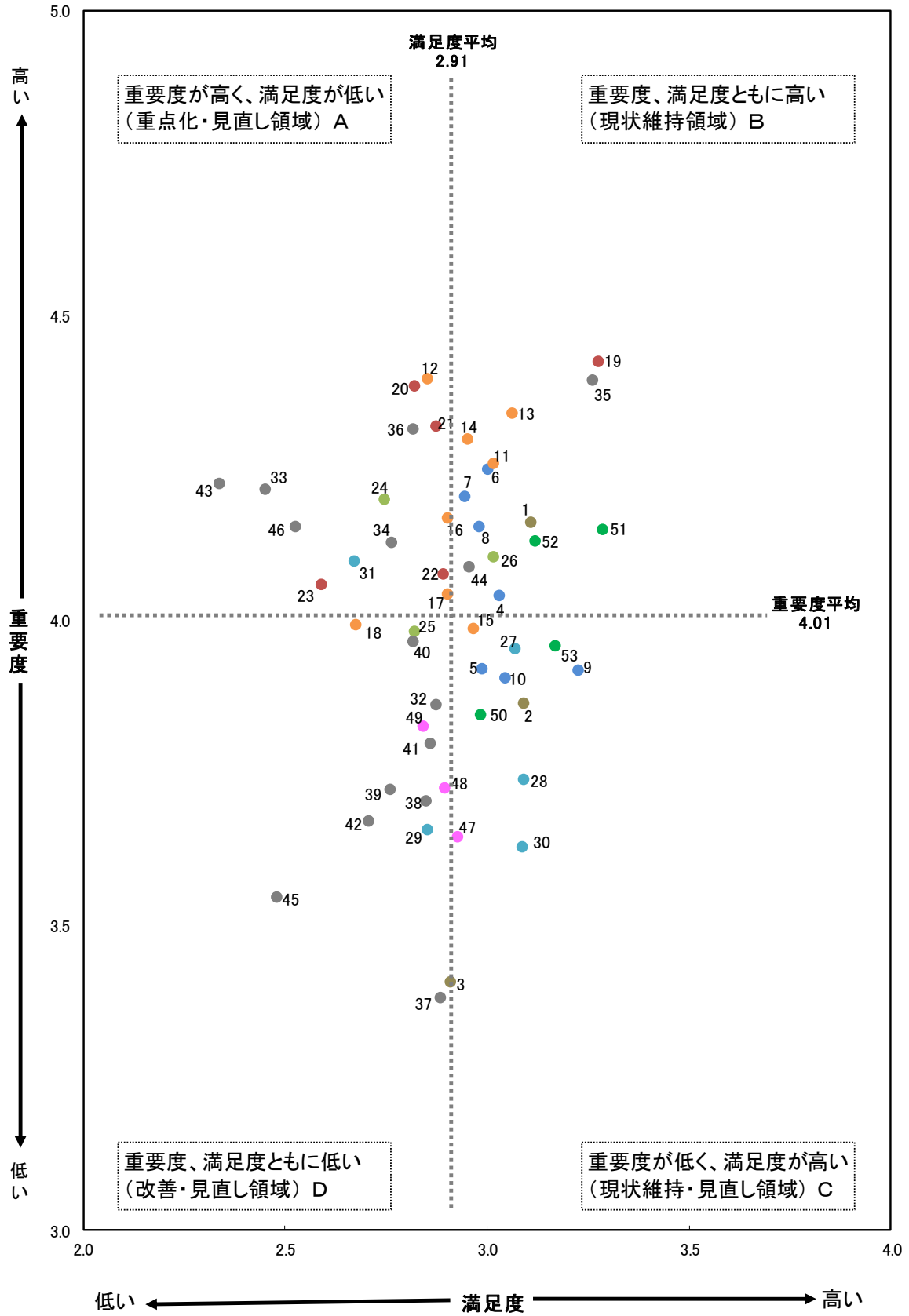
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 27 満足度・重要度・ニーズ度(佐伯地域)

順位	凡例	NO	佐伯地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
				満足度	順位	重要度	順位		
1位		43	渋滞が起りにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.34	53位	4.22	11位	1.89	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.45	52位	4.21	12位	1.76	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.52	50位	4.15	17位	1.63	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	2.82	40位	4.38	4位	1.56	A
5位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	2.85	35位	4.40	2位	1.55	A
6位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.82	42位	4.31	7位	1.50	A
7位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.59	49位	4.06	26位	1.47	A
8位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.75	45位	4.20	14位	1.45	A
9位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.87	32位	4.32	6位	1.45	A
10位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.67	48位	4.10	23位	1.43	A
11位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.76	43位	4.13	21位	1.36	A
12位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.95	23位	4.30	8位	1.34	B
13位		18	低所得者への支援	2.68	47位	3.99	29位	1.31	D
14位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.06	12位	4.34	5位	1.28	B
15位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.90	27位	4.17	15位	1.27	A
16位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.95	24位	4.20	13位	1.26	B
17位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.00	17位	4.25	10位	1.25	B
18位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.01	16位	4.26	9位	1.24	B
19位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.89	30位	4.08	25位	1.18	A
20位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	2.98	20位	4.15	18位	1.17	B
21位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.82	39位	3.98	31位	1.16	D
22位		19	消防・救急体制の充実	3.28	2位	4.42	1位	1.15	B
23位		40	安全で快適な市街地の整備	2.82	41位	3.97	32位	1.15	D
24位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.90	28位	4.04	27位	1.14	A
25位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.95	22位	4.09	24位	1.13	B
26位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.26	3位	4.39	3位	1.13	B
27位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.02	15位	4.10	22位	1.09	B
28位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.48	51位	3.55	51位	1.07	D
29位		1	一人ひとりを大切にす人権が保障された社会づくり	3.11	7位	4.16	16位	1.05	B
30位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.97	21位	3.99	30位	1.02	C
31位		52	支所機能の充実	3.12	6位	4.13	20位	1.01	B
32位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.03	14位	4.04	28位	1.01	B
33位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.87	33位	3.86	39位	0.99	D
34位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.84	38位	3.83	41位	0.98	D
35位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.76	44位	3.72	45位	0.97	D
36位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.71	46位	3.67	47位	0.96	D
37位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.86	34位	3.80	42位	0.94	D
38位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.99	18位	3.92	35位	0.93	C
39位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.07	11位	3.95	34位	0.88	C
40位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.29	1位	4.15	19位	0.86	B
41位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.98	19位	3.85	40位	0.86	C
42位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.04	13位	3.91	37位	0.86	C
43位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.85	37位	3.70	46位	0.85	D
44位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.90	29位	3.72	44位	0.83	D
45位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.85	36位	3.66	48位	0.80	D
46位		53	市民センター機能の充実	3.17	5位	3.96	33位	0.79	C
47位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.09	8位	3.86	38位	0.77	C
48位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.93	25位	3.64	49位	0.72	C
49位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.22	4位	3.92	36位	0.69	C
50位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.09	9位	3.74	43位	0.65	C
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.09	10位	3.63	50位	0.54	C
52位		37	市営墓地の整備	2.88	31位	3.38	53位	0.50	D
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	2.91	26位	3.41	52位	0.50	C
平均				2.91		4.01		1.10	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度-満足度)と合致しない場合があります。

図 85 満足度・重要度の相関図(佐伯地域)



<施策分野>

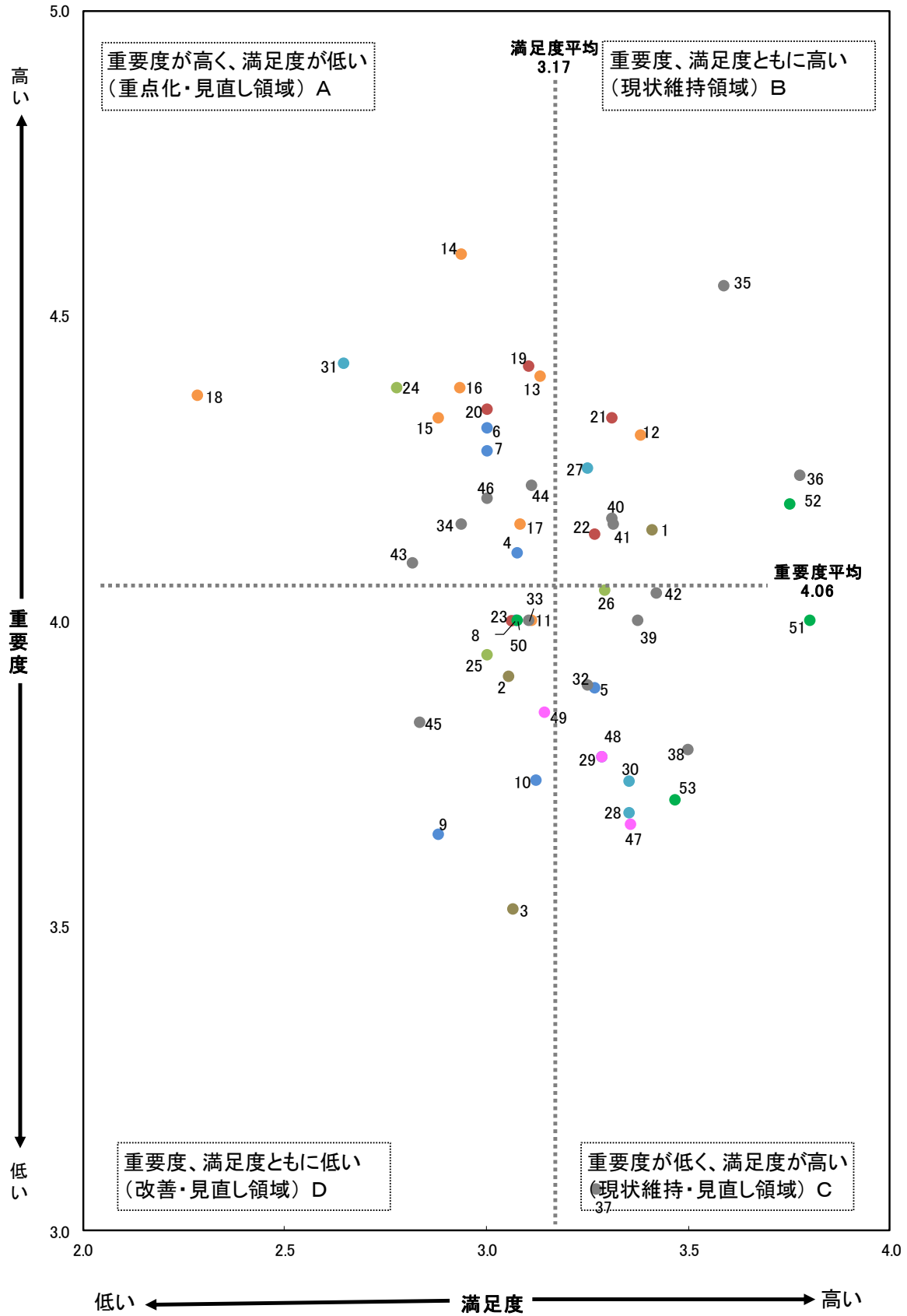
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 28 満足度・重要度・ニーズ度(吉和地域)

順位	凡例	NO	吉和地域	満足度	重要度	ニーズ度	分類		
1位		18	低所得者への支援	2.29	53位	4.37	8位	2.08	A
2位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.65	52位	4.42	3位	1.77	A
3位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.94	44位	4.60	1位	1.66	A
4位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.78	51位	4.38	6位	1.60	A
5位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.88	47位	4.33	10位	1.45	A
6位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.93	46位	4.38	6位	1.45	A
7位		20	地震・風水害などの災害対策	3.00	39位	4.35	9位	1.35	A
8位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.00	39位	4.32	12位	1.32	A
9位		19	消防・救急体制の充実	3.11	30位	4.42	4位	1.31	A
10位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.00	39位	4.28	14位	1.28	A
11位		43	渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.82	50位	4.10	27位	1.28	A
12位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.13	26位	4.40	5位	1.27	A
13位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.94	44位	4.16	21位	1.22	A
14位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	3.00	39位	4.20	18位	1.20	A
15位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.11	28位	4.22	17位	1.11	A
16位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.08	32位	4.16	21位	1.07	A
17位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.08	33位	4.11	26位	1.03	A
18位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.31	15位	4.33	10位	1.02	B
19位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.25	23位	4.25	15位	1.00	B
19位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.83	49位	3.83	42位	1.00	D
21位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.59	4位	4.55	2位	0.96	B
22位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	3.00	39位	3.94	37位	0.94	D
23位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	3.06	37位	4.00	30位	0.94	D
24位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.07	35位	4.00	30位	0.93	D
25位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.38	9位	4.30	13位	0.92	B
26位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.08	33位	4.00	30位	0.92	D
27位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	3.11	30位	4.00	30位	0.89	D
28位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.11	28位	4.00	30位	0.89	D
29位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.27	21位	4.14	25位	0.88	B
30位		40	安全で快適な市街地の整備	3.31	15位	4.17	20位	0.85	B
31位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.06	38位	3.91	38位	0.85	D
32位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.32	14位	4.16	21位	0.84	B
33位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	2.88	47位	3.65	51位	0.77	D
34位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.29	17位	4.05	28位	0.76	C
35位		1	一人ひとりを大切にすることによる人権が保障された社会づくり	3.41	8位	4.15	24位	0.74	B
36位		49	市民と行政の協働のまちづくり	3.14	25位	3.85	41位	0.71	D
37位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.25	23位	3.89	39位	0.64	C
38位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.38	10位	4.00	30位	0.63	C
39位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	3.42	7位	4.05	29位	0.62	C
40位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.27	21位	3.89	40位	0.62	C
41位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.13	27位	3.74	46位	0.61	D
42位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.29	18位	3.78	44位	0.49	C
42位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.29	18位	3.78	44位	0.49	C
44位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.78	2位	4.24	16位	0.46	B
45位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.07	36位	3.53	52位	0.46	D
46位		52	支所機能の充実	3.75	3位	4.19	19位	0.44	B
47位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.35	12位	3.74	46位	0.38	C
48位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.35	12位	3.68	49位	0.33	C
49位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.36	11位	3.67	50位	0.31	C
50位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.50	5位	3.79	43位	0.29	C
51位		53	市民センター機能の充実	3.47	6位	3.71	48位	0.24	C
52位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.80	1位	4.00	30位	0.20	C
53位		37	市営墓地の整備	3.27	20位	3.07	53位	-0.21	C
平均				3.17		4.06		0.89	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 86 満足度・重要度の相関図(吉和地域)



<施策分野>

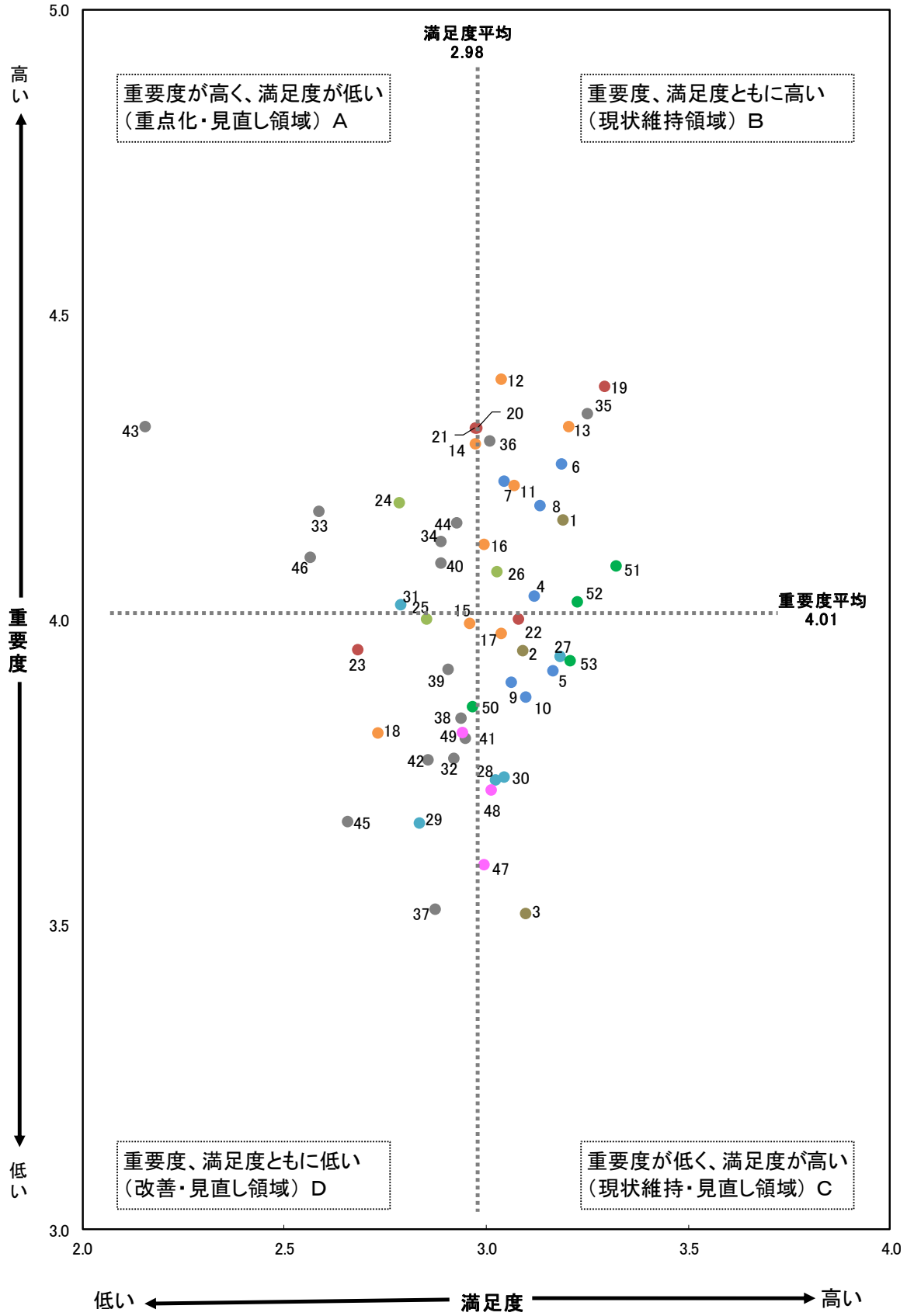
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 29 満足度・重要度・ニーズ度(大野地域)

順位	凡例	NO	大野地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.16	53位	4.32	4位	2.16	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.59	51位	4.18	15位	1.59	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.57	52位	4.10	20位	1.54	A
4位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.78	47位	4.19	13位	1.41	A
5位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.04	21位	4.39	1位	1.36	B
6位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.97	30位	4.31	6位	1.34	A
7位		20	地震・風水害などの災害対策	2.98	29位	4.31	6位	1.34	B
8位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.97	31位	4.29	9位	1.32	A
9位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.01	26位	4.29	8位	1.28	B
10位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.68	49位	3.95	31位	1.27	D
11位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.89	40位	4.13	18位	1.24	A
12位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.79	46位	4.02	26位	1.24	A
13位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.93	37位	4.16	17位	1.23	A
14位		40	安全で快適な市街地の整備	2.89	41位	4.09	21位	1.21	A
15位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.05	19位	4.23	11位	1.18	B
16位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.07	17位	4.22	12位	1.15	B
17位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.85	44位	4.00	27位	1.15	D
18位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.00	27位	4.12	19位	1.13	B
19位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.21	6位	4.32	5位	1.11	B
20位		19	消防・救急体制の充実	3.29	2位	4.38	2位	1.09	B
21位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.25	3位	4.34	3位	1.09	B
22位		18	低所得者への支援	2.73	48位	3.81	42位	1.08	D
23位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.19	8位	4.25	10位	1.07	B
24位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.13	11位	4.19	14位	1.06	B
25位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.03	23位	4.08	23位	1.05	B
26位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.96	33位	3.99	29位	1.03	D
27位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.66	50位	3.67	49位	1.01	D
28位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.91	39位	3.92	35位	1.01	D
29位		1	一人ひとりを大切にすること人権が保障された社会づくり	3.19	7位	4.16	16位	0.97	B
30位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.04	22位	3.98	30位	0.94	C
31位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.12	12位	4.04	24位	0.92	B
32位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.08	16位	4.00	27位	0.92	C
33位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.86	43位	3.77	45位	0.91	D
34位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.94	36位	3.84	40位	0.90	D
35位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.97	32位	3.86	39位	0.89	D
36位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.94	35位	3.81	41位	0.87	D
37位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.09	15位	3.95	32位	0.86	C
38位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.95	34位	3.80	43位	0.86	D
39位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.92	38位	3.77	44位	0.85	D
40位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.06	18位	3.90	37位	0.83	C
41位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.84	45位	3.67	50位	0.83	D
42位		52	支所機能の充実	3.23	4位	4.03	25位	0.80	B
43位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.10	13位	3.87	38位	0.77	C
44位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.32	1位	4.09	22位	0.76	B
45位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.18	9位	3.94	33位	0.76	C
46位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.16	10位	3.92	36位	0.75	C
47位		53	市民センター機能の充実	3.21	5位	3.93	34位	0.72	C
48位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.02	24位	3.74	47位	0.71	C
49位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.01	25位	3.72	48位	0.71	C
50位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.04	20位	3.74	46位	0.70	C
51位		37	市営墓地の整備	2.88	42位	3.53	52位	0.65	D
52位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.00	28位	3.60	51位	0.60	C
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.10	14位	3.52	53位	0.42	C
平均				2.98		4.01		1.03	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 87 満足度・重要度の相関図(大野地域)



<施策分野>

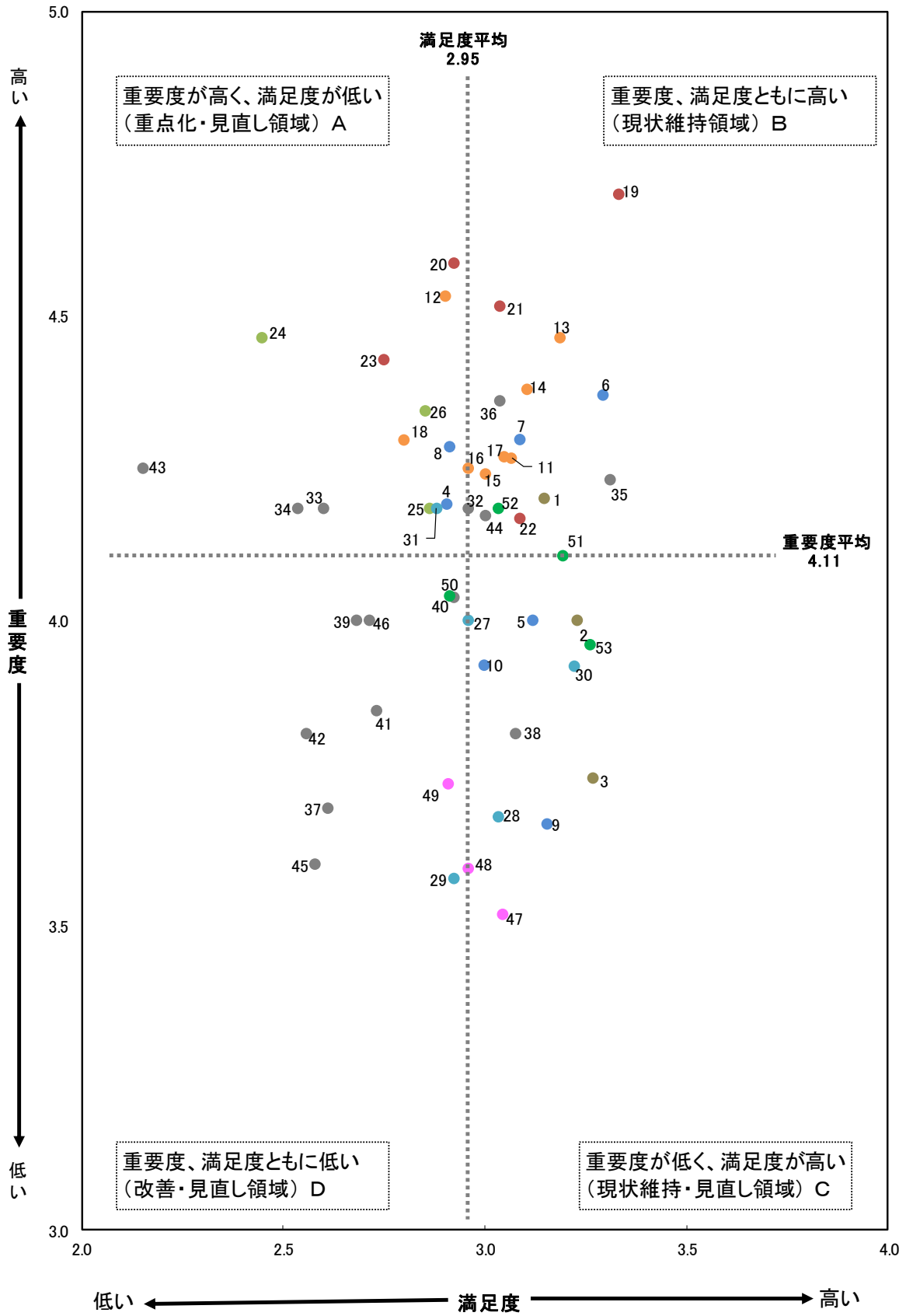
■ 1-3 : 人権	■ 4-10 : 教育	■ 11-18 : 子育て・福祉	■ 19-23 : 安全安心	■ 24-26 : 環境保全
■ 27-31 : 産業	■ 32-46 : 都市基盤	■ 47-49 : 協働	■ 50-53 : 行政	

表 30 満足度・重要度・ニーズ度(宮島地域)

順位	凡例	NO	宮島地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43		2.15	53位	4.25	17位	2.10	A
2位		24		2.45	52位	4.46	5位	2.02	A
3位		23		2.75	43位	4.43	7位	1.68	A
4位		20		2.92	31位	4.59	2位	1.66	A
5位		34		2.54	51位	4.19	23位	1.65	A
6位		12		2.90	38位	4.53	3位	1.63	A
7位		33		2.60	48位	4.19	23位	1.59	A
8位		18		2.80	42位	4.30	12位	1.50	A
9位		26		2.85	41位	4.34	11位	1.49	A
10位		21		3.04	20位	4.52	4位	1.48	B
11位		8		2.91	34位	4.29	14位	1.37	A
12位		19		3.33	1位	4.70	1位	1.37	B
13位		25		2.86	40位	4.19	23位	1.32	A
14位		36		3.04	20位	4.36	10位	1.32	B
15位		39		2.68	46位	4.00	34位	1.32	D
16位		31		2.88	39位	4.19	23位	1.31	A
17位		16		2.96	29位	4.25	17位	1.29	B
18位		4		2.90	37位	4.19	22位	1.29	A
19位		46		2.71	45位	4.00	34位	1.29	D
20位		13		3.19	9位	4.46	5位	1.28	B
21位		14		3.10	13位	4.38	8位	1.28	B
22位		42		2.56	50位	3.81	43位	1.26	D
23位		15		3.00	24位	4.24	19位	1.24	B
24位		32		2.96	27位	4.19	23位	1.23	B
25位		17		3.05	18位	4.27	15位	1.22	B
26位		7		3.09	14位	4.30	12位	1.21	B
27位		11		3.07	17位	4.27	16位	1.20	B
28位		44		3.00	24位	4.17	29位	1.17	B
29位		52		3.03	22位	4.19	23位	1.15	B
30位		50		2.91	34位	4.04	32位	1.13	D
31位		41		2.73	44位	3.85	42位	1.12	D
32位		40		2.92	31位	4.04	33位	1.12	D
33位		37		2.61	47位	3.69	47位	1.08	D
34位		22		3.09	14位	4.17	30位	1.08	B
35位		6		3.29	3位	4.37	9位	1.08	B
36位		1		3.15	11位	4.20	21位	1.05	B
37位		27		2.96	27位	4.00	34位	1.04	C
38位		45		2.58	49位	3.60	50位	1.02	D
39位		10		3.00	24位	3.93	40位	0.93	C
40位		35		3.31	2位	4.23	20位	0.92	B
41位		51		3.19	8位	4.11	31位	0.91	B
42位		5		3.12	12位	4.00	34位	0.88	C
43位		49		2.91	36位	3.73	46位	0.82	D
44位		2		3.23	6位	4.00	34位	0.77	C
45位		38		3.08	16位	3.81	43位	0.74	C
46位		30		3.22	7位	3.93	40位	0.70	C
47位		53		3.26	5位	3.96	39位	0.70	C
48位		29		2.92	31位	3.58	52位	0.65	D
49位		28		3.03	23位	3.68	48位	0.65	C
50位		48		2.96	29位	3.59	51位	0.63	C
51位		9		3.15	10位	3.67	49位	0.51	C
52位		47		3.05	19位	3.52	53位	0.47	C
53位		3		3.27	4位	3.74	45位	0.47	C
平均				2.95		4.11		1.16	

(注)ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 88 満足度・重要度の相関図(宮島地域)



<施策分野>

■ 1-3 : 人権	■ 4-10 : 教育	■ 11-18 : 子育て・福祉	■ 19-23 : 安全安心	■ 24-26 : 環境保全
■ 27-31 : 産業	■ 32-46 : 都市基盤	■ 47-49 : 協働	■ 50-53 : 行政	

[年代別]

○18～29 歳

[満足度の平均]

・満足度の平均は 3.41 で「全市」(2.99)より 0.42 ポイント高い。

[重要度の平均]

・重要度の平均は 4.06 で「全市」(4.01)より 0.05 ポイント高い。

[ニーズ度]

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.69)が最も高く、以下、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.11)、「31 まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況」(1.08)、「34 安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備」(1.07)、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.05)と続く。

[施策の位置づけ]

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 8 項目、B（現状維持領域）が 19 項目、C（現状維持・見直し領域）が 14 項目、D（改善・見直し領域）が 12 項目であった。

○30～39 歳

[満足度の平均]

・満足度の平均は 3.11 で「全市」(2.99)より 0.12 ポイント高い。

[重要度の平均]

・重要度の平均は 3.98 で「全市」(4.01)より 0.03 ポイント低い。

[ニーズ度]

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.92)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.42)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.34)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.32)、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.28)と続く。

[施策の位置づけ]

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 11 項目、B（現状維持領域）が 13 項目、C（現状維持・見直し領域）が 15 項目、D（改善・見直し領域）が 14 項目であった。

・「30～39 歳」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。

「11 市民が健康に生活できるための支援」

○40～49 歳

【満足度の平均】

・満足度の平均は 2.94 で「全市」(2.99)より 0.05 ポイント低い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 3.98 で「全市」(4.01)より 0.03 ポイント低い。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.94)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)」(1.66)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.59)、「21 防犯や交通安全に向けた取組」(1.50)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.45)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A(重点化・見直し領域)が13項目、B(現状維持領域)が14項目、C(現状維持・見直し領域)が14項目、D(改善・見直し領域)が12項目であった。

・「40～49歳」のみA(重点化・見直し領域)の項目は以下の通り。

「4 青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供」

「14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援」

○50～59 歳

【満足度の平均】

・満足度の平均は 2.94 で「全市」(2.99)より 0.05 ポイント低い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 3.94 で「全市」(4.01)より 0.07 ポイント低い。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.79)が最も高く、以下、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.74)、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)」(1.54)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.46)、「21 防犯や交通安全に向けた取組」(1.41)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A(重点化・見直し領域)が9項目、B(現状維持領域)が18項目、C(現状維持・見直し領域)が11項目、D(改善・見直し領域)が15項目であった。

○60～69 歳

【満足度の平均】

・満足度の平均は 2.91 で「全市」(2.99)より 0.08 ポイント低い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 4.01 で「全市」(4.01)と同じである。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.96)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.70)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.59)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.51)、「24 海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組」(1.49)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 12 項目、B（現状維持領域）が 16 項目、C（現状維持・見直し領域）が 13 項目、D（改善・見直し領域）が 12 項目であった。

・「60～69 歳」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。

「7 確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実」

○70 歳以上

【満足度の平均】

・満足度の平均は 2.94 で「全市」(2.99)より 0.05 ポイント低い。

【重要度の平均】

・重要度の平均は 4.09 で「全市」(4.01)より 0.08 ポイント高い。

【ニーズ度】

・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.84)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.78)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.57)、「18 低所得者への支援」(1.56)、「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(1.54)と続く。

【施策の位置づけ】

・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 11 項目、B（現状維持領域）が 19 項目、C（現状維持・見直し領域）が 8 項目、D（改善・見直し領域）が 15 項目であった。

・「70 歳以上」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。

「18 低所得者への支援」

「25 省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組」

表 31 年代別施策の位置づけ

項目		全市	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	一人ひとりを大切に人権が保障された社会づくり	B	B	B	B	B	B	B
2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	C	C	C	C	C	C	C
3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	C	C	D	C	C	C	D
4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	B	B	C	A	B	B	B
5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	C	C	C	C	C	C	C
6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	B	B	B	B	B	B	B
7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	B	B	B	B	B	A	B
8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	B	B	B	B	B	B	B
9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	C	C	C	C	C	C	C
10	文化施設の整備及び活動の支援	C	C	C	C	C	C	C
11	市民が健康に生活できるための支援	B	B	A	B	B	B	B
12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	B	B	B	B	B	B	B
13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	B	B	B	B	B	B	B
14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	B	B	B	A	B	B	B
15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	B	C	C	B	A	C	A
16	障がい者の自立支援や福祉サービスなど障がい者が地域で安心して暮らすための環境づくり	B	B	B	B	A	B	A
17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	C	B	C	C	D	A	A
18	低所得者への支援	D	D	D	D	D	D	A
19	消防・救急体制の充実	B	B	B	B	B	B	B
20	地震・風水害などの災害対策	B	A	A	A	B	B	B
21	防犯や交通安全に向けた取組	A	B	A	A	A	B	B
22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	B	C	C	C	D	B	B
23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	D	D	D	D	D	A	A
24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	A	A	A	A	A	A	A
25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	D	D	D	D	D	D	A
26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	B	B	B	B	B	B	B
27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	C	B	C	C	C	C	D
28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	C	C	C	C	C	C	C
29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	D	D	D	D	D	D	D
30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	C	C	C	C	C	C	C
31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	A	A	A	A	A	A	D
32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	D	D	D	D	D	D	D
33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	A	A	A	A	A	A	A
34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	A	A	A	A	A	A	A
35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	B	B	B	B	B	B	B
36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	B	B	B	A	B	A	B
37	市営墓地の整備	D	D	D	D	D	D	D
38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	D	C	D	D	C	D	D
39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	D	B	D	D	D	D	D
40	安全で快適な市街地の整備	A	A	A	A	D	A	D
41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	C	B	D	C	C	D	D
42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	D	C	D	D	D	D	D
43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	A	A	A	A	A	A	A
44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	A	A	A	A	B	A	B
45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	D	D	D	D	D	D	D
46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	A	D	A	A	A	A	A
47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	C	D	C	C	C	C	D
48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	D	D	C	C	D	D	D
49	市民と行政の協働のまちづくり	D	D	D	D	D	D	D
50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	D	D	D	D	D	C	C
51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	B	C	B	B	B	B	B
52	支所機能の充実	C	C	C	B	B	C	B
53	市民センター機能の充実	C	C	C	C	B	C	C

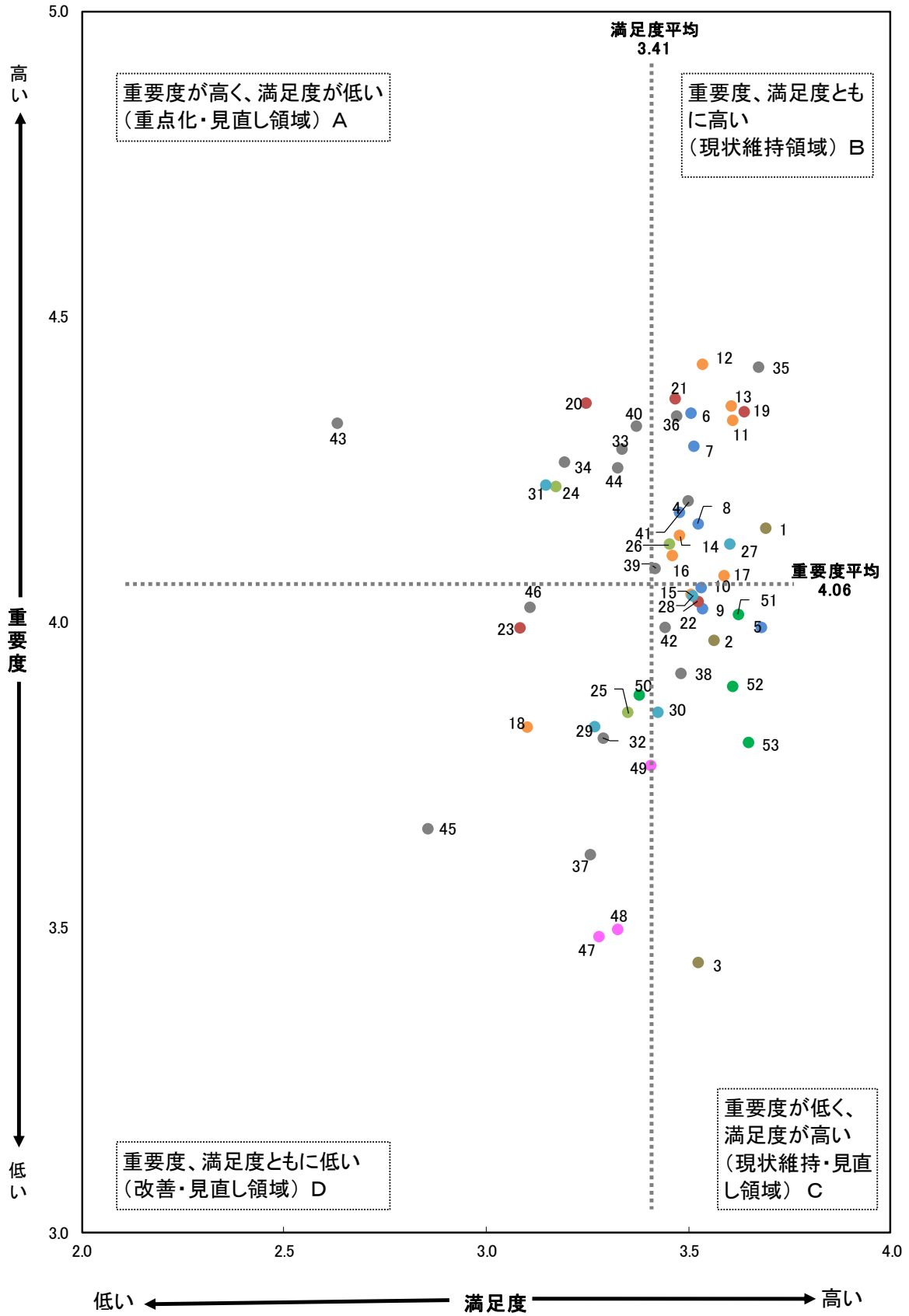
※A 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)に網掛け

表 32 満足度・重要度・ニーズ度(18～29 歳)

順位	凡例	NO	18～29歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
				満足度	順位	重要度	順位		
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.63	53位	4.32	10位	1.69	A
2位		20	地震・風水害などの災害対策	3.25	45位	4.36	4位	1.11	A
3位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	3.15	48位	4.22	16位	1.08	A
4位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	3.19	46位	4.26	14位	1.07	A
5位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	3.17	47位	4.22	17位	1.05	A
6位		40	安全で快適な市街地の整備	3.37	36位	4.32	11位	0.95	A
7位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	3.34	38位	4.28	13位	0.94	A
8位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.33	39位	4.25	15位	0.92	A
9位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	3.11	49位	4.02	32位	0.91	D
10位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	3.08	51位	3.99	35位	0.90	D
11位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.47	28位	4.36	3位	0.90	B
12位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.54	14位	4.42	1位	0.89	B
13位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.47	27位	4.34	8位	0.86	B
14位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.51	22位	4.34	7位	0.83	B
15位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.86	52位	3.66	49位	0.80	D
16位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.51	19位	4.29	12位	0.77	B
17位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.61	9位	4.35	5位	0.75	B
18位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.67	3位	4.42	2位	0.74	B
19位		18	低所得者への支援	3.10	50位	3.83	44位	0.72	D
20位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.61	8位	4.33	9位	0.72	B
21位		19	消防・救急体制の充実	3.64	5位	4.34	6位	0.71	B
22位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.48	25位	4.18	19位	0.70	B
23位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.50	23位	4.20	18位	0.70	B
24位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.45	30位	4.13	24位	0.67	B
25位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.42	33位	4.09	26位	0.67	B
26位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.48	26位	4.14	22位	0.66	B
27位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.46	29位	4.11	25位	0.64	B
28位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.52	17位	4.16	20位	0.64	B
29位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.27	43位	3.83	44位	0.56	D
30位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	3.44	31位	3.99	36位	0.55	C
31位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.51	21位	4.04	29位	0.54	C
32位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.51	20位	4.04	30位	0.53	C
33位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.60	10位	4.13	23位	0.52	B
34位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.29	41位	3.81	46位	0.52	D
35位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.53	15位	4.05	28位	0.52	C
36位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.52	18位	4.03	31位	0.51	C
37位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	3.35	37位	3.85	43位	0.50	D
38位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.38	35位	3.88	41位	0.50	D
39位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.59	11位	4.08	27位	0.49	B
40位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.54	13位	4.02	33位	0.48	C
41位		1	一人ひとりを大切にすること人権が保障された社会づくり	3.69	1位	4.15	21位	0.46	B
42位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.48	24位	3.91	39位	0.43	C
43位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.43	32位	3.85	42位	0.43	C
44位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.56	12位	3.97	38位	0.41	C
45位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.62	6位	4.01	34位	0.39	C
46位		49	市民と行政の協働のまちづくり	3.41	34位	3.76	48位	0.36	D
47位		37	市営墓地の整備	3.26	44位	3.62	50位	0.36	D
48位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.68	2位	3.99	36位	0.31	C
49位		52	支所機能の充実	3.61	7位	3.89	40位	0.28	C
50位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.28	42位	3.48	52位	0.20	D
51位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.32	40位	3.49	51位	0.17	D
52位		53	市民センター機能の充実	3.65	4位	3.80	47位	0.15	C
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.52	16位	3.44	53位	-0.08	C
平均				3.41		4.06		0.64	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 89 満足度・重要度の相関図(18~29 歳)



<施策分野>

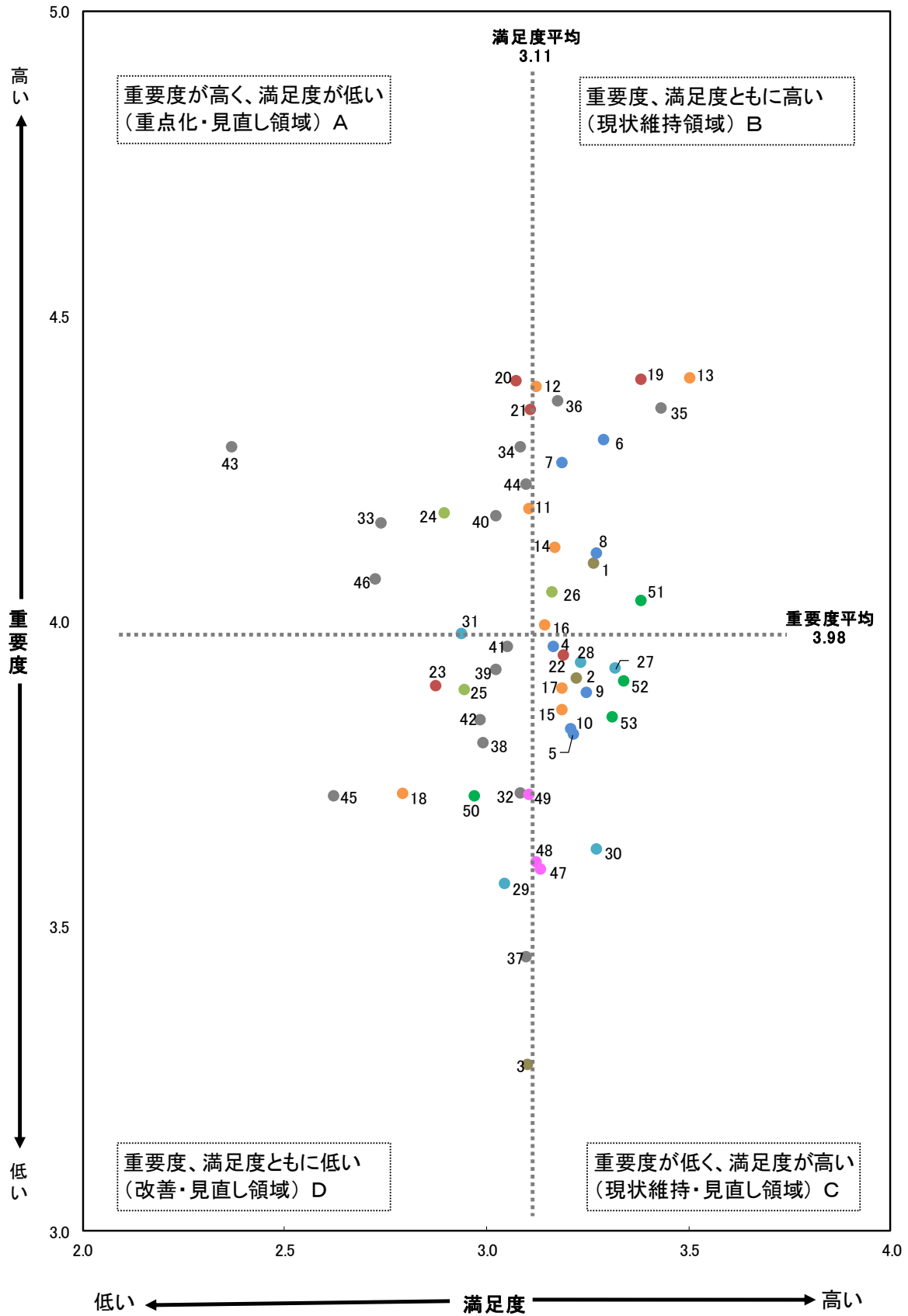
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 33 満足度・重要度・ニーズ度（30～39 歳）

順位	凡例	NO	30～39歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.37	53位	4.28	9位	1.92	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	2.74	50位	4.16	16位	1.42	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.72	51位	4.07	20位	1.34	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	3.07	37位	4.39	3位	1.32	A
5位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.89	47位	4.18	14位	1.28	A
6位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.12	27位	4.38	4位	1.26	B
7位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.11	29位	4.35	7位	1.24	A
8位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	3.08	35位	4.28	9位	1.20	A
9位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.18	21位	4.36	5位	1.18	B
10位		40	安全で快適な市街地の整備	3.02	41位	4.17	15位	1.15	A
11位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.10	33位	4.23	12位	1.13	A
12位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.62	52位	3.71	47位	1.09	D
13位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.11	30位	4.18	13位	1.08	A
14位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.19	18位	4.26	11位	1.07	B
15位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.94	46位	3.99	23位	1.06	A
16位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.87	48位	3.89	33位	1.02	D
17位		19	消防・救急体制の充実	3.38	4位	4.40	2位	1.02	B
18位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.29	8位	4.30	8位	1.01	B
19位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.17	22位	4.12	17位	0.95	B
20位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.94	45位	3.89	35位	0.94	D
21位		18	低所得者への支援	2.79	49位	3.72	43位	0.92	D
22位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.43	2位	4.35	6位	0.92	B
23位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.05	38位	3.96	25位	0.91	D
24位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.02	40位	3.92	30位	0.90	D
25位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.50	1位	4.40	1位	0.89	B
26位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.16	24位	4.05	21位	0.89	B
27位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.99	43位	3.84	39位	0.85	D
28位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.14	25位	3.99	24位	0.85	B
29位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.27	10位	4.11	18位	0.84	B
30位		1	一人ひとりを大切にすると人権が保障された社会づくり	3.26	11位	4.09	19位	0.83	B
31位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.99	42位	3.80	42位	0.81	D
32位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.17	23位	3.96	26位	0.79	C
33位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.19	17位	3.94	27位	0.75	C
34位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.97	44位	3.71	46位	0.74	D
35位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.19	20位	3.89	34位	0.70	C
36位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.23	13位	3.93	28位	0.70	C
37位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.22	14位	3.91	31位	0.68	C
38位		15	地域福祉体制の確立など地域で互いに支えあう体制づくり	3.19	19位	3.86	37位	0.67	C
39位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.38	3位	4.03	22位	0.65	B
40位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.25	12位	3.88	36位	0.64	C
41位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.08	36位	3.72	43位	0.64	D
42位		49	市民と行政の協働のまちづくり	3.10	31位	3.72	45位	0.61	D
43位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.21	16位	3.82	40位	0.61	C
44位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.32	6位	3.92	29位	0.60	C
45位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.21	15位	3.81	41位	0.60	C
46位		52	支所機能の充実	3.34	5位	3.90	32位	0.56	C
47位		53	市民センター機能の充実	3.31	7位	3.84	38位	0.53	C
48位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.05	39位	3.57	51位	0.52	D
49位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.12	28位	3.60	49位	0.48	C
50位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.13	26位	3.59	50位	0.46	C
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.27	9位	3.63	48位	0.35	C
52位		37	市営墓地の整備	3.10	34位	3.45	52位	0.35	D
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.10	32位	3.27	53位	0.17	D
平均				3.11		3.98		0.87	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 90 満足度・重要度の相関図(30~39 歳)



<施策分野>

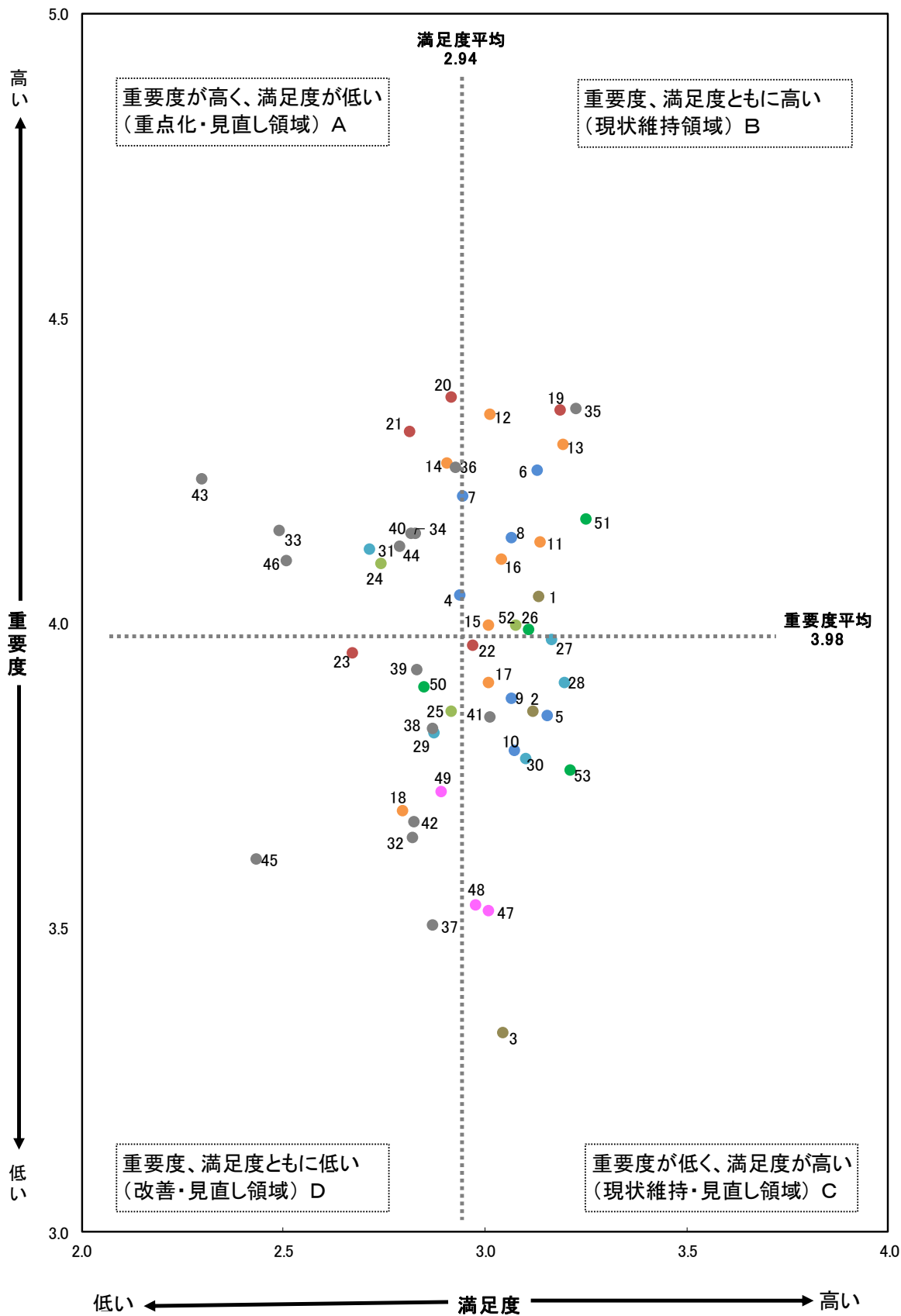
■ 1-3 : 人権	■ 4-10 : 教育	■ 11-18 : 子育て・福祉	■ 19-23 : 安全安心	■ 24-26 : 環境保全
■ 27-31 : 産業	■ 32-46 : 都市基盤	■ 47-49 : 協働	■ 50-53 : 行政	

表 34 満足度・重要度・ニーズ度(40～49 歳)

順位	凡例	NO	40～49歳	満足度		重要度		ニーズ度		分類
				満足度	順位	重要度	順位	ニーズ度	順位	
1位		43	渋滞が起りにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.30	53位	4.24	10位	1.94	A	
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.49	51位	4.15	13位	1.66	A	
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.51	50位	4.10	21位	1.59	A	
4位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.81	44位	4.31	5位	1.50	A	
5位		20	地震・風水害などの災害対策	2.92	32位	4.37	1位	1.45	A	
6位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.72	48位	4.12	19位	1.40	A	
7位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.91	33位	4.26	7位	1.36	A	
8位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.74	47位	4.10	22位	1.35	A	
9位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.79	46位	4.13	18位	1.34	A	
10位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.01	21位	4.34	4位	1.33	B	
11位		40	安全で快適な市街地の整備	2.82	43位	4.15	14位	1.33	A	
12位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.93	30位	4.25	8位	1.33	A	
13位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.83	40位	4.15	15位	1.32	A	
14位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.67	49位	3.95	30位	1.28	D	
15位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.95	28位	4.21	11位	1.26	B	
16位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.43	52位	3.61	49位	1.18	D	
17位		19	消防・救急体制の充実	3.19	6位	4.35	3位	1.16	B	
18位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.23	2位	4.35	2位	1.13	B	
19位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.13	11位	4.25	9位	1.12	B	
20位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	2.94	29位	4.05	23位	1.11	A	
21位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.19	5位	4.29	6位	1.10	B	
22位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.83	39位	3.92	31位	1.09	D	
23位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.07	17位	4.14	16位	1.07	B	
24位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.04	20位	4.10	20位	1.06	B	
25位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.85	38位	3.89	34位	1.05	D	
26位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.14	9位	4.13	17位	0.99	B	
27位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.97	27位	3.96	29位	0.99	C	
28位		15	地域福祉体制の確立など地域で互いに支えあう体制づくり	3.01	25位	3.99	26位	0.99	B	
29位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.87	37位	3.83	40位	0.96	D	
30位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.87	35位	3.82	41位	0.95	D	
31位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.92	31位	3.85	36位	0.94	D	
32位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.08	15位	3.99	25位	0.92	B	
33位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.25	1位	4.17	12位	0.92	B	
34位		1	一人ひとりを大切にすると人権が保障された社会づくり	3.13	10位	4.04	24位	0.91	B	
35位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.01	24位	3.90	32位	0.89	C	
36位		18	低所得者への支援	2.80	45位	3.69	46位	0.89	D	
37位		52	支所機能の充実	3.11	13位	3.99	27位	0.88	B	
38位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.82	41位	3.67	47位	0.85	D	
39位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.01	22位	3.85	39位	0.83	C	
40位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.89	34位	3.72	45位	0.83	D	
41位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.82	42位	3.65	48位	0.83	D	
42位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.07	18位	3.88	35位	0.81	C	
43位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.17	7位	3.97	28位	0.81	C	
44位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.12	12位	3.85	36位	0.73	C	
45位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.08	16位	3.79	42位	0.71	C	
46位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.20	4位	3.90	33位	0.70	C	
47位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.15	8位	3.85	38位	0.69	C	
48位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.10	14位	3.78	43位	0.68	C	
49位		37	市営墓地の整備	2.87	36位	3.50	52位	0.63	D	
50位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.98	26位	3.54	50位	0.56	C	
51位		53	市民センター機能の充実	3.21	3位	3.76	44位	0.55	C	
52位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.01	23位	3.53	51位	0.52	C	
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.05	19位	3.33	53位	0.28	C	
平均				2.94		3.98		1.03		

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 91 満足度・重要度の相関図(40~49 歳)



<施策分野>

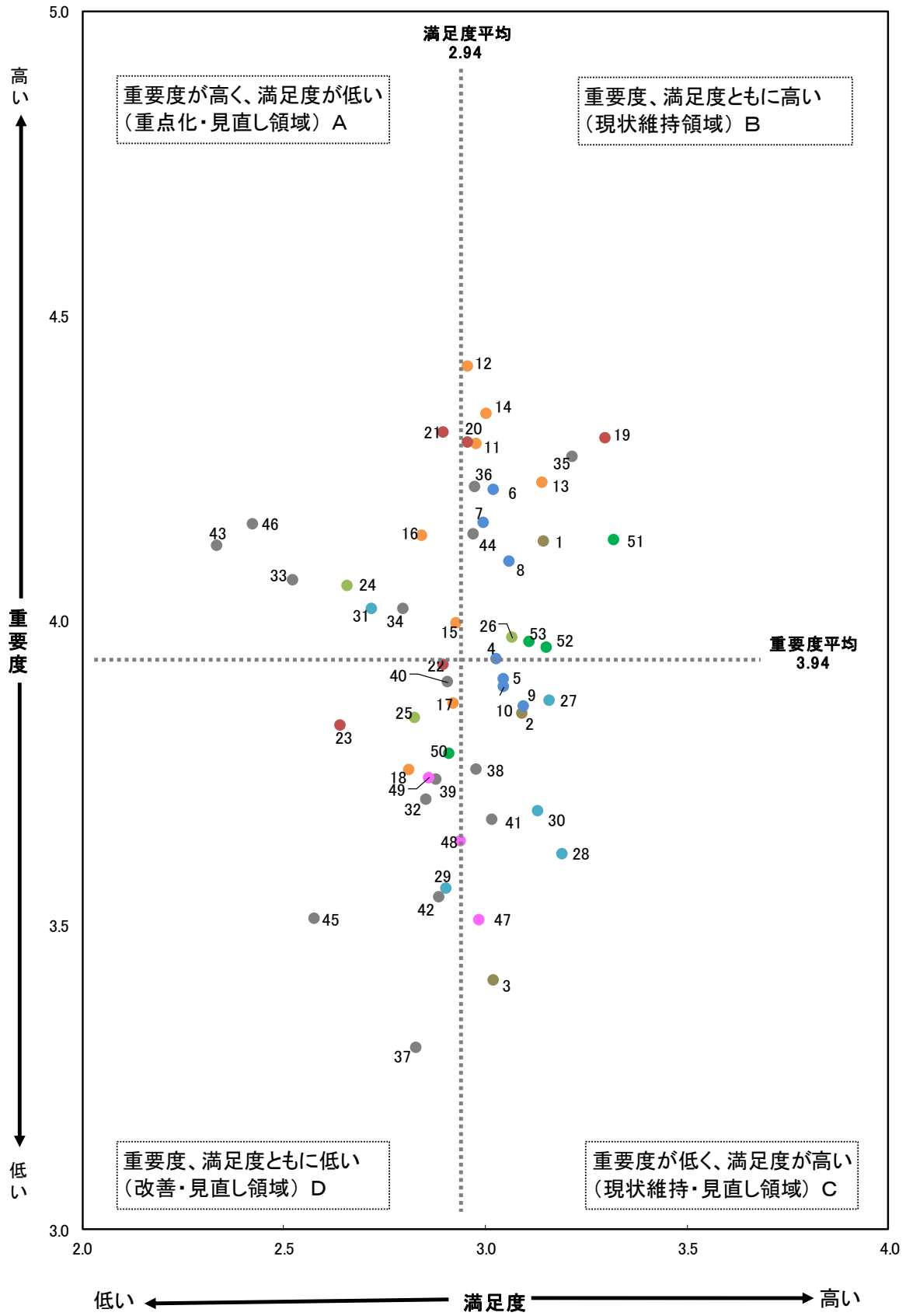
■ 1-3 : 人権	■ 4-10 : 教育	■ 11-18 : 子育て・福祉	■ 19-23 : 安全安心	■ 24-26 : 環境保全
■ 27-31 : 産業	■ 32-46 : 都市基盤	■ 47-49 : 協働	■ 50-53 : 行政	

表 35 満足度・重要度・ニーズ度(50～59 歳)

順位	凡例	NO	50～59歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
				満足度	順位	重要度	順位		
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.33	53位	4.12	17位	1.79	A
2位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.42	52位	4.16	12位	1.74	A
3位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.52	51位	4.07	19位	1.54	A
4位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	2.96	28位	4.42	1位	1.46	B
5位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.90	36位	4.31	3位	1.41	A
6位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.66	48位	4.06	20位	1.40	A
7位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.00	21位	4.34	2位	1.34	B
8位		20	地震・風水害などの災害対策	2.96	29位	4.29	5位	1.34	B
9位		11	市民が健康に生活できるための支援	2.98	24位	4.29	6位	1.31	B
10位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.72	47位	4.02	22位	1.30	A
11位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.84	42位	4.14	14位	1.30	A
12位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.97	26位	4.22	9位	1.25	B
13位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.80	46位	4.02	21位	1.22	A
14位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.02	18位	4.21	10位	1.19	B
15位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.64	49位	3.83	37位	1.19	D
16位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.97	27位	4.14	13位	1.17	B
17位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.99	22位	4.16	11位	1.17	B
18位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.14	8位	4.23	8位	1.09	B
19位		15	地域福祉体制の確立など地域で互いに支えあう体制づくり	2.93	31位	4.00	23位	1.07	A
20位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.22	3位	4.27	7位	1.05	B
21位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.06	14位	4.10	18位	1.04	B
22位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.90	37位	3.93	28位	1.03	D
23位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.83	44位	3.84	36位	1.01	D
24位		19	消防・救急体制の充実	3.30	2位	4.30	4位	1.00	B
25位		40	安全で快適な市街地の整備	2.91	34位	3.90	30位	0.99	D
26位		1	一人ひとりを大切にすると人権が保障された社会づくり	3.14	7位	4.13	16位	0.99	B
27位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.92	32位	3.86	33位	0.94	D
28位		18	低所得者への支援	2.81	45位	3.75	40位	0.94	D
29位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.58	50位	3.51	50位	0.94	D
30位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.03	17位	3.94	27位	0.91	B
31位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.07	13位	3.97	24位	0.90	B
32位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.86	40位	3.74	41位	0.88	D
33位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.91	33位	3.78	38位	0.87	D
34位		39	適度な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.88	39位	3.74	42位	0.86	D
35位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.04	16位	3.90	29位	0.86	C
36位		53	市民センター機能の充実	3.11	10位	3.96	25位	0.86	B
37位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.85	41位	3.71	43位	0.85	D
38位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.05	15位	3.89	31位	0.85	C
39位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.32	1位	4.13	15位	0.81	B
40位		52	支所機能の充実	3.15	6位	3.96	26位	0.81	B
41位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.98	25位	3.76	39位	0.78	C
42位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.09	11位	3.86	34位	0.76	C
43位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.09	12位	3.85	35位	0.76	C
44位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.16	5位	3.87	32位	0.71	C
45位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.94	30位	3.64	46位	0.70	D
46位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.89	38位	3.55	49位	0.66	D
47位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.02	20位	3.67	45位	0.66	C
48位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.90	35位	3.56	48位	0.66	D
49位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.13	9位	3.69	44位	0.56	C
50位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.98	23位	3.51	51位	0.52	C
51位		37	市営墓地の整備	2.83	43位	3.30	53位	0.47	D
52位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.19	4位	3.62	47位	0.42	C
53位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.02	19位	3.41	52位	0.39	C
平均				2.94		3.94		1.00	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 92 満足度・重要度の相関図(50～59 歳)



<施策分野>

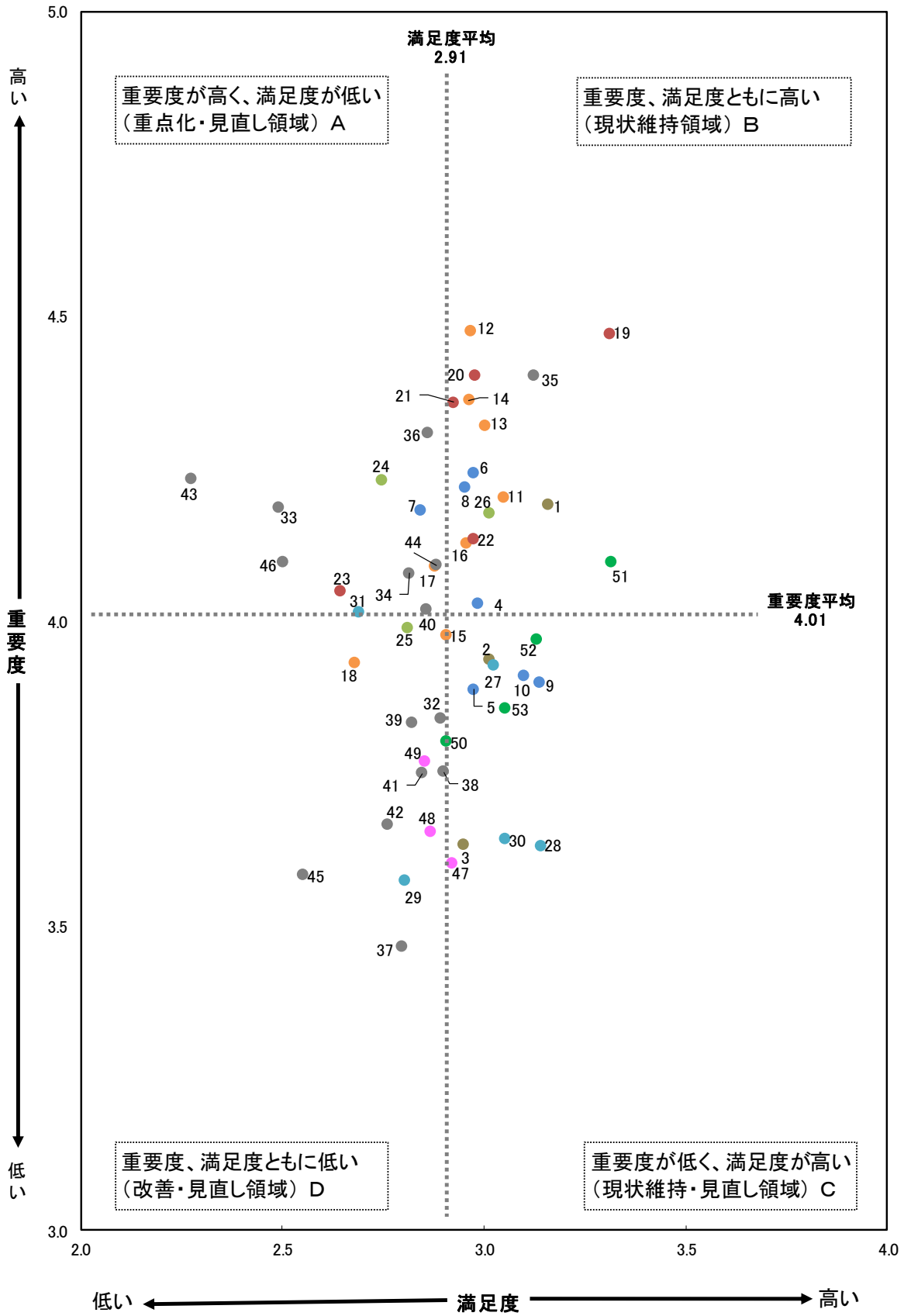
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 36 満足度・重要度・ニーズ度(60～69 歳)

順位	凡例	NO	60～69歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
				満足度	順位	重要度	順位		
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.27	53位	4.23	10位	1.96	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.49	52位	4.19	15位	1.70	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.50	51位	4.10	21位	1.59	A
4位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	2.97	21位	4.48	1位	1.51	B
5位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.74	46位	4.23	11位	1.49	A
6位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.86	35位	4.31	8位	1.45	A
7位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.92	26位	4.36	6位	1.43	B
8位		20	地震・風水害などの災害対策	2.98	17位	4.40	3位	1.43	B
9位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.64	49位	4.05	25位	1.41	A
10位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.96	22位	4.36	5位	1.40	B
11位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.84	39位	4.18	16位	1.34	A
12位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.69	47位	4.02	28位	1.33	A
13位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.00	15位	4.32	7位	1.32	B
14位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.12	7位	4.40	3位	1.28	B
15位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	2.95	24位	4.22	12位	1.27	B
16位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	2.97	18位	4.24	9位	1.27	B
17位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.81	41位	4.08	24位	1.26	A
18位		18	低所得者への支援	2.68	48位	3.93	33位	1.25	D
19位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.88	32位	4.09	22位	1.21	A
20位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.88	33位	4.09	23位	1.21	A
21位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.81	42位	3.99	29位	1.18	D
22位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.96	23位	4.13	19位	1.17	B
23位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.01	14位	4.18	17位	1.16	B
24位		40	安全で快適な市街地の整備	2.86	36位	4.02	27位	1.16	A
25位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.97	20位	4.14	18位	1.16	B
26位		19	消防・救急体制の充実	3.31	2位	4.47	2位	1.16	B
27位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.05	11位	4.20	13位	1.16	B
28位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.91	28位	3.98	30位	1.07	C
29位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	2.98	16位	4.03	26位	1.04	B
30位		1	一人ひとりを大切にすること人権が保障された社会づくり	3.16	3位	4.19	14位	1.03	B
31位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.55	50位	3.58	51位	1.03	D
32位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.82	40位	3.83	40位	1.01	D
33位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.89	31位	3.84	39位	0.95	D
34位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.01	13位	3.94	32位	0.92	C
35位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.85	37位	3.77	42位	0.92	D
36位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.97	18位	3.89	37位	0.91	C
37位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.76	45位	3.67	45位	0.91	D
38位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.85	38位	3.75	44位	0.90	D
39位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.02	12位	3.93	34位	0.90	C
40位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.91	29位	3.80	41位	0.90	C
41位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.90	30位	3.75	43位	0.85	D
42位		52	支所機能の充実	3.13	6位	3.97	31位	0.84	C
43位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.10	8位	3.91	35位	0.81	C
44位		53	市民センター機能の充実	3.05	9位	3.86	38位	0.80	C
45位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.87	34位	3.65	46位	0.79	D
46位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.31	1位	4.10	20位	0.78	B
47位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.80	43位	3.57	52位	0.77	D
48位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.14	5位	3.90	36位	0.76	C
49位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	2.95	25位	3.63	48位	0.69	C
50位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.92	27位	3.60	50位	0.68	C
51位		37	市営墓地の整備	2.79	44位	3.47	53位	0.67	D
52位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.05	10位	3.64	47位	0.59	C
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.14	4位	3.63	49位	0.49	C
平均				2.91		4.01		1.10	

注)ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度÷満足度)と合致しない場合があります。

図 93 満足度・重要度の相関図(60～69 歳)



<施策分野>

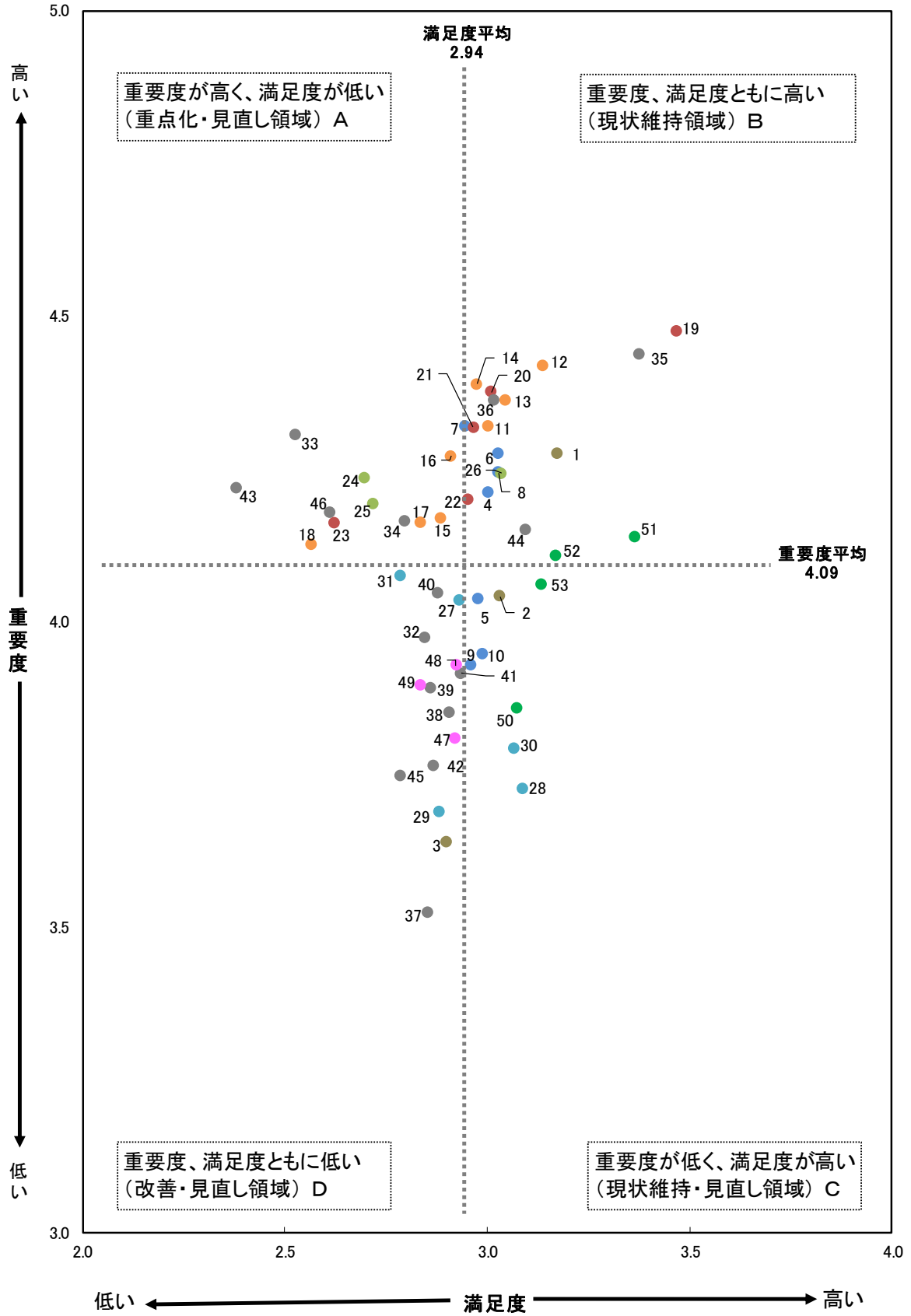
■ 1-3 : 人権	■ 4-10 : 教育	■ 11-18 : 子育て・福祉	■ 19-23 : 安全安心	■ 24-26 : 環境保全
■ 27-31 : 産業	■ 32-46 : 都市基盤	■ 47-49 : 協働	■ 50-53 : 行政	

表 37 満足度・重要度・ニーズ度(70歳以上)

順位	凡例	NO	70歳以上	満足度		重要度		ニーズ度	分類
				満足度	順位	重要度	順位		
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.38	53位	4.22	18位	1.84	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.53	52位	4.30	11位	1.78	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.61	50位	4.18	22位	1.57	A
4位		18	低所得者への支援	2.56	51位	4.13	29位	1.56	A
5位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.62	49位	4.16	26位	1.54	A
6位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.70	48位	4.23	17位	1.54	A
7位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.72	47位	4.19	21位	1.48	A
8位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.97	23位	4.39	4位	1.41	B
9位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.94	27位	4.32	9位	1.37	B
10位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.79	44位	4.16	24位	1.37	A
11位		20	地震・風水害などの災害対策	3.01	18位	4.38	5位	1.37	B
12位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.91	32位	4.27	14位	1.36	A
13位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.97	24位	4.32	10位	1.35	B
14位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.01	17位	4.36	6位	1.35	B
15位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.83	42位	4.16	25位	1.33	A
16位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.00	19位	4.32	8位	1.32	B
17位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.04	12位	4.36	7位	1.32	B
18位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.78	46位	4.07	31位	1.29	D
19位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.88	35位	4.17	23位	1.28	A
20位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.14	6位	4.42	3位	1.28	B
21位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.03	16位	4.27	12位	1.25	B
22位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.95	26位	4.20	20位	1.25	B
23位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.03	15位	4.24	15位	1.22	B
24位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.00	19位	4.21	19位	1.21	B
25位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.03	13位	4.24	16位	1.21	B
26位		40	安全で快適な市街地の整備	2.88	37位	4.05	33位	1.17	D
27位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.84	41位	3.97	37位	1.13	D
28位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	2.93	29位	4.03	36位	1.11	D
29位		1	一人ひとりを大切にすることや人権が保障された社会づくり	3.17	4位	4.27	13位	1.10	B
30位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.38	2位	4.44	2位	1.06	B
31位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.83	43位	3.90	42位	1.06	D
32位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.98	22位	4.04	35位	1.06	C
33位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.09	8位	4.15	27位	1.05	B
34位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.86	39位	3.89	43位	1.03	D
35位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.03	14位	4.04	34位	1.01	C
36位		19	消防・救急体制の充実	3.47	1位	4.47	1位	1.01	B
37位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.92	30位	3.93	40位	1.00	D
38位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.94	28位	3.91	41位	0.98	D
39位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	2.96	25位	3.93	39位	0.97	C
40位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.79	45位	3.75	49位	0.96	D
41位		10	文化施設の整備及び活動の支援	2.99	21位	3.95	38位	0.96	C
42位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.90	33位	3.85	45位	0.95	D
43位		52	支所機能の充実	3.17	5位	4.11	30位	0.94	B
44位		53	市民センター機能の充実	3.13	7位	4.06	32位	0.93	C
45位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.87	38位	3.76	48位	0.90	D
46位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.92	31位	3.81	46位	0.89	D
47位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.88	36位	3.69	51位	0.81	D
48位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.07	10位	3.86	44位	0.79	C
49位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.37	3位	4.14	28位	0.77	B
50位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	2.90	34位	3.64	52位	0.74	D
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.06	11位	3.79	47位	0.73	C
52位		37	市営墓地の整備	2.85	40位	3.52	53位	0.67	D
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.09	9位	3.73	50位	0.64	C
平均				2.94		4.09		1.16	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 94 満足度・重要度の相関図(70 歳以上)



<施策分野>

- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

【ご協力をお願い】

市民の皆さまには、日頃から市政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、総合的なまちづくりの指針として、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とする「第6次廿日市市総合計画」を策定し、各種施策・事業に取り組んでいます。このアンケート調査は、市民の皆さまの現状や意向を把握することにより、総合計画に基づく取組の進捗管理に役立てるとともに、各種施策・事業をより良いものとするための基礎データとして活用させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年1月

廿日市市長 松本 太郎

■アンケート調査の対象について

令和8年1月1日現在の住民基本台帳をもとに、18歳以上の方の中から無作為に抽出した3,000人の方を対象に実施します。

■調査回答書類の取り扱いについて

- ・調査は無記名で、集計は統計的に処理します。
- ・ご記入いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用しません。
- ・調査結果は、報告書として市ホームページなどで公表します。

【お願い】

- 1 この調査票は「封筒のあて名の方」が記入してください。（ご事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が記入してください。）
- 2 各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつけてください。設問によっては複数の回答が必要な場合がありますので、ご注意ください。また、「その他」などの項目を選択された場合は、後の（ ）内に具体的事項のご記入もお願いします。

◆調査票の回収

ご記入いただいた調査票は、**1月30日（金）**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。

インターネットでも回答ができます

<https://enquete.cc/q/r7hatsukaichi>

ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、上記のアドレスをすべて半角の英字小文字で入力し、キーボードの「Enter」キーを押してください。

スマートフォンで回答される場合は、右記の二次元コードを読み取り、回答ページにアクセスして回答いただけます。



◆お問い合わせ先

廿日市市経営企画部経営政策課企画調整係

TEL (0829) 30-9120 (直通)

FAX (0829) 32-1059

I あなたご自身のことについて

(1)～(6)の項目について、あてはまる内容を1つ選んで番号に○印をつけてください。

(1) 性別 (自己認識による)	1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
(2) 年齢	1 18～19歳 5 50～59歳	2 20～29歳 6 60～69歳	3 30～39歳 7 70歳以上	4 40～49歳
(3) 家族構成 (同居の家族)	1 単身世帯 2 夫婦のみの世帯 3 親と子の二世帯世帯 4 親・子・孫の三世帯世帯 5 その他 () 【3または4の方にお聞きします。】同居の子または孫の年齢を教えてください。(複数回答可) 1 0～6歳 2 7～12歳 3 13～15歳 4 16～18歳 5 19歳以上			
(4) 職業	1 農林水産業 2 自営業・家族従業員 3 会社員・公務員・団体職員 4 パート・アルバイト・臨時雇いなど 5 専業主婦(主夫) 6 無職 7 学生 8 その他 ()			
(5) 居住年数 (合併前の旧市町村での年数も通算してください。)	1 5年未満 2 5～9年 3 10～19年 4 20～29年 5 30年以上 【廿日市市の居住状況を教えてください(合併前の旧市町村も廿日市市とみなします)。】 1 生まれたときから廿日市市に居住 2 他の市町村から転入(出身は廿日市市) 3 他の市町村から転入(出身は廿日市市以外) 【他の市町村から転入された方はどちらから転入されましたか。】 都道府県 1 広島県 2 広島県以外 (都・道・府・県) 市町村 (市・町・村) から転入した			
(6) 居住地 現在お住まいの地区の番号に○をしてください。	1 廿日市	佐方、佐方一丁目～四丁目、山陽園、城内一丁目～三丁目、平良山手、駅前、大東、可愛、佐方本町、桜尾一丁目～三丁目、桜尾本町、下平良一丁目～二丁目、須賀、住吉一丁目～二丁目、天神、廿日市一丁目～二丁目、本町、木材港北、木材港南		
	2 七尾	上平良、下平良、新宮一丁目～二丁目、平良一丁目～二丁目、宮内73・76・94・10073・10076・10094番地、陽光台一丁目～五丁目、原、串戸一丁目～六丁目、地御前二丁目22～29番		
	3 四季が丘	宮園一丁目～九丁目、宮園上一丁目～五丁目、四季が丘一丁目～十一丁目、四季が丘上		
	4 野坂	峰高一丁目～二丁目、宮内(73・76・94・10073・10076・10094番地を除く)、宮内一丁目～四丁目、六本松一丁目～二丁目、宮内工業団地、地御前(1741～1788、1804～1911番地を除く)、地御前一丁目、地御前二丁目1～16番、地御前三丁目～五丁目、地御前北一丁目～三丁目		
	5 阿品台	阿品一丁目～四丁目、阿品台一丁目～五丁目、阿品台北、阿品台東、阿品台西、阿品台山の手、地御前1741～1788番地、地御前1804～1911番地		
	6 佐伯	佐伯全域		
	7 吉和	吉和全域		
	8 大野東	大野(四郎峠、中山、戸石川、十郎原、高見、鯛ノ原、水口、中別府、三鎗谷、土井、田屋、高畑、陣場(1236番地1～1240番地30、1254番地1～1259番地・1283番地)、池田、棚田、知安、別府、下更地、上更地、柿之浦、赤崎、深江、熊ヶ浦、早時、賀撫津、屋田越、観音、福面、対巖山、尾中山、丸子、平岩、亀ヶ岡、前空、囊ヶ嶽)、対巖山一丁目～三丁目、福面一丁目～三丁目、宮島口一丁目～四丁目、宮島口上一丁目～二丁目、宮島口東一丁目～三丁目、宮島口西一丁目～三丁目、深江一丁目～三丁目、前空一丁目～六丁目、物見東一丁目～二丁目、物見西三丁目(7番)		

	<p>9 大野</p> <p>大野第5区 大野第6区 大野第7区 大野第8区 大野第9区 大野第10区 大野第11区</p>	<p>大野（沖筏津、筏津、大手、上之浜、住吉、水ノ越、小田ノ口、中津岡、滝ノ下、郷、古川、橋本、大国新開、三郎右エ門新開、新開、大新開、毛保、護安、小山、原、下原、塩屋、上桐、林ヶ原、丸石、向原、尾立、四拾八坂、垣ノ浦、下灘、鳴川、馬ノ峠、大石原、物見山、滝山、城山、尾那岡、清水峯、八坂、経小屋、奴メリ谷、横撫、鴉ヶ岡、嵐谷、猪ノウツ、広原山、四瀬、川平山、馬ノ口、高馬、上ヶ原、矢草、陣場（1236番地1～1240番地30、1254番地1～1259番地・1283番地を除く））、物見西一丁目～二丁目、物見西三丁目（7番を除く）、上の浜一丁目～二丁目、下の浜、大野一丁目～二丁目、大野中央一丁目～五丁目、大野原一丁目～四丁目、梅原一丁目～二丁目、沖塩屋一丁目～四丁目、塩屋一丁目～二丁目、林が原一丁目～二丁目、丸石一丁目～五丁目、宮浜温泉一丁目～三丁目、八坂一丁目～二丁目</p>
	<p>10 宮島</p>	<p>宮島全城</p>

II お住まいの地域などについて ※「地域」とは、廿日市、佐伯、吉和、大野、宮島の各地域です。

問1 あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。

1、2、4、5を選んだ方は、選んだ理由もご記入ください。

1 住みやすい	2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらともいえない	
4 どちらかといえば住みにくい	5 住みにくい

→■1または2を選んだ理由を次の中から3つまで選んで番号に○を付けてください。

1 買い物の場所があり日常生活が便利	2 公共交通機関が便利
3 静か、閑静、のどか、穏やか	4 自然が豊か、海・山がある
5 医療機関や福祉施設が利用しやすい	6 近隣やコミュニティの人間関係がよい
7 まちがきれい、生活環境がよい	8 通勤・通学が便利
9 働く場所が多い	10 子育てがしやすい
11 治安がよい	12 広島市に近い、アクセスがよい
13 都会でも田舎でもなくちょうどよい	14 自然災害が少ない、災害に強い
15 気候がよい	16 景色がよい
17 公園が充実している	18 土地・住宅が安い
19 不満がない・不便を感じない	20 住み慣れている
21 その他 ()	

→■4または5を選んだ理由を次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 買い物の場所がなく日常生活が不便	2 公共交通機関が不便
3 うるさい、騒音がある	4 医療機関や福祉施設が利用しにくい
5 近隣やコミュニティの人間関係が悪い	6 まちが汚い、生活環境が悪い
7 通勤・通学が不便	8 働く場所が少ない
9 子育てがしにくい	10 治安が悪い
11 広島市までのアクセスが悪い	12 発展していない、整備されていない
13 自然災害への不安	14 気候が悪い
15 景観が悪い	16 公園が不足している
17 土地・住宅が高い	18 住み慣れていない
19 その他 ()	

問2 (1) あなたは、将来も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

1 住み続けたい	2 当分は住み続けたい
3 どちらともいえない	
4 できれば引っ越したい	5 引っ越したい (または予定)

▶ (2) 問2 (1) で4または5と答えた方にお聞きします。

引っ越すことになった場合、どこに住みたいですか。

1 廿日市市内の別の場所	2 廿日市市外	3 わからない
--------------	---------	---------

▶ (3) 問2 (2) で2と答えた方にお聞きします。廿日市市外に住みたい理由は何ですか。

次の中からあてはまるものを**3つまで選んで**番号に○印をつけてください。

1 通勤・通学が不便	2 買い物する場所がなく日常生活が不便
3 福祉施策が充実していない	4 医療機関が少ないまたは遠い
5 働く場所が少ない	6 近所づきあいの問題
7 周りの生活環境が良くない	8 子どもの教育の問題
9 住宅の問題 (親や子との同居・近居など)	10 仕事の都合 (転勤や転職など)
11 その他 ()	

問3 あなたは、「廿日市市」に自分のまちとしての愛着がありますか。

1 愛着がある	2 どちらかといえば愛着がある
3 どちらともいえない	4 どちらかといえば愛着を感じていない
5 愛着を感じていない	

問4 (1) あなたは、地域の運動会やとんど、秋祭りなどの行事に参加していますか。

1 積極的に参加している	2 ときどき参加している
3 ほとんど参加していない	4 参加していない

▶ ■ 3または4を選んだ理由に最もあてはまるものを**1つだけ選んで**番号に○印をつけてください。

1 忙しい	2 興味がない	3 体調がわるい	4 情報がない
5 参加したいがどうすればよいのか分からない	6 その他 ()		

(2) あなたは、地域の高齢者のサロン、子どもや高齢者の見守り、地域・PTA・子ども会などの役員など、地域の支え手としての活動をしていますか。

1 積極的にしている	2 ときどきしている
3 ほとんどしていない	4 していない

▶ ■ 3または4を選んだ理由に最もあてはまるものを**1つだけ選んで**番号に○印をつけてください。

1 忙しい	2 興味がない	3 体調がわるい	4 情報がない
5 活動したいがどうすればよいのか分からない	6 その他 ()		

(2) あなたは、普段の生活で近所の人と困ったときに助け合うような付き合いをしていますか。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 していると思う | 2 どちらかといえば、していると思う |
| 3 どちらかといえば、していないと思う | 4 していないと思う |
| 5 分からない | |

■ 3または4を選んだ理由に最もあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 家族、友人で解決できるから | 2 困りごとは行政が対応すべきだから |
| 3 他人とのかかわりを持ちたくないから | 4 プライバシーが守られるか不安だから |
| 5 必要性を感じないから | |

(3) あなたは、普段の生活の中で困りごとを相談したり、助けてもらったりする人がいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

■ 1を選んだ方にお聞きします。それは誰ですか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|---------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人・知人 | 3 隣近所の人 |
| 4 町内会・自治会等の役員 | 5 民生委員・児童委員 | 6 相談窓口 |
| 7 その他 () | | |

問9 あなたは、別居している親世帯と同居又は近くに住みたい（以降「近居」という）と思いますか。
(近居とは、徒歩15分圏内(1.2km)の距離とします。)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 同居したい | 2 近居したい |
| 3 同居したくない | 4 近居したくない |
| 5 別居している親世帯はない | 6 分からない |
| 7 その他 () | |

■ 1～4を選んだ方にお聞きします。同居または近居していない理由に最もあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 仕事の都合 | 2 子どもの通学、通園 |
| 3 生活の利便性 | 4 生活スタイルの違い |
| 5 同居するには家が狭いから | 6 近居するための家が見つからないから |
| 7 同居または近居するための資金がないから | |
| 8 その他 () | |

問10 あなたは、自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするための取組に参加したいと思いますか。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 参加したい | 2 参加したいがどうすればよいのか分からない |
| 3 参加は難しいが協力したい気持ちはある | 4 参加したくない |
| 5 関心がない | |
| 6 その他 () | |

問11 あなたは、福祉・介護に関するサービス（高齢者や障がい者に関するサービス）が適正に提供されていると思いますか。

- | | | |
|-------------|------------------|--------|
| 1 思う | 2 どちらかといえばそう思う | |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえばそう思わない | 5 思わない |

IV 生活環境について

問18 あなたは、廿日市市内の公共交通機関（JR、広電、バス、航路、タクシー）で安全、快適、円滑に目的地まで移動できますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 できる | 2 どちらかといえばできる |
| 3 どちらかといえばできない | 4 できない |
| 5 利用していない | |

→ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 運行時間が合わない | 2 駅・バス停が遠い、アクセスが悪い |
| 3 時間がかかる | 4 障がいや身体の不調で利用が困難 |
| 5 利用できる公共交通機関が近くにない | 6 混んでいる |
| 7 乗り換えが必要で不便 | 8 路線やダイヤが分からない |
| 9 運賃が高い | 10 その他（ ） |

問19 あなたは、都市間（広島市や大竹市と廿日市市）の移動が、自動車やバスで、渋滞なく円滑にできると思いますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 できると思う | 2 どちらかといえばできると思う |
| 3 どちらかといえばできないと思う | 4 できないと思う |

→ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1 渋滞する（国道2号、西広島バイパス、臨港道路廿日市草津線など） | |
| 2 道路が狭い、整備されていない | 3 信号が多い |
| 4 迂回路がない | 5 高速道路を利用すると料金がかかる・高い |
| 6 案内表示がない | 7 その他（ ） |

問20 あなたは、地域間（「地域」とは、廿日市、佐伯、吉和、大野、宮島の各地域のことです）の移動が、自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできると思いますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 できると思う | 2 どちらかといえばできると思う |
| 3 どちらかといえばできないと思う | 4 できないと思う |

→ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1 渋滞する | 2 道路が狭い、整備されていない |
| 3 山間部と都市部の移動が難しい | 4 信号が多い |
| 5 迂回路がない | 6 料金がかかる・高い |
| 7 案内表示がない | 8 その他（ ） |

問21 あなたは、JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

▶ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 活気がない | 2 必要な施設がない、整備されていない |
| 3 道路が狭い、整備されていない | 4 店舗や金融機関が少ない |
| 5 交通が不便、アクセスが悪い | 6 駐車場が少ない |
| 7 場所が分からない | 8 その他 () |

問22 あなたは、支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

▶ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 活気がない、周辺に何もない | 2 必要な施設がない、整備されていない |
| 3 道路が狭い、整備されていない | 4 店舗や金融機関が少ない |
| 5 交通が不便、アクセスが悪い | 6 駐車場が少ない |
| 7 支所の場所が分からない | 8 地域の中心といえる場所がない |
| 9 その他 () | |

問23 あなたは、廿日市内の各JR駅周辺が、日常生活の利便性が高い地区だと思いませんか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

▶ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 活気がない、周辺に何もない | 2 必要な施設がない、整備されていない |
| 3 道路が狭い、整備されていない | 4 店舗や金融機関が少ない |
| 5 交通が不便、アクセスが悪い | 6 駐車場が少ない |
| 7 利用しないから分からない | 8 その他 () |

問24 あなたは、宮島口地区が、国際的な観光交流拠点としてふさわしい景観であると思いませんか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問25 あなたは、宮島口地区が、国際的な観光交流拠点として賑わっていると思いませんか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問26 あなたは、宮島口地区のまちづくりについてよいと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

→ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 歩行者の利便性が悪い | 2 道路の整備が足りていない |
| 3 道路が混雑している | 4 駐車場が少ない |
| 5 まちに緑が少ない | 6 街並みに統一性がない |
| 7 回遊性がない | 8 魅力的な滞在施設が少ない |
| 9 その他 () | |

問27 あなたは、日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できていますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 できている | 2 どちらかといえばできている |
| 3 どちらかといえばできていない | 4 できていない |

→ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 歩道がない、整備されていない | 2 道路が狭い |
| 3 道路の見通しが悪い | 4 交通マナーが悪い |
| 5 街灯がなく暗い、防犯設備がない | 6 電柱が支障になる |
| 7 その他 () | |

問28 あなたの住んでいる地域は、地震・風水害などの対策がされていると思いますか。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 されていると思う | 2 どちらかといえばされていると思う |
| 3 どちらかといえばされていないと思う | 4 されていないと思う |

→ ■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 海岸、河川等の浸水対策に不安がある | |
| 2 がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある | |
| 3 津波対策に不安がある | 4 建物の耐震化対策に不安がある |
| 5 災害時の情報ネットワークの整備に不安がある | 6 避難場所に対する不安がある |
| 7 高齢者や障がい者などの災害弱者への対策に不安がある | |
| 8 行政の対応に不安がある | 9 対策されているか分からない |
| 10 その他 () | |

問29 あなたは、災害の種別（地震、風水害など）ごとに、避難場所や避難経路を確認していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問30 あなたの住んでいる場所の災害時の危険性について、土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等により確認したことがありますか。

- | |
|----------------------------|
| 1 ハザードマップで確認したことがある |
| 2 ハザードマップは知っているが、確認したことがない |
| 3 ハザードマップを知らない |

問31 あなたは、災害時の非常持ち出し品の準備をしていますか。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 準備している | 2 今後、準備する予定である |
| 3 準備していない | 4 今後も準備する予定はない |

問32 あなたは、避難するための情報や災害時の情報をどのような手段で収集しますか。次の中からあてはまるものを**全て選んで**番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| 1 防災行政無線 | 2 はつかいちし安全・安心メール | |
| 3 スマートフォンのアプリ | 4 テレビ | 5 ラジオ |
| 6 市ホームページ | 7 広島県ホームページ | 8 気象庁ホームページ |

問33 あなたは、身近なところで犯罪（窃盗、傷害、特殊詐欺など）に遭う不安を感じていますか。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 不安を感じている | 2 どちらかといえば不安を感じている |
| 3 どちらかといえば不安を感じていない | 4 不安を感じていない |

問34 あなたは、廿日市市の自然環境（海、山、川、大気、動植物など）が守られていると思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

→■3または4を選んだ理由を**3つまで選んで**番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 川が汚れている | 2 海が汚れている |
| 3 山が削られている、荒れている | 4 ごみが不法投棄されている |
| 5 害虫、鳥獣被害がある | 6 生物が減少している |
| 7 自然を守る意識が少ない | 8 その他（ ） |

問35 あなたは、環境保護活動（海岸のゴミ拾いや草刈りなどを含む）に取り組んでいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問36 あなたは、家庭で省エネ・省資源に取り組んでいますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 取り組んでいる | 2 どちらかといえば取り組んでいる |
| 3 どちらかといえば取り組んでいない | 4 取り組んでいない |

→■1または2を選んだ方にお聞きします。どんな内容に取り組んでいますか。次の中からあてはまるものを**全て選んで**番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1 節電 | 2 節水 | 3 クールビズ、ウォームビズ |
| 4 建物の遮熱、日射遮へい | 5 環境負荷の少ない移動方法 | |
| 6 ごみの減量化※1 | 7 再利用※2 | 8 再資源化※3 |
| 9 その他（ ） | | |

※1 ごみの減量化（食べ残し削減、マイバッグ利用、詰替え品、簡易包装品の選択）

※2 再利用（修理して使う、おさがりやりサイクルショップの活用）

※3 再資源化（資源回収の推進、店舗回収の利用）

V 産業について

問37 あなたは、普段の買い物で、意識して廿日市産の農産物を購入していますか。

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問38 あなたは、廿日市市の地域産業資源※について知っていますか。知っているもの全ての番号に○印をつけてください。

※地域産業資源とは、地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物・鉱工業品、または鉱工業品の生産に係る技術、文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として相当程度認識されているもので、広島県が指定したものです。

<廿日市市の地域産業資源>

- | | | | | |
|-----------------------------|--------------|-----------------|-------------|---------|
| 1 あさり | 2 あなご | 3 いちご | 4 クロダイ | 5 広島産かき |
| 6 わさび | 7 あまご | 8 大長なす | 9 ムール貝 | 10 切りバラ |
| 11 佐伯錦鯉 | 12 ほうれんそう | 13 はちみつ | 14 宮島お砂焼 | 15 宮島細工 |
| 16 木製品(けん玉等) | 17 もみじ饅頭 | 18 ヨーグルト | 19 宮島アントチーズ | 20 醤油 |
| 21 津和野街道 | 22 宮島(厳島) | 23 宮浜温泉 | 24 重なり岩 | |
| 25 アルカディア・ビレッジ | 26 岩倉ファームパーク | 27 けん玉商店街 | 28 大野瀬戸 | |
| 29 スキー場 | 30 羅漢峡 | 31 フィールドアクティビティ | | |
| 32 どれも廿日市市の地域産業資源であることを知らない | | | | |

VI 教育・文化について

問39 あなたは、過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたり、無形・有形民俗文化(人形芝居・神楽・踊等)を観たりしましたか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問40 あなたは、この1年間にスポーツや運動(ウォーキングや健康づくりのための体操などの軽スポーツを含む)をどの程度しましたか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週2～3回程度 | 3 週1回 |
| 4 月1～2回程度 | 5 年4～5回程度 | 6 ほとんどしない |

問41 あなたは、日頃から文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、美術、伝統芸能、文学、映画など)に親しむことがありますか。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週2～3回程度 | 3 週1回 |
| 4 月1～2回程度 | 5 年4～5回程度 | 6 ほとんどない |

問42 あなたは、図書館を利用していますか。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 週に1回以上利用している | 2 月に1～3回程度利用している |
| 3 年に数回利用している | 4 利用していない |

項 目		あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度						
		満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	
教育	4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	10	文化施設の整備及び活動の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
子育て・福祉	11	市民が健康に生活できるための支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	18	低所得者への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
安全安心	19	消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	20	地震・風水害などの災害対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	21	防犯や交通安全に向けた取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

項目		あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度						
		満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	
環境保全	24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
産業	27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
都市基盤	32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	37	市営墓地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	40	安全で快適な市街地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	43	渋滞が起りにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

項目		あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度						
		満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	
都市基盤	44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	45	ノーカーデー、パークアンドライド※ ¹ が実践できる環境整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
協働	47	NPO※ ² ・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動※ ³ の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	49	市民と行政の協働のまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
行政	50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	52	支所機能の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	53	市民センター機能の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

※1 パークアンドライド：最寄駅などの近くの駐車場に駐車し、公共交通機関で移動する方法

※2 NPO：継続的、自発的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体の総称

※3 地域コミュニティ活動：町内会、自治会、区、コミュニティ団体などの地縁団体が行う活動

令和7年度まちづくり市民アンケート
調査結果報告書

廿日市市 経営企画部 経営政策課

〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号